PUB. DIJ-145

Canon

DIGITAL VIDEO CAMERA

FV M1

安全上の
ご注意など
6ページ～

はじめに

自動で撮る／
テレビで見る
15ページ～

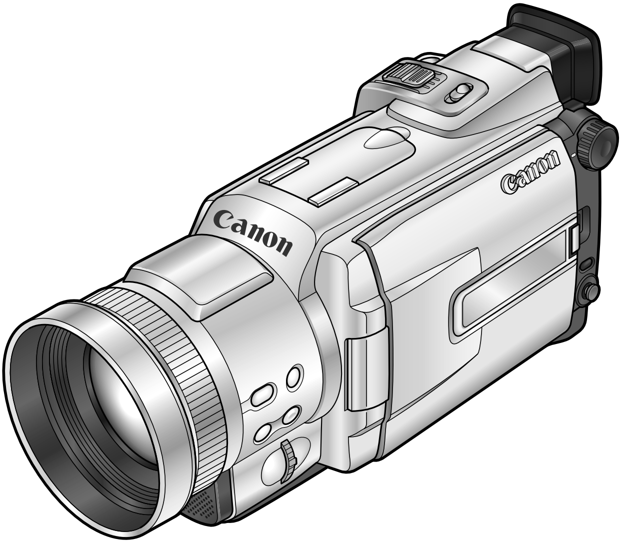
基本編

効果的に使う
55ページ～

応用編

カードを使う

静止画を印刷する



使用説明書

取り扱い上の
ご注意など
195ページ～

その他

Mini DV Digital Video Cassette

BUBBLE JET DIRECT

DIRECT PRINT

PictBridge

CANON iMAGE GATEWAY

J
日本語版

このたびはキヤノンFV M1をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用の前にこの「使用説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになった後は、大切に保管してください。

保証書別添付　保証書は必ず「購入店・購入日」等の記入を確かめて、購入店よりお受け取りください。

FV M1 使用説明書の構成

本機には、次の使用説明書が含まれています。用途に合わせて、ご覧ください。

● FV M1 使用説明書（本書）

静止画や動画をテープやメモリーカードに記録したり、再生したりする操作方法を説明します。

● Digital Video Software 使用説明書

FV M1とUSB端子付きのパソコンをUSBケーブルで接続して使用するソフトウェアです。
FV M1でメモリーカードに記録した静止画や動画をパソコンに取り込んだり、カードミックスのサンプル画像やマイカメラの起動画面や音をビデオカメラに追加できます。
ここでは、ソフトウェアのインストールのしかたと操作方法を説明します。

● Windows XP専用 DV Network Software 使用説明書

本機とUSBまたはIEEE1394端子付きのパソコンをUSBまたはDV（IEEE1394）ケーブルで接続して使用するソフトウェアです。

・DV Messenger Version2 [USBまたはIEEE1394]：Windows XPに標準搭載されているWindows Messengerと連動して、動作するソフトウェアです。インターネットを使って、テレビ電話のように会話したり、パソコンでビデオカメラを操作したり、外出先から自宅の様子を見たりできます。

・AV/C Camera Storage Subunit-WIA [IEEE1394]：本機でメモリーカードに記録した静止画や動画をパソコンに取り込んで活用できます。パソコンに保存されているファイルをメモリーカードに書き込むこともでき、メモリーカードリーダー/ライターのように使えます。

ここでは、ソフトウェアのインストールのしかたと操作方法を説明します。

もくじ

本書の記載について

⚠ : 操作するうえで、守っていただきたいことです。

✎ : 基本操作に加えて、知っておいていただきたいことです。

（📖 ○○）: （　）内の数字は参照ページです。

☼ : 表示の点滅を示しています。

・本体とリモコンのどちらで操作できるかをマークで示しています。ほとんどの操作はリモコンでもできますが、カメラモードのときは本体が、再生（VTR）モードのときはリモコンが、操作の基本になります。

: 本体で操作できます。

: リモコンで操作できます。

・文中の「画面」は、液晶画面またはビューファインダーの画面を表しています。

はじめに

はじめに

FV M1 使用説明書の構成 2
付属品をお確かめください 5
必ずお読みください....................................6
安全上のご注意...7
主な特長 13

基本編（自動で撮る／テレビで見る）

さあ、撮影してみましょう 15
各部の名称 17

準備

家庭用コンセントで使う 21
バッテリーパックで使う 22
バッテリーパックの上手な使いかた..........26
バッテリーパックの取り扱いについて 27
カセットを入れる／出す 28
コイン型リチウム電池を入れる.................30
カメラの準備 31
リモコン 33

撮影する

テープに動画を撮影する 34
テープ撮影中の画面表示について..............36
よりよいビデオ撮影のために 37
世界時計のエリアを選ぶ 38
日付／時刻を設定する 41
大きくしたり、小さくしたりして撮る
（ズーム）...44
テープに撮影した内容を確認する
（録画チェック）／
つなぎ撮り**（録画サーチ）**...................47

再生する

テープを再生する...48
音量を調整する...51
テレビで見る 53

応用編（効果的に使う）

撮影する

液晶画面を相手に見せながら撮る
（対面撮影）...55
静止画をテープに撮る**（フォト撮影）**........56
内蔵のフラッシュを使う 58
セルフタイマーで撮る 61
撮影場面や目的に合わせて撮る
（撮影モード）...63
Tv（シャッター優先）モードで撮影する .66
Av（絞り優先）モードで撮影する............69
手動でピントを合わせる 70
手動で露出を調整する
（露出ロック／露出補正）......................73
ゼブラパターン／逆光補正 75
ご購入時の設定を変える**（メニュー）**........76
手ぶれ補正を解除する
（手ぶれ補正機能）.................................79
音声の記録 80
風音低減機能**（ウィンドカット）**...............82
録画モードを選ぶ...83
色合いを調整する**（ホワイトバランス）**....84

カスタムキー 88
場面の切り換えと特殊効果
（デジタルエフェクト）..........................89
マルチ画面を使う..97
マイカメラ機能を使う..............................100

再生する

再生中に画面を拡大する 102
見たい場面にすばやく戻る
（ゼロセットメモリー）........................103
テープに記録した静止画を探す
（フォトサーチ）....................................104
撮影した日の変わり目を探す
（日付サーチ）..105
再生時に日時、カメラデータを表示する
（データコード）....................................106
2台のキヤノンビデオカメラを操作する
（リモコンコード）................................109

編集する

ほかのビデオデッキへ録画する..............110
ほかのビデオやテレビの画像を録画する
（アナログ入力）....................................113
DV端子付きビデオから録画する 115
アナログ入力した映像と音声を
デジタルビデオ機器に出力する
（アナログ－デジタル変換機能）........117
撮影したテープの映像と音声を入れ換える
（AVインサート）...................................119
撮影したテープに音声を追加する
（アフレコ）..121
音声を切り換える......................................124
市販のマイクを使う..................................126
別売のマイクDM-50を使う 127
別売のビデオフラッシュライト
VFL-1を使う 128
別売のビデオライトVL-3を使う 131
静止画／動画をパソコンで活用する
（IEEE1394接続）..............................133

カードを使う

メモリーカードを入れる／出す..............134
記録時の画質や画像サイズを選ぶ...........135
ファイル番号をリセットする..................137
静止画をメモリーカードに記録する.......138
パノラマ写真を撮る
（スティッチアシスト）........................149
動画をメモリーカードに記録する 151
カード記録中の画面表示について...........153
メモリーカードを再生する......................154
静止画／動画を消去しないようにする
（プロテクト）..159
静止画／動画を消す（消去）...................161
印刷したい静止画を指定する
（プリント指定）...........................164
画像を合成する（カードミックス）.........167
カードクロマキー／カードルミキー／
カメラクロマキー／カードアニメーション
テープの静止画をメモリーカードに
コピーする..172
メモリーカードの静止画をテープに
コピーする..173
メモリーカードを初期化
（フォーマット）する 174
メモリーカードの静止画／動画を
パソコンで活用する（USB接続）.....175
その他 177
サンプル画像...178

静止画を印刷する

ダイレクトプリント対応の
プリンターで印刷する 180
プリント指定した静止画を印刷する .193

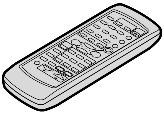
その他（ご注意など）

メニュー一覧...195
ネットワークモードについて
（DV Messenger Version2を使う）...208
画面表示について......................................209
キヤノンビデオシステム 216
取り扱い上のご注意..................................218
ビデオヘッドをクリーニングする..........219
日常のお手入れ／保管上のご注意...........220
ビューファインダーのお手入れ..............221
こんなときは...222
海外で使うとき...226
保証書とアフターサービス 227
主な仕様 228
索引...230

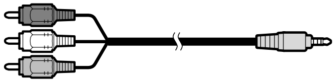
付属品をお確かめください

本機をお使いになる前に、付属品をお確かめください。

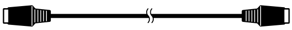
- FV M1使用説明書
- Digital Video Software　使用説明書
- DV Network Software　使用説明書
- リモコン（ワイヤレスコントローラー）
  WL-D81
  （📖 33）



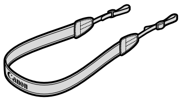
- ステレオビデオケーブル STV-250N
  （📖 53）



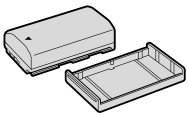
- Sビデオケーブル S-150（📖 53）



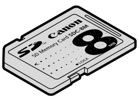
- ショルダーストラップ
  SS-600（📖 31）



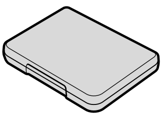
- バッテリーパック
  BP-512
  （📖 22）



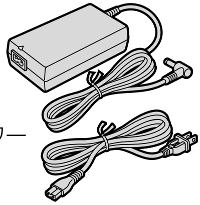
- メモリーカード（SDメモリーカード）
  SDC-8M（📖 134）
  （サンプル画像入り）



- メモリーカード用ケース
  （📖 177）

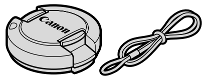


- コンパクトパワーアダプター
  CA-570（📖 21）

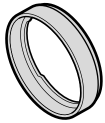


コンパクトパワー
アダプター用
電源コード

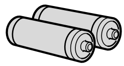
- レンズキャップ／レンズキャップ用ひも
  （📖 31）



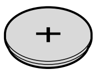
- レンズフード
  （📖 32）



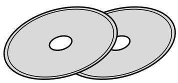
- リモコン用
  単3乾電池2本
  （📖 33）



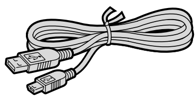
- コイン型リチウム
  電池CR2025
  （📖 30）



- ソフトウェアCD-ROM
  ・DIGITAL VIDEO SOLUTION DISK
  for Windows
  ・DIGITAL VIDEO SOLUTION DISK
  for Macintosh



- USB(ユーエスビー)ケーブル
  IFC-300PCU



必ずお読みください

ためし撮り
必ず事前にためし撮りをし、正常に録画・録音されていることを確認してください。

記録内容の補償はできません。
万一、ビデオカメラやテープ、メモリーカードなどの不具合により記録や再生されなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。

著作権について
あなたがビデオで録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

本書内の写真について
機能や画面内の映像を説明するのに、スチルカメラによる写真を使っています。実際に見えるものとは異なります。

長時間録画モードについて
長時間録画モードは、SP（標準）モードの1.5倍（LP）の録画ができる機能です。長時間録画モードでの録画／再生は、テープの特性や使用環境に影響されやすく、再生時、画面にモザイク状のノイズが発生したり、音声が途切れたりする場合があります。大切な撮影にはSPモードをお使いください。

- Canonは、キヤノン株式会社の登録商標です。
- “Mini DV” ロゴは商標です。
- “SD” ロゴは商標です。
- Mac OSは、米国アップルコンピュータ社の登録商標です。
- BJはキヤノン株式会社の商標です。
- Windows®は、米国Microsoft社の米国および他の国における登録商標です。
- DCFロゴマークは、（社）電子情報技術産業協会（JEITA）の「Design rule for Camera File system」の規格を表す団体商標です。
- その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報処理装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。

本機をDV端子つきのパソコンと接続するときは、別売のDVケーブルCV-150F/CV-250Fをお使いください。
USB端子つきのパソコンと接続するときは、付属のUSBケーブルIFC-300PCUをお使いください。

MPEG-4 ビジュアル消費者録画ビデオデコーダおよび/またはエンコーダMPEG-4ビジュアルスタンダードに準拠する本製品の使用は、個人的および非営利的活動に従事する消費者による使用を除き、いかなる方法によっても禁じられています。

安全上のご注意

ご使用の前に必ず「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

絵表示について

この使用説明書および製品への表示では、製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。

その表示と意味は次のようになっています。

内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告 火災 感電 破裂　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、火災、感電、破裂などによって、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。必ずお守りください。

煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常が発生した場合、すぐに、電源プラグをコンセントから抜くか、バッテリーパックをはずしてください。
そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。
煙が出なくなるのを確認してから、ご購入になった販売店またはキヤノンサービスセンターに修理を依頼してください。
お客様による修理は危険ですからおやめください。


プラグをコンセントから抜く

本機器を落としたり、外装を破損した場合は、電源プラグをコンセントから抜くか、バッテリーパックをはずしてください。
ご購入になった販売店またはキヤノンサービスセンターに修理を依頼してください。
そのまま使用した場合、火災、感電の原因となります。


プラグをコンセントから抜く

本機器内部に水、飲料水、海水などの液体が入ったり、濡らしたりしないようにご注意ください。または異物が入った場合は、すぐに、電源プラグをコンセントから抜くか、バッテリーパックをはずしてください。
そのまま使用した場合、火災、感電の原因となります。ご購入になった販売店またはキヤノンサービスセンターにご連絡ください。
特にお子様のいるご家庭では、ご注意ください。


プラグをコンセントから抜く

風呂場、シャワー室など湿度の高い所に置いたり、使用したりしないでください。
水などが入ると、火災、感電、やけどの原因となります。


風呂場、シャワー室での使用禁止

警告 火災 感電 破裂　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、火災、感電、破裂などによって、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。必ずお守りください。

バッテリーパック内部に水、飲料水、海水などの液体が入ったり、濡らしたりしないようにご注意ください。
そのまま使用した場合、火災、感電、やけどの原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺、湿度の高い場所などでの使用は、特にご注意ください。

水濡れ禁止

雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグに触れないでください。
感電の原因となります。

接触禁止

本機器を海外旅行者用の電子式変圧器や航空機、船舶、DC／ACコンバーターなどの電源に接続しないでください。また、表示された電源電圧や周波数以外では使用しないでください。
火災、感電、けがの原因となります。

禁止

海外で使用する場合は、その国の電圧、コンセントの形状をお調べください。
火災、感電の原因となります。

強制

海外で、変換プラグアダプターをご使用の場合、電源プラグの刃を、根元まで入れてください。
根元まで入れない場合、感電の原因となります。

強制

電源プラグを定期的に抜き、その周辺およびコンセントに溜まったほこりや汚れを、乾いた布で拭き取ってください。
ほこり、湿気、油煙の多いところで、電源プラグを長期間差したままにすると、その周辺に溜まったほこりが湿気を吸って絶縁不良となり、火災の原因になります。

強制

電源コードを傷つけないでください。
- **加工したり、傷つけたりしないでください。**
- **無理に曲げたり、引っ張ったり、重いものを載せたりしないでください。**
- **熱器具に近づけたり、加熱したりしないでください。**

電源コードが傷ついたり（芯線の露出、断線等）して、火災、感電の原因となります。コードが傷ついた場合、ご購入になった販売店またはキヤノンサービスセンターにご依頼ください。

禁止

⚠警告 火災 感電 破裂	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、火災、感電、破裂などによって、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。必ずお守りください。
本機器の外装をはずさないでください。 内部に高電圧の部分がありますので、感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は、ご購入になった販売店またはキヤノンサービスセンターにご依頼ください。	分解禁止
本機器を分解、改造しないでください。 発熱、火災、感電、けがの原因となります。	分解禁止
強い衝撃や振動を与えたり、投げつけないでください。 破損により、火災、やけど、けがの原因となります。特に、液晶画面は、ガラス製のため、画面に強い衝撃を与えると、割れてけがの原因となります。	禁止
指定された充電器を使用してください。 DCプラグの形状が同じでも、電圧や極性が異なる場合があるので、それ以外のものを使用すると、発熱や、変形して、火災、感電の原因となります。	強制
バッテリーパックは、指定された機器にご使用ください。 それ以外のものに使用すると、バッテリーパックの液漏れ、発熱、破裂の原因となります。	強制
バッテリーパックを、金属製のネックレス、キーホルダー、ヘアピンなどと一緒に、携帯や保管をしないでください。 バッテリーパックなどの「+」と「−」の端子がショートされ、高熱や液漏れにより、やけど、けがの原因となります。 持ち運びや保存のときは、必ず付属のショート防止用端子カバーを取り付けてください。	禁止
本機器の内部や端子部に金属類を入れたり、ショートさせないでください。 火災、感電、けがの原因となります。	禁止
バッテリーパック、乾電池、コイン型リチウム電池などを、電子レンジ、オーブンなどで加熱したり、火の中へ投げ入れたりしないでください。 バッテリーパックの破裂により、やけど、けがの原因となります。	禁止

警告　火災　感電　破裂	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、火災、感電、破裂などによって、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。必ずお守りください。
バッテリーパックから液漏れした時、皮膚や衣服につけたり、目に入れたり、火気に近づけたりしないでください。 皮膚の障害、失明、発火の原因となります。	禁止
バッテリーパックを電源コンセントや自動車のシガーライターソケットなどに直接接続しないでください。 バッテリーパックの液漏れ、発熱、破裂により火災、やけど、けがの原因となります。	禁止
コイン型リチウム電池をお子様の手の届かないところへ置いてください。 万一、飲み込んだ場合、電池の金属ケースが壊れて、電池の液で胃、腸が損傷する恐れがありますので、ただちに医師と相談してください。	強制
お子様が使用のときには、保護者が正しい使用方法を充分に教えてください。また、使用中にもご注意ください。 感電、けがの原因となります。	強制
乳幼児の手の届かないところで、使用、保管してください。 感電、けがの原因となります。	強制
自動車などの運転中に、運転者は本機器を操作しないでください。 交通事故の原因となります。	禁止
撮影しているときは、周囲の状況にご注意ください。 けがや交通事故の原因となります。	強制
本機器をぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。 落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。	禁止
ビデオカセットの挿入口などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込まないでください。 そのまま使用した場合、火災、感電の原因となります。	禁止

⚠注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容です。必ずお守りください。

本機器を、ストーブなどの熱器具に近づけないでください。
外装が変形したり、コードの被覆が溶けて、火災、感電の原因となることがあります。
禁止

直射日光下や発熱体のそばなど、60℃以上の高温の場所で使用や放置しないでください。
バッテリーパックの液漏れ、発熱、破裂により、火災、やけど、けがの原因となることがあります。
禁止

コンパクトパワーアダプター、バッテリーパック、ビデオカメラなどを使用中に、温度の高くなる部分に長時間触れないでください。
長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。
強制

テーブルクロス、じゅうたん、ふとん、クッションなどをかけたまま使用しないでください。
内部に熱がこもり火災の原因となることがあります。
禁止

指定されたバッテリーパックを使用してください。
それ以外のものを使用すると、バッテリーパックの破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を汚す原因となることがあります。
強制

濡れた手で、電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となることがあります。
ぬれ手禁止

電源プラグをコンセントから抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
電源コードを引っ張ると、コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。
強制

使用しないときは、安全のために、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
プラグをコンセントから抜く

テレビは前面が重いので、アンテナコードやＡＶコードなどを接続するとき、転倒防止の処置をとってください。
テレビが転倒し、けがの原因となることがあります。
強制

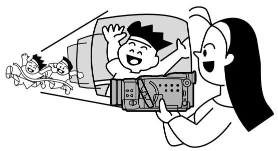
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容です。必ずお守りください。
コード類は正しく配置してください。 電源コード、DCケーブル、AVケーブルに足を引っ掛けたりして、転倒したり、ものが落ちたりして、けがの原因となることがあります。	強制
バッテリーパック、グリップベルトなどを確実に取り付けてください。 緩んで脱落すると、けがの原因となることがあります。	強制
湿気、油煙、ほこりなどの多い場所に保管しないでください。 火災、感電の原因となることがあります。	禁止
お子様がビデオカセットの挿入口から、手を入れないようにご注意ください。 けがの原因となることがあります。	指をはさまれないよう注意
飛行機内で使用する場合は、乗務員の指示に従ってください。 機器から出る電磁波により、飛行機の計器に影響を与える恐れがあります。	強制
コイン型リチウム電池を金属のピンセットなどでつかまないでください。 発熱により、やけどの原因となることがあります。	強制
フラッシュを人の目に近づけて発光しないでください。 目の近くでフラッシュを発光すると、視力障害を起こす恐れがあります。特に、乳幼児を撮影するときは1m以上離れてください。	禁止
車の運転者などに向けて、フラッシュを発光しないでください。 事故の原因となります。	禁止
フラッシュの発光部分を手で覆ったまま発光しないでください。 やけどの恐れがあります。	禁止

いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

主な特長

2メガピクセルCCD
総画素220万画素*メガピクセルCCDを搭載。メガピクセルの高精細な美しい静止画を、メモリーカードに記録できます。
*有効画素　テープ：123万画素、カード：200万画素

11倍光学ズームレンズ
(220倍デジタルズーム)
（📖 44）
カード記録時は光学ズーム9倍、デジタルズーム36倍まで。



手ぶれ補正機能
（📖 79）
手ぶれの少ない、安定した画面で撮影できます。

撮影モード
（📖 63）
モードダイヤルで簡単に切り換えでき、撮影条件に合わせて効果的に撮影できます。

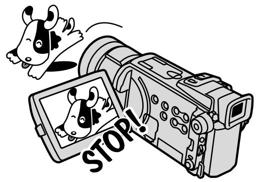


高画質16：9ワイドテレビモード
（📖 195）
通常（4：3）の撮影に比べ、左右がより広角で撮影できます。
*テープ撮影時のみ

ナイトモード
（📖 65）
暗い所でも被写体に合わせて最適なシャッタースピードに自動調整して、カラーで撮影できます。

スーパーナイトモード
（📖 65）
スーパーナイトモードは白色の補助光が点灯して、明るく撮影できます。

フォト(静止画)撮影
（📖 56、138）
フォトボタンを押すだけで、カメラのように簡単に静止画を撮影できます。

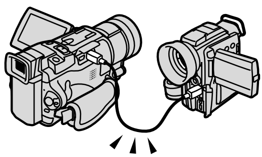


メモリーカード＆MPEG-4動画
（📖 134）
SDメモリーカードとMultiMediaCard（マルチメディアカード）に対応。本機では、メモリーカードに、静止画だけでなく動画（MPEG-4（エムペグ）動画）も記録できます。付属のソフトを使えば、撮影した静止画でパノラマ写真を作成できます。

ダイレクトプリント
（📖 180）
ダイレクトプリント対応のキヤノン製プリンターに加え、PictBridge（ピクトブリッジ）対応のプリンターと本機を接続して、メモリーカードに記録した静止画を簡単に印刷できます。

USB端子 （📖 175）
メモリーカードのデータを、USB端子を搭載するパソコンに高速転送できます。付属のソフトを使えば、パソコンで静止画の加工や整理ができます。

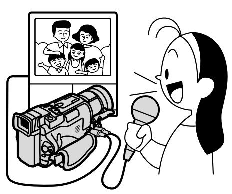
DV端子（IEEE1394準拠）
（📖 115、117、133）
専用ケーブル1本をDV端子に接続するだけ。このDV端子を搭載するデジタルビデオ機器などと接続、画質・音声劣化のないダビング編集ができます。



DV Messenger
USBまたはDV端子付きのパソコンでは、テレビ電話や自宅の確認（リモート留守番カメラ）などができます。
*Windows XPで、Windows Messengerが動作する環境下のみ対応。

AEB(オートブラケット)撮影 （📖 145）
自動的に露出を変えて3枚の静止画を連続撮影します（標準、暗め、明るめ）。最適な露出の静止画を簡単に選べます。

アフレコ/AVインサート
（📖 119、121）
撮影済みのテープに音声を追加したり、映像と音声をあらたに入れ換えることができます。

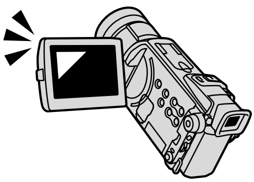


内蔵フラッシュ

（□ 58）
内蔵のフラッシュが、周囲の明るさに合わせて自動的に上がり発光します。室内や暗い場所で、より鮮明な静止画が撮影できます。

液晶画面/スピーカー

（□ 35、51）
3.5型の液晶画面で、ハイ／ローアングル撮影、対面撮影も可能。また、液晶画面で再生中も内蔵スピーカーで音声を確認できます（本体内蔵のスピーカーはモノラルです）。



AF枠選択機能

（□ 139）
カードに記録するときに、自動でピントの合うところを画面に出る3つの枠から選べます。

マイカメラ機能

（□ 100）
ビデオカメラの起動画面や起動音などの設定を変更できます。

動画、静止画同時撮影

（□ 148）
テープに動画を撮影しているときにメモリーカードに静止画を同時に記録できます（同時に記録する場合は640×480の静止画になります）。

データコード

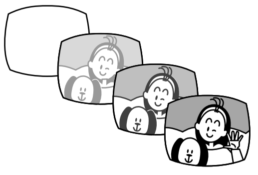
（□ 106）
撮影時の日付／時刻、シャッタースピード、絞り値（F値）を表示できます。

カスタムキー

（□ 88）
いくつかの機能を専用ボタンに設定できます（カメラモード、カードカメラモード独立）。

デジタルエフェクト

（撮影時／再生時）（□ 89）
フェーダー：オートフェード/ワイプ/コーナーワイプ/ジャンプ/フリップ/パズル/ジグザグ/ビーム/タイド
エフェクト：アート/シロクロ/セピア/モザイク/ボール/キューブ/ウェーブ/カラーマスク/ミラー

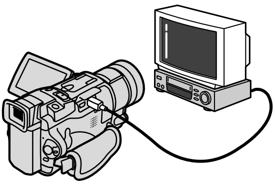


アドバンスト アクセサリーシュー

（□ 127、128、131）
別売のビデオフラッシュライトVFL-1、ビデオライトVL-3やマイクロホンDM-50を簡単に取り付けて使用できます。電源はビデオカメラ本体から供給されます。

アナログ入力機能

（□ 113、117）
ビデオデッキや8ミリビデオカメラに接続して、以前にVHSや8ミリテープなどに記録した映像と音声をDVテープに記録できます。また、アナログ入力した映像と音声を瞬時にデジタル信号に変換してDV端子から出力できます（アナログ-デジタル変換機能）。



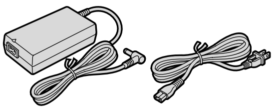
録音レベル調整可能

（□ 80）
マイクの音量を調整して撮影できます。また、液晶画面にはオーディオレベルメーターが表示されます。

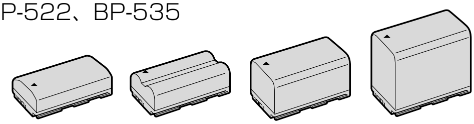
電源方式

撮影する場所に合わせて電源が選べます。バッテリーパックは、いつでも充電できるリチウムイオンタイプです。

家庭用コンセント（□ 21）
コンパクトパワーアダプター
CA-570



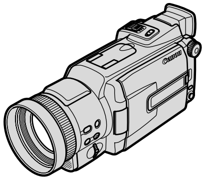
バッテリーパック（□ 22）
BP-512、BP-511、
BP-522、BP-535



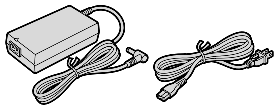
さあ、撮影してみましょう

用意するもの

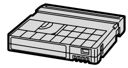
ビデオカメラ



コンパクトパワーアダプター

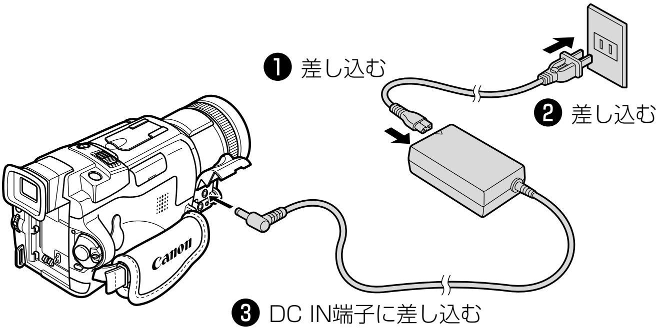


Mini DVカセット
（別売）

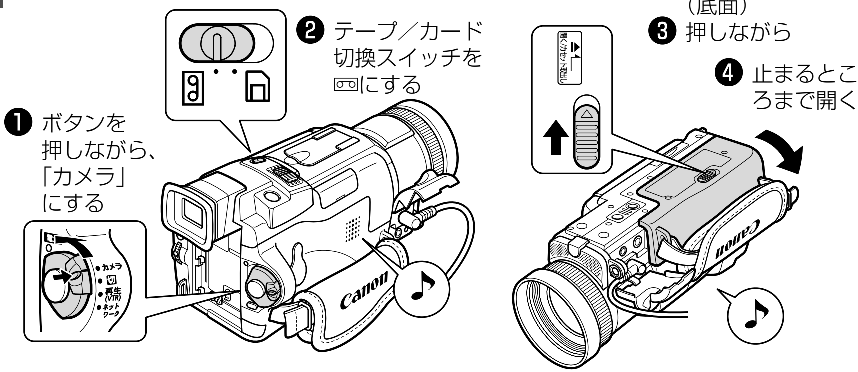


（　）の数字は参照ページです。

1 電源を取り付ける（□ 21）

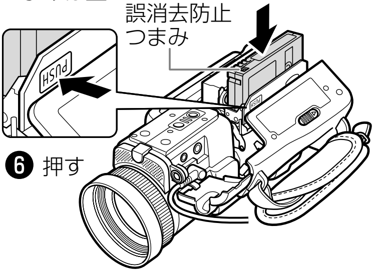


2 カセットを入れる（□ 28）

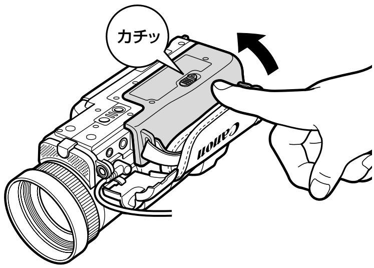


- ❍ はじめてお使いになる場合、「エリア／日時を設定してください」の表示が出ます。（コイン型リチウム電池を入れる □ 30、世界時計のエリアを選ぶ □ 38、日付／時刻を設定する □ 41）
- ❍ 屋外などで撮影するときは充電したバッテリーパック（充電池）を使います。(□ 22)

❺ カセットの透明な窓は
グリップ側、誤消去防止
つまみは上

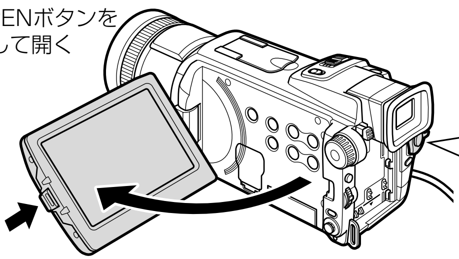


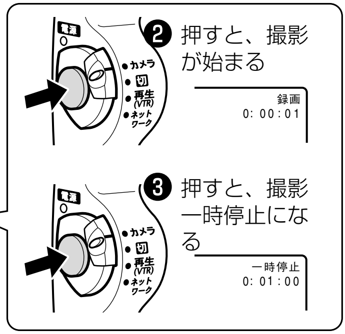
❼（カセット入れが完全に
収納されてから）閉める



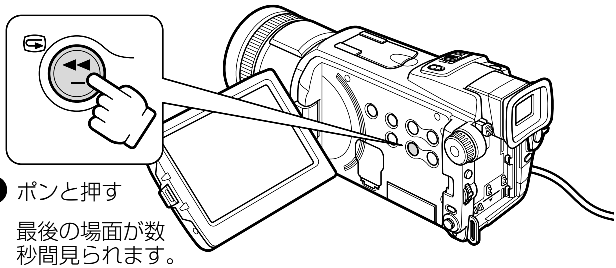
3 撮影する（□ 34）

❶ OPENボタンを
押して開く





4 撮影できたか確認してみましょう（□ 47）



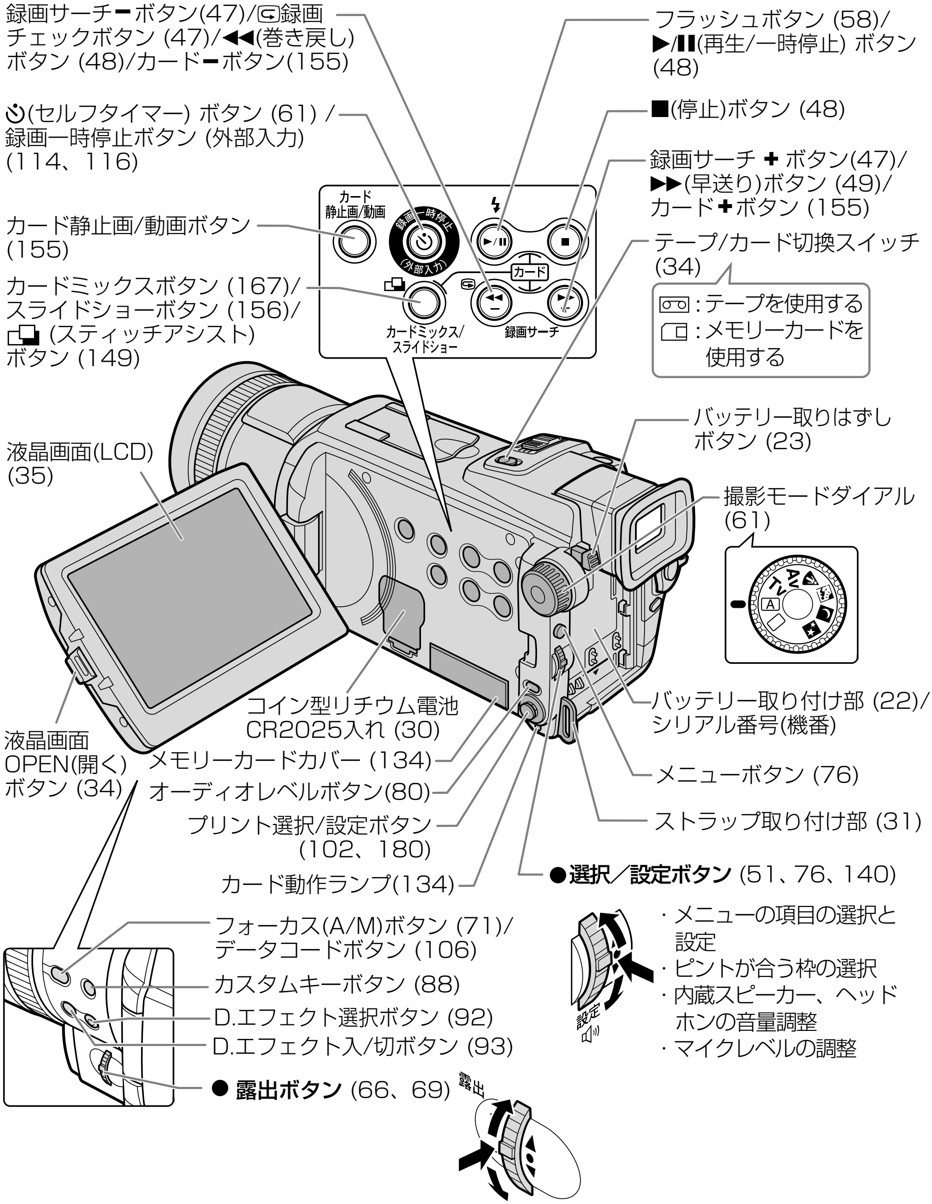
- ❍ カセット入れが自動的に動いている間は、無理に押したり、動きを妨げたり、グリップカバーを閉じたりしないでください。故障の原因となります。
- ❍ カセットを入れた直後は、テープカウンターが完全に止まってから、撮影を始めてください。
- ❍ 液晶画面やビューファインダーをつかんで、本機を持ち上げないでください。

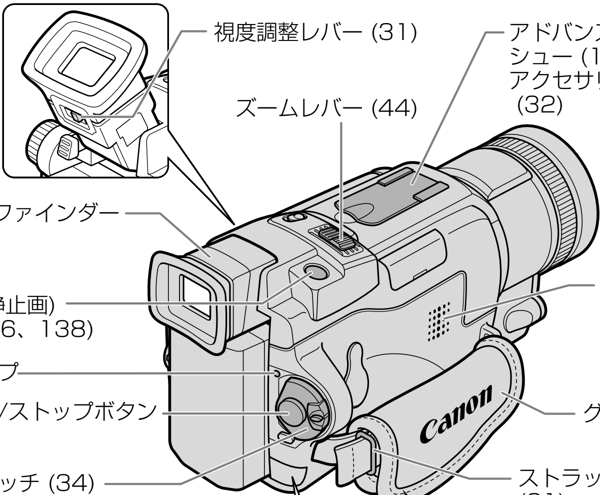
- ❍ 電源を入れたり、撮影が始まるときなどに音が出ます。これはお知らせ音です。（□ 197）

各部の名称

(　)内の数字は参照ページです。

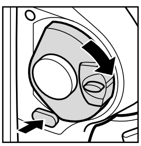
本体

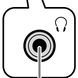


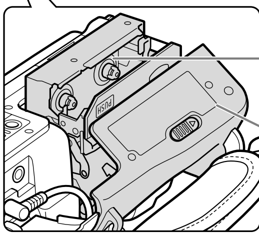


カメラ : テープやメモリーカードに静止画／動画を記録する
切 : 電源を切る
再生(VTR) : テープを再生したり、メモリーカードの静止画/動画を見る パソコンに画像を取り込む
ﾈｯﾄﾜｰｸ : パソコンに接続してDV Messenger *を使用するとき

・電源スイッチを「切」から「カメラ」、「再生(VTR)」にするときには、緑のボタンを押しながら動かしてください。
・電源スイッチを「再生(VTR)」から「ネットワーク」にするときには、電源スイッチの下のボタンを押しながら動かしてください。







● **動作モードについて**

動作モード	電源スイッチ	テープ／カード切換スイッチ
カメラモード	カメラ	テープ
再生（VTR）モード	再生（VTR）	テープ
カードカメラモード	カメラ	カード
カード再生モード	再生（VTR）	カード

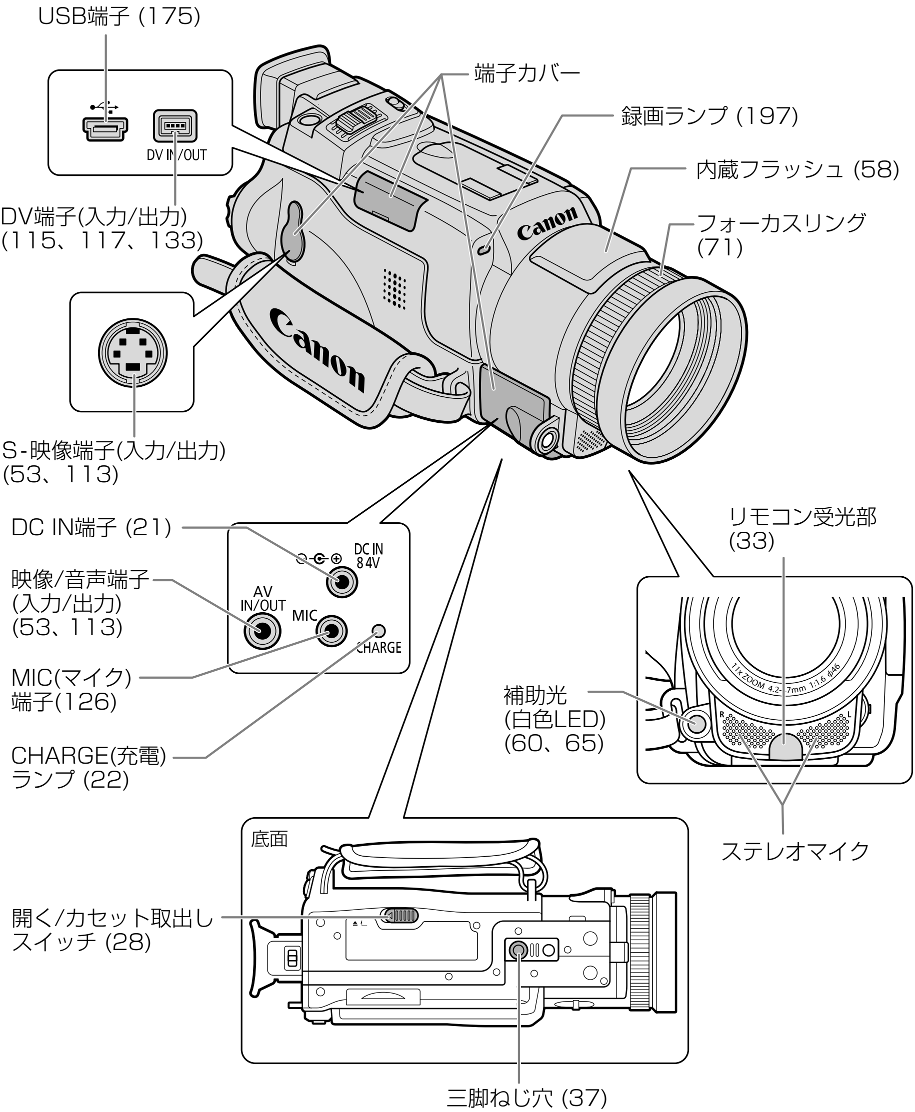
「ネットワーク」はパソコンでDV Messenger*を使用するときに選ぶモードです。詳しくは付属のDV Network Software使用説明書をご覧ください。

*Windows XPでWindows Messengerが使用できる環境下のみ対応。

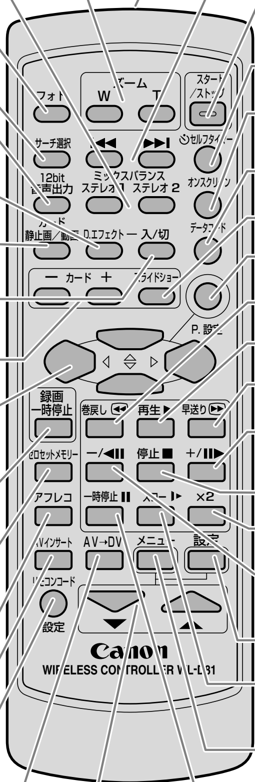
• 動作モードにより、使用できない機能があります。本書では、下記のように表示しています。

カメラモード : 使用できます。

カメラモード : 使用できません。


USB端子 (175)
DV IN/OUT
DV端子(入力/出力)
(115、117、133)
S-映像端子(入力/出力)
(53、113)
端子カバー
録画ランプ (197)
内蔵フラッシュ (58)
フォーカスリング
(71)
DC IN端子 (21)
DC IN
8.4V
映像/音声端子
(入力/出力)
(53、113)
AV
IN/OUT
MIC
CHARGE
MIC(マイク)
端子(126)
CHARGE(充電)
ランプ (22)
リモコン受光部
(33)
補助光
(白色LED)
(60、65)
ステレオマイク
底面
開く/カセット取出し
スイッチ (28)
三脚ねじ穴 (37)

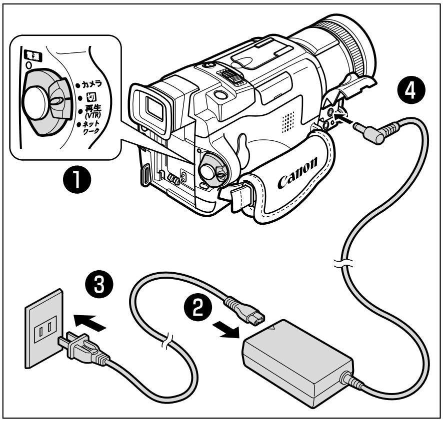
リモコン WL-D81（📖 33）



家庭用コンセントで使う

コンパクトパワーアダプターCA-570を家庭用コンセントに接続して使います。
（入力電圧はAC100～240Vまでの全世界対応）

コンパクトパワーアダプターの付けかた



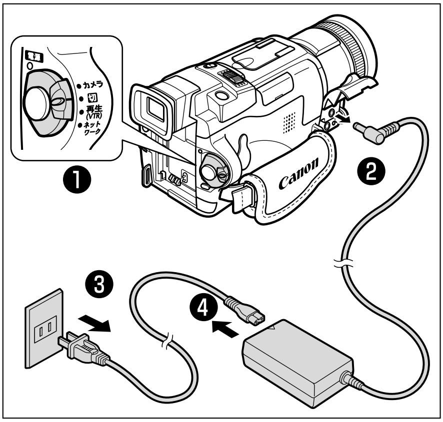
❶ 電源スイッチを「切」にする

❷ コンパクトパワーアダプターに電源コードを差し込む

❸ 電源プラグをコンセントに差し込む

❹ DC IN端子にコンパクトパワーアダプターを差し込む

コンパクトパワーアダプターのはずしかた



❶ 電源スイッチを「切」にする

❷ コンパクトパワーアダプターを本機から抜く

❸ 電源プラグをコンセントから抜く

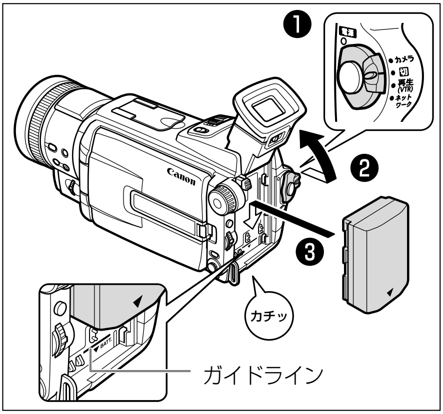
❹ 電源コードをコンパクトパワーアダプターから抜く

- コンパクトパワーアダプターを抜き差しするときは、必ずビデオカメラの電源を切ってください。
- テレビの近くでコンパクトパワーアダプターを使用するとテレビ放送の画面にノイズが出ることがあります。コンパクトパワーアダプターをテレビやアンテナケーブルから離してください。
- DC IN端子には、指定された製品以外を絶対に接続しないでください。また、コンパクトパワーアダプターを指定された製品以外に接続しないでください。
- コンパクトパワーアダプターを使用中、音がすることがありますが、故障ではありません。

バッテリーパックで使う

バッテリーパックは充電してから使います。バッテリーパックの充電は、コンパクトパワーアダプターCA-570を使って行います。

バッテリーパックを充電する



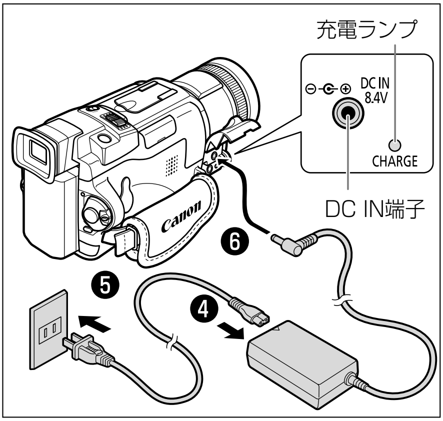
バッテリーパックを取り付ける

❶ 電源スイッチを「切」にする

❷ ビューファインダーを引き出して、上げる

❸ バッテリーパックの先端を本機のガイドラインに合わせ、押し付けながら矢印方向にずらして取り付ける

バッテリーパックを使うときは、ショート防止用端子カバーを取りはずします。（📖 27）



充電する

❹ コンパクトパワーアダプターに電源コードを差し込む

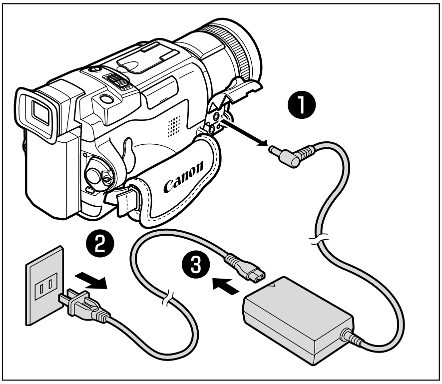
❺ 電源プラグをコンセントに差し込む

❻ DC IN端子にコンパクトパワーアダプターを差し込む

充電ランプが点滅し、充電が始まります。

⚠ バッテリーパックの充電中は、コンパクトパワーアダプターの電源コードを、コンセントから抜き差ししないでください。充電ランプが点灯しても、バッテリーパックが正しく充電されていないことがあります。また、充電中に停電が起きた場合も、正しく充電されていないことがあります。このような場合は、バッテリーパックを一度取りはずしてから、取り付けてください。

充電が終わったら



充電ランプが点灯したら

❶ コンパクトパワーアダプターを本機から抜く

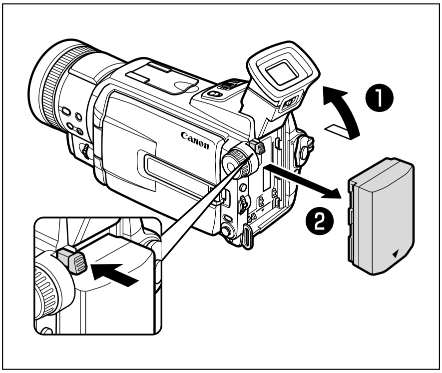
❷ 電源プラグをコンセントから抜く

❸ 電源コードをコンパクトパワーアダプターから抜く

- ❍ バッテリーパックに異常があるときは、充電ランプが早い連続した点滅（0.5秒間隔で1回）になります。
- ❍ ランプの点滅／点灯が充電した目安の量（残量）を示します。

0～50%	:	約1秒間隔で1回ずつ点滅
50%以上	:	約1秒間隔で2回ずつ点滅
100%	:	点灯

バッテリーパックのはずしかた



❶ ビューファインダーを引き出して、上げる

❷ バッテリー取りはずしボタンを押しながら、バッテリーパックをずらして取りはずす

基本編

本機でのバッテリーパックの充電時間とフル充電したバッテリーパックの使用時間は、次のとおりです。

バッテリーパック	充電時間
BP-512	約120分
BP-511（別売）	約120分
BP-522（別売）	約210分
BP-535（別売）	約310分

❍ 5℃～40℃の範囲で充電してください。
❍ 充電時間は周囲の温度や充電状態によって異なります。

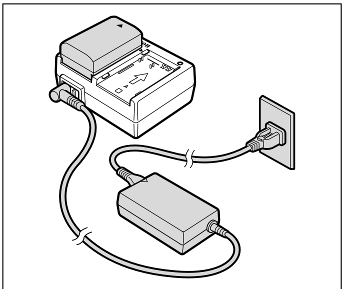
バッテリーパック	連続撮影時間		実撮影時間*		再生時間
	ビューファインダー使用時	液晶画面使用時	ビューファインダー使用時	液晶画面使用時	液晶画面使用時
BP-512	約110分	約90分	約65分	約50分	約115分
BP-511（別売）	約110分	約90分	約65分	約50分	約115分
BP-522（別売）	約235分	約185分	約135分	約105分	約250分
BP-535（別売）	約375分	約290分	約215分	約165分	約400分

低温下で使用したときには、使用時間は短くなります。
* 実撮影時間：撮影、撮影一時停止、電源の入/切、ズームなどの操作をくり返したときの撮影時間の目安です。実際には、これよりも短くなることがあります。

❍ 別売のバッテリーチャージャーCG-580は、家庭用コンセントに直接取り付けて、バッテリーパックを充電できます。
詳しくは、バッテリーチャージャーCG-580の使用説明書をご覧ください。

❍ 別売のバッテリーチャージャーCG-570は、コンパクトパワーアダプターCA-570(付属)／CA-560（別売）と組み合わせると、家庭用コンセントから電源をとってバッテリーパックを2個連続充電できます。また、カーバッテリーケーブルCB-570(別売)と組み合わせると、自動車から電源をとって充電できます。
詳しくは、バッテリーチャージャーCG-570の使用説明書をご覧ください。

CG-570



CG-580、CG-570を使用したときのバッテリーパックの充電時間は、次のとおりです。

バッテリーパック	充電時間	
	CG-580	CG-570
BP-511	約80分	約95分
BP-512	約80分	約95分
BP-522	約150分	約140分
BP-535	約210分	約205分

❍ バッテリーパックは、予定撮影時間の2〜3倍分をご用意ください。

ビデオカメラの消費電流は、ズームなどの操作によって変化します。そのためバッテリーパックの実際の使用時間は、表記の時間より短くなります。撮影時には、予定撮影時間の2〜3倍のバッテリーパックを用意することをおすすめします。

- この製品には、リチウムイオン電池を使用しています。
- リチウムイオン電池はリサイクル可能な貴重な資源です。
- リチウムイオン電池の回収・リサイクルについては、下記のキヤノンホームページで確認できます。
  キヤノンサポートページ　　canon.jp/support
- 交換後不要になった電池は、ショートによる発煙、発火の恐れがありますので、端子を絶縁するためにテープを貼るか、個別にポリ袋に入れてリサイクル協力店にある充電式電池回収BOXに入れてください。
- リサイクル協力店のお問い合わせは、以下へお願いします。
  - ビデオカメラ、リチウムイオン電池をご購入いただいた販売店
  - (社)電池工業会　小形二次電池再資源化推進センター及び充電式電池リサイクル協力店くらぶ事務局*

  * (社)電池工業会　電話番号 03-3434-0261

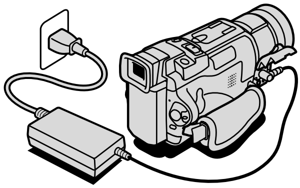
Li-ion

バッテリーパックの上手な使いかた

このバッテリーパックは、リチウムイオン電池を使用しておりますので、充電する前に使い切ったり、放電する必要はありません。いつでも充電できます。

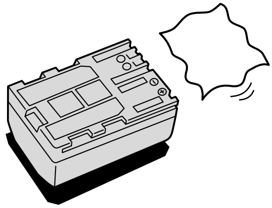
必ず **充電してから、** お使いください

バッテリーパックは、出荷時に少し充電してありますので、ビデオカメラなどの動作確認ができます。
長時間使用する場合や、動作確認ができない場合には、バッテリーを充電してから、お使いください。



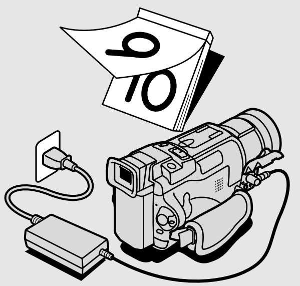
端子はいつも**きれいに** しておいてください

バッテリーパック、充電器、ビデオカメラの⊕、⊖などの端子は常にきれいにしておいてください。汚れていると接触不良の原因となります。充電や使用する前にティッシュペーパーなどで乾拭きしてください。



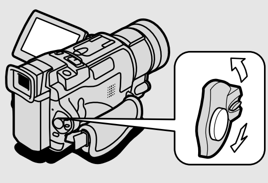
充電は使用**直前に**

充電しておいたバッテリーパックも内部の化学変化によって、少しずつ自然に放電してしまいます。使用する当日または前日に充電することをおすすめします。
充電完了まで充電した状態で保管するとバッテリーパックの寿命を縮めたり、性能の低下の原因となることがあります。
長い時間ビデオカメラを使用しないときは、画面に「バッテリーパックを取りかえてください」が出るまでバッテリーパックを使ってから、取りはずして保管することをおすすめします。



こまめに電源を**切って使う**

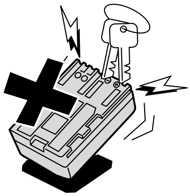
- 撮影中はもちろん、撮影一時停止中でもバッテリーパックは消耗します。電源スイッチでこまめに電源を切ることが、使用時間を長くさせるコツです。
- バッテリーパックは0℃～40℃の範囲で使用できますが、性能を十分に発揮させるためには10℃～30℃で使用することをおすすめします。スキー場などでは、バッテリーパックの性能が一時的に低下し、使用時間が短くなります。ポケットなどに入れて温めてから使用すると効果的です。



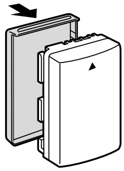
バッテリーパックの取り扱いについて

次のことを守ってください

キーホルダーなどの金属で⊕と⊖の端子をショートさせると（図A）、バッテリーパックの破損の原因となることがあります。持ち運びや保存の際は、必ず付属のショート防止用端子カバーを取り付けてください（図B）。



（図A）

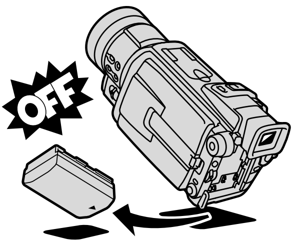


（図B）

使用しないときは

取りはずしてください

ビデオカメラにバッテリーパックを取り付けたままにしておくと、電源が切れていても少しずつバッテリーを消耗します。長い間ビデオカメラを使用しないときは、必ずバッテリーパックを取りはずして、湿度の低い、室温30℃以下の場所で保管してください。



充電したのに、バッテリーパックの使用時間が極端に短いときは

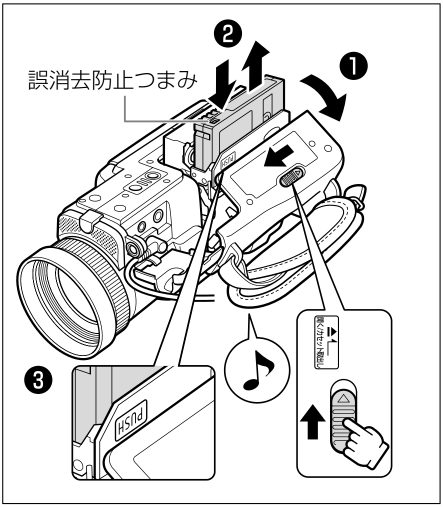
常温で使用している場合は、寿命と考えられます。新しいバッテリーパックをお求めください。

バッテリーパックを長時間使用しない場合でも、機能を維持するために、次のことをおすすめします

- 湿度の低い室温で保管する。
- 1年に1回程度、充電完了まで充電してから、ビデオカメラに取り付け、画面に「バッテリーを取りかえてください」が出るまでバッテリーパックを使う。複数のバッテリーパックをお持ちの場合、同時期に行う。

カセットを入れる／出す

ビデオカセットは、MiniDVマークの付いたものをお使いください。



❶ 開く／カセット取り出しスイッチを押しながら、グリップカバーを止まるまで開く

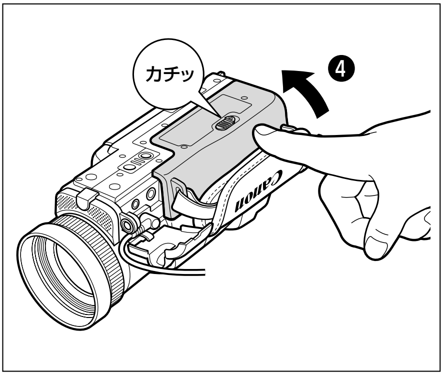
カセット入れが自動的に開きます。

❷ カセットを入れる／出す

- カセットの透明な窓をグリップ側に向け、誤消去防止つまみを上にして入れます。
- カセットを出すときは、カセット入れからまっすぐに引き抜きます。

❸ PUSH マークを押して、カセット入れを閉める

カセット入れが自動的に収納されます。



❹ カセット入れが完全に収納されてから、グリップカバーを閉める

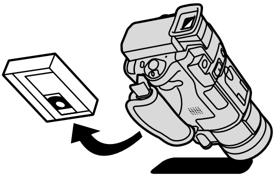
- ❍ カセット入れが自動的に動いている間は、無理に押したり、動きを妨げたり、グリップカバーを閉じたりしないでください。故障の原因となります。
- ❍ グリップカバーを閉めるときは、指をはさまないようにご注意ください。

- ❍ バッテリーパックなどの電源を取り付けていると、電源スイッチが「切」でも、カセットの出し入れはできます。操作が終わると自動的に電源が切れます。
- ❍ 電源を入れたとき、カセットが入っていないと「」が画面で赤く点滅します（カメラモード／再生（VTR）モード時）。

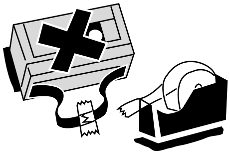
ビデオカセットについて

取り扱い上のご注意

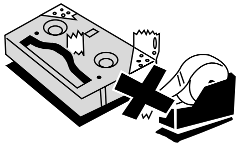
・ カセットは使用後、必ず巻き戻してください。テープがたるんで痛み、テープに記録した映像や音声が劣化する原因となります。
・ カセットはケースに入れて、立てて保管してください。
・ カセットとヘッドを保護するためにカセットを本体に入れたまま放置しないでください。



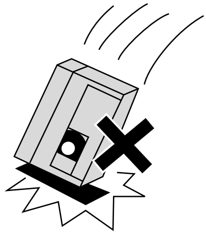
・ テープをつなぎ合わせたカセットや規格外のカセットは、故障の原因となりますので、使用しないでください。



・ カセットの裏面には、テープの種類などを検出する各種の穴があります。セロハンテープなどで穴をふさがないでください。



・ カセットを落としたり、ぶつけたりして過度な衝撃を与えないでください。内部のテープがたるみ故障の原因となります。

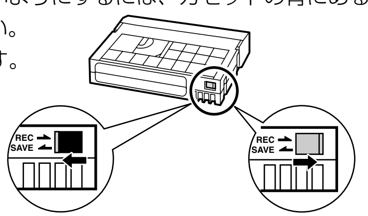


・ カセットを長期間保管するときは、時々巻き直してください。
・ 傷のついたテープはヘッド汚れの原因となりますので、使用しないでください。
・ 金メッキ端子付きのカセットの場合は、カセットを十数回出し入れしたら、綿棒で金メッキ端子をきれいにしてください。（本機は、カセットメモリー付きカセットのカセットメモリー機能には未対応です。）

間違って消さないために

大切な映像を録画したカセットを誤って消去しないようにするには、カセットの背にある誤消去防止つまみを左に切り換えSAVEにしてください。
誤消去防止つまみを右に戻せば、再び録画できます。

・ カメラモードのときに、録画できない状態のカセットを本体に入れると、画面に「カセットの誤消去防止ツマミを確認してください」が4秒間点灯し、その後赤く⊘が点滅します。

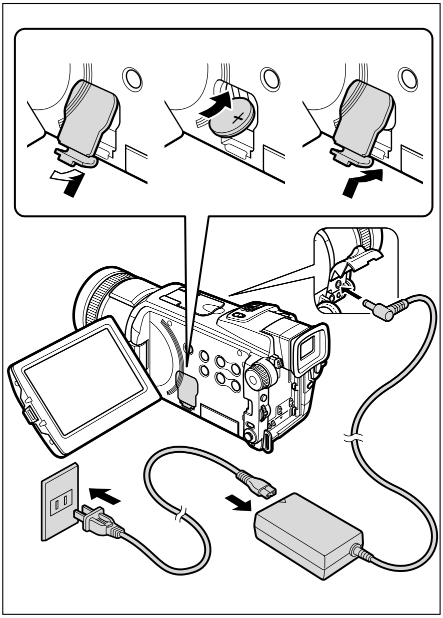


SAVE (録画できない)　REC (録画できる)

基本編

コイン型リチウム電池を入れる

世界時計のエリア（🕮 38）や日付、時刻（🕮 41）などを記憶するには、コイン型リチウム電池が必要です。お使いになる前に付属のコイン型リチウム電池を入れてください。
電池を交換するときは、コイン型リチウム電池CR2025をお求めください。

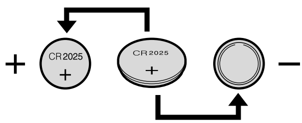


❶ 電池カバーを取りはずす

電池を交換するときは、日付などのデータを保持するため、コンパクトパワーアダプターなどの電源を取り付けておくことをおすすめします。

❷ 電池を入れる

電池の＋側を上にして、スライドさせて電池入れに入れます。



❸ 電池カバーを取り付ける

コイン型リチウム電池の交換時期

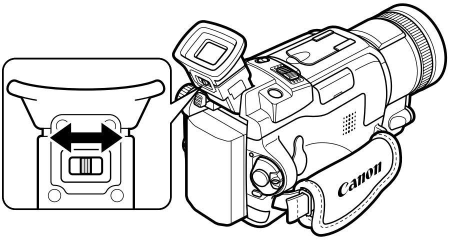
コイン型リチウム電池は約1年使用できます。電池が入っていなかったり、電池の容量が低下すると、「」の表示が赤く点滅し、電池の交換時期を知らせます。

コイン型リチウム電池について　取り扱い上のご注意

・ プラス（＋）とマイナス（－）を確認して、正しく入れてください。
・ 接触不良を防ぐため、電池を乾いた布で拭いてから入れてください。
・ 金属のピンセットなどでつかまないでください。ショートします。
・ 分解や加熱をしたり、水の中に入れたりしないでください。破裂する恐れがあります。また、捨てるときは、燃えないゴミとして、適宜処理してください（地域によって異なります）。

カメラの準備

ビューファインダーの調整（視度調整）

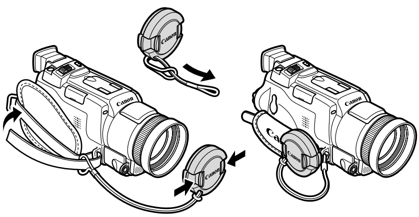


電源を入れ、ビューファインダーを止まるところまで水平に引き出し、ファインダー内の表示がはっきり見えるように、視度調整レバーを動かして調整します。
ビューファインダーを使用するときは、必ず液晶画面をカチッと音がするまでしっかりと閉じてください。



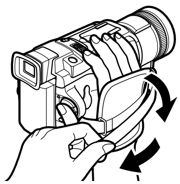
直射日光がビューファインダー内に入ると、レンズが光を集めるために、ファインダーの回りが溶けてしまうことがあります。ビューファインダーの角度を変えて直射日光が入らないようにしてください。

レンズキャップについて



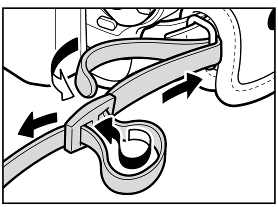
付属のひもをレンズキャップの穴に通し、本体のグリップベルトに取り付けます。
レンズキャップを取り付け／取りはずしするときは、キャップのボタンを押します。
撮影中はレンズキャップをグリップベルトに引っ掛けておくと便利です。

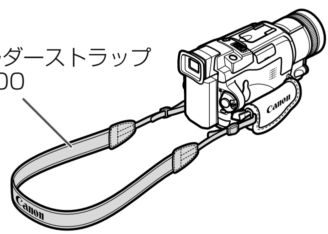
グリップベルトの調整



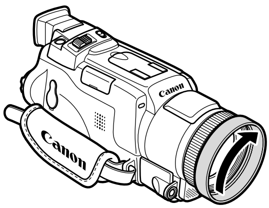
右手で本体を持ちながら、親指でスタート／ストップボタン、人差し指でズームレバーが操作できるように、手の位置を決め、ベルトの長さを調整します。

ストラップの付けかた





レンズフードについて



撮影時は、レンズフードを取り付けてください。ゴーストやフレアなどに効果的です。

取り付けかた

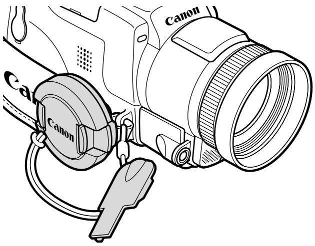
❶ レンズ先端部にレンズフードをはめ込む

❷ MADE IN JAPANの文字が下にくるように、時計方向に回す

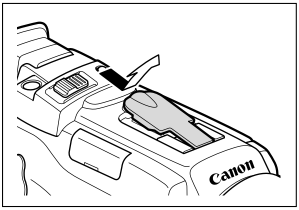
レンズフードは、まっすぐ、斜めにならないように取り付けてください。

アクセサリーシューカバーのはずしかた／付けかた

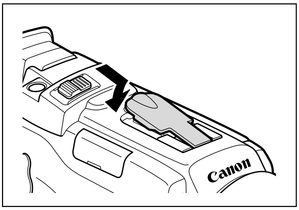
アドバンストアクセサリーシューを使うときは、アクセサリーシューカバーをはずします。



アクセサリーシューカバーをはずしたときはレンズキャップのひもなどに引っ掛けておくと便利です。



❶ はずしかた
つめで持ち上げる。

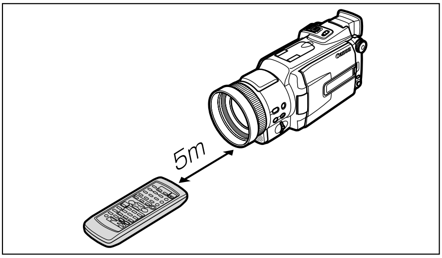


❷ 付けかた
アクセサリーシューに先端を差し込み、押し込む。

リモコン

リモコンを使うと、離れたところから本体を操作できます。

リモコンの操作のしかた



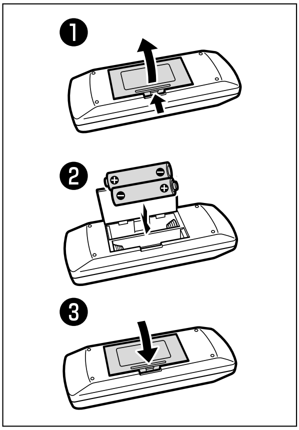
リモコン受光部に向けて、リモコンのボタンを押す

リモコンでしか操作できない機能は、次のとおりです。

・特殊再生 (📖 49)
・フォトサーチ／日付サーチ (📖 104、105)
・ゼロセットメモリー (📖 103)
・AVインサート (📖 119)
・アフレコ (📖 121)
・アフレコした音声の切り換え (📖 124)

電池の入れかた

リモコンは、2本の単3（R6）乾電池で動作します。



❶ つまみを押しながら電池カバーを開ける

❷ ⊕、⊖を表示に合わせて正しく入れる

電池は2本とも新しいものと交換してください。

❸ 電池カバーを閉める

❍ 本機には2種類のリモコンコードがあります。リモコンで操作できないときは、必ず本体のリモコンコードを確認してください。電池を交換すると、リモコンコードは「設定1」に戻ります。（📖 109）
❍ リモコンコード設定ボタン以外のボタンを押しても動作しなくなったり、本体に近づかないと動作しなくなったときは、電池を交換してください。
❍ 直射日光の下や蛍光灯に近いときや、リモコンが本体に近すぎるときには、正常に動作しにくい場合があります。
❍ 屋外などリモコンの受光部に強い光が当たるような場所では、受光範囲が狭くなることがあります（逆光撮影時など）。

テープに動画を撮影する

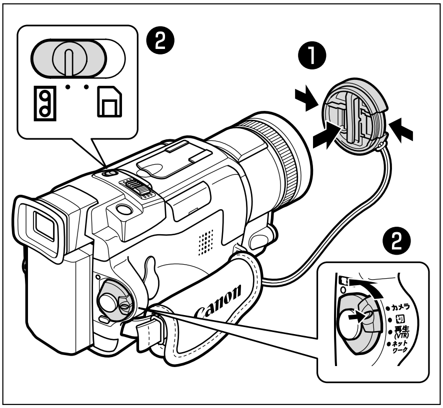
液晶画面またはビューファインダーで映像を見ながら撮影できます。屋外など周囲が明るい場所での撮影で液晶画面が見にくいときは、ビューファインダーで見ながら撮影してください。

撮影する前に
必ず事前にためし撮りをし、正常に録画·録音されていることを確認してください。大切な撮影の前には市販の乾式のクリーニングカセットを使って、ビデオヘッドをきれいにしてください。

液晶画面を見ながら撮影する

準備

· バッテリーパックなどの電源を取り付ける
· カセットを入れる

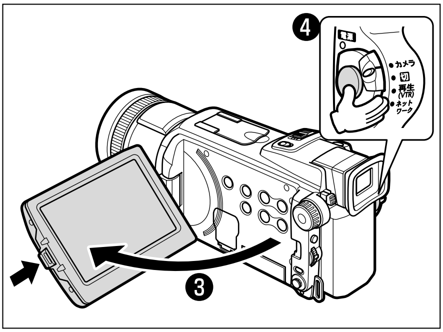


❶ レンズキャップをはずす

❷ カメラモードにする

1. 電源スイッチを「カメラ」にする
2. テープ／カード切換スイッチを「 （テープ）」にする

● 電源スイッチは、ボタンを押しながら「カメラ」に合わせます。
● フォト撮影（テープに記録：🕮 56、カードに記録：🕮 138）とカードに動画を記録する（🕮 151）については、参照ページをご覧ください。



❸ 液晶画面を開く

● OPENボタンを押して開き、見やすい角度に調整します。
● ビューファインダーを使うときは、水平に引き出してから、見やすい角度に調整します。

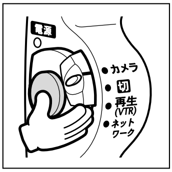
❹ 撮影する

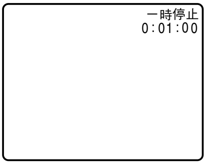
スタートボタン／ストップボタンを押します。



長時間録画モードで撮影するときはLPモードをお使いください。（🕮 83）

撮影をちょっと止めるとき（一時停止）





スタート／ストップボタンを押す

撮影を再開するときは、もう1回押します。

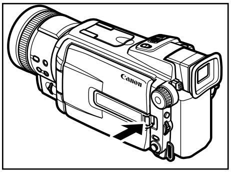
撮影が終わったら

❶ 電源スイッチを「切」にする

❷ 液晶画面を垂直にしてから閉じる

- カチッと音がするまでしっかりと閉じてください。
- ビューファインダーを使ったときは、元の位置に戻します。

❸ レンズキャップをつける



基本編

ビデオカメラをしまうときは

❶ カセットを取り出す

❷ バッテリーパックを取りはずす

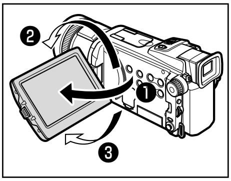
ビデオカメラを窓際に置いたり屋外で使用するときには、液晶画面やビューファインダー、レンズを太陽に向けたままにしないでください。故障の原因となります。

❍ カセットを取り出さなければ、電源を切っても、次の場面をきれいにつないで撮影できます。

❍ 長時間使用しないときは、電源スイッチを必ず「切」にしてください。

❍ 撮影一時停止中は、テープとヘッドの保護のために、約5分で電源が切れます。撮影を続けるときは、電源スイッチを一度「切」にしてから、電源を入れ直してください。電源が切れる約20秒前に、画面中央に「❗ AUTO POWER OFF」が出ます。

❍ 屋外で撮影する際、日差しの加減で液晶画面が見えにくいことがあります。

❍ 

液晶画面は

❶ 90°まで開きます。

❷ 180°まで回転します。

❸ 90°まで回転します。

液晶画面の角度を変えるときは、必ず90°開いてから行ってください。

液晶画面やビューファインダーについて

液晶画面やビューファインダーは、非常に精密度の高い技術で作られています。99.99%以上の有効画素がありますが、黒い点があらわれたり、赤や青、緑の点が常時点灯することがあります。これは、故障ではありません。なお、これらの点は、記録されません。

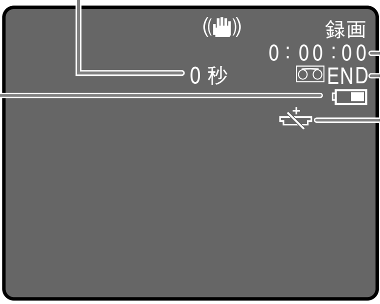
テープ撮影中の画面表示について

お知らせタイマー

撮影を始めてから約10秒間、撮影時間を表示します。
1つの場面の撮影時間が短いと、落ち着きのない画面になりがちです。お知らせタイマーを見ながら、撮影すると便利です。

タイムコード（撮影時間表示）

撮影時間を「時：分：秒」で表示します。
再生時には、撮影したときの時間を「時：分：秒：フレーム」で表示します。
本機は30フレーム/秒でカウントするタイムコードと、フレーム周期が29.97/秒のNTSC映像信号の間に生じるズレを自動的に補正し、より高精度な編集ができるドロップフレーム方式を採用しています。



テープの残量表示と「END」の点灯

テープの残量時間を「分」で表示します。
撮影中／再生中にテープがなくなると「END」が点灯し、停止します。撮影／再生時間が15秒以下のときは残量表示がでないことがあります。
テープの残量表示は、テープの種類によっては、正しく表示されないことがあります。

「」の点滅

次の場合にが赤く点滅します。

1. カセットが入っていないとき。
2. カメラモードで、録画できない状態のカセットが入っているとき。

バッテリーパックの残量表示

バッテリーパックの残量の目安を表示します。



- バッテリーパックが消耗すると「」が赤く点滅します。充電したバッテリーパックと交換してください。
- 消耗したバッテリーパックを装着すると、電源が入らなかったり、「」が出ずに、切れたりすることがあります。
- 残量と表示内容はビデオカメラ、バッテリーパックの状態により必ずしも一致しません。

「」の点滅

コイン型リチウム電池が入っていなかったり、電池の容量が低下すると、「」が赤く点滅します。新しいコイン型リチウム電池と交換してください。
交換用のコイン型リチウム電池は、CR2025タイプをお使いください。

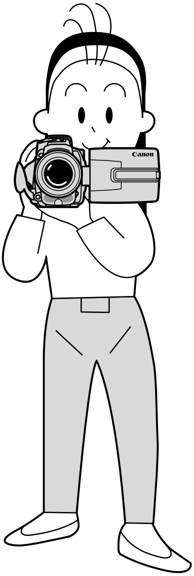
よりよいビデオ撮影のために

ビデオカメラ本体の持ちかた

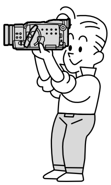
・ ビデオカメラを持つときは、マイクやレンズに指がかからないようにしてください。

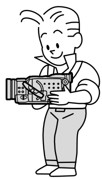
一番安定した構えかた

・ 右手でグリップを持ち、右脇をしめる。
・ 左手は軽くカメラの底にそえて安定させる。



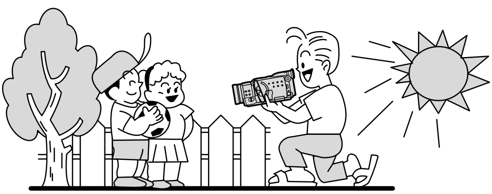
・ ハイアングルで撮る　・ ローアングルで撮る





ライティング

屋外でのビデオ撮影では、太陽を背に撮影することをおすすめします。

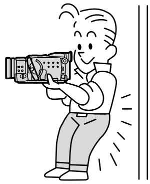


安定した撮影をするためには

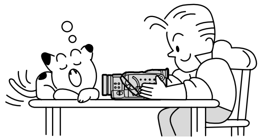
状況に合わせて構え方を変えましょう。

液晶画面は角度が変えられますので、姿勢に合わせて調整します。

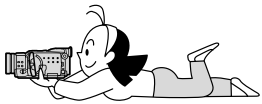
・ 壁に寄りかかる



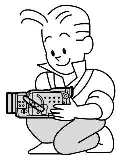
・ テーブルなどを利用して本体を置く



・ ひじをたてて地面に伏せる



・ 片膝立ちになる

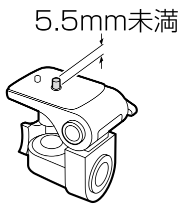


・ 三脚を使う



三脚を使うときには

・ 直射日光がビューファインダー内に入ると、レンズが光を集めるためにファインダーの回りが溶けてしまいます。ビューファインダーの角度を変えて直射日光が入らないようにしてください。
・ 三脚は、必ず取り付けネジの長さが5.5mm未満のものをご使用ください。5.5mm以上のネジ長のものを使用すると、本体を破損することがあります。



世界時計のエリアを選ぶ

はじめてお使いになる場合や、コイン型リチウム電池を交換した場合には、画面に「エリア／日時を設定してください」が表示されます。日付／時刻を設定する前に、世界時計のエリアを設定してください。

世界時計のエリアについて：

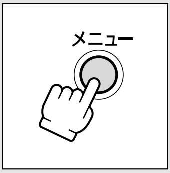
本機の世界時計機能では、主要都市を含む世界24ケ所の標準時間を表示できます。都市名（エリア）を選ぶと、日付などを設定し直すことなく、旅行先の現地の時刻を記録できます。

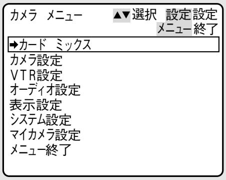
また、旅行先が夏時間（summer（サマー） time（タイム）またはdaylight（デイライト） saving（セイビング） time（タイム））のときは、世界時計表示を夏時間に変更できます。撮影を行う前に、変更してください。

カメラモード　再生(VTR)モード　|　カードカメラモード　カード再生モード

ここでは、「カメラモード」で、はじめてお使いになるときの画面表示で説明しています。

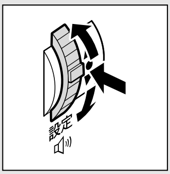
1 メニューを出す

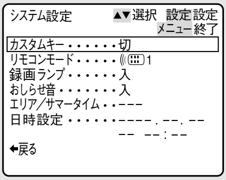




- メニューボタンを押します。

2 「システム設定」を選ぶ

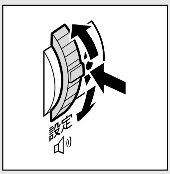


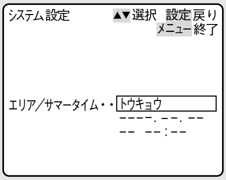


① 選択／設定ボタンを上または下に押して、選択枠を「システム設定」に合わせます。

② 選択／設定ボタンをまっすぐ押すと、「システム設定」サブメニューが出ます。

3 「エリア／サマータイム」を選ぶ



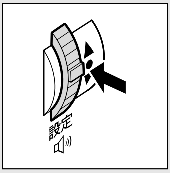


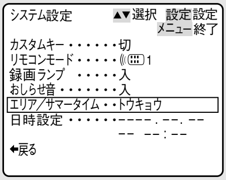
① 選択／設定ボタンを上または下に押して、選択枠を「エリア／サマータイム」に合わせます。

② 選択／設定ボタンをまっすぐ押すと、「エリア／サマータイム」だけの表示になります。

- はじめてお使いになる場合は「トウキョウ」が最初に表示されます。

4 「システム設定」サブメニューに戻る





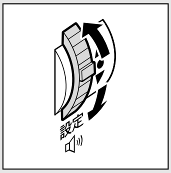
- 選択／設定ボタンをまっすぐ押します。
- 「日付／時刻を設定する」操作3に進みます。（□ 41）

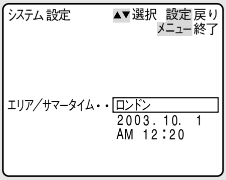
旅行先のエリアを選ぶ

あらかじめ日時を設定しておくと、海外へ旅行したときに「エリア」の設定を旅行先に変えるだけで、日時は現地時間に変わります。

38ページの操作3のあと

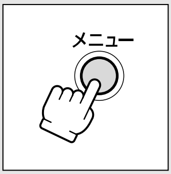
1 エリアを選ぶ

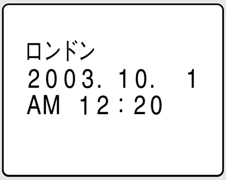




- 選択／設定ボタンを上または下に押します。
- 押すたびに都市名が変わり、その都市の日付／時刻になります。

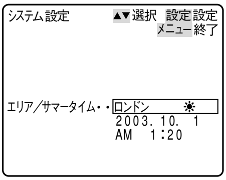
2 メニューを消す





- メニューボタンを押します。

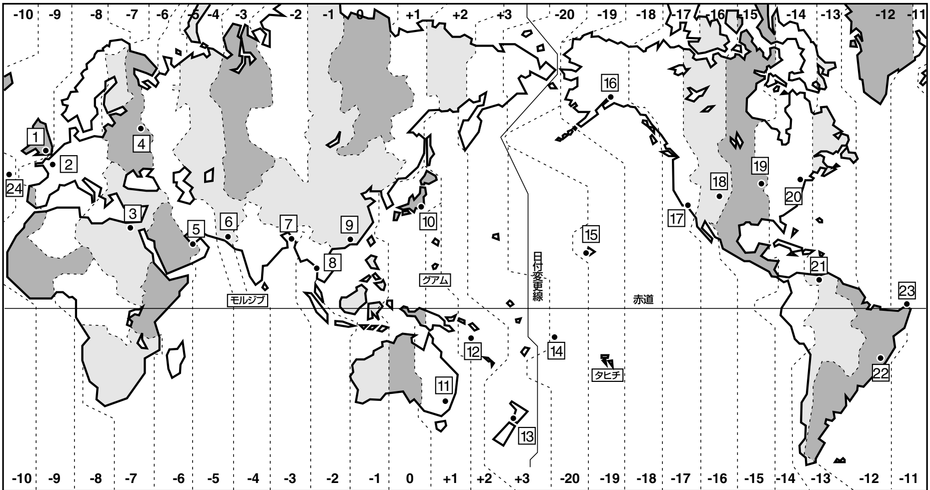
夏時間を設定するときは



都市名の右に ☀ マークの付くものを選んでください。

基本編

世界時計の都市と代表国



都市番号と都市名と日本との時差			代表国/代表地域
1	ロンドン	グリニッチ標準時 -9	イギリス（GMT：グリニッチ標準時）、ポルトガル
2	パリ	-8	イタリア、オランダ、スイス、スウェーデン、スペイン、ドイツ、中央ヨーロッパ標準時（CET）
3	カイロ	-7	エジプト、ギリシャ、トルコ
4	モスクワ	-6	イラク、ケニア、サウジアラビア、ロシア
5	ドバイ	-5	アラブ首長国連邦
6	カラチ	-4	パキスタン、モルジブ
7	ダッカ	-3	インド、バングラデシュ、ミャンマー
8	バンコク	-2	カンボジア、タイ、ベトナム、ジャカルタ島、バリ島
9	ホンコン	-1	オーストラリア西部（パース）、シンガポール、台湾、中国、フィリピン、ボルネオ島
10	トウキョウ	日本標準時（JST）	日本、韓国
11	シドニー	+1	オーストラリア東部（シドニー、ゴールドコースト）、グアム、サイパン
12	ソロモン	+2	ニューカレドニア
13	ウェリントン	+3	ニュージーランド、フィジー
14	サモア	-20	西サモア
15	ホノルル	-19	タヒチ、ハワイ/米国ハワイ標準時（HST）
16	アンカレジ	-18	アンカレジ/米国アラスカ標準時（AST）
17	ロサンゼルス	-17	サンフランシスコ、ロサンゼルス/米国太平洋標準時（PST）、カナダ西海岸
18	デンバー	-16	デンバー/米国山地標準時（MST）
19	シカゴ	-15	シカゴ、ダラス/米国中部標準時（CST）、メキシコ
20	ニューヨーク	-14	ニューヨーク、ワシントン/米国東部標準時（EST）、モントリオール/カナダ東海岸、ペルー
21	カラカス	-13	チリ、ベネズエラ
22	リオ	-12	アルゼンチン、ブラジル
23	フェルナンド	-11	フェルナンドデノロニヤ島（ブラジル）
24	アゾレス	-10	アゾレス諸島（ポルトガル）

日付／時刻を設定する

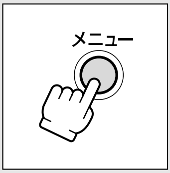
はじめてお使いになる場合や、コイン型リチウム電池を交換した場合には、世界時計のエリアを選んでから、日付／時刻を設定します。

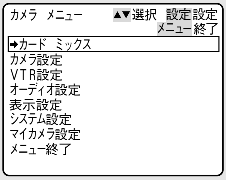
❍ はじめて日時を設定するときは、世界時計のエリア（🕮 38）を設定したあと、操作3から始めてください。
❍ 各月の日数やうるう年は自動的に判別します。

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生モード

ここでは、「カメラモード」で、はじめてお使いになるときの画面で説明しています。

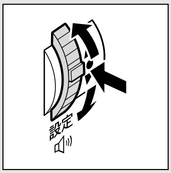
1 メニューを出す

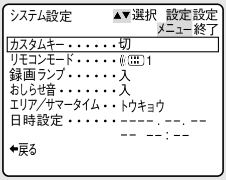




● メニューボタンを押します。

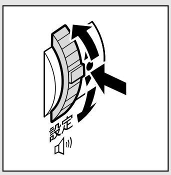
2 「システム設定」を選ぶ

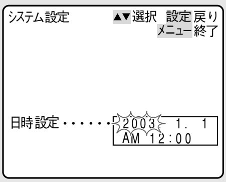




① 選択／設定ボタンを上または下に押して、選択枠を「システム設定」に合わせます。
② 選択／設定ボタンをまっすぐ押すと、「システム設定」サブメニューが出ます。

3 「日時設定」を選ぶ

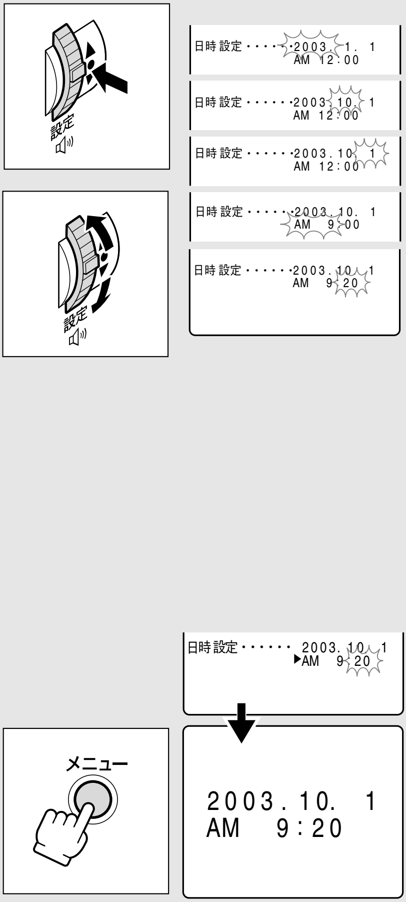




① 選択／設定ボタンを上または下に押して、選択枠を「日時設定」に合わせます。
② 選択／設定ボタンをまっすぐ押すと、「日時設定」だけの表示になります。

基本編

4 日付と時刻を設定する



例: 2003年10月1日午前9時20分に設定する。

① 選択／設定ボタンをまっすぐ押して、項目を選びます。選んだ項目が点滅します。
押すたびに、年→月→日→時→分と項目が変わります。

② 選択／設定ボタンを上または下に押して、数字を選びます。

①と②の操作をくり返して設定します。

日付・時刻は次のように変わります
（選択／設定ボタンを上に押した場合）

年：→2003→2004→…2010…→2030→（2003に戻る）
月：→1→2→3→…………→12→（1に戻る）
日：→1→2→3→…………→31→（1に戻る）
時：→AM12→AM1→AM2→………→AM11→PM12→PM1→PM2→………→PM11→（AM12に戻る）
分：→00→01→02→…………→59→（00に戻る）

- 選択／設定ボタンを下に押した場合には、矢印と逆方向に変わります。

③ 時報に合わせて、メニューボタンを押します。内蔵時計が動き始めます。

- 日付／時刻を設定すると、電源を入れるたびに約4秒間エリア（トウキョウ以外に設定したとき）と日付／時刻が大きく表示されます。

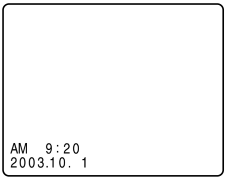
日付や時刻の一部を変更する

① 4の操作で、選択／設定ボタンをまっすぐ押して、変更したい項目を選びます。
② 選択／設定ボタンを上または下に押して、数字を変更します。
③ メニューボタンを押して、メニューを閉じます。

撮影時に日時を表示する

撮影時の日時は、通常画面に表示されませんが、テープやメモリーカードには情報として記録されます。
本機では、撮影中に現在の日時を画面の左下に表示できます。表示される日時は、撮影している画面中には録画されません。（再生時に撮影したときの日時を表示したいとき 106）

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生モード



「表示設定」サブメニューから「日時表示」を選び、「入」にします。（76）

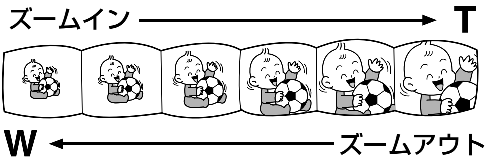
「日時表示」が「入」のときには、日時設定後にメニューを終了したときや電源を入れても画面に大きくエリアと日時を表示しません。

大きくしたり、小さくしたりして撮る(ズーム)

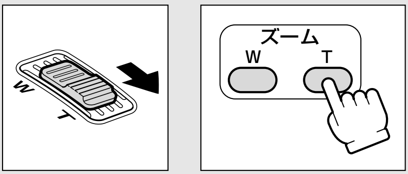
本機は、11倍の光学ズームに加えて、220倍のデジタルズームを装備しています（44倍、220倍の選択可能)。ズームを使うと、ビデオカメラの位置を変えずに、被写体を大きくしたり、小さくしたりして撮影できます。光学ズーム領域を越えると、自動的にデジタルズームになります。デジタル領域では画像をデジタル処理するため、画質が低下し、通常より画面が粗くなります。

- 16：9で撮影するときは、光学ズームは10倍、デジタルズームは40倍、200倍になります。
- カードカメラモードでは、光学ズームは9倍、デジタルズームは36倍になります。

ご購入時には、デジタルズームはカメラモードでは「44×(40×)」、カードカメラモードでは「切」に設定されています。

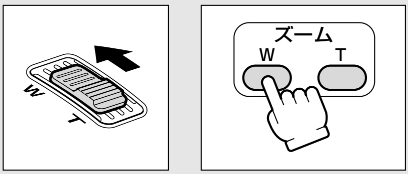


ズームインする



- 本体：ズームレバーをT側へ引きます。
  リモコン：Tボタンを押します。
- 被写体が大きくなり、ズームインになります。

ズームアウトする



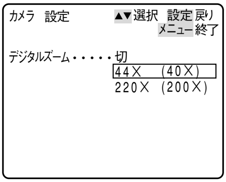
- 本体：ズームレバーをW側へ押します。
  リモコン：Wボタンを押します。
- 被写体が小さくなり、ズームアウトになります。

❍ ズームレバーを少し動かすと低速ズームに、さらに動かすと高速ズームになります。ズームスピードは、多段階になっています。リモコンでは、ズームスピードは一定です。

❍ Tは、telephoto（テレフォト）（望遠）の頭文字で、画面の一部を大きく拡大できます。
Wは、wide（ワイド）（広角）の頭文字で、広い範囲が撮影できます。

デジタルズームの設定を変える

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生モード



「カメラ設定」サブメニューから「デジタルズーム」を選び、「切」または「220×」にします。(📖 76)
16：9で撮影するときは、デジタルズームは40倍、200倍になります。メニューでは（　）の中に表示されます。

- カードカメラモードのとき、デジタルズームは36倍になります。

基本編

画面の表示

光学ズームのとき（デジタルズーム「切」）



デジタルズーム「44×（40×）」のとき



デジタルズーム「220×（200×）」のとき



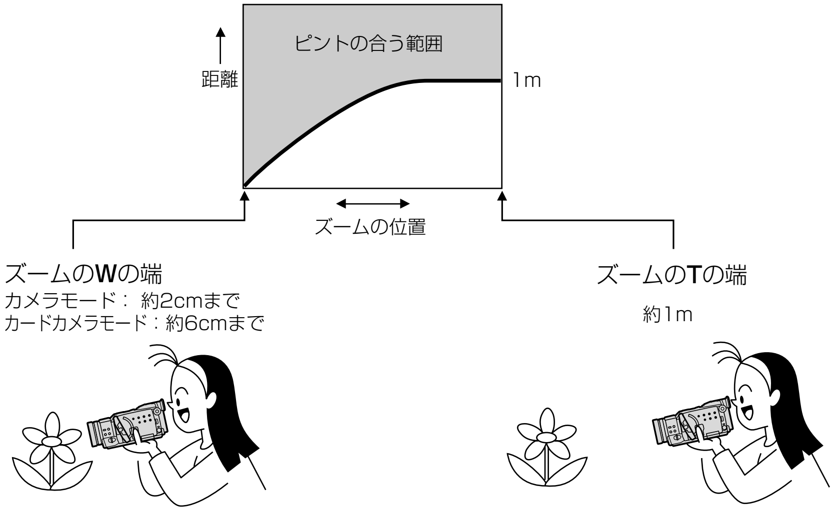
・ズームレバーを操作するとズームのおよその位置を表示します。離すと約4秒後に消えます。
・デジタルズームになると、ズーム表示が長くなります。デジタルズーム領域は、44倍までは水色、44倍から220倍までは青色で表示されます。

❍ ナイト、スーパーナイトモードでは、デジタルズームは使用できません。
❍ マルチ画面（📖 97）を設定しているとき、デジタルズームは使用できません。
❍ 撮影中ズームを使いすぎると、落ち着きのない画面になります。効果的にお使いください。
❍ ズームをしながら撮影するときは、広角～望遠までの全域で、被写体から1m以上離れてください。

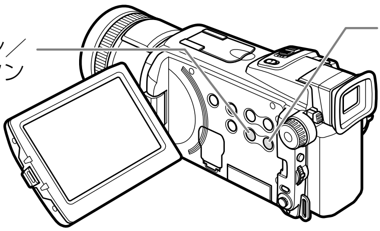
❍ ズームを使ったときに、どこまで近づいて撮影できるの？

ズームの位置によって、被写体にどこまで近づけるかが変わります。
近くのものにピントが合わないときには、ズームレバーをW側に動かして広角にします。

ビデオカメラが近づける距離の変化(光学ズームのとき)



テープに撮影した内容を確認する（録画チェック）/つなぎ撮り（録画サーチ）

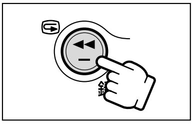


録画チェック

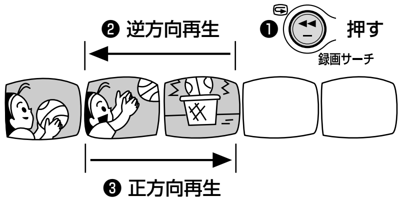
最後に撮影した場面(約3秒間)を再生して、画面で確認できます。

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生モード

撮影一時停止中



- 録画チェックボタンをポンと押します。
- 撮影した最後の場面（3秒間分）が❷、❸の順番で再生され、撮影一時停止に戻ります。



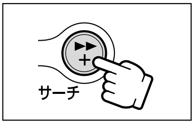
録画サーチ

撮影した場面を正方向、逆方向に再生して撮り直しや続けて撮影したい場面を探せます。

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生モード

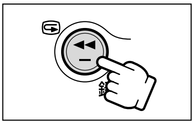
撮影一時停止中

正方向の再生をする

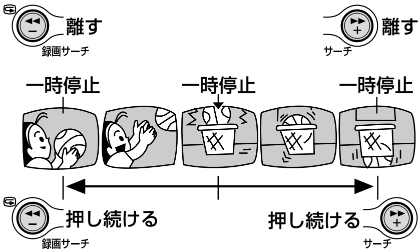


- 録画サーチ＋ボタンを押し続けます。

逆方向の再生をする



- 録画サーチ－ボタンを押し続けます。
- 離すと、その場面で撮影一時停止になります。



- ❍ 音声は聞こえません。
- ❍ 逆方向の再生中は、画面が多少乱れます。

基本編

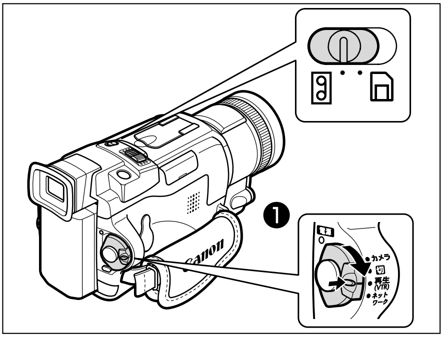
テープを再生する

撮影したテープを液晶画面で見ます。液晶画面を閉じると、ビューファインダーで見られます。液晶画面で再生するときには、内蔵のスピーカーで音声を聞くことができ、スピーカーの音量も調整できます。（📖 51）

再生画面がおかしいときは
ビデオヘッドが汚れている場合があります。市販の乾式のヘッドクリーニングカセットを使ってビデオヘッドをきれいにしてください。

準備

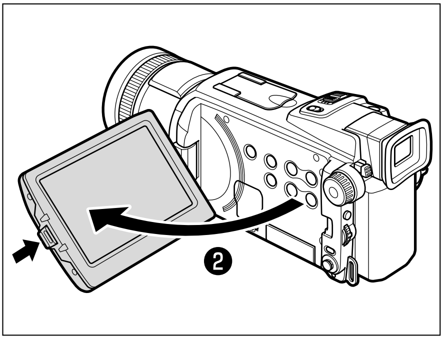
- バッテリーパックなどの電源を取り付ける。
- カセットを入れる。



❶ 再生（VTR）モードにする

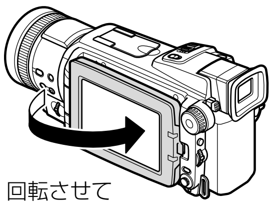
1. 電源スイッチを「再生（VTR）」にする
2. テープ／カード切換スイッチを「📼（テープ）」にする

電源スイッチは、ボタンを押しながら「再生（VTR）」に合わせます。

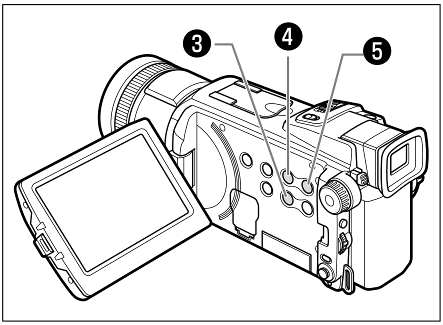


❷ 液晶画面を開く

- OPENボタンを押して開き、見やすい角度に調整します。
- 液晶画面を外側に向けて本体に収納することができます。



180°回転させて閉じる



❸ テープを巻き戻す

巻き戻しボタンを押します。

❹ 再生する

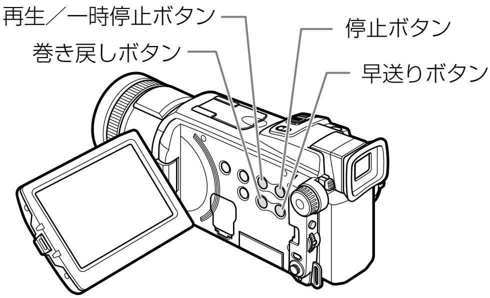
再生ボタンを押します。

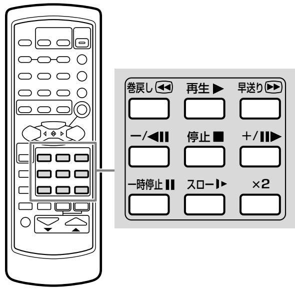
❺ 再生を終える

停止ボタンを押します。

- ❍ 再生画面をビューファインダーで見るとき、内蔵スピーカーから音声は出ません。
- ❍ 内蔵スピーカーでは音声はモノラルになります。（市販のヘッドホンを使用すると、ステレオで音声を確認できます。🕮 52）
- ❍ テープ再生時にオーディオレベルボタンを押すと、撮影したときのオーディオレベルが画面に表示されます。
- ❍ 再生時に、撮影したときの日付／時刻を表示する場合は、106ページをご覧ください。

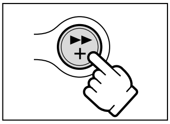
特殊再生





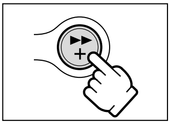
早送り再生：押している間だけ約9.5倍の早送り再生になります。

再生中



早送りボタンを押し続ける。離すと、ふつうの再生に戻る。

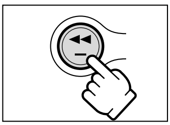
早送り中



早送りボタンを押し続ける。離すと、早送りに戻る。

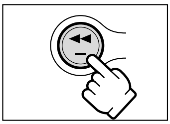
巻戻し再生：押している間だけ約9.5倍の巻き戻し再生になります。

再生中



巻き戻しボタンを押し続ける。離すと、ふつうの再生に戻る。

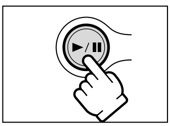
巻き戻し中



巻き戻しボタンを押し続ける。離すと、巻き戻しに戻る。

再生一時停止（静止画再生）

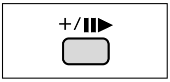
再生中



一時停止ボタンを押す。もう一度押すと、ふつうの再生に戻る。

正方向コマ送り

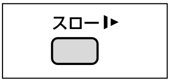
再生一時停止中



+/▮▮▶ ボタンを押す。
押すたびに1コマずつ送られる。
押し続けると、連続コマ送りになる。

正方向スロー再生

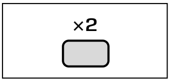
再生中



スローボタンを押す。通常の約1/3のスロー再生になる。
再生ボタンを押すと、ふつうの再生に戻る。

正方向2倍速再生

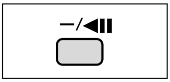
再生中



×2ボタンを押す。
再生ボタンを押すと、ふつうの再生に戻る。

逆方向再生

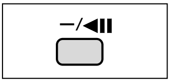
再生中



ー/◀▮▮ ボタンを押す。
再生ボタンを押すと、正方向（ふつうの）再生に戻る。

逆方向コマ送り

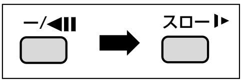
再生一時停止中



ー/◀▮▮ ボタンを押す。
押すたびに1コマずつ逆方向に送られる。
押し続けると、連続コマ送りになる。

逆方向スロー再生

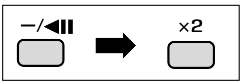
再生中



ー/◀▮▮ ボタンを押し、スローボタンを押す。
通常の約1／3の逆方向スロー再生になる。
再生ボタンを押すと、正方向（ふつうの）再生に戻る。

逆方向2倍速再生

再生中

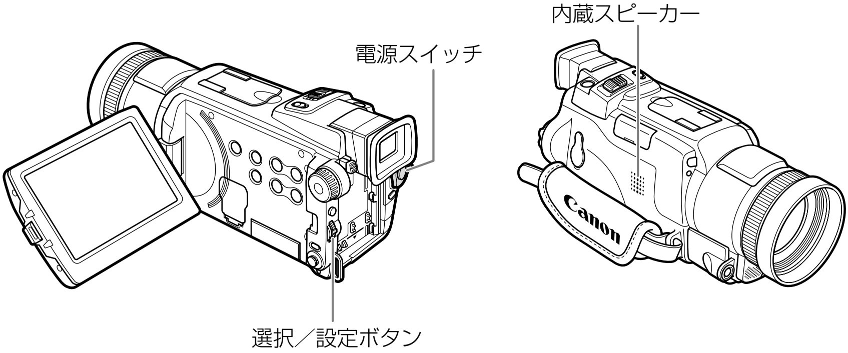


ー/◀▮▮ ボタンを押し、×2ボタンを押す。
再生ボタンを押すと、正方向（ふつうの）再生に戻る。

- 特殊再生時には、音声は聞こえません。
- 一部の特殊再生では、画面が多少乱れることがあります。
- 再生一時停止（静止画再生）、または逆方向の再生一時停止（逆方向再生中に一時停止ボタンを押したとき）が約5分以上続くと、自動的に停止状態になります。再生するときはもう一度再生ボタンを押します。

音量を調整する

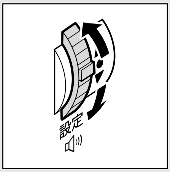
液晶画面で再生するときに、同時に内蔵スピーカーで音声も聞くことができます。
液晶画面を閉じると内蔵スピーカーは切れ、ヘッドホンで音声を聞くことができます。

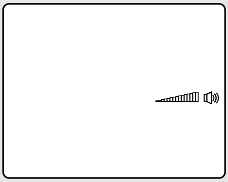


スピーカーで音声を聞く

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生モード

音量を調整する

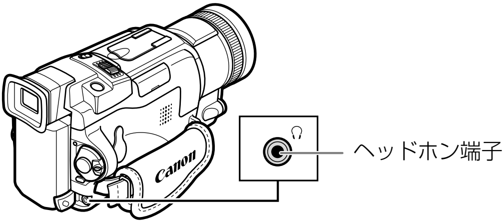




- 選択／設定ボタンを上または下に押して、調整します。
- 音量表示が出ます。調整を終えると、約4秒後に表示は消えます。

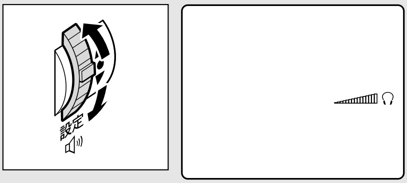
基本編

ヘッドホンで音声を聞く



再生中

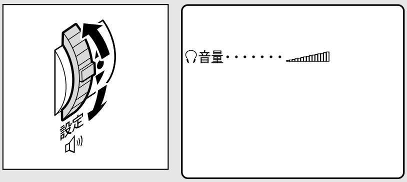
カメラモード　**再生(VTR)モード**　|　カードカメラモード　**カード再生モード**



再生モード時は、選択／設定ボタンを上または下に押して、調整します。

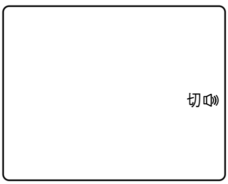
撮影中

カメラモード　再生(VTR)モード　|　**カードカメラモード**　カード再生モード



- カメラモード、カードカメラモード時には「オーディオ設定」サブメニューの「音量」で、選択／設定ボタンを上または下に押して、調整します。

スピーカーやヘッドホンの音声の消しかた



- 音量調節をしているときに、選択／設定ボタンを下に押し続けます。
  音量表示が消え、「切」が出ます。
- 再び音声を聞くときは、選択／設定ボタンを上に押します。

❍ 大きな音で再生すると、歪んで聞こえることがあります。その場合は、音を小さくしてください。

❍ ヘッドホンを接続すると、内蔵スピーカーの音声は切れます。

調整した音量は、電源を切っても記憶しています（スピーカーとヘッドホンの音量は別々に記憶します）。

テレビで見る

長時間使用するため、本機にコンパクトパワーアダプターを接続して、家庭用のコンセントで使うことをおすすめします。接続は、各機器の電源を切って行ってください。

S(S1)-映像／音声入力端子付きのテレビにつないで見る　ステレオ

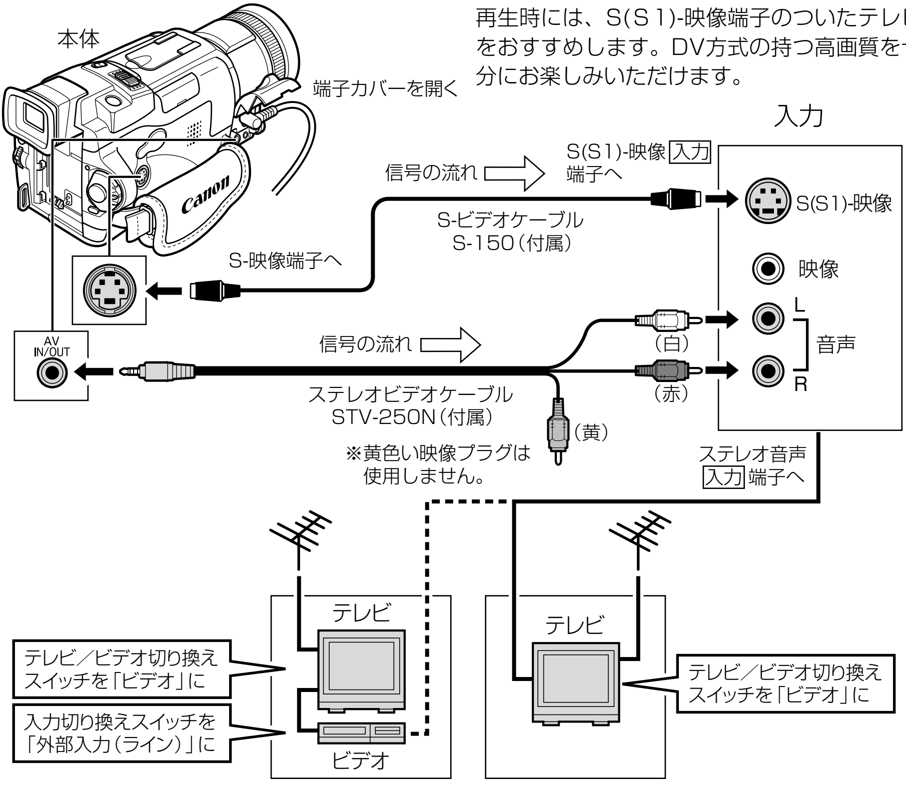
S-ビデオケーブル S-150、ステレオビデオケーブル STV-250Nを使います。

接続する機器の使用説明書もあわせてご覧ください。

※黄色い映像プラグは使用しません。

テレビについて

再生時には、S(S 1)-映像端子のついたテレビをおすすめします。DV方式の持つ高画質を十分にお楽しみいただけます。



S(S1)-映像／音声入力端子付きのビデオを通して接続する場合

基本編

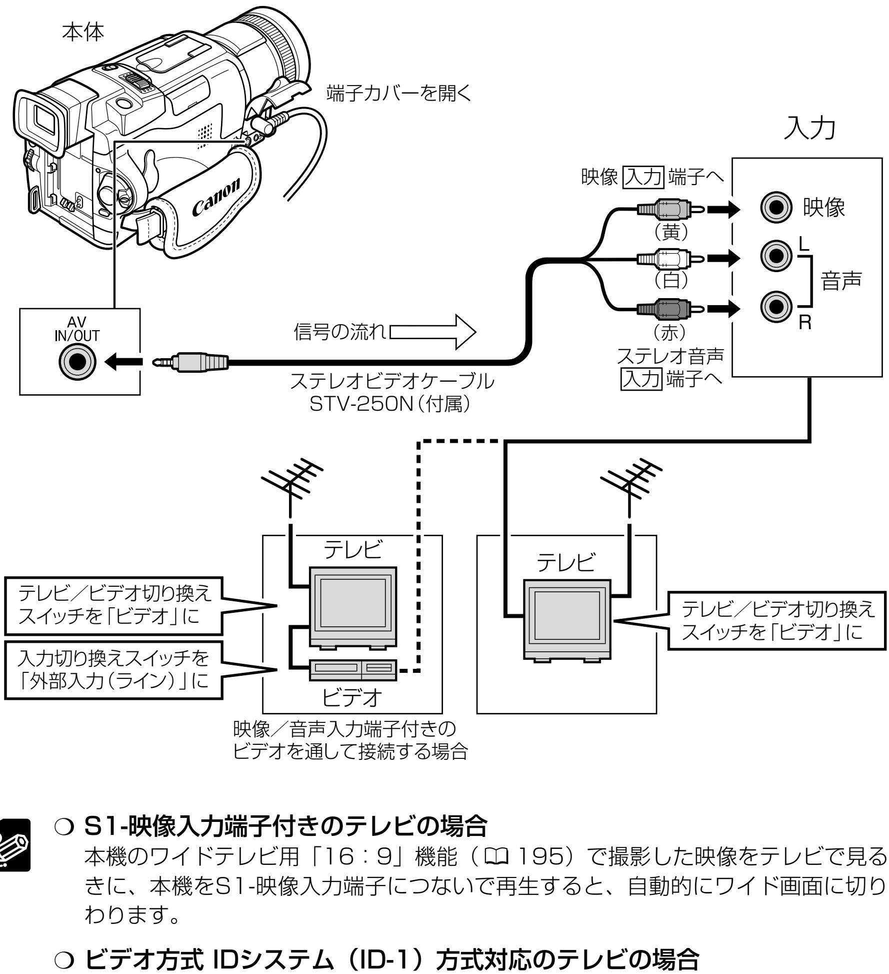
映像／音声入力端子付きのテレビにつないで見る

ステレオ

ステレオビデオケーブル STV-250Nを使います。

接続する機器の使用説明書もあわせてご覧ください。

※Sビデオケーブルは使用しません。



❍ **S1-映像入力端子付きのテレビの場合**

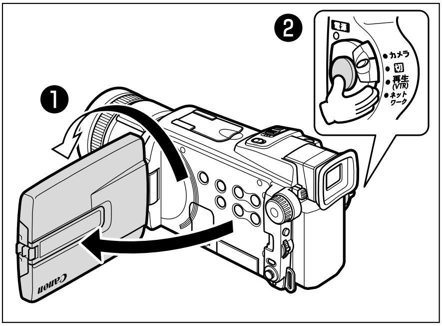
本機のワイドテレビ用「16：9」機能（📖 195）で撮影した映像をテレビで見るときに、本機をS1-映像入力端子につないで再生すると、自動的にワイド画面に切り換わります。

❍ **ビデオ方式 IDシステム（ID-1）方式対応のテレビの場合**

本機のワイドテレビ用「16：9」機能（📖 195）で撮影した映像をテレビで見るときに、Sまたは映像入力端子につないで再生すると、自動的にワイド画面に切り換わります。

液晶画面を相手に見せながら撮る（対面撮影）

液晶画面を相手に見せながら、ビューファインダーを使って撮影できます。セルフタイマー（□ 59）などで、ビデオカメラを固定して大勢で撮影したりするときにも便利です。



❶ 撮影一時停止中
液晶画面を回転させる

❷ 撮影する
スタート／ストップボタンを押します。

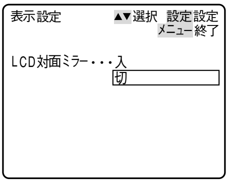
LCD対面ミラーの設定を変える

ご購入時の設定では、液晶画面を回転させると、画面に映る映像は左右逆になります。「LCD対面ミラー」の設定を変えると、記録される映像と同じ状態で映すことができます。

入：液晶画面に映る画像が左右逆になり、鏡を見ているような映像になります。

切：記録される映像と同じ状態で液晶画面に映ります。液晶画面に映る文字などを読むことができます。

カメラモード ｜ 再生(VTR)モード ｜ カードカメラモード ｜ カード再生モード



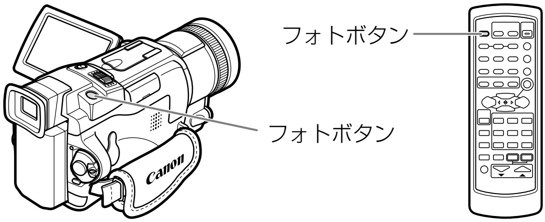
ご購入時の設定は、「入」です。
「表示設定」サブメニューから「LCD対面ミラー」を選び、「切」にします。（□ 76）

LCD対面ミラーが「入」のとき、液晶画面には表示が出ません（ビューファインダーには通常の表示が出ます）。

応用編

静止画をテープに撮る（フォト撮影）

フォト撮影では、写真を撮るように静止画を撮影できます。撮影の最初に静止画を入れておくと、録画を始めた部分をフォトサーチ機能で簡単に探し出せます。（📖 104）
静止画1枚のテープへの記録時間は、約6.5秒です。
本機では撮影一時停止からフォト撮影する方法と、動画を撮影中に撮影を中断せずにフォト撮影する方法の2種類があります。
また、テープに動画を撮影中に、メモリーカードに静止画を記録することもできます。（📖148）



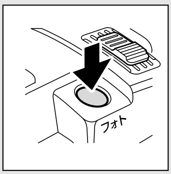
撮影一時停止からフォト撮影する

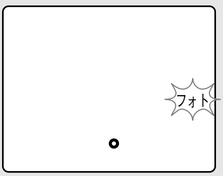
カメラモード | 再生(VTR)モード | カードカメラモード | カード再生モード

1 「カメラ設定」サブメニューから「フォト記録」を選び、「テープ 📼」になっていることを確認する

- ご購入時の設定は「テープ 📼」です。

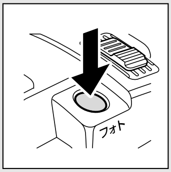
2 撮影一時停止中
フォトボタンを浅く押し続ける

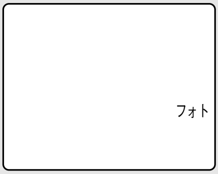




- ●が緑色に点灯します。
  自動でピント合わせしていて、ピントが合っていないときは、フォーカスリングでピントを調整できます。
  手動でピント合わせをしているときは、フォーカスリングでピントを合わせます。
- 露出がロックされます。
- リモコンのフォトボタンを押したときは、すぐにフォト撮影が始まります。

3 フォトボタンを深く押す



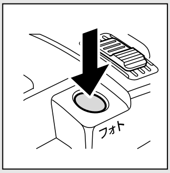


- ◉が消えます。
- 画面が静止画になります。
- フォト撮影が始まると、撮影している時間（秒）が画面に表示され、約6.5秒後に自動的に撮影一時停止になります。

動画を撮影中にフォト撮影する

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生モード

1 撮影中 フォトボタンを深く押す





- 画面が静止画になります。
- フォト撮影が始まると、撮影している時間（秒）が画面に表示され、約6.5秒後に自動的に撮影一時停止になります。

❍ 画面で被写体が確認できる明るさで撮影してください。
❍ フォト撮影している約6.5秒間に電源スイッチを「切」にしても、撮影が終わるまで電源は切れません。
❍ 撮影中の音声は、そのまま記録されます。

応用編

内蔵のフラッシュを使う

フラッシュを使うと、夜景や室内など、周囲が暗い場所でも静止画をきれいに撮影できます。
さらに、夜や暗い室内などでフラッシュを使って人物を撮影したときに、目が赤く映る「赤目現象」を出にくくします（赤目緩和機能）。

⚡A	（オート）	：被写体の明るさに応じて、自動的に発光します。
👁	（赤目緩和オート）	：「オート」に加えて、撮影前、赤目緩和用に補助光（白色LED）が点灯します。
⚡	（強制発光）	：被写体の明るさに関係なく、発光します。
⊘	（発光禁止）	：発光しません。フラッシュ撮影が禁止されている場所で撮影するときなどに使います。

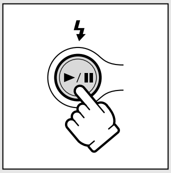
● 本機に別売のビデオフラッシュライトVFL-1を取り付けて、ビデオフラッシュライトの電源スイッチを ⚡ ONにしたときは、ビデオフラッシュライトが発光します。

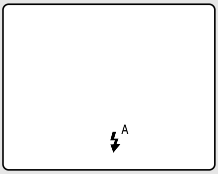
フラッシュの設定を変える

● ご購入時の設定は「オート」です。

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生モード

1 フラッシュボタンを押す





● ボタンを押すたびに、次のように表示が変わります。

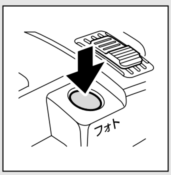
⚡A（オート）→ 👁（赤目緩和オート）→ ⚡（強制発光）→ ⊘（発光禁止）→ ⚡A（オート）

● 選んだ設定の表示が出ます。「⚡A（オート）」のみ、約4秒後に消えます。
● 「⚡A（オート）」を選んでいて表示が消えているときに、フラッシュボタンを押すと、「⚡A」の表示が出ます。表示が出ている間にフラッシュボタンを押すと、フラッシュの設定を変えられます。

フラッシュを使う

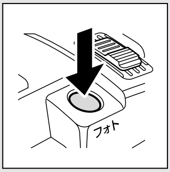
カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生モード

2 撮影一時停止中 フォトボタンを浅く押す



● フラッシュが自動的に上がります。
● 「⚡」が緑色で表示されます。

3 フォトボタンを深く押す



- フラッシュが発光します。
- 記録中は、液晶画面／ビューファインダーの映像も静止画になります。

フラッシュを収納するとき

手で押し下げます。

- フラッシュ発光中は、フラッシュを収納しないでください。

❍ フラッシュ撮影可能距離は、約1～2.8mです。撮影条件により、距離は変わります。

❍ 被写体の明るさに応じて、フラッシュの発光量を調整します（フラッシュ調光)。フォト撮影時のフラッシュ発光（本発光）の前に、調光用の発光を行います。

❍「👁（赤目緩和オート)」では、写される人が赤目緩和用の補助光（白色LED）の発光を見ていないと効果がありません。赤目緩和効果の度合は、写される人との距離によって異なり、また、個人差があります。

❍ 明るい場所で「⚡（強制発光)」を行うと、フラッシュ撮影の効果が得られにくいことがあります。

❍ 次の場合、フラッシュは発光しません。
- 「⚡A（オート)」と「👁（赤目緩和オート)」で、露出ボタンを押して露出をロックしているとき。

フラッシュの表示が紫色になる：
- カメラモードでTvモードを選んでいて、シャッタースピードを1/2000秒の高速シャッターに設定しているとき。ただし、「⚡（強制発光)」に切り換えた場合は、「2000」表示が4秒間点滅（紫色）後に「1000」（黄色）になり、フラッシュは発光します。

フラッシュの表示が赤く点滅する：
- フラッシュの充電中に異常があるとき。

フラッシュの表示が消える：
- マルチ画面を設定しているとき。
- 動画をテープに記録しているとき。

❍ フォトボタンを押しても「⚡」が緑色で表示されないときは、発光しません。この場合でもフラッシュ撮影を行いたいときは、「⚡（強制発光)」にしてください。

❍ 別売のワイドコンバーターやテレコンバーターをお使いのとき、フラッシュを発光することをおすすめしません。ワイドコンバーターやテレコンバーターの影が映ります。

❍ フラッシュを使って撮影したテープをほかの製品で再生したとき、ちらついて見えることがあります。

❍ 次の場合はフラッシュの設定を変更できません。
- 露出ボタンを押して露出をロックしているとき。
- スティッチアシストモードで2枚目以降を撮影しているとき。

❍ スティッチアシストモードでは「👁（赤目緩和オート)」は選べません。

AF補助光について

AF補助光とは、内蔵のフラッシュが「 ⚡A （オート)」に設定されている場合に発光するような暗いところで静止画を撮影するとき、ピントを合いやすくするために画面中央部の被写体を照らす補助光（白色LED）のことをいいます。AF補助光は周囲が暗いと点灯します。

- フラッシュの設定は「⊛（発光禁止)」以外にしてください。

ご購入時には、「AF補助光」は「オート」に設定されています。
AF補助光を点灯させないときは、「カメラ設定」サブメニューから「AF補助光」を選び、「切」にします。（📖 76）

カメラモード | 再生(VTR)モード | **カードカメラモード*** | カード再生モード

＊メニューのフォーカス優先が「入」の場合（📖 202）

フォトボタンを浅く押して自動ピント合せをしている間、またはフォトボタンを浅く押したままフォーカスリングを回すと、周囲が暗いとAF補助光が自動的に点灯し、しばらくすると消えます。

カメラモード | 再生(VTR)モード | **カードカメラモード*** | カード再生モード

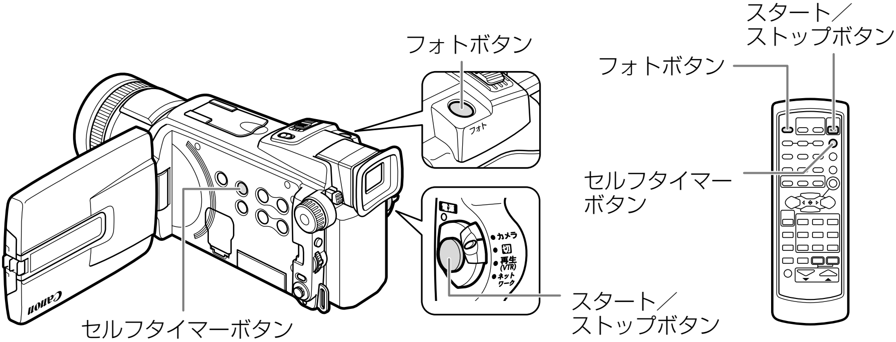
＊メニューのフォーカス優先が「切」の場合（📖 202）

フォトボタンを浅く押したまま、フォーカスリングを回すと、周囲が暗いとAF補助光が点灯し、しばらくすると消えます。

- ❍ AF補助光が点灯しても、自動ではピントが合わないことがあります。
- ❍ AF補助光は明るく点灯します。レストラン、劇場、など公共の場所では、周囲への配慮を心がけてください。
- ❍ フラッシュが禁止されている場所では、AF補助光も「切」にしてください。
- ❍ 別売のビデオフラッシュライトVFL-1を取り付けたときは、ビデオフラッシュライトの電源スイッチを⚡ONにしてください。
- ❍ フラッシュが発光しない場合（📖 59)、AF補助光も点灯しません。

セルフタイマーで撮る

セルフタイマーは、動画と静止画のどちらでも使用できます。対面撮影などのときに使うと、便利です。



動画を撮影するとき

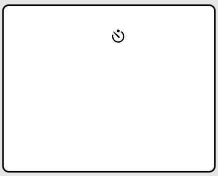
カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生モード

ここでは、「カメラモード」で説明しています。メモリーカードに記録するときは、140ページを参照してください。

1 撮影一時停止中

◌(セルフタイマー）ボタンを押す

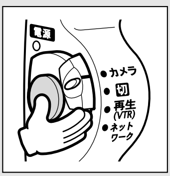




- 「◌」の表示が出ます。
  対面撮影するときに、LCD対面ミラーが「入」のときは◌は液晶画面に出ません。

2

撮影する



- スタート／ストップボタンを押します。
- 撮影開始までの時間が表示され（10〜1秒)、録画ランプが点滅します。
- 本体のスタート／ストップボタンでは10秒後、リモコンでは2秒後に撮影を開始します。

静止画を撮影するとき

カメラモード 再生(VTR)モード ｜ **カードカメラモード** カード再生モード

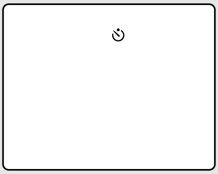
ここでは、「カメラモード」で説明しています。

1

撮影一時停止中

⏲（セルフタイマー）ボタンを押す

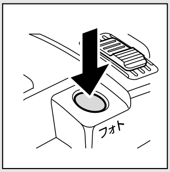




- 「 ⏲ 」の表示が出ます。
  対面撮影するときに、LCD対面ミラーが「入」のときは ⏲ は液晶画面に出ません。

2

フォトボタンを深く押す



- 撮影開始までの時間が表示され（10〜1秒）、録画ランプが点滅します。
- 本体のフォトボタンでは10秒後、リモコンでは2秒後に撮影を開始します。
- 撮影開始の2秒前に◉が緑色の点灯になります。
  リモコンの場合は、すぐに点灯します。
  撮影開始から約6.5秒後に自動的に撮影一時停止になります。

❍ セルフタイマーを解除するときは、セルフタイマーボタンを押してください。撮影開始までの時間が表示されているときは、スタート／ストップボタン（動画のとき）、フォトボタン（静止画のとき）を押しても解除できます。
❍ セルフタイマーは、電源を切ると解除されます。
❍ メニューで「おしらせ音」が「入」で、マイカメラのセルフタイマー音の設定が「切」以外のときは、撮影開始までブザーが鳴ります。

撮影場面や目的に合わせて撮る（撮影モード）

撮影モードの選択

□（全自動）、[A]（オート）、（スポットライト）、（サーフ&スノー）、（ナイト）、（スーパーナイト）では、撮影場面に合った撮影ができるように自動設定されています。
Tv、Avでは撮影の状況に合わせて細かく設定できます。
撮影モードによって、使用できる機能が異なります。

撮影モード	□ (全自動)	[A] (オート)	Tv (シャッター優先)	Av (絞り優先)	(スポットライト)	(サーフ&スノー)	(ナイト)	(スーパーナイト)
デジタルズーム	○						×	
手ぶれ補正	入	○						
ピント合わせ	オート	○						
露出ロック／補正		○						
ホワイトバランス		○						
シャッタースピード	オート		○	オート				
絞り	オート			○	オート			
ゼブラパターン	×	○						
逆光補正	×	○						
デジタルエフェクト	×	○*						
16：9	×	○						
カードミックス**	×	○						
カスタムキー	×	○						
マイクATT	×	○						
マイクレベル	×	○						

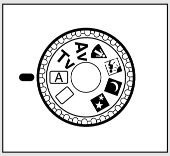
オート＝自動調整になります。　○＝操作できます。　×＝操作できません。
（網かけ）＝テープ／カード切換スイッチがテープのときに操作できます。
* カードカメラモードでは「シロクロ」のみ使用できます。また、（ナイト）、（スーパーナイト）では、マルチ画面は使用できません。
** カードミックスは、メニューのフォト記録がテープの時に操作できます。

操作のしかた

カメラモード　再生(VTR)モード　｜　カードカメラモード　カード再生モード

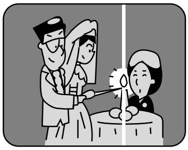
1 撮影一時停止中

撮影モードダイヤルを回し、撮影モードを選ぶ



- 選んだモード表示が出ます。
- [A]（オート）では、約4秒後に表示が消えます。（スポットライト）、（サーフ&スノー）、（ナイト）、（スーパーナイト）では、約4秒後にマークだけになります。

❍ キラキラ光っていたり、極端に明るい被写体（一部に高輝度な部分を含む被写体）を撮影すると、縦に光の帯が出ることがあります。
❍ 撮影中は、撮影モードを変えないでください。撮影モードを変えると、映像の明るさが一時的に大きく変化する場合があります。



（全自動）モード

すべてをカメラまかせ。
ズームとスタート／ストップボタンを押すだけで簡単に撮影できるモードです。



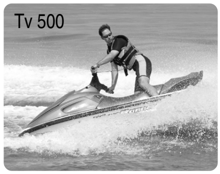
オートモード

カメラまかせで撮影できるモードですが、細かく設定できます。



Tv（シャッター優先：Time Value）モード

シャッタースピードを任意に設定できます。高速シャッターではスポーツや乗り物など動きの速い被写体をブレのない映像で撮影できます。また、スローシャッターでは、明るさが不足する場所で明るく撮影できます。また、尾引きの特殊効果としても使用できます。



Av（絞り優先：Aperture Value）モード

絞りを任意に設定し、被写界深度を変化させ、背景や周囲をボカし被写体を引き立たせて撮影できます。



スポットライトモード

スポットライトなどの範囲の狭い照明が当たるシーンを鮮明に撮影できます。



こんなときに使います

- 結婚式のスポットライトで照明されたシーンや、発表会の舞台などを撮影する場合
- 花火をきれいに撮影する場合

サーフ&スノーモード



夏の海岸や冬の雪一面のスキー場など、周囲全体が明るい場所でも被写体が暗くなるのを防ぎ、鮮明に撮影できます。

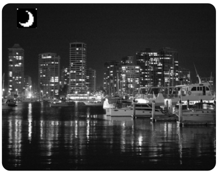
こんなときに使います

- 反射光が多くまぶしい海辺やスキー場などで撮影する場合

❍ 曇りや日陰など周囲が暗いときには被写体が明るくなり過ぎる場合があります。画面で映像を確かめてください。

❍ シャッター速度が速めに設定されるため、再生するとなめらかに見えないことがあります。

ナイトモード



夜間などの暗いところでも、被写体をカラーで明るく撮影できます。
シャッタースピードは、自動で調整されます。
明るいところで撮影すると、被写体はなめらかに見えます。

こんなときに使います

- 暗くても照明が使えないところで、被写体を撮影する場合
- 夜景を撮影する場合
- 遊園地など、明るいところと暗いところがある（室内と屋外）場所で撮影する場合

❍ 動きのある被写体は、尾を引いたような残像になります。

❍ 明るく撮影できる分、通常の撮影に比べて画質が多少劣化することがあります。

❍ 画面に白い点などが現れることがあります。

❍ 自動でピントの合いにくいときは、手動でピントを合わせてください。

スーパーナイトモード



ナイトモードで撮影できない真っ暗な場所でも、補助光（白色LED）が明るさを補って、画面中央がカラーで明るく撮影できます。

❍ 明るくなる範囲が限られています。画面で確認しながら撮影してください。

❍ 被写体との距離が2mまでの範囲で撮影してください。

❍ 動きのある被写体は、尾を引いたような残像になります。

❍ 明るく撮影できる分、通常の撮影に比べて画質が多少劣化することがあります。

❍ 画面に白い点などが現れることがあります。

❍ 自動でピントの合いにくいときは、手動でピントを合わせてください。

Tv（シャッター優先）モードで撮影する

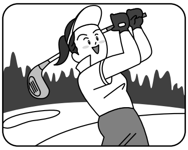
シャッタースピードをマニュアル（手動）で設定し、暗いところからスポーツや乗り物など動きの速い被写体まで撮影できます。
9段階のシャッタースピード（カメラモード：1/8秒、1/15秒、1/30秒、1/60秒、1/100秒、1/250秒、1/500秒、1/1000秒、1/2000秒　カードカメラモード：1/2秒、1/4秒、1/8秒、1/15秒、1/30秒、1/60秒、1/100秒、1/250秒、1/500秒）がありますので、下記の目安を参考にして、選んでください。

● カードカメラモードのとき、高速シャッタースピードは1/500秒までしか使用できません。カメラモードで1/1000秒以上の高速シャッターに設定していても、カードカメラモードに切り換えたときに、自動的に1/500秒になります。
カメラモードのとき、スローシャッターは1/8秒までしか使用できません。カードカメラモードで1/4秒以下のスローシャッターを設定しても、カメラモードに切り換えたときに、自動的に1/8秒になります。

高速シャッターで撮影するときの目安

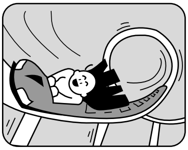
1/1000秒以上の高速シャッターでは、画面内に太陽を入れないでください。
高速シャッターのときは、画像がパラパラとちらついて、なめらかに見えないことがあります。

● 晴天下で、テニスやゴルフなどスポーツをしている人を撮影するとき



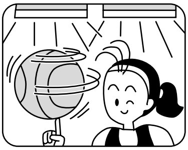
1/2000秒

● 自動車や列車などから外を撮影するとき
● ジェットコースターなど動きの速い乗り物を撮影するとき



1/1000秒、1/500秒または1/250秒

● 屋内でスポーツをしている人を撮影するとき



1/100秒

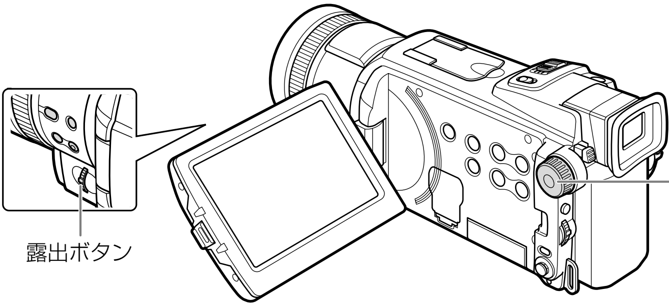
蛍光灯の下での撮影について

カメラモードの撮影モードの□（全自動）、A（オート）、（ナイト）、（スーパーナイト）では、蛍光灯のちらつきを自動的に検出して、自動的にシャッタースピードが切り換りますので、通常ちらつきは出ませんが、画面の明るさがちらつくときは、Tvを選び1/100秒の高速シャッターを選んでください。

スローシャッターによる撮影

カメラモード：1/8秒、1/15秒、1/30秒、カードカメラモード：1/2秒、1/4秒、1/8秒、1/15秒、1/30秒のスローシャッターでは、明るさが不足する場所で被写体を明るく撮影できます。また、特殊効果としても使用できます。たとえば、動いている被写体をパンするときに背景を流したり、残像効果をズームに加えたりできます。

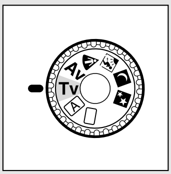
- スローシャッターを暗いところで使用すると明るく撮影できますが、通常の撮影に比べて画質が多少劣化することがあります。
- ピントはオートのままでは合いにくいことがあります。



応用編

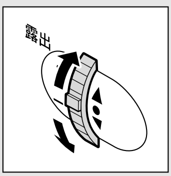
1 撮影一時停止中

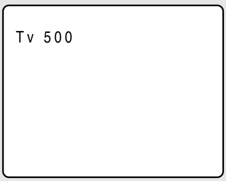
Tvモードを選ぶ



2

露出ボタンを上または下に押す





- 選んだシャッタースピード表示が出ます。
- ＋側に押すとシャッタースピードが遅くなります。
- −側に押すとシャッタースピードが速くなります。

Tv（シャッター優先）モードで撮影する―つづき

露出ボタンを上または下に押すとシャッタースピードは次のように変わります。

カメラモード

1/8秒 ←→ 1/15秒 ←→ 1/30秒 ←→ 1/60秒 ←→ 1/100秒
↕
1/2000秒 ←→ 1/1000秒 ←→ 1/500秒 ←→ 1/250秒

カードカメラモード

1/2秒 ←→ 1/4秒 ←→ 1/8秒 ←→ 1/15秒 ←→ 1/30秒
↕
1/500秒 ←→ 1/250秒 ←→ 1/100秒 ←→ 1/60秒

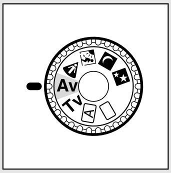
❍ Tvモードでは、絞りは自動で調整されます。
❍ 暗いところの撮影では、別売のビデオフラッシュライトVFL-1、ビデオライトVL-3をお使いになることをおすすめします。
❍ シャッタースピード表示が点滅することがあります。これは選んだシャッタースピードが適切でないことを示しています。
このようなときは、表示が点灯になるように露出ボタンで設定を変えてください。

Av（絞り優先）モードで撮影する

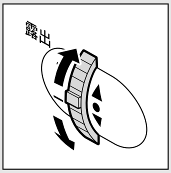
絞りをマニュアルで設定し、被写界深度を変えて、背景や周囲をボカし被写体を引き立たせることができます。
10段階の絞り　カメラモード：（F1.6、F2.0、F2.4、F2.8、F3.4、F4.0、F4.8、F5.6、F6.7、F8.0）　カードカメラモード：（F1.8、F2.0、F2.4、F2.8、F3.4、F4.0、F4.8、F5.6、F6.7、F8.0）がありますので、場面に応じて選んでください。

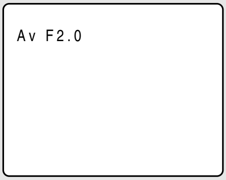
1 撮影一時停止中

Avモードを選ぶ



2 露出ボタンを上または下に押す





- 選んだ絞り値表示が出ます。
- ＋側に押すと絞りが開き（Fの数字が小さくなる）、被写界深度（ピントの合う範囲）が狭くなります。
- －側に押すと絞りが閉じ（Fの数字が大きくなる）、被写界深度（ピントの合う範囲）が広くなります。

露出ボタンを上または下に押すと絞りは次のように変わります。
* ズームの位置により、選べないことがあります。

カメラモード

F1.6 ⟷ F2.0 ⟷ F2.4 ⟷ F2.8 ⟷ F3.4
↕
F8.0 ⟷ F6.7 ⟷ F5.6 ⟷ F4.8 ⟷ F4.0

カードカメラモード

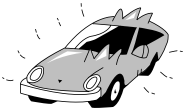
F1.8 ⟷ F2.0 ⟷ F2.4 ⟷ F2.8 ⟷ F3.4
↕
F8.0 ⟷ F6.7 ⟷ F5.6 ⟷ F4.8 ⟷ F4.0

- ❍ Avモードでは、シャッタースピードは自動で調整されます。
- ❍ 絞り値表示が点滅することがあります。これは、選んだ絞り値が適切でないことを示しています。
  このようなときは、表示が点灯になるように露出ボタンで設定を変えてください。
- ❍ 絞り値をF8などに設定することにより被写界深度を深く、開放（カメラモードではF1.6、カードカメラモードではF1.8）にすることにより、被写界深度を浅くできますので、背景などのピントの合う範囲を変化させることができます。

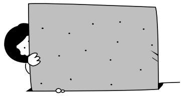
手動でピントを合わせる

まれに自動調整ではピントが合いにくい場合がありますので、そのときには手動でピントを合わせてください。

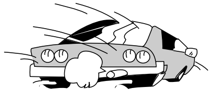
自動ではピントが合いにくい被写体は以下のとおりです。



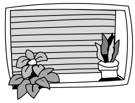
● 輝いたり、強い光が反射している*



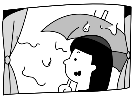
● 白い壁など、明暗の差がない



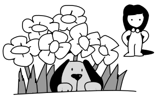
● 動きが速い*



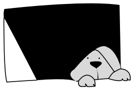
● 横じまがある



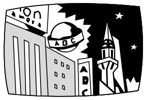
● 水滴や汚れの付いたガラス越し*



● 遠くと近くに同時にある*

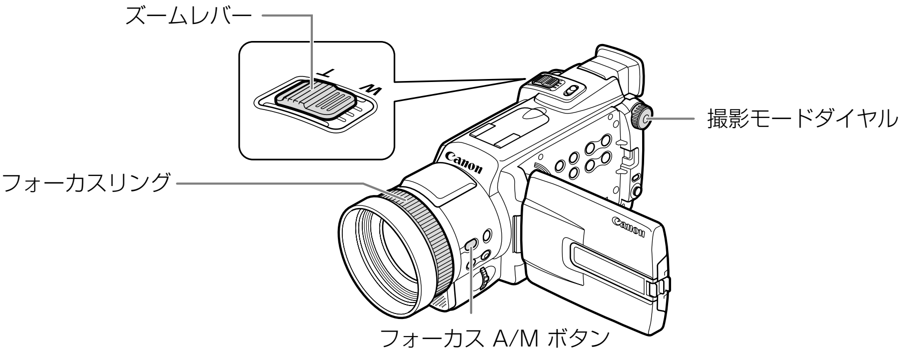


● 暗い



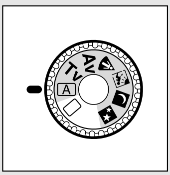
● 夜景*

* ズームを広角にすると自動でもピントが合いやすくなります。

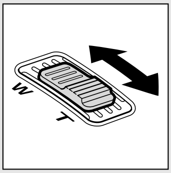


カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生モード

1 撮影モードを□（全自動）以外にする

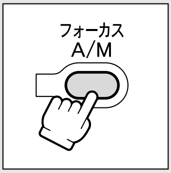


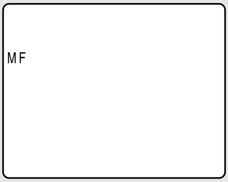
2 被写体の大きさを決める



- ズームレバーを動かして被写体を撮りたい大きさにします。
- 手動でピントを合わせてから、ズームで大きさを変えると、ピントがずれることがあります。先にズームで大きさを決めてからピントを合わせます。

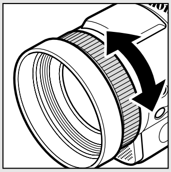
3 フォーカス A/M ボタンを押す



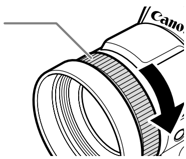


- 「MF」の表示が出ます。

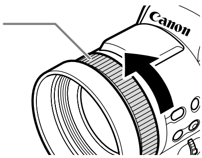
4 ピントを合わせる



- 遠くのものにピントを合わせるときは、フォーカスリングを下に回します。



- 近くのものにピントを合わせるときは、フォーカスリングを上に回します。



自動ピント合わせに戻すとき

フォーカス A/M ボタンをもう 1 回押します。「MF」表示が消えます。

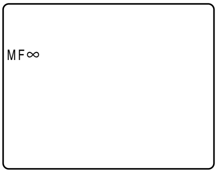
手動ピント合わせにしているとき

❍ 撮影モードダイヤルを ▭（全自動）モードにすると、自動ピント合わせになります。ほかの撮影モードでは手動のままです。
❍ 電源を切ったときは、ピントを合わせ直してください。

応用編

ピントを無限遠にして撮影する

ピントを無限遠にすると、遠くの被写体だけにピントを合わせて、近くの被写体にピントが合うのを防ぐことができます。花火や月、山などを撮影するときに使います。



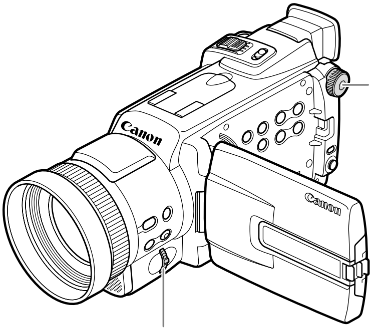
前ページの3の操作で、フォーカス A/M ボタンを3秒以上押し続けます。

- ピントが無限遠になり、「MF∞」の表示が出ます。

「MF∞」の表示が出ているときに、ズームを操作したり、フォーカスリングを操作すると、「∞」が消え、手動ピント合わせになります。

手動で露出を調整する（露出ロック／露出補正）

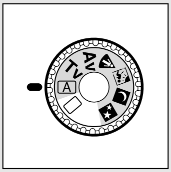
意図的に画面を明るくしたり、暗くしたりして撮影できます。また、被写体が強い光を受けて、白くとんでいるようなときにも、露出を補正することできれいに撮影できます。
さらに、露出の補正だけでなく、意図的に画面を明るくしたり、暗くしたりすることで、効果的な画創りができます。



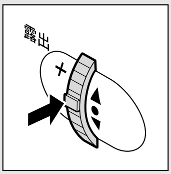
露出ロックを使う

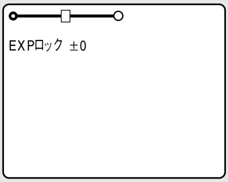
カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生モード

1 撮影モードを□（全自動）以外にする



2 露出ボタンをまっすぐ押す





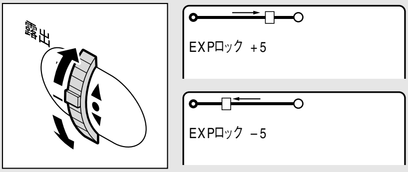
- 画面の明るさが固定されます。
- 「EXPロック±0」表示が出ます。

露出ロック中にズーム操作をすると、画面の明るさが変わることがあります。

露出を補正する

カメラモード　再生(VTR)モード　｜　カードカメラモード　カード再生モード

1 露出ロック中



- 明るめにするときは、露出ボタンを上に押します。
- 暗めにするときは、露出ボタンを下に押します。
- 明るさによって調整できる範囲が変わり、露出ロック表示の長さも変わります。

自動調整に戻すとき

露出ボタンを押すか、撮影モードを変えます。「EXPロック」の表示が消えます。

ゼブラパターン／逆光補正

ゼブラパターン

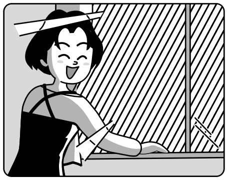
ゼブラパターンは、撮影している映像のなかで輝度が一定のレベルを超えた部分に出る斜めの縞模様のことです。
ゼブラパターンが出ている部分は白とびすることがありますので、絞り、シャッタースピード、露出補正を調整して撮りたい被写体にパターンが出ないようにしてください。

● ゼブラパターンは本機の画面のみに表示され、記録されません。

カメラモード　再生(VTR)モード　|　カードカメラモード　カード再生モード

ご購入時には、ゼブラパターンは「切」に設定されています。

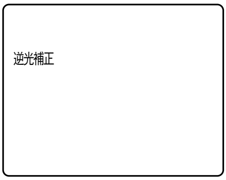
- 撮影モードは□（全自動）以外にしてください。
  設定を変更するときは、メニューの「カメラ設定」サブメニューの「ゼブラパターン」か、カスタムキーで設定してください（🕮 76）。



逆光補正

被写体が太陽を背にしていたりする逆光の状態では、被写体が黒くつぶれてしまうことがあります。このようなときには、逆光補正を行います。

カメラモード　再生(VTR)モード　|　カードカメラモード　カード再生モード

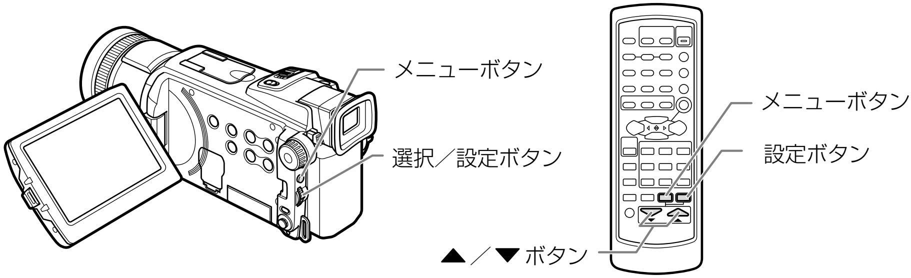


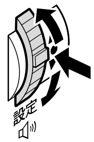
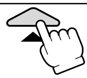
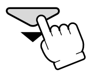
ご購入時には、逆光補正は「切」に設定されています。

- 全自動（□）モードでは逆光補正は行えません。
  設定を変更するときは、メニューの「カメラ設定」サブメニューの「逆光補正」か、カスタムキーで設定してください（🕮 76）。

ご購入時の設定を変える（メニュー）

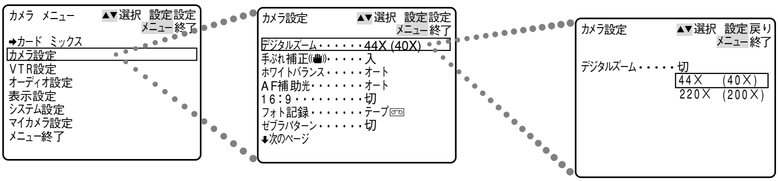
本機のさまざまな機能について、ご購入時の設定をメニューから変更できます。
メニュー項目は、メニュー一覧（📖 195～207）をご覧ください。
本体の選択／設定ボタンとリモコンの▲、▼、設定ボタンは、同じ操作になります。



本体の選択／設定ボタン		リモコン		
	上に押す		押す	メニュー項目や機能の設定内容を選びます。
	下に押す		押す	
	押す		押す	選んだ項目や設定内容を決定したり、次の画面に移ったりします。

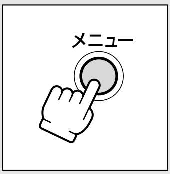
メニューで設定を変えるときは、順番に項目を選んでいきます。
例：カメラメニュー

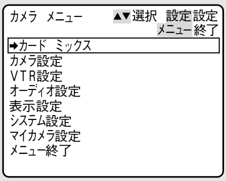
メインメニュー　　サブメニュー



ここでは、カメラモードのときに、本体で操作する場合で説明しています。
例：「デジタルズーム」を「切」に設定する

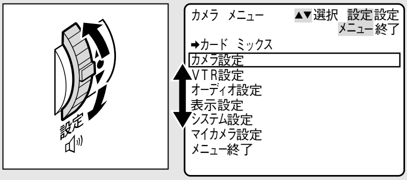
1 メインメニューを出す



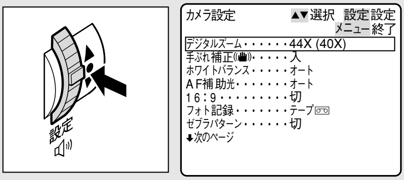


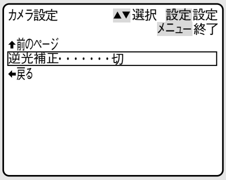
- メニューボタンを押します。

2 項目を選ぶ



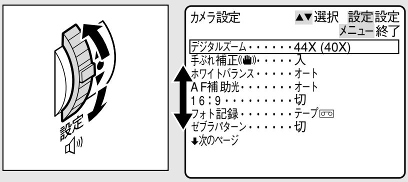
① 選択／設定ボタンを上または下に押して、選択枠を設定する項目に合わせます。



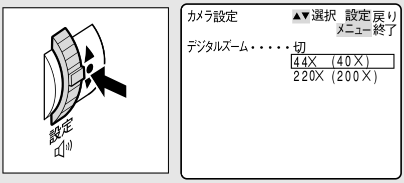


② 選択／設定ボタンをまっすぐ押すと、選んだ項目のサブメニューが出ます。

3 機能を選ぶ



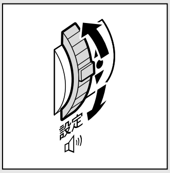
① 選択／設定ボタンを上または下に押して、選択枠を設定する機能に合わせます。

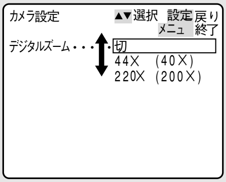


② 選択／設定ボタンをまっすぐ押すと、選んだ機能だけの表示になります。

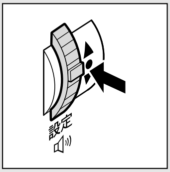
応用編

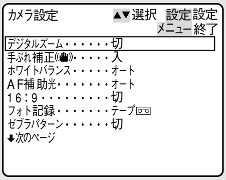
4 設定内容を選び、決定する





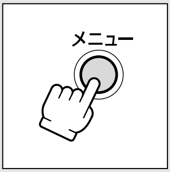
① 選択／設定ボタンを上または下に押して、選択枠を決定する設定内容に合わせます。





② 選択／設定ボタンをまっすぐ押すと、サブメニューに戻ります。

5 メニューを消す



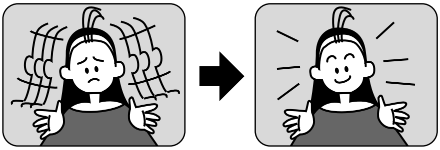
- メニューボタンを押します。
- ホワイトバランス以外の機能は、4-②の操作の代りに、メニューボタンを押しても設定でき、メニューを終了できます。

❍ 他の機能の設定内容などにより設定できない項目は、紫色で表示されます。
❍ メニュー中の「⬅戻る」を選ぶと、ひとつ前のメニューに戻ります。
❍ サブメニューが2ページある場合があります。「次のページ」に選択枠を合わせると2ページ目が出ます。「前のページ」に選択枠を合わせると1ページ目に戻ります。
❍ メニューボタンを押すと、メニューはいつでも終了します。

手ぶれ補正を解除する（手ぶれ補正機能）

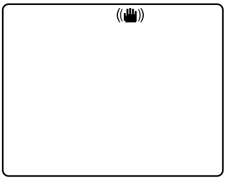
手ぶれ補正機能が動作していると、ズームの望遠側で撮るときなど手ぶれの少ない安定した画面で撮影できます。

手ぶれしている画　　　　安定した画



通常の撮影では、手ぶれ補正は解除する必要はありませんが、必要に応じて解除することもできます。ビデオカメラを左右に動かして撮影するときなどには、その動きを補正しようとします。手ぶれ補正を解除するとその補正が効かなくなります。また、撮影モードが□（全自動）のときは、手ぶれ補正は解除できません。

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生モード



ご購入時には、手ぶれ補正は「入」に設定されています。

- 設定を変更するときは、メニューの「カメラ設定」サブメニューの「手ぶれ補正」か、カスタムキーで設定してください（□ 76）。
- が消えます。

- ❍ 三脚などを使用して撮影をするときは、手ぶれ補正を切ることをおすすめします。
- ❍ 手ぶれ補正が「入」の場合でも、手ぶれが大きすぎると、補正しきれないことがあります。

音声の記録

本機では、音量を調整して録音できます。

カメラモード　再生(VTR)モード　|　カードカメラモード*　カード再生モード

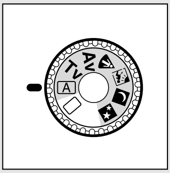
❍ 再生（VTR）モードでは、アフレコでマイク入力を選んだときのみ設定できます。
* カードカメラモードでは、マイクATTのみ操作できます。
ここではカメラモードで説明しています。

録音レベルの調整

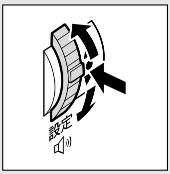
録音レベルは、内蔵マイク、外部マイク端子に接続したマイク、アドバンストアクセサリーシューに接続したマイク（DM-50）で調整できます。

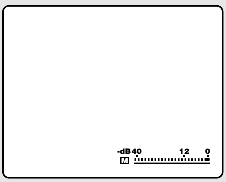
音量（レベル）をマニュアル（手動）調整する

1 撮影モードダイヤルを□（全自動）以外にする



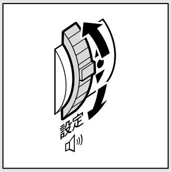
2 オーディオ設定サブメニューから「マイクレベル」を選び、「マニュアル」を選ぶ

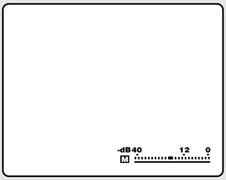




- オーディオレベルメーターに音量調整位置を示す緑色のバーが表示されていることを確認します。
  緑色のバーが出ていないときは、オーディオレベルボタンを押して、表示します。

3 選択／設定ボタンを上または下に押して、音量レベルを調整します





- 調整位置を示す緑色のバーが右または左に動きます。調整するときの目安にしてください。
- 音量調整は、オーディオレベルメーターの12より右が時々点灯するようにします。
- レベルメーターの0で赤く点灯するときは音が歪むことがあります。

4 調整が終わったら、オーディオレベルボタンを押して緑色のバー表示を消す



- 調整位置を示す緑色のバーが表示されていないとオーディオレベルは調整できません。不用意にレベルが変わらないように、調整しないときは、緑色のバー表示を消しておくことをおすすめします。
- 自動調整に戻すときは、メニューで「オート」を選びます。



❍ 音量調整が自動になっているときにオーディオレベルボタンを押すと、オーディオレベルメーター表示が入/切します。

❍ 撮影モードダイヤルが□（全自動）になっていると、音量調整は自動になります。

❍ 音量を調整したり、マイクATTを使うときは、ヘッドホンで確認することをおすすめします。

❍ 大きな音の近く（打ち上げ花火や太鼓、コンサートなど）で撮影すると、音が歪んだり、実際より小さく記録されることがあります。これは故障ではありません。

❍ **レベルメーターが適切に点灯しているのに音声が歪むときは**
オーディオ設定サブメニューから「マイクATT」を選び、「入」にしてください。

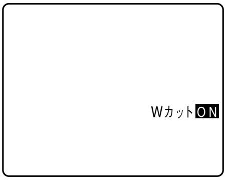
* ATTはAttenuator（アッテネーター）の略で信号を小さくする減衰器のことです。

応用編

風音低減機能（ウィンドカット）

常に風の影響を受ける屋外で撮影する際、風の「ボコボコ」という音の影響を低減することができます。

カメラモード　再生(VTR)モード　|　カードカメラモード　カード再生モード



ご購入時の設定は、「切」です。

「オーディオ設定」サブメニューから「ウィンドカット」を選び、「入」にします。（📖 76）

- 「Wカット ON」の表示が出ます。

❍ ウィンドカット機能が作動すると、収録する低い音の一部も風の音と一緒に低減されます。通常は、「切」で撮影することをおすすめします。

❍ 撮影中は、モードの変更はできません。変更するときは、スタート／ストップボタンを押して撮影一時停止にして行います。

❍ 撮影時だけでなく、再生（VTR）モードでアフレコをするときにも、ウィンドカット機能は入／切できます。（「オーディオ設定」サブメニューで「アフレコ入力」を「マイク入力」に設定しているとき）

❍ マイク端子に外部マイクを接続したときは、ウィンドカット機能は使用できません。

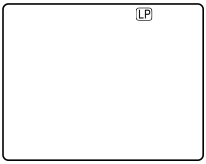
❍ アドバンストアクセサリーシューに指向性ステレオマイクロホンDM-50（別売）を取り付けたときは、ウィンドカット機能は使用できません。

録画モードを選ぶ

SP（標準）モードまたはLP（長時間）モードが選択できます。LPモードはSPモードの録画時間の1.5倍になります。

- ❍ **LPモードで記録したテープは、アフレコとAVインサートができません。**
- ❍ **LPモードについて**
  LPモードでの録画／再生は、テープの特性や使用環境に影響されやすく、再生時、画面にモザイク状のノイズが発生したり、音声が途切れたりする場合があります。
  大切な撮影にはSPモードをお使いください。
- ❍ パソコンに画像を取り込むときは、SPモードで録画することをおすすめします。
- ❍ 本機でLPモードで録画したテープをほかのデジタルビデオ機器で再生したり、ほかのデジタルビデオ機器でLPモードで録画したテープを本機で再生すると、画像が乱れたり、音声が途切れたりすることがあります。
- ❍ テープの途中でSPとLPを切り換えて録画すると、切り換え部分で再生画像が乱れます。また、タイムコードが正しく更新されないことがあります。

カメラモード　再生(VTR)モード　|　カードカメラモード　カード再生モード



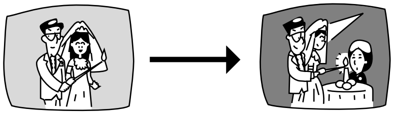
ご購入時の設定は、「SP」です。
「VTR設定」サブメニューから「録画モード」を選び、「LP」にします。（📖 76）
- 「 LP 」の表示が出ます。

色合いを調整する（ホワイトバランス）

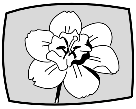
白い紙は、いつも白く見えているようですが、蛍光灯、太陽光など光が変わると色は微妙に変わっています。人の目は順応性がありますので、その微妙な色の違いを同じ色として見ています。ビデオカメラではこのような順応性がないため、そのままでは光によって、画面が青くなったり、赤くなってしまいます。そこで、白い紙が白く映るように調整するのが、ホワイトバランスの調整です。
本機では、自動的に自然な色合いに調整するオートホワイトバランスのほかに、手動で調整するホワイトバランスセット、さらに屋内（☼）と屋外（☀）を選択することができます。

自動では色合いの調整がしにくい場合

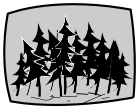
次のような場合は、自動では色合いを調整できないことがあります。画面で色が不自然に見えるときは、手動で調整をしてください。



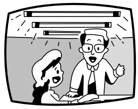
・照明条件が急に変わるとき



・クローズアップ撮影をするとき



・単一色の被写体（空、海、森など）を撮影するとき



・水銀灯や一部の蛍光灯で撮影するとき

❍ 撮影モードが□（全自動）のとき、ホワイトバランスは「オート」になり、ホワイトバランスセットや屋内、屋外の設定はできません。

❍ **「屋内☼」「屋外☀」はこんなときに使います**

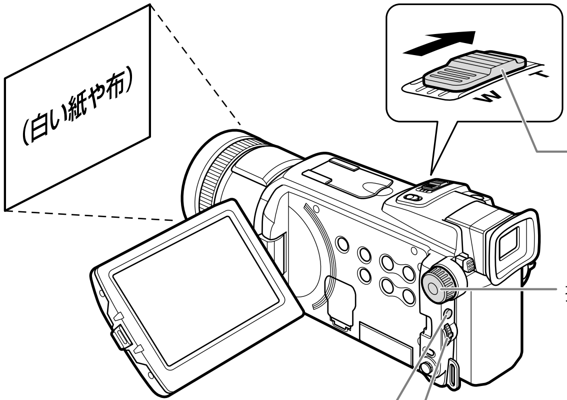
「屋内☼」

・パーティ会場など照明条件が変化する場所で撮るとき
・スタジオなどビデオライトの照明で撮るとき
・ナトリウムランプの照明で撮るとき

「屋外☀」

・夜景や花火などを撮るとき
・朝日や夕焼けなどを撮るとき

＊通常の屋外では「オート」を使った方がきれいに撮影できます。



ご購入時の設定は、「オート」です。

ホワイトバランスセットの設定のしかた

カメラモード　再生(VTR)モード　｜　カードカメラモード　カード再生モード

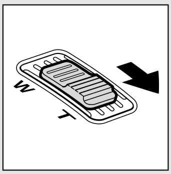
ここでは、「カメラモード」の画面で説明しています。

1 撮影一時停止中

撮影モードを□（全自動）以外にする

2

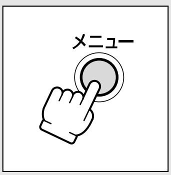
白い紙を画面いっぱいに写す

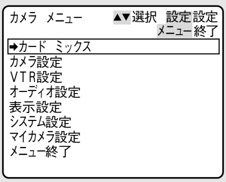


- ズームなどを使って白い紙や布を画面いっぱいに写します。
- ズームレバーを**T**側へ押します。
- 操作5が終るまで、白い紙を写し続けてください。

3

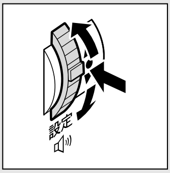
メニューを出す

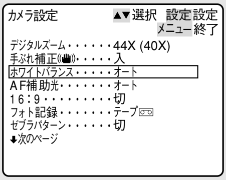




- メニューボタンを押すと、「カメラメニュー」が出ます。

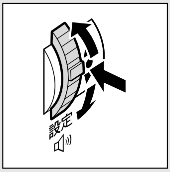
4「カメラ設定」サブメニューから「ホワイトバランス」を選ぶ

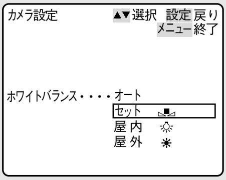




- 選択／設定ボタンで「カメラ設定」を選び、次に「ホワイトバランス」を選びます。（📖 76）

5「セット」を選ぶ





- 選択／設定ボタンを上または下に押して選択枠を「セット」に合わせ、選択／設定ボタンをまっすぐ押します。
- 「カメラ設定」サブメニューに戻ります。
- 「セット」が点滅し、色合いの調整が完了すると点灯に変わります。
- メニューボタンを押すと、「」の表示が出ます。

❍ ごくまれに、光源によっては点灯に変わらない（ゆっくりとした点滅）ことがありますが、この場合でも自動調整よりも適切なホワイトバランスになりますので、そのまま撮影できます。

❍ 撮影モードを□（全自動）にした場合、ホワイトバランスは「オート」に戻ります。

❍ 一度設定したホワイトバランスセットは、電源を切っても憶えていますが、テープ／カード切換スイッチを切り換えると「オート」に戻ります。

❍ **手動で色合いの調整をするときは**
- 照明の十分な場所で行ってください。また、光源が変わったときは、セットし直してください。
- 「カメラ設定」サブメニューで「デジタルズーム」を「切」にしてください。

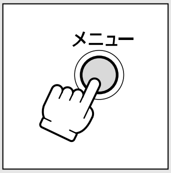
屋内、屋外用の設定のしかた

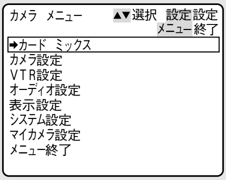
カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生モード

1 撮影一時停止中

撮影モードを□（全自動）以外にする

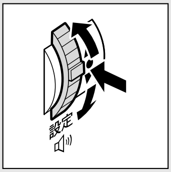
2 メニューを出す

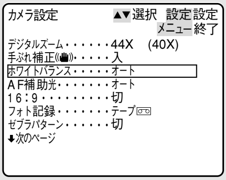




- メニューボタンを押すと、「カメラメニュー」が出ます。

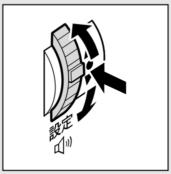
3 「カメラ設定」サブメニューから「ホワイトバランス」を選ぶ

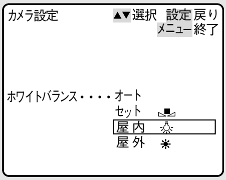




- 選択／設定ボタンで「カメラ設定」を選び、次に「ホワイトバランス」を選びます。（📖 76）

4 設定を選ぶ



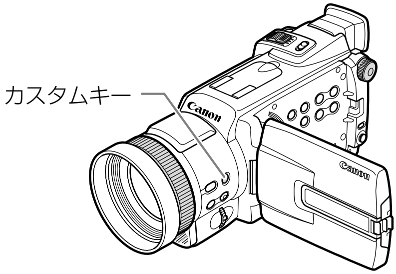


- 撮影する場所に合わせて、「屋内」または「屋外」を選びます。
- 選択／設定ボタンを上または下に押して選択枠を選んだ設定に合わせ、選択／設定ボタンをまっすぐ押します。
- 「カメラ設定」サブメニューに戻ります。
- メニューボタンを押すと、選んだ設定の表示が出ます。

応用編

カスタムキー

本機ではメニューで設定する機能の中からいくつかの機能をカスタムキー（専用ボタン）にカメラモード、カードカメラモード、それぞれ独立して設定できます。



カスタムキーを設定する



ご購入時は、「切」に設定されています。
「切」以外に設定したカスタムキーは画面に表示されます。
例：手ぶれ補正に設定した場合

以下の機能がカスタムキーに設定可能です。

カメラモード

手ぶれ補正、逆光補正、ゼブラパターン

カードカメラモード

手ぶれ補正、逆光補正、ゼブラパターン、ドライブモード

カスタムキーの設定を変えるときは、メニューの「システム設定」サブメニューの「カスタムキー」で機能を選択してください（ 76）。

カスタムキーを使う

手ぶれ補正/逆光補正/ゼブラパターン

カメラモード | 再生(VTR)モード | **カードカメラモード** | カード再生モード

手ぶれ補正、逆光補正、ゼブラパターンではカスタムキーボタンで入／切を行います。

ドライブモード

カメラモード | 再生(VTR)モード | **カードカメラモード** | カード再生モード

ドライブモードでは、カスタムキーボタンを押すたびに、「単写」、「連写」、「AEB」が切り換り、「単写」以外は選んだモードの表示が出ます（ 143）。

場面の切り換えと特殊効果（デジタルエフェクト）

デジタルエフェクトには、3種類の機能があります。撮影時だけでなく、再生時にも使用できます。

- フェーダー　：テレビや映画のように画面と画面の切り換えができます。（📖 90）
  オートフェード、ワイプ、コーナーワイプ、ジャンプ、フリップ、パズル、ジグザグ、ビーム、タイド
- エフェクト　：色を変えたり特殊効果を加えることができます。（📖 94）
  アート、シロクロ、セピア、モザイク、ボール、キューブ、ウェーブ、カラーマスク、ミラー
- マルチ画面　：画面を4/9/16分割して、静止画を表示します。また、静止画にして取り込むスピードを選択できます（はやい、ふつう、おそい、マニュアル）。（📖 97）

電源スイッチや撮影モードによって、使用できる機能が異なります。

	カメラモード		再生（VTR）モード	カードカメラモード	カード再生モード
	動画	静止画（フォト）			
フェーダー	○	×	○	×	×
エフェクト	○	○	○	「シロクロ」のみ使用できます	×
マルチ画面	○*	○*	○	×	×

○＝使用できます

×＝使用できません

*ナイト、スーパーナイトモードでは、使用できません。

❍ デジタルエフェクトを使用しないときは、「OFF」に設定します。
① D.エフェクト選択ボタンを押して、デジタルエフェクトメニューを出す。
② 選択／設定ボタンで「D.エフェクトOFF」を選び、D.エフェクト選択またはD.エフェクト入／切ボタンを押す。

❍ 一度設定したデジタルエフェクトは、電源を切ったり、撮影モードを変更しても憶えています。

❍ 撮影モードを□（全自動）にすると、デジタルエフェクトは「切」になります。

❍ 再生（VTR）モードで再生画面が出ていないとき（停止中）は、デジタルエフェクトを選択できますが、入／切できません（表示は点滅のままです）。

❍ 再生中にデジタルエフェクトを使用しても、テープの記録内容は変わりません。

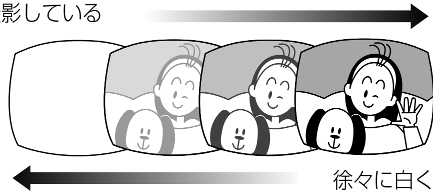
❍ DVケーブルを接続し、テープを再生してダビングするとき（DV出力）には、デジタルエフェクトは使用できません。

❍ 日付サーチまたはフォトサーチ中には、デジタルエフェクトは使用できません。

フェーダー

オートフェード

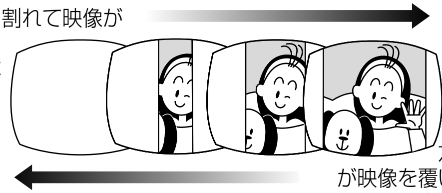
白い画面から、撮影している映像と音声が徐々にあらわれます。



撮影している映像が徐々に白くなり、映像と音声が消えます。

ワイプ

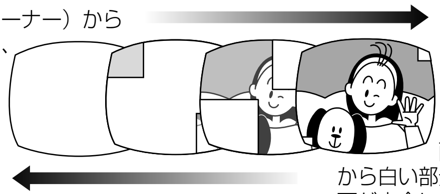
白い画面が左右に割れて映像があらわれ、音声も聞こえるようになります。



左と右から白い部分が映像を覆い、画面が完全に白くなり、音声も消えます。

コーナーワイプ

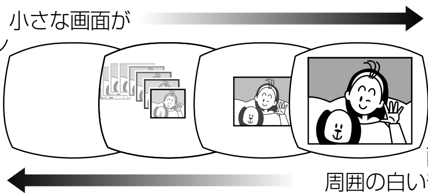
白い画面の角（コーナー）から映像があらわれて、音声も聞こえるようになります。



画面の角（コーナー）から白い部分が映像を覆い、画面が完全に白くなり、音声も消えます。

ジャンプ

白い画面の左から、小さな画面があらわれて、ジャンプして画面の中心に来て、大きくなり、音声も聞こえるようになります。

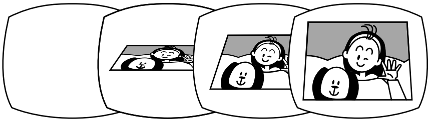


画面が小さくなり、周囲の白い部分が画面を覆い、最後に小さくなった画面が左にジャンプして消え、音声も消えます。

フェーダー

フリップ

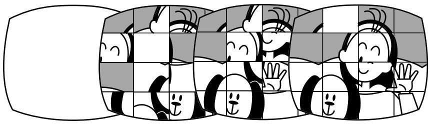
白い画面に映像が回転（フリップ）してあらわれ、音声も聞こえるようになります。



映像が回転（フリップ）し、周囲にあらわれた白い部分が画面を覆い、音声も消えます。

パズル

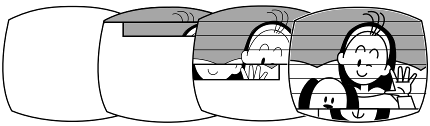
白い画面に映像が16分割されてあらわれ、パズルのように動いて映像ができあがり、音声も聞こえるようになります。



映像が16分割され、パズルのように動いて白い画面になり、音声も消えます。

ジグザグ

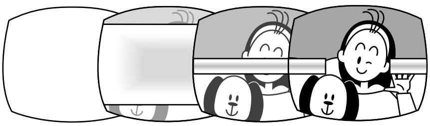
白い画面の上から、ジグザグに映像があらわれ、音声も聞こえるようになります。



画面の下から白い部分がジグザグにあらわれて、音声も消えます。

ビーム

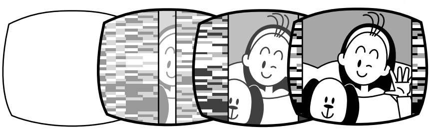
白い画面が光の帯（ビーム）になり、映像があらわれ、音声も聞こえるようになります。



画面の真中に光の帯（ビーム）があらわれ、上下に広がって、画面を覆い、音声も消えます。

タイド

白い画面の左右が波（タイド）のようにゆれながら映像があらわれ、音声も聞こえるようになります。



画面の左右が波（タイド）のようにゆれて白い部分に覆われ、音声も消えます。

フェーダーの操作のしかた

フェードイン（白い画面から徐々に映像と音声を出す）：撮影一時停止中または再生一時停止中に設定する
フェードアウト（映像と音声を徐々に消す）：撮影中または再生中に設定する

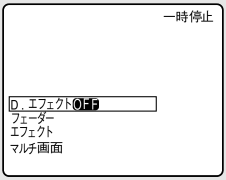
❍ 撮影時にフェーダーを使用するときは、撮影モードを□（全自動）以外にしてください。
❍ カードミックス時には、フェーダーは使用できません。

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生モード

ここでは、「カメラモード」の画面で説明しています。

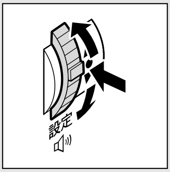
1 デジタルエフェクトメニューを出す

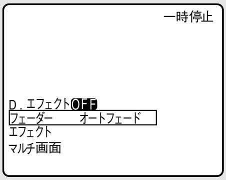




● D.エフェクト選択ボタンを押します。

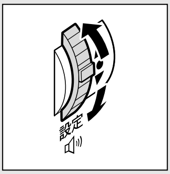
2「フェーダー」を選ぶ

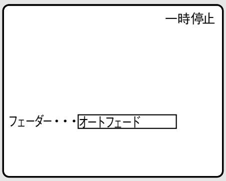




● 選択／設定ボタンを上または下に押して、選択枠を「フェーダー」に合わせます。選択／設定ボタンをまっすぐ押すと、フェーダーだけの表示になります。

3 種類を選ぶ





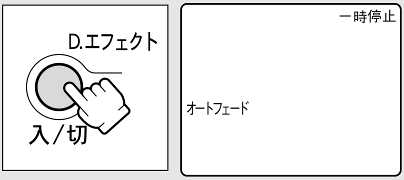
① 選択／設定ボタンを上または下に押して、設定するフェーダーを選びます。





② D.エフェクト選択ボタンを押すと、メニューが消え、選んだ機能表示が点滅します。

4 フェーダーを入／切する

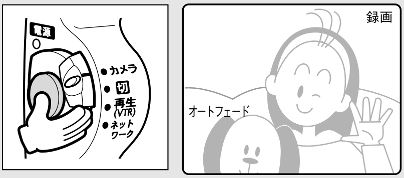


① D.エフェクト入／切ボタンを押すと、表示が点灯に変わります。

- D.エフェクト入／切ボタンをもう一度押すと、フェーダーは解除されます。

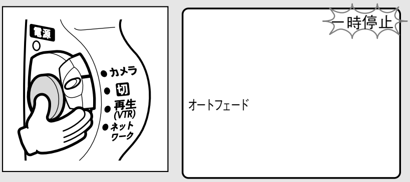
カメラモードの場合

撮影一時停止中　フェードイン



② スタート／ストップボタンを押すと撮影が始まり、映像が徐々に現れます。

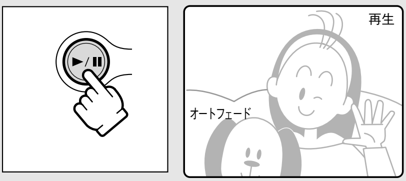
撮影中　フェードアウト



② スタート／ストップボタンを押すと、映像が徐々に消えて、撮影一時停止になります。

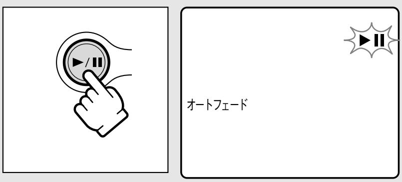
再生（VTR）モードの場合

再生一時停止中　フェードイン



② 再生ボタンを押すと再生が始まり、映像が徐々に現れます。

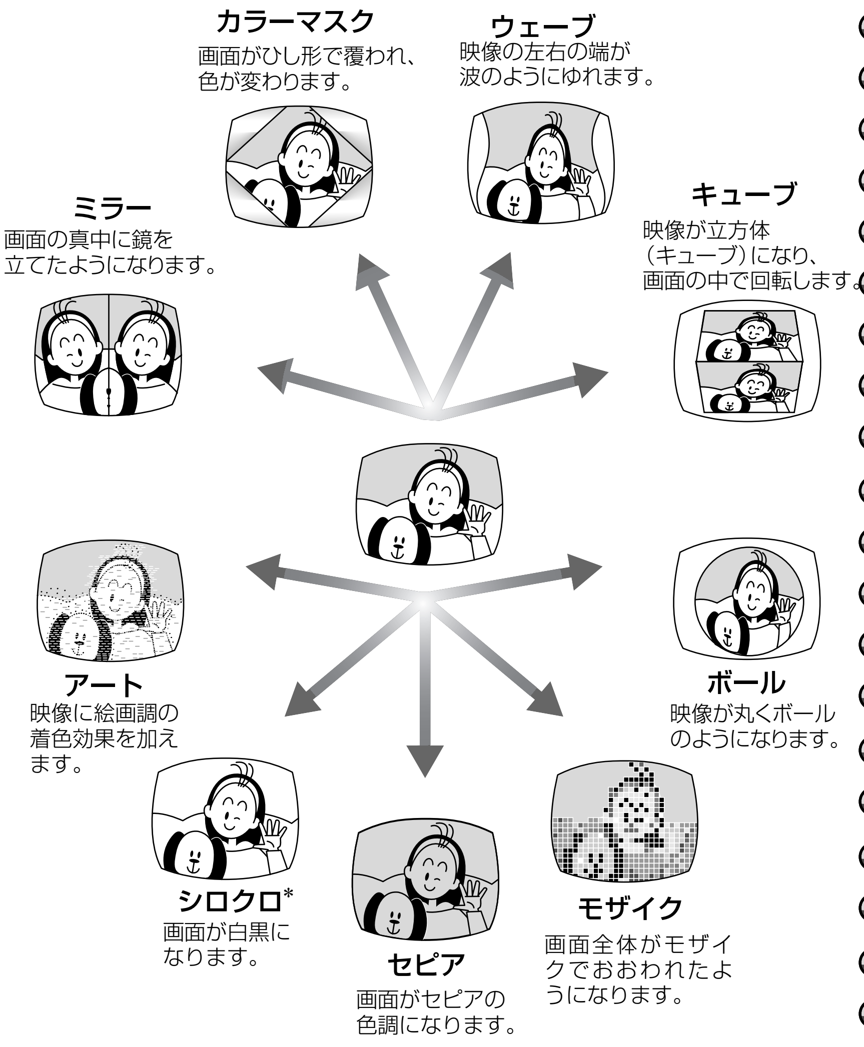
再生中　フェードアウト



② 一時停止ボタンを押すと、映像が徐々に消えて、再生一時停止になります。

エフェクト

＊ カードカメラモードでは「シロクロ」のみ使用できます。



エフェクトの操作のしかた

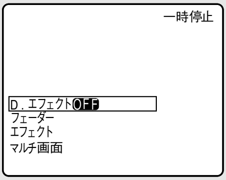
- ❍ 音声はそのまま記録されます。
- ❍ 撮影時にエフェクトを使用するときは、撮影モードを□（全自動）以外にしてください。
- ❍ カードカメラモード時の操作のしかたは、次のページをご覧ください。

カメラモード　再生(VTR)モード　｜　カードカメラモード　カード再生モード

ここでは、「カメラモード」の画面で説明しています。

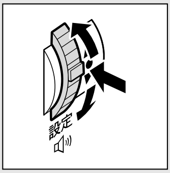
1 デジタルエフェクトメニューを出す

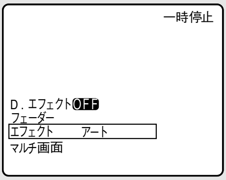




- D.エフェクト選択ボタンを押します。

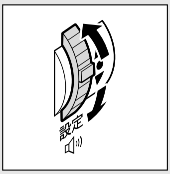
2 「エフェクト」を選ぶ

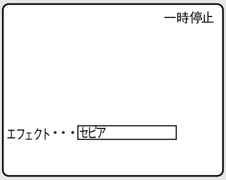




- 選択／設定ボタンを上または下に押して、選択枠を「エフェクト」に合わせます。選択／設定ボタンをまっすぐ押すと、エフェクトだけの表示になります。

3 種類を選ぶ





① 選択／設定ボタンを上または下に押して、設定するエフェクトを選びます。



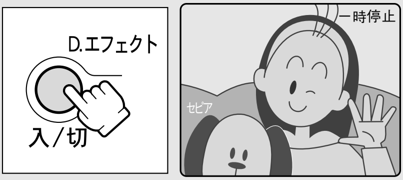


② D.エフェクト選択ボタンを押すと、メニューが消え、選んだ機能表示が点滅します。

応用編

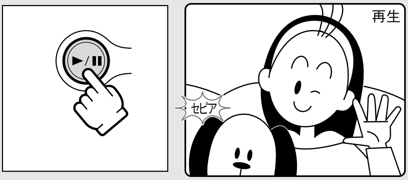
4 エフェクトを入／切する

カメラモードの場合

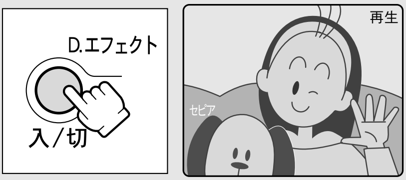


① D.エフェクト入／切ボタンを押すと、表示が点灯に変わり、画面がその効果になります。

再生（VTR）モードの場合



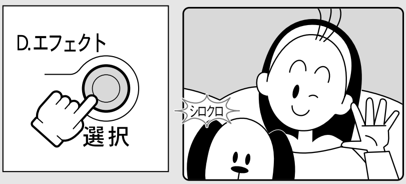
① 再生ボタンを押して、再生します。



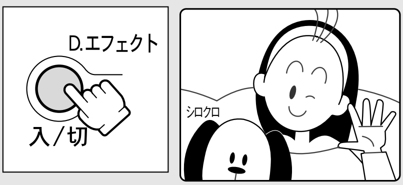
② D.エフェクト入／切ボタンを押すと、表示が点灯に変わり、画面がその効果になります。

- D.エフェクト入／切ボタンをもう一度押すと、画面のエフェクト効果は解除されます。

カメラモード　再生(VTR)モード　**カードカメラモード**　カード再生モード



① D.エフェクト選択ボタンを押すと、「シロクロ」が点滅します。

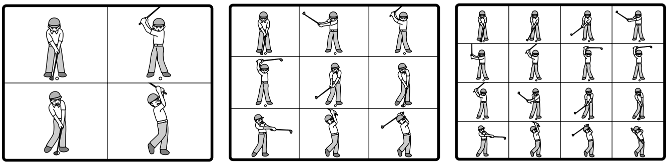


② D.エフェクト入／切ボタンを押すと、画面が白黒になります。

マルチ画面を使う

マルチ画面は、遊園地やスポーツシーンなどで動いている被写体を一度に最大16画面連続して表示できます。テニスやゴルフのスイングなどをチェックするときに便利です。音声はそのまま記録されます。撮影時だけでなく、再生時にも使用できます。

分割する画面数（4／9／16）や静止画にして取り込むスピード（マニュアル／はやい／ふつう／おそい）を選べます。
・ マニュアル：手動で映像を取り込む
・ はやい：4フレームごと
・ ふつう：6フレームごと
・ おそい：8フレームごと



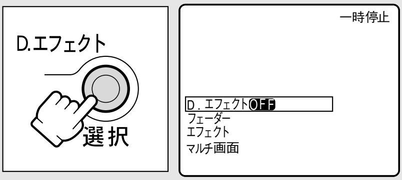
4分割　　9分割　　16分割

❍ 撮影時にマルチ画面を使用するときは、撮影モードを□（全自動）、（ナイトモード）と（スーパーナイトモード）以外に設定してください。
❍ 再生時には、次の動作中のみ使用できます。
「マルチ画面スピード」が「マニュアル」のとき：スロー再生（正逆両方向）、再生一時停止中
「マルチ画面スピード」が「マニュアル」以外のとき：再生一時停止中
❍ カードミックス時には、マルチ画面は使用できません。

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生モード

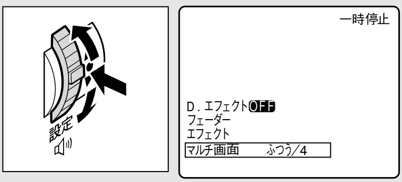
ここでは、「カメラモード」で説明しています。

1 デジタルエフェクトメニューを出す



● D.エフェクト選択ボタンを押します。

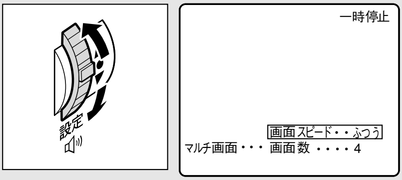
2 「マルチ画面」を選ぶ



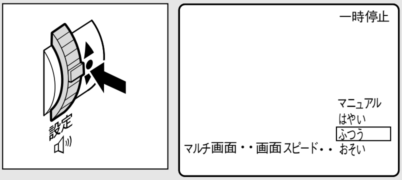
● 選択／設定ボタンを上または下に押して、選択枠を「マルチ画面」に合わせます。選択／設定ボタンをまっすぐ押すと、マルチ画面の項目が出ます。

応用編

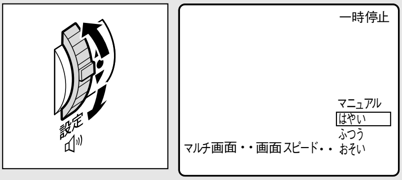
3 取り込みスピードを選ぶ



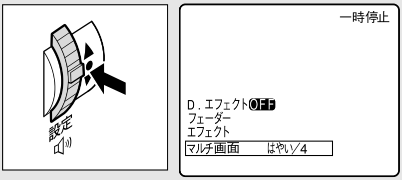
① 選択／設定ボタンを上または下に押して、「画面スピード」を選びます。



② 選択／設定ボタンをまっすぐ押すと、画面スピードだけの表示になります。

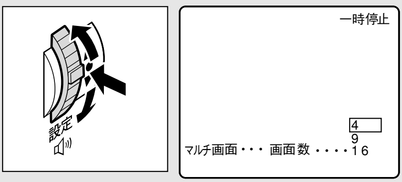


③ 選択／設定ボタンを上または下に押して、設定するスピードを選びます。



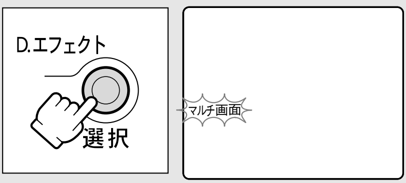
④ 選択／設定ボタンをまっすぐ押すと、デジタルエフェクトメニューに戻ります。

4 画面数を選ぶ



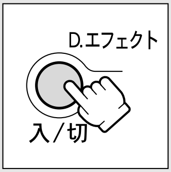
① 2、3の操作をくり返します。

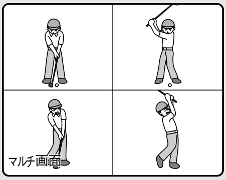
- 3−①で「画面数」を選びます。
- 3−③で4、9、16のいずれかを選びます。



② D.エフェクト選択ボタンを押すと、メニューが消え、「マルチ画面」が点滅します。

5 マルチ画面を入／切する





- D.エフェクト入／切ボタンを押すと、表示が点灯に変わります。
- **マルチ画面スピードが「マニュアル」以外の場合：**
  選んだスピードで選んだ画面数の画像を取り込む。
  D.エフェクト入／切ボタンを押すと、マルチ画面は解除される。
- **マルチ画面スピードが「マニュアル」の場合：**
  D.エフェクト入／切ボタンを押すごとに画像を取り込む。最後の画面が取り込まれると水色の枠が消える。
  D.エフェクト入／切ボタンを１秒以上押し続けると、取り込んだ最後の映像から順に解除されていく。

❍ 録画中でも、操作できます。
❍ マルチ画面スピードが「マニュアル」以外の場合、再生（VTR）モードでマルチ画面を取り込んでいるときに、テープの走行で使う操作ボタン（再生／一時停止ボタンなど）を押したり、日付サーチまたはフォトサーチを行うと、マルチ画面は解除されます。

マイカメラ機能を使う

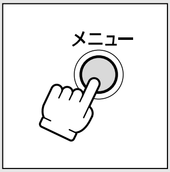
本機では、起動画面と起動音、シャッター音、操作音、セルフタイマー音の設定（マイカメラ）を変更できます。
「ユーザー設定」は画面や音を自分で作成したり（付属のソフトウェアZoomBrowserEXまたはImageBrowserを使用）、CANON iMAGE GATEWAYからダウンロードすることで、新しい画面や音にできます。詳しくは付属のDigital Video Software使用説明書をご覧ください。

マイカメラの設定を変える

ここでは、「カード再生」で説明しています。

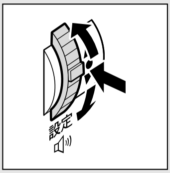
カメラモード　再生(VTR)モード　｜　カードカメラモード　カード再生モード

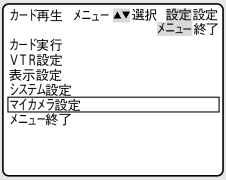
1 メニューボタンを出す



- 各モードのメインメニューが出ます。

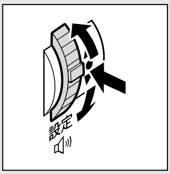
2 「マイカメラ設定」を選ぶ

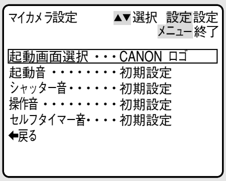




- 選択／設定ボタンを押すと、マイカメラ設定メニューが出ます。

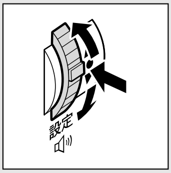
3 設定したい項目を選ぶ

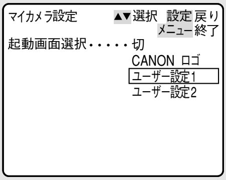




- カード再生モードで「起動画面選択」を選ぶと、「切」と「CANONロゴ」、「ユーザー設定1」、「ユーザー設定2」の選択画面になります。
  「CANONロゴ」に記録されている画面は、変更できません。
  起動画面は、カード再生モードのみで選択できます。
- 起動画面以外を選ぶと、「切」、「初期設定」、「ユーザー設定1」、「ユーザー設定2」の選択画面になります。

4 設定内容を選ぶ





- 選んだパターンの音が確認できます。
- メニューボタンを押すと、メニューが消えます。

再生中に画面を拡大する

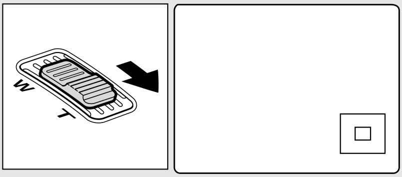
再生中に、画面を5倍まで拡大できます。また、拡大する画面を上下、左右に移動できます。

カメラモード　再生(VTR)モード　|　カードカメラモード　カード再生モード*

* カード再生モードでカード動画再生中は、画面を拡大できません。

1 再生中

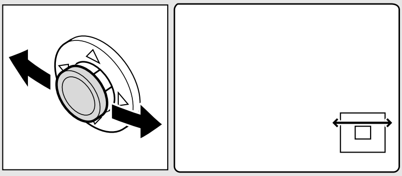
ズームレバーをT側に引く



- 画面が2倍に拡大されます。
- さらに拡大するときはズームレバーをT側に引きます。縮小するときは（1～2倍）ズームレバーをW側に押します。
- 拡大している位置を示す枠が出ます。拡大する倍率にあわせて枠の大きさが変わります。

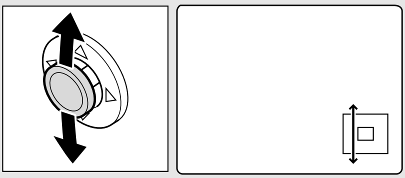
2 画面を左右に移動する

右または左に押す



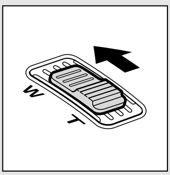
画面を上下に移動する

上または下に押す



- プリント選択／選定ボタンを押すと、画面が移動し、拡大している位置を示す枠も移動します。

3 画面を元に戻す



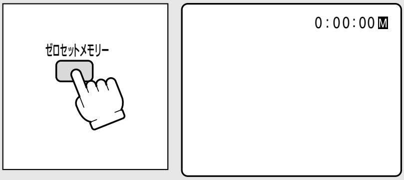
- 拡大している枠が消えるまでズームレバーをW側に押します。

見たい場面にすばやく戻る（ゼロセットメモリー）

あとでもう1度見たいと思う場面があったときに、ゼロセットメモリーを設定しておくと、早送りまたは巻き戻しをしたときに、設定した場面で自動的に停止します。

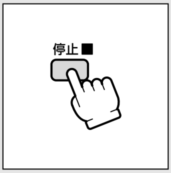
カメラモード　再生(VTR)モード　｜　カードカメラモード　カード再生モード

1 再生中 ゼロセットメモリーを設定する



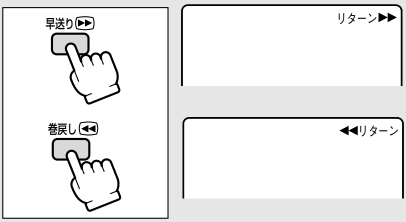
- あとで見たい場面が出てきたら、ゼロセットメモリーボタンを押します。
- カウンター表示が「0：00：00」になり、Mの表示が出ます。
- ゼロセットメモリーボタンをもう1回押すと、設定が解除されます。

2 再生が終わったら、停止する



- 停止ボタンを押します。

3 早送りする、または巻き戻す



- カウンター表示に「－」がついているときは早送りボタンを、「－」がついていないときは巻戻しボタンを押します。
- カウンター表示が「0：00：00」付近で自動的に停止します。カウンター表示がタイムコードに戻り、Mが消えます。

4 再生する

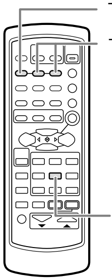


- 再生ボタンを押します。

❍ カウンター表示は、タイムコード（撮影時間表示）とテープカウンターに多少誤差が出ることがあります。
❍ タイムコードが連続して記録されていないと、ゼロセットメモリー機能が正しく働かないことがあります。
❍ カセットを取り出すと、ゼロセットメモリーが解除され、カウンター表示がタイムコードに戻ります。

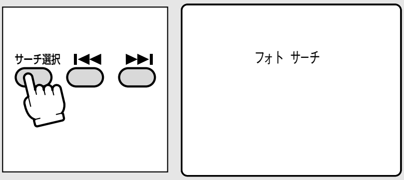
テープに記録した静止画を探す（フォトサーチ）

テープに記録した静止画を探すことができます。また撮影の最初に静止画を入れておくと、録画を始めた部分を簡単に探し出せます。



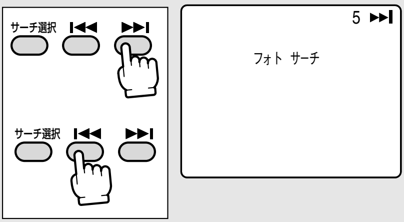
カメラモード　**再生(VTR)モード**　カードカメラモード　カード再生モード

1 「フォトサーチ」を選ぶ



- リモコンのサーチ選択ボタンを押して、「フォトサーチ」を選びます。
- 「フォトサーチ」表示が出ます。

2 サーチを始める

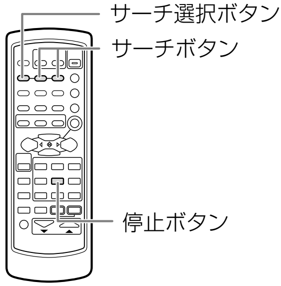


- 正方向のサーチをするときは▶▶|を、逆方向のサーチをするときは|◀◀を押します。
- 押した数だけ前／後ろの静止画（最多10枚まで）の頭出しになります。
- サーチの方向を変えるときは、▶▶|または|◀◀を押します。
- サーチを止めるときは停止■ボタンを押します。

サーチを始めた部分のすぐ近くの静止画は、探し出せないことがあります。

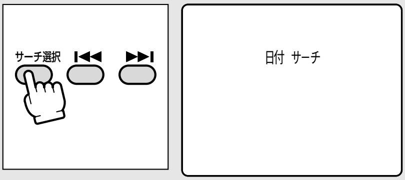
撮影した日の変わり目を探す（日付サーチ）

撮影時の日付／時刻を自動的に記録するデータコード（📖 106）を使って、撮影時の日付の変わり目を探せます。世界時計でエリアを設定したときには、エリアの変わり目もサーチします。



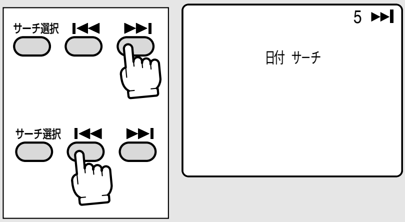
カメラモード　**再生(VTR)モード**　カードカメラモード　カード再生モード

1 「日付サーチ」を選ぶ



- リモコンのサーチ選択ボタンを押して、「日付サーチ」を選びます。
- 「日付サーチ」表示が出ます。

2 サーチを始める



- 正方向のサーチをするときは▶▶|を、逆方向のサーチをするときは|◀◀を押します。
- 押した数だけ前／後ろの日付の変わり目（最多10）の頭出しになります。
- サーチの方向を変えるときは、▶▶|または|◀◀を押します。
- サーチを止めるときは停止■ボタンを押します。

❍ 日付サーチを行うときは1日／1エリア当たり1分以上の記録部分が必要です。
❍ 日付サーチでは、再生を始める位置が多少ずれることがあります。
❍ データコードが正しく表示されていないときは、日付サーチは正しく動作しません。
❍ 「サーチ選択」の設定は、電源を切ると「フォトサーチ」になります。

応用編

再生時に日時、カメラデータを表示する（データコード）

あらかじめ日付と時刻を設定しておくと、撮影している映像とは別に、撮影時の日付／時刻を自動的に記録します。また撮影時のシャッタースピードと絞り値(F値)も同様に記録します（これをカメラデータと呼びます）。データコードとは、撮影日の日付、時刻、カメラデータのことをいいます。
テープを再生するときには、撮影時の日付／時刻、カメラデータを自由に表示することができます（カード再生時は、日付／時刻のみの表示になります）。テレビで再生するときにも、データコードを確認できます。

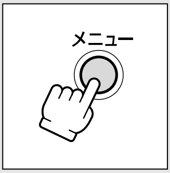
❍ 本機で撮影したテープを他のデジタルビデオ機器で再生したときには、データコードが表示できないことがあります。
❍ 特殊再生の機能により、カメラデータの表示が出ないことがあります。

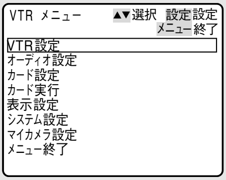
日時の表示内容を選ぶ（日付／時刻／日付＆時刻）

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生モード

ここでは、「再生（VTR）モード」の画面で説明しています。

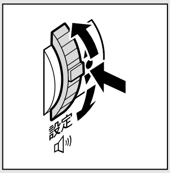
1 メニューを出す

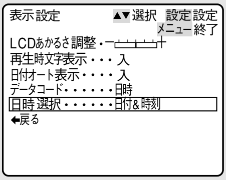




- メニューボタンを押すと、「VTRメニュー」が出ます。

2 「表示設定」サブメニューから「日時選択」を選ぶ

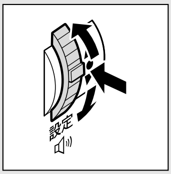


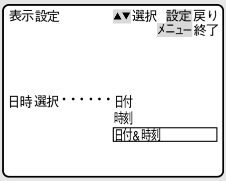


- 選択／設定ボタンで「表示設定」を選び、次に「日時選択」を選びます。

（📖 76）

3 「表示内容」を選ぶ



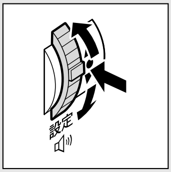


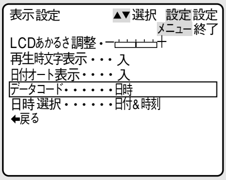
- 選択／設定ボタンを上または下に押して設定する内容を選び、選択／設定ボタンをまっすぐ押します。
- 「表示設定」サブメニューに戻ります。
- カード再生モードのとき、6の操作へ進んでください。

データコードの表示内容を選ぶ

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生モード

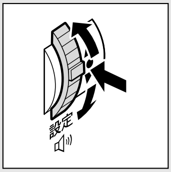
4「表示設定」サブメニューから「データコード」を選ぶ

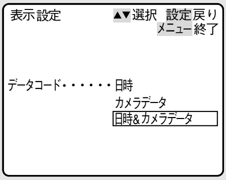




- 選択／設定ボタンで「表示設定」を選び、次に「データコード」を選びます。（📖 76）
- データコードの表示内容だけを選ぶときは、106ページの1の操作のあとに、この操作をします。

5 表示内容を選ぶ



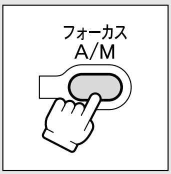


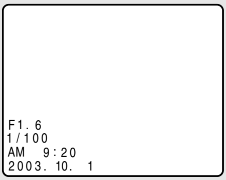
- 選択／設定ボタンを上または下に押して設定する内容を選び、選択／設定ボタンをまっすぐ押します。
- 「表示設定」サブメニューに戻ります。
- メニューボタンを押すと、メニューが消えます。

データコードを表示する

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生モード

6 データコードを表示する





- テープを再生し、フォーカスA/M（データコード）ボタンを押します。
- カード再生モードでは、フォーカスA/M（データコード）ボタンを押すと、日付／時刻のみ表示されます。

❍ データコードの表示は、一度、電源を切ると「切」になります。
❍ 通常は、本機と接続したテレビ画面上の表示が消えても（オンスクリーンが「切」のとき）、液晶画面上の表示は消えませんが、データコードを表示させると、データコード以外の液晶画面の表示はすべて消えます。（📖 209）

応用編

データコード表示について

メニューで設定する「日時選択」と「データコード」の内容により、データコードの表示内容は変わります。

「データコード」の設定

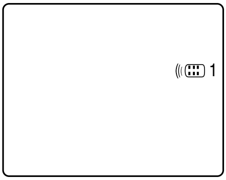
「日時選択」の設定	「日時」	「カメラデータ」	「日時＆カメラデータ」
「日付」	2003.10. 1	F1.6 1/100	F1.6 1/100 2003.10. 1
「時刻」	AM 9:20:00	F1.6 1/100	F1.6 1/100 AM 9:20:00
「日付＆時刻」	AM 9:20 2003.10. 1	F1.6 1/100	F1.6 1/100 AM 9:20 2003.10. 1

2台のキヤノンビデオカメラを操作する（リモコンコード）

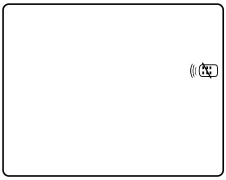
キヤノン製のほかのビデオカメラもお使いになっているときは、2台のリモコンコードを別にしてお使いください。
ご購入時には、リモコンコードは「1」に設定されています。誤動作を防ぐためにはリモコンコードを「2」に変更してください。「切」を選ぶと、リモコンの信号を受け付けません。
本機のリモコンコードの設定（受信コード）を変更したら、必ずリモコンも設定（送信コード）を変更してください。

本機の受信コードを変更する

カメラモード　再生(VTR)モード　｜　カードカメラモード　カード再生モード



「システム設定」サブメニューで「リモコンコード」を「1」（または「2」）にします。（76）
- 「1」（または「2」）表示が約4秒間出ます。



「システム設定」サブメニューで「リモコンコード」を「切」にします。（76）
- 「切」を選ぶと、「」の表示が出ます。

リモコンの送信コードを変更する

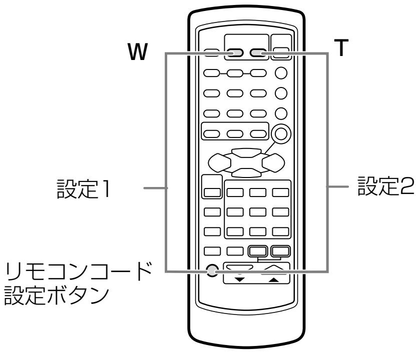
本機とリモコンで設定されているリモコンコードが異なる場合には、リモコンは使用できません。リモコンコード設定ボタン以外のボタンを押すと、画面に本機で設定されているリモコンコードが4秒間、点滅して表示され、確認できます。

設定1にする

リモコンのリモコンコード設定ボタンを押しながら、Wボタンを約2秒間押します。

設定2にする

リモコンのリモコンコード設定ボタンを押しながら、Tボタンを約2秒間押します。



- ❍ リモコンコードの設定を確認しても、リモコンで操作できない場合には、リモコンの電池を交換してください。
- ❍ 電池を交換すると、リモコンは「設定1」に戻ります。必要に応じて、再度設定し直してください。

応用編

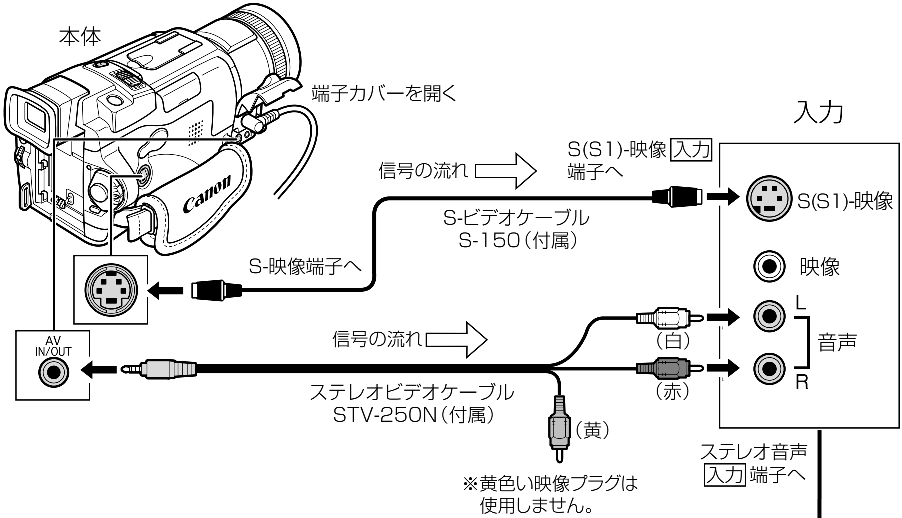
ほかのビデオデッキへ録画する

本機を再生機として、ビデオデッキを録画機として使うことで、本機で撮影したテープをダビング編集できます。また録画側のビデオがDV端子付きのデジタルビデオの場合は、デジタル信号のまま、画質、音質劣化のほとんどないダビング編集ができます。DV端子のないビデオ機器へダビングした映像は、多少画質が劣化します。

接続のしかた

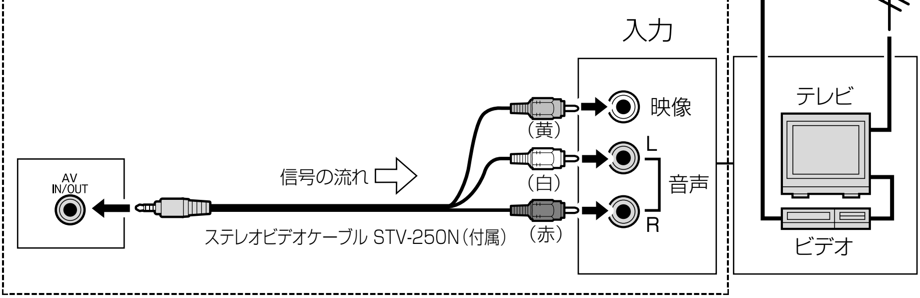
① S(S1)-映像端子付きビデオへ録画する

接続するほかの映像機器の使用説明書もあわせてご覧ください。



映像／音声端子付きビデオへ録画する

接続するほかの映像機器の使用説明書もあわせてご覧ください。

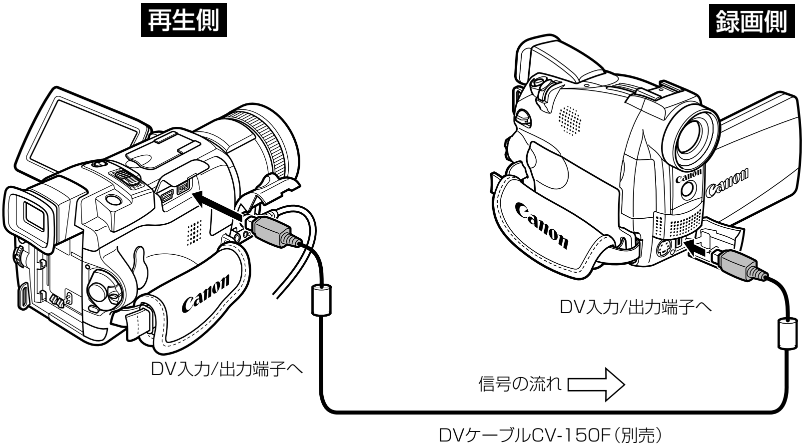


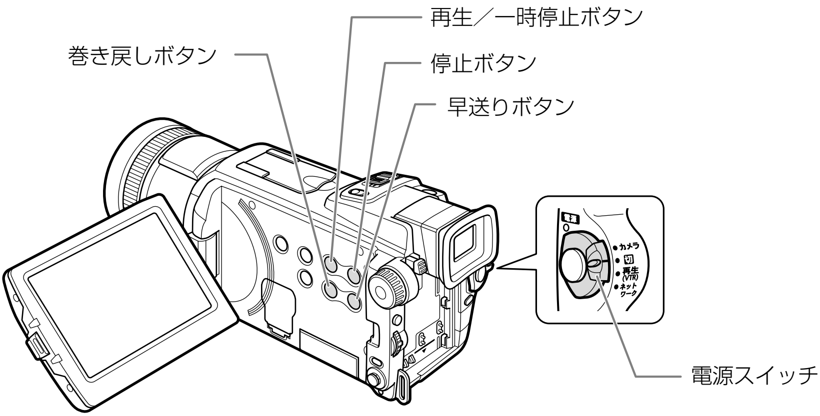
② DV端子付きビデオへ録画する

本機と、DV端子を持つほかのビデオ機器をDVケーブルで接続し、ダビング編集することができます。接続するほかの映像機器の使用説明書もあわせてご覧ください。

- ❍ 再生機がテープの無記録部分を再生すると、異常な映像が記録されることがあります。
- ❍ DVケーブルを正しく接続していても、映像が出ないことがあります。このようなときはDVケーブルを接続し直すか、電源を入れ直してください。
- ❍ DV（IEEE1394）端子を持つすべてのビデオ機器との接続を保証するものではありません。正しく動作しない場合は、S-映像端子、映像/音声端子を使用してください。

- ❍ DVケーブルで本機と接続できるのは1台のみです。
- ❍ DVケーブルはつなぎかえることなく、本機を録画機または再生機として使えます。（📖 111）





カメラモード　**再生(VTR)モード**　カードカメラモード　カード再生モード

本機 再生機 の操作

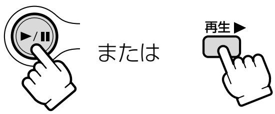
1 「再生（VTR）モード」にする

- 再生するカセットを入れます。

2 巻き戻しボタンまたは早送りボタンを押して、再生を始める少し手前の位置を探す



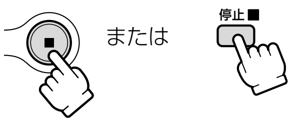
3 再生を始める



- 再生ボタンを押します。

再生

4 再生を終える



- 停止ボタンを押します。

ビデオデッキまたはDV端子付きビデオ 録画機 の操作

1 録画用のカセットを入れる

2 録画一時停止状態にする

3 録画を開始する場面で録画を始める

録画

4 録画を終える

ほかのビデオやテレビの画像を録画する（アナログ入力）

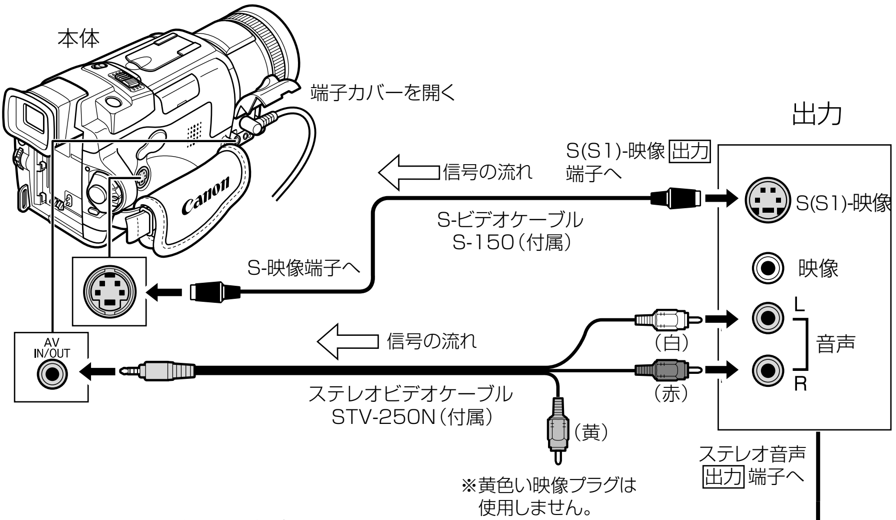
本機を録画機として使用して、ほかのビデオの画像やテレビ番組をダビングしたり、編集することができます。

- ❍ テレビやビデオから出力される信号が乱れていると、テレビでは著しく乱れて映っていなくても、異常な画像が記録されたり、画像が記録されないことがあります。また、「コピー禁止です」の表示が出ることがあります。
- ❍ 著作権保護信号が記録されているテープからは、ダビング録画できません。

接続のしかた

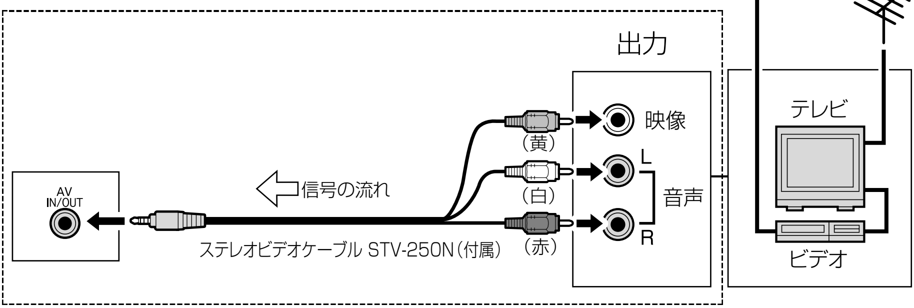
S(S1)-映像端子付きビデオから録画する

接続するほかの映像機器の使用説明書もあわせてご覧ください。



映像／音声端子付きビデオから録画する

接続するほかの映像機器の使用説明書もあわせてご覧ください。



応用編

本機を録画機として使用する場合

カメラモード　**再生(VTR)モード**　カードカメラモード　カード再生モード

本機 録画機 の操作

1 「再生（VTR）モード」にする

- 録画用のカセットを入れます。

2 録画一時停止にする



または



- 録画一時停止ボタンを押します。
- 録画一時停止中、録画中は、画面で映像を確認できます。

3 録画を始める

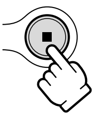


または

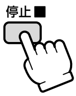


- 録画を開始する場面で、一時停止ボタンを押します。

4 録画を終える



または



- 停止ボタンを押します。

一時停止をする



または

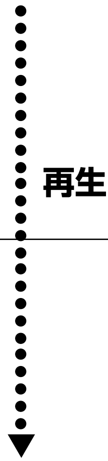


- 一時停止ボタンを押します。
- 録画を再開するときはもう一回押します。

再生機 の操作

1 再生するカセットを入れる

2 再生を始める



3

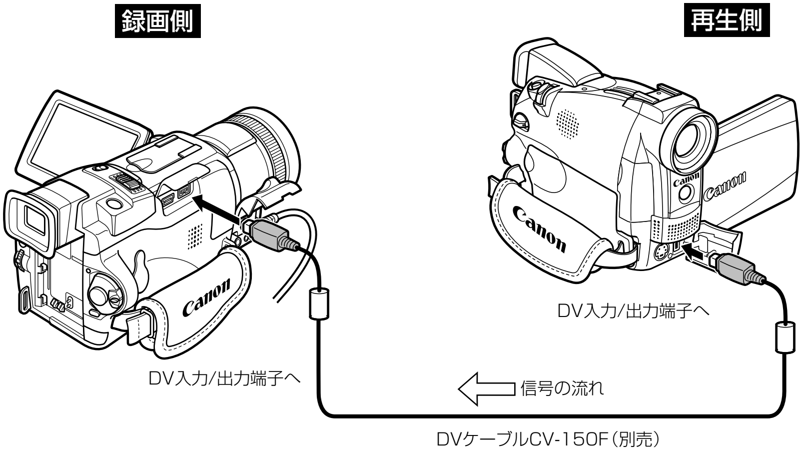
4 再生を終える

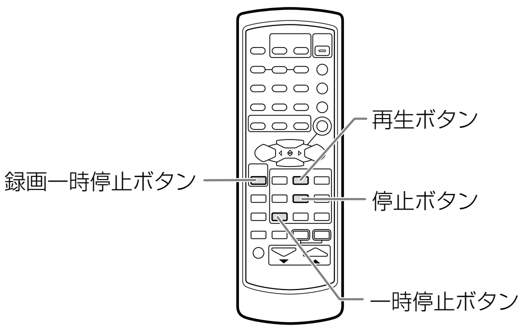
DV端子付きビデオから録画する

本機と、DV端子を持つほかのビデオ機器をDVケーブルで接続し、ダビング編集することができます。接続するほかの映像機器の使用説明書もあわせてご覧ください。

- ❍ DV端子付きビデオから録画する場合は、画面に「AV→DV」が出ていない（VTRメニューの「VTR設定」サブメニューにある「AV入力→DV出力」が「切」になっている）ことを確認してください。
- ❍ ビデオから出力される信号が乱れていると、テレビでは著しく乱れて映っていなくても、異常な画像が記録されたり、画像が記録されないことがあります。
- ❍ 著作権保護信号が記録されているテープからは、ダビング録画できません。
- ❍ 再生機がテープの無記録部分を再生すると、異常な映像が記録されることがあります。
- ❍ DVケーブルを正しく接続していても、映像が出ないことがあります。このようなときはDVケーブルを接続し直すか、電源を入れ直してください。
- ❍ DV端子から入力して本機で記録できる信号は、DV方式のSD方式、SPまたはLPで記録された場合のみです。

- ❍ DVケーブルで本機と接続できるのは1台のみです。
- ❍ DVケーブルはつなぎかえることなく、本機を録画機または再生機として使えます。（□ 111）





本機を録画機として使用する場合

カメラモード　**再生(VTR)モード**　｜　カードカメラモード　カード再生モード

本機 録画機 の操作

1 「再生（VTR）モード」にする
- 録画用のカセットを入れます。
- 画面に「DV入力」の表示が出ます。

2 録画一時停止にする



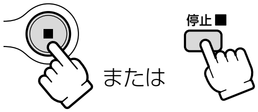
- 録画一時停止ボタンを押します。
- 録画一時停止中、録画中は、画面で映像を確認できます。

3 録画を始める



- 録画を開始する場面で一時停止ボタンを押します。

4 録画を終える



- 停止ボタンを押します。

一時停止をする



- 一時停止ボタンを押します。
- 録画を再開するときはもう一回押します。

再生機 の操作

1 再生するカセットを入れる

2 再生を始める

再生

3

4 再生を終える

アナログ入力した映像と音声をデジタルビデオ機器に出力する（アナログ－デジタル変換機能）

本機にビデオデッキや8ミリビデオカメラを接続すると、アナログ信号の映像と音声を瞬時にデジタル信号に変換して、DV端子から出力できます。このとき、DV端子は出力専用の端子になります。

- ❍ DVテープは、本機から取り出しておいてください。
- ❍ 接続は、各機器の電源を切って行ってください。
- ❍ 接続した製品からのアナログ信号によっては、正しくデジタル変換されない場合があります。
  例：著作権保護信号入りのアナログ信号、ゴーストなどを含む乱れたアナログ信号等

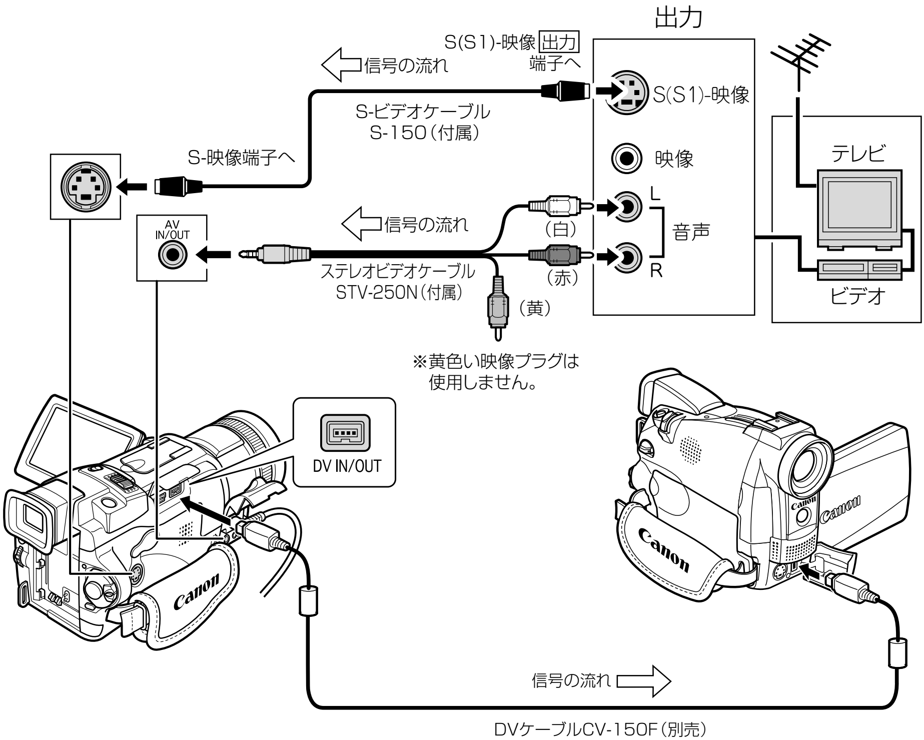
長時間使用するため、コンパクトパワーアダプターを使って、家庭用コンセントから電源をとることをおすすめします。

接続のしかた

S(S1)-映像端子付きビデオから録画する

ここでは、S(S1)-映像端子に接続する場合で説明しています。S(S1)-端子のかわりに、映像端子に接続することもできます。（📖 55）

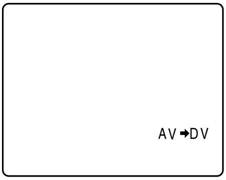
接続するほかの映像機器の使用説明書もあわせてご覧ください。



応用編

設定のしかた

カメラモード　**再生(VTR)モード**　カードカメラモード　カード再生モード



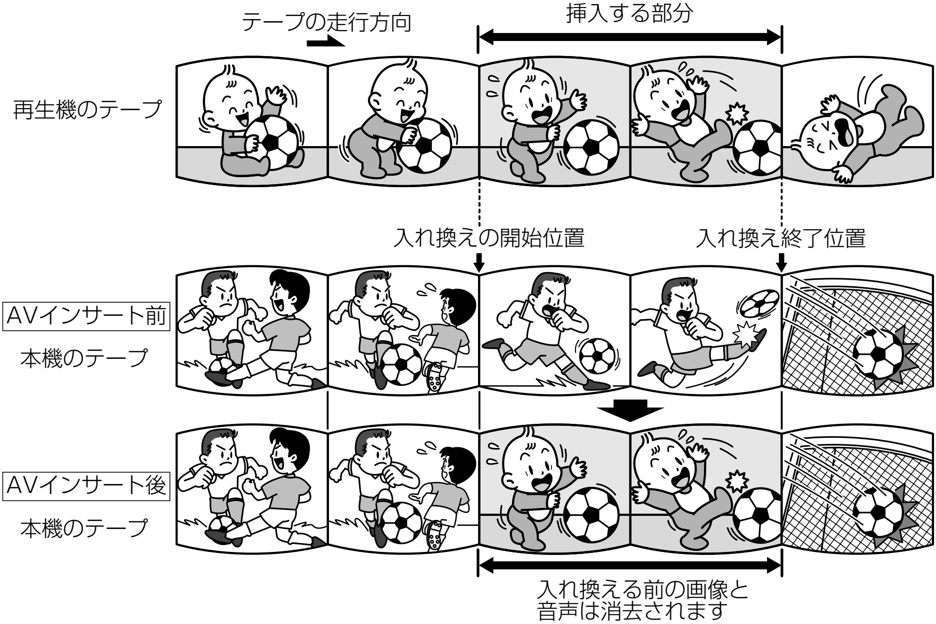
リモコンのAV→DVボタンを押します。
または、「VTR設定」サブメニューから「AV入力→DV出力」を選び、次に「入」を選びます。（📖 76）
- 「AV→DV」の表示が出ます。

❍ 通常は「AV入力→DV出力」を「切」に設定しておいてください（画面に「AV→DV」が出ていない状態）。「入」に設定していると、本機のDV端子からデジタル信号を入力できません。

❍ DV（IEEE1394）端子付きのパソコンに接続する場合、使用するソフトウェア、パソコンの設定などによっては、デジタル変換された映像と音声をパソコンで表示したり、取り込めないことがあります。

撮影したテープの映像と音声を入れ換える（AVインサート）

本機で撮影したテープの映像／音声を、ほかのビデオ機器からの映像／音声と入れ換えることができます（AVインサート）。AVインサートは、アナログ入力（📖 113）、DV入力（📖 115）のいずれも可能です。
テープを再生する機器を本機に接続してください。



❍ **AVインサートするときは**

本機

本機で、SPモードで記録したテープを使用してください。
テープの途中に、無記録部分やLPモードで記録された部分があるテープでAVインサートを行うと、記録が中断されます。

再生機

無記録部分のないテープを使用してください。
途中に無記録部分や録画モードを変更している部分があると、本機で正しくAVインサートできない場合があります。
次のような場合には、AVインサートできません。

- 記録状態が悪いビデオテープを再生する
- 再生機が、早送り、巻き戻し、再生一時停止、スロー再生などの特殊再生中（アナログ入力時）

テレビ

受信状態の悪いテレビ番組など、同期信号に乱れがある場合、AVインサートはできません。

カメラモード　**再生(VTR)モード**　カードカメラモード　カード再生モード

1 **本機／再生機に撮影済みテープを入れる**

- カセットの誤消去防止つまみが録画できる状態（REC）になっていることを確認してください。

2 本機 **「再生（VTR）モード」にする**

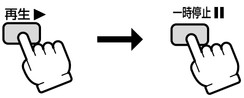
3 再生機 **再生を開始したいシーンの約3秒手前の位置で再生一時停止にする**

4 本機 **① AVインサートを開始する位置を探す**

- 再生ボタンを押して再生します。

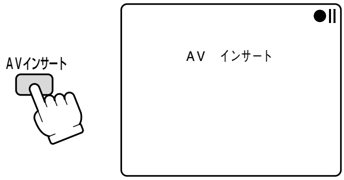
② 再生一時停止にする

- 一時停止ボタンを押します。



- 本機のAVインサートしたい場面を探すときに、特殊再生機能を使うと便利です。（📖 49、50）

5 **リモコンのAVインサートボタンを押す**



- 「AV インサート」の表示が出ます。

6 再生機 **テープを再生する**

7 本機 **AVインサートを始める**



- 再生中のテープのAVインサートを開始したい位置で、一時停止ボタンを押します。

8 本機 **AVインサートを終える**



- AVインサートを終了する位置で、停止ボタンを押します。

9 再生機 **テープを停止する**

あらかじめAVインサートを終了したい位置でゼロセットメモリーボタンを押してからAVインサートを開始すると、その位置で自動的に停止します。

撮影したテープに音声を追加する（アフレコ）

本機は、撮影したテープにあとから音声を追加することができます。CDプレーヤーなどのオーディオ機器などから録音したり（音声入力）、本機の内蔵マイク、または外部マイクを使って音声を録音します（マイク入力）。

- ❍ 本機で、SPモード、オーディオ12bitで記録したテープを使用してください。
  テープの途中に、無記録部分やLPモード、16bitで記録された部分、12bit同時4チャンネルで記録された部分があるテープでは、アフレコが中断されます。
  このような場合には、本機で、SPモード、オーディオ12bitでアナログ入力録画してからアフレコすることをおすすめします。
- ❍ アフレコするとき、または、アフレコしている間は、本機に接続しているケーブルを抜き差ししないでください。
- ❍ DV端子からのアフレコはできません。
- ❍ ほかのビデオカメラで録画されたテープでアフレコした場合、音質が劣化することがあります。
- ❍ テープの同じ場所で3回以上くり返してアフレコを行うと、音質が劣化することがあります。

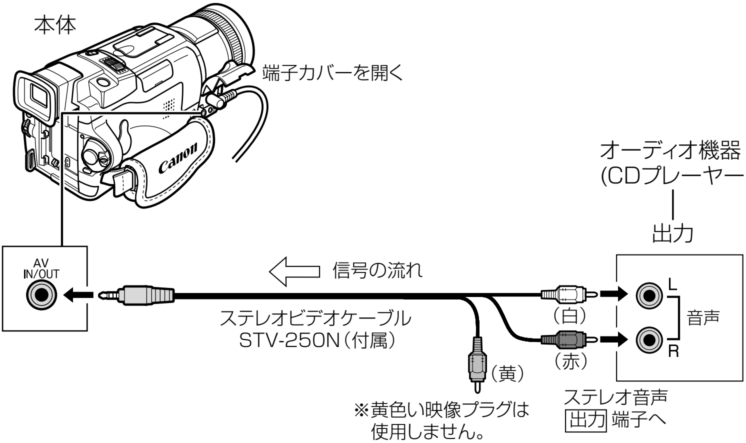
応用編

接続のしかた

① 映像／音声端子に接続してアフレコする（音声入力）

映像／音声端子から映像は出力されません。S-映像端子に接続したテレビや液晶画面で、画像を確認できます。アフレコする音声は、内蔵スピーカー、ヘッドホンやオーディオ機器で確認できます。

接続する機器の使用説明書もあわせてご覧ください。



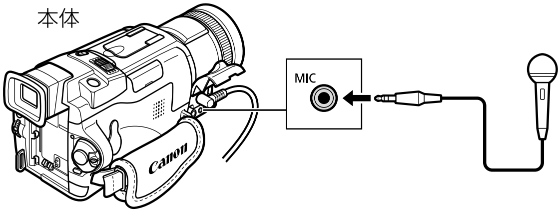
② マイクを使ってアフレコする（マイク入力）

市販の外部マイクを使うとき➡マイク端子に接続する。

内蔵マイクを使うとき➡マイク端子にはなにも接続しない。
アドバンストアクセサリーシューに指向性ステレオマイクロホンDM-50を接続しない。

DM-50を使うとき➡マイク端子になにも接続しない。

本体



S-映像端子や映像／音声端子にテレビを接続すると、映像をテレビで確認できます。音声は本機に接続したヘッドホンで確認できます。

1 本機に撮影済みカセットを入れる

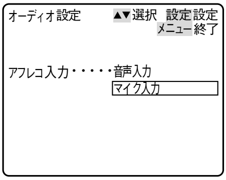
2 「再生（VTR）モード」にする

3 ① メニューを出す

- メニューボタンを押します。

② 「オーディオ設定」サブメニューから「アフレコ入力」を選び、次に「音声入力」または「マイク入力」を選ぶ（🕮 76）





③ メニューを消す

- メニューボタンを押します。

4 音声を追加する場面の開始位置を探す



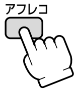
- 再生ボタンを押して再生します。
- 音声を追加する場面を探すときに、特殊再生機能を使うと便利です。（🕮 49、50）

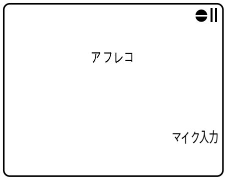
5 再生一時停止にする



- 一時停止ボタンを押します。

6 リモコンのアフレコボタンを押す





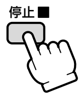
- 「アフレコ」の表示が出ます。
- 別売のマイクDM-50を接続しているときは、「 C 」の表示が出ます。

7 アフレコを始める



- 一時停止ボタンを押します。
- 「マイク入力」を選んだときは、マイクに向かって話してください。
「音声入力」を選んだときは、オーディオ機器を再生してください。

8 アフレコを終える



- アフレコを終了する位置で、停止ボタンを押します。

❍ あらかじめアフレコを終了したい位置でゼロセットメモリーボタンを押してからアフレコを開始すると、その位置で自動的に停止します。
❍ アフレコした音声を聞くときは、次ページをご覧ください。

音声を切り換える

撮影時の音声とアフレコした音声を再生する(12bit記録テープ)

アフレコしたテープを再生するときに、ステレオ1（撮影時の音声）とステレオ2（アフレコした音声）の、どちらかあるいは両方の音声を再生でき、さらに2つの音声のバランスを調整できます。

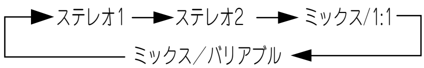
- **ステレオ1** -------------------------撮影時の音声のみ再生する
- **ステレオ2**-------------------------アフレコされた音声のみ再生する
- **ミックス／1：1** ----------------ステレオ1とステレオ2を同じバランスで再生する
- **ミックス／バリアブル** --------ステレオ1とステレオ2の音声のバランスを変えて再生する

カメラモード　**再生(VTR)モード**　|　カードカメラモード　カード再生モード



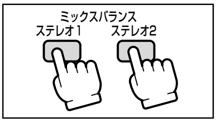
リモコンの12bit音声出力ボタンを押します。

- 選んだ音声表示が出ます。
- ボタンを押すたびに、次のように表示が変わります。



ミックス／バリアブルを選んだ場合

カメラモード　**再生(VTR)モード**　|　カードカメラモード　カード再生モード



リモコンのミックスバランス　ステレオ1、ステレオ2ボタンを押します。

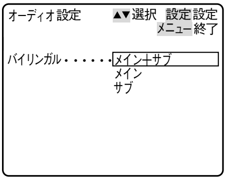
ステレオ1の音量を大きくするときは、ステレオ1ボタンを、ステレオ2の音量を大きくするときは、ステレオ2ボタンを押します。

一度調整した音声のバランスは電源を切っても憶えていますが、電源を切ると12bit音声出力は「ステレオ1」に戻ります。

二重音声で記録したテープを再生する

二重音声を記録したテープを再生するとき、必要に応じて音声を切り換えられます。

カメラモード　**再生(VTR)モード**　カードカメラモード　カード再生モード



ご購入時の設定は、「メイン＋サブ」です。
「オーディオ設定」サブメニューから「バイリンガル」を選び、次に再生される音声を選びます。（□ 76）

- 下記の表を参考にして、選びます。

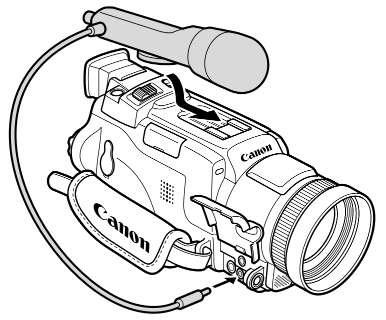
「バイリンガル」の設定	再生される音声	
	ステレオを記録したテープ	二重音声を記録したテープ
「メイン＋サブ」	ステレオ音声	主音声＋副音声
「メイン」	左音声	主音声
「サブ」	右音声	副音声

「バイリンガル」の設定は、電源を切ると「メイン+サブ」に戻ります。

市販のマイクを使う

本機のアクセサリーシューに市販のマイクを取り付けられます。

取り付けかた



❶ アクセサリーシューカバーをはずす

❷ マイクを本体に取り付ける

❸ MIC端子に接続する

❍ **静かな場所で撮影するときは**

内蔵マイクが本体の振動をひろってしまうことがあります。このような場合には、市販のマイクをお使いください。

❍ **市販のマイクを使うときには**

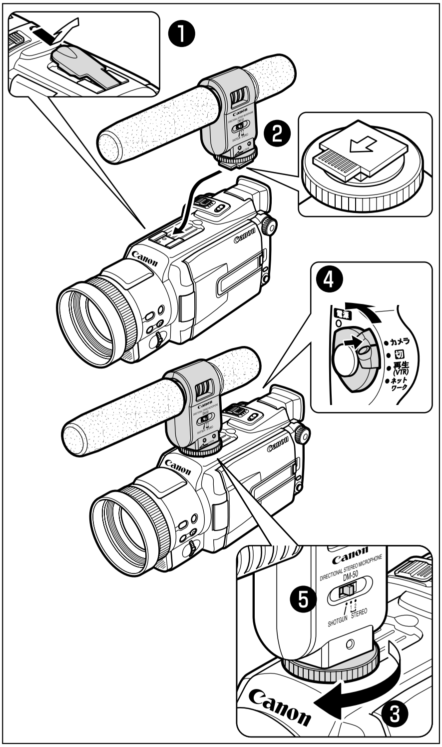
- 電源内蔵タイプのマイク（コンデンサーマイク）をご使用ください。端子がφ3.5mmのステレオマイクであれば、ほとんどのマイクを接続することが可能ですが、マイクにより音量レベルは内蔵マイクと異なります。
- 長いマイクを使うと、マイクが画面に映ることがあります。

別売のマイクDM-50を使う

本機のアドバンストアクセサリーシュー に、別売の指向性 ステレオ マイクロホンDM-50を取り付けると、撮影時だけでなく、アフレコをする（📖 121）ときも効果的な録音ができます。詳しくは、指向性 ステレオ マイクロホンの使用説明書もあわせてご覧ください。

マイクの取り付けかた

マイクを取り付け／取りはずすときは、ビデオカメラの電源を切ってください。



❶ アクセサリーシューカバーをはずす

❷ マイクをアクセサリーシューに
カチッと音がするまで差し込む

❸ 締め付けねじで固定する

確実に取り付けられていることを確認してください。

❹ 本機を「カメラモード」または
「カードカメラモード」にする

「C」（CONNECTION＝接続）の表示が出ます。

❺ マイクの切換スイッチを切り換える

- SHOTGUN（ショットガン）：
  正面の音を明瞭に記録する（モノラル記録）
  STEREO1（ステレオ１）：
  正面の音と周囲の音を適度に記録する
  STEREO2（ステレオ２）：
  ステレオ１より広く周囲の音を記録する

❍ 本機にDM-50を接続しているときは、マイク端子に他のマイクを接続しないでください。

❍ マイクを取り付けたときは、マイクを持って本機を持ち運ばないでください。

応用編

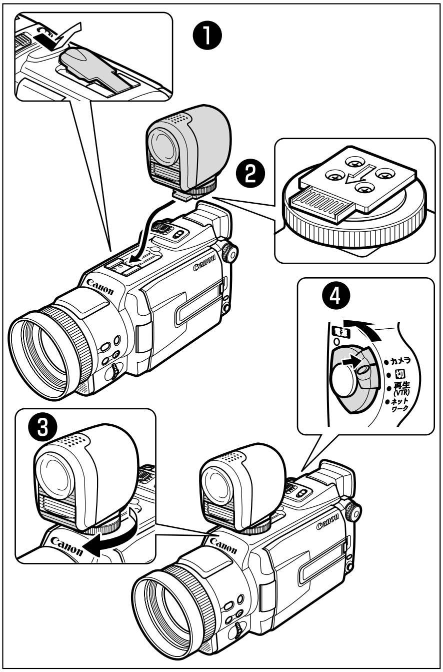
別売のビデオフラッシュライトVFL-1を使う

別売のビデオフラッシュライトVFL-1を本機のアドバンストアクセサリーシュー に取り付けます。夜や室内など、周囲が暗い場所でもきれいに撮影できます。
ビデオライトモードでは、周囲の明るさを検出して、自動的に点灯させることができます。フラッシュモードでは本機の内蔵フラッシュよりも強い光を発光でき、内蔵フラッシュと同様に設定できます。
ビデオライトは、動画、静止画で、フラッシュは静止画で使用します。
詳しくはビデオフラッシュライトの使用説明書もあわせてご覧ください。

● 本機にビデオフラッシュライトVFL-1を取り付けて、ビデオフラッシュライトの電源スイッチをOFF以外にすると、本機の内蔵フラッシュは発光しません。

ビデオフラッシュライトの取り付けかた

ビデオフラッシュライトを取り付け／取りはずすときは、ビデオカメラの電源を切ってください。



❶ アクセサリーシューカバーをはずす

❷ ビデオフラッシュライトをアクセサリーシューにカチッと音がするまで差し込む

❸ 締め付けねじで固定する
確実に取り付けられていることを確認してください。

❹ 本機を「カメラモード」または「カードカメラモード」にする

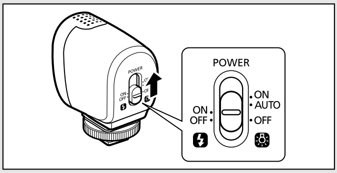
ビデオフラッシュライトを取り付けたときは、ビデオフラッシュライトを持って本機を持ち運ばないでください。

フラッシュとして使う

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生モード

● 本機に別売のビデオフラッシュライトVFL-1を取り付けて、ビデオフラッシュライトの電源スイッチを ϟ ONにしたときは、ビデオフラッシュライトが発光します。
フラッシュの設定は、内蔵フラッシュと同じです。58ページを参照ください。

ビデオフラッシュライトの電源スイッチを「ϟ ON」にする



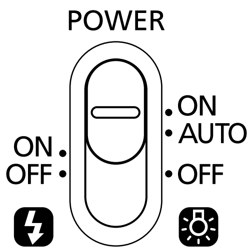
● 「C」（CONNECTION=接続）の表示が出ます。

❍ フラッシュビデオライトVFL-1のフラッシュ撮影可能距離は、約1～4m以内です。撮影条件により、距離は変わります。
❍ 被写体の明るさに応じて、フラッシュの発光量を調整します（フラッシュ調光）。フォト撮影時のフラッシュ発光（本発光）の前に、調光用の発光を行います。「赤目緩和オート」を選んでいる場合、赤目緩和用の発光と本発光の間に調光します。本発光は赤目緩和用の発光の約1秒後に発光します。

ビデオライトとして使う

ビデオフラッシュライトの電源スイッチを「ONか AUTO」にします。
「C」（CONNECTION＝接続）の表示が出ます。

ON: ビデオライトが点灯します。
AUTO： 暗くなると自動的に点灯し、明るくなると自動的に消灯します。
OFF： 点灯しません。



❍ ビデオライトの点灯中や消灯直後は、ランプの周辺は高温になっていますので、燃えやすいものを置いたり、手でさわったりしないでください。
❍ ビデオライトの点灯中、ランプを直接見ないでください。

応用編

- ビデオライトを使って撮影するときは、被写体との距離を1～2m以内にすると効果的です。
- WIDE（広角）で撮影するときにビデオライトを使用すると、画面周辺が暗くなります。
- ビデオライトを使用すると、バッテリーパックの使用時間は短くなります。予備のバッテリーパックを用意することをおすすめします。
- ビデオカメラのバッテリーパックが消耗すると、ビデオライトの明るさが変化します（故障ではありません）。
- 電源スイッチが AUTOのときに、鏡など光を反射する被写体を撮影すると、ビデオライトが点灯／消灯を繰り返すことがあります。

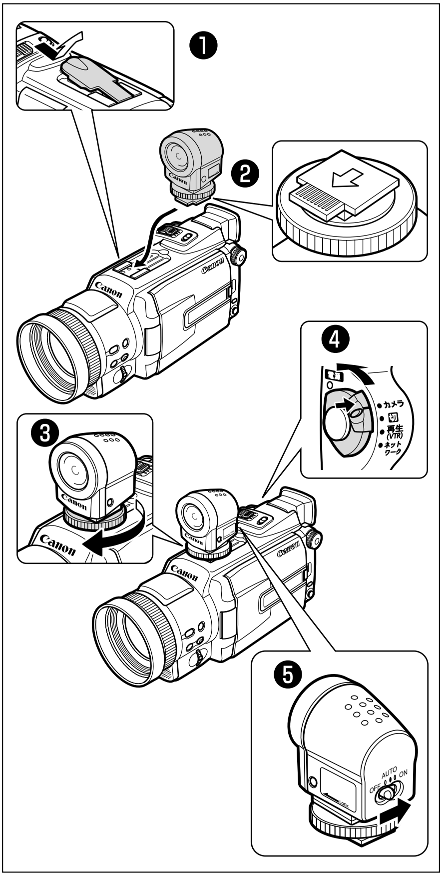
別売のビデオライトVL-3を使う

暗い室内で撮影するときは、別売のビデオライトVL-3を本機のアドバンストアクセサリーシュー に取り付けて使用すると、きれいに撮れます。ビデオライトの使用説明書もあわせてご覧ください。

● 本機にビデオライトVL-3を取り付けて、ビデオライトの電源スイッチをOFF以外にすると、本機の内蔵フラッシュは発光しません。

ビデオライトの取り付けかた

ビデオライトを取り付け／取りはずすときは、ビデオカメラの電源を切ってください。



❶ アクセサリーシューカバーをはずす

❷ ビデオライトをアクセサリーシューにカチッと音がするまで差し込む

❸ 締め付けねじで固定する

確実に取り付けられていることを確認してください。

❹ 本機を「カメラモード」または「カードカメラモード」にする

❺ ビデオライトの電源スイッチを「OFF」以外にする

- 「C」（CONNECTION＝接続）の表示が出ます。
- ON：　ビデオライトが点灯する。
  AUTO：暗くなると自動的に点灯し、明るくなると自動的に消灯する。

❍ ビデオライトの点灯中や消灯直後は、ランプの周辺は高温になっていますので、燃えやすいものを置いたり、手でさわったりしないでください。

❍ ビデオライトの点灯中、ランプを直接見ないでください。

❍ ビデオライトを取り付けたときは、ライトを持って本機を持ち運ばないでください。

別売のビデオライトVL-3を使う ーつづき

- ビデオライトを使って撮影するときは、被写体との距離を1〜2m以内にすると効果的です。
- WIDE（広角）で撮影するときにビデオライトを使用すると、画面周辺が暗くなります。
- ビデオライトを使用すると、バッテリーパックの使用時間は短くなります。予備のバッテリーパックを用意することをおすすめします。
- ビデオカメラのバッテリーパックが消耗すると、ビデオライトの明るさが変化します（故障ではありません）。
- 電源スイッチがAUTOのときに、鏡など光を反射する被写体を撮影すると、ビデオライトが点灯／消灯を繰り返すことがあります。

静止画／動画をパソコンで活用する（IEEE1394接続）

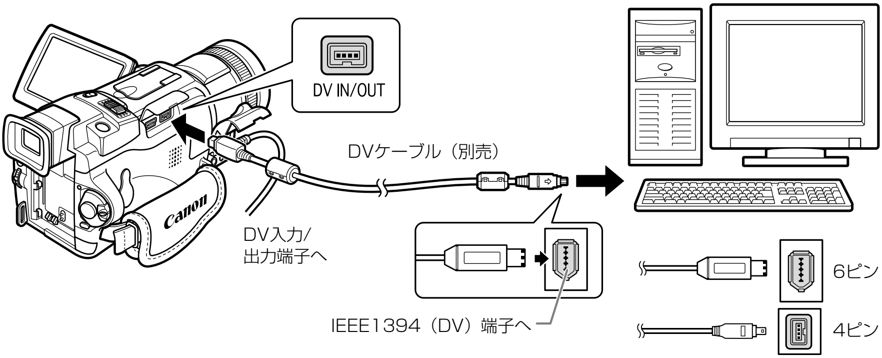
本機と、IEEE1394端子（DV）を標準で搭載しているパソコン／IEEE1394端子付きキャプチャーボードを搭載したパソコンをDVケーブルで接続すると、本機で記録した静止画／動画をパソコンに取り込むことができます。

- ❍ 使用するソフトウェア、パソコンの仕様／設定などによっては、正しく動作しないことがあります。
- ❍ メモリーカードの静止画/動画を読み出したり、カードへ書き込みしている（ビデオカメラのカード動作ランプが点滅している）ときは、つぎのことを必ず守ってください。メモリーカードのデータを破壊することがあります。
  - ・メモリーカードを出したり、メモリーカバーを開けたり、DVケーブルを絶対抜かない。
  - ・ビデオカメラやパソコンの電源を切らない。
- ❍ メモリーカードとメモリーカードからハードディスクに読み込んで保存した静止画／動画は、大切なオリジナルのデータファイルです。静止画や動画のファイルをパソコンで操作するときは、まず始めに、必ずファイルをコピーし、コピーした静止画／動画を使用してください。

- ❍ 本機とパソコンを接続したときにパソコン上でなにも操作できない場合は、DVケーブルを抜き差ししてください。それでも操作できない場合は、次の操作をしてください。
  ① 本機とパソコンからDVケーブルを抜き、本機とパソコンの電源を切る。
  ② 本機とパソコンの電源を入れて、本機とパソコンにDVケーブルを接続し直す。
- ❍ 長時間使用するため、コンパクトパワーアダプターを使って、家庭用コンセントから電源をとることをおすすめします。
- ❍ パソコンの使用説明書もあわせてご覧ください。
- ❍ テープの画像をパソコンに取り込むためには、別途ソフトウェアが必要です。ソフトウェアの使用説明書もあわせてご覧ください。
- ❍ **Windows XPをお使いの場合**
  付属のDV Network Software（DV Messenger）が使えます。詳しくはDV Network Software使用説明書をご覧ください。
- ❍ USB端子を使って、メモリーカードの静止画／動画をパソコンに取り込む場合は175ページをご覧ください。

接続のしかた

パソコンのIEEE1394（DV）端子は、4ピンと6ピンがあります。端子の形状に合わせて、別売のDVケーブルCV-150F（4ピン－4ピン）または、CV-250F（4ピン－6ピン）を使います。

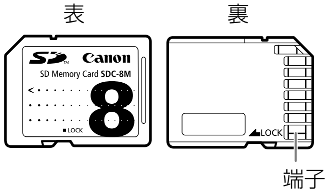


メモリーカードを入れる／出す

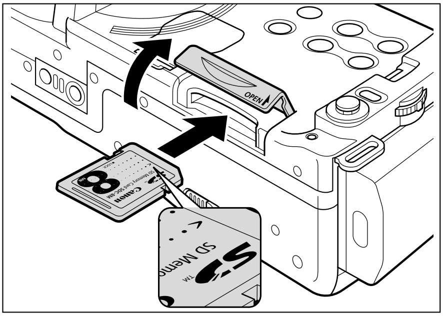
本機は、SDメモリーカード（ SD ）とマルチメディアカード専用です。

- ❍ 付属のSDメモリーカード以外のメモリーカードを使用する際には、本機でフォーマットしてください。（📖 174）
- ❍ SDメモリーカードとマルチメディアカード以外のメモリーカードは使用できません。
- ❍ メモリーカードの出し入れは、ビデオカメラの電源を切ってから行ってください。電源を切らずにメモリーカードを出し入れすると、故障の原因となることがあります。
- ❍ メモリカードの端子に触れないでください。
- ❍ 本機をパソコンと接続して使用する場合は、175ページをご覧ください。

SDメモリーカード：小型・軽量で、静止画／動画が記録できるカードです。SD（Secure Digital＝著作権保護システム）メモリーカードには、誤消去防止のつまみが付いています。
マルチメディアカード：サイズは、SDメモリーカードとほぼ同じで、本機ではSDメモリーカードと同じ場所に入れて使用できます。



メモリーカードの入れかた



❶ 電源スイッチを「切」にする

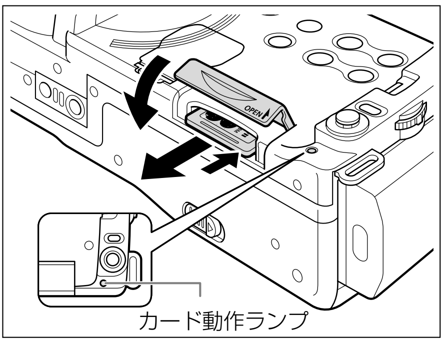
❷ カバーを開ける

❸ メモリーカードを奥までしっかり入れる

❹ カバーを閉じる
メモリーカードが正しく入っていない状態で、カバーを無理に閉じないでください。

メモリーカードの出しかた

メモリーカードを抜くときは、無理に出さないで、必ず❸の操作を行ってください。



❶ 電源スイッチを「切」にする
カード動作ランプが消えていることを確認してください。

❷ カバーを開ける

❸ メモリーカードの端を押す
メモリーカードが出てきます。

❹ メモリーカードを抜く

❺ カバーを閉じる

記録時の画質や画像サイズを選ぶ

メモリーカードに記録する静止画の画質、静止画／動画の画像サイズを選びます。

静止画画質　　　　：スーパーファイン/ファイン/ノーマル
画像サイズ　静止画：1632×1224ピクセル/1280×960ピクセル/640×480ピクセル
　　　　　　動画　：352×288ピクセル/176×144ピクセル

本機では静止画をJPEG（ジェーペグ）（Joint Photographic Experts Group）方式で圧縮して、また、動画はMPEG-4（エムペグフォー）（Moving Picture Experts Group 4）方式で圧縮して、記録します。

画質や画像サイズの設定、撮影条件や被写体により、1枚のメモリーカードに記録できる静止画の枚数や動画の記録時間は、異なります。記録できる枚数や時間の目安は次のとおりです。

静止画記録できる枚数（8MBメモリーカードの場合）

画像サイズ／画質	1632×1224		1280×960		640×480	
	記録可能枚数	1枚あたりのデータ量	記録可能枚数	1枚あたりのデータ量	記録可能枚数	1枚あたりのデータ量
スーパーファイン	約3枚	約1360KB	約5枚	約850KB	約34枚	約175KB
ファイン	約5枚	約880KB	約9枚	約550KB	約50枚	約120KB
ノーマル	約10枚	約480KB	約16枚	約300KB	約84枚	約65KB

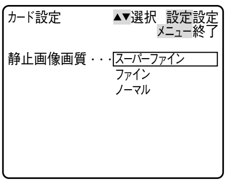
動画記録できる時間（8MBメモリーカードの場合）

画像サイズ	最大記録時間	1秒あたりのデータ量
352×288	約2分	約48KB／秒
176×144	約6分	約16KB／秒

サンプル画像が入っている付属のメモリーカードの場合は、上記の記録可能枚数よりも少なくなります。

静止画の画質を選ぶ

カメラモード　再生(VTR)モード ｜ カードカメラモード　カード再生モード



ご購入時の設定は、「ファイン」です。
「カード設定」サブメニューから「静止画像画質」を選び、画質を選びます。（📖 76）

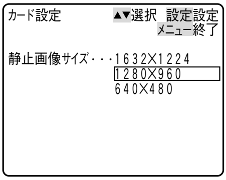
- 「スーパーファイン」に設定してメニューを終了すると、「S.ファイン」の表示が出ます。

被写体の条件によっては、画質の設定を切り換えても画質に差が現れない場合があります。

画像サイズを選ぶ

静止画の場合

カメラモード　再生(VTR)モード　**カードカメラモード**　カード再生モード

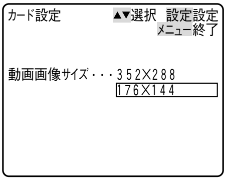


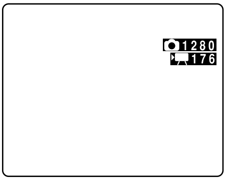
ご購入時の設定は、「1632×1224」です。
「カード設定」サブメニューから「静止画像サイズ」を選び、「1280×960」または「640×480」にします。（🕮 76）

- 「1280」または「640」の表示が出ます。

動画の場合

カメラモード　**再生(VTR)モード**　**カードカメラモード**　カード再生モード





ご購入時の設定は、「352×288」です。
「カード設定」サブメニューから「動画画像サイズ」を選び、「176×144」にします。（🕮 76）

- 「176」の表示が出ます。

本機で1632×1224／1280×960ピクセルの画像サイズで静止画を記録したとき、1632×1224／1280×960ピクセルの画像サイズで記録ができないほかのデジタルビデオ機器では、正しく再生されないことがあります。

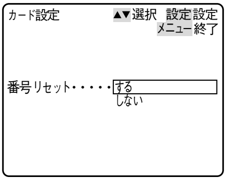
ファイル番号をリセットする

記録した静止画/動画は自動的にファイル番号が付けられ、静止画、動画それぞれ独立して、ひとつのフォルダーに100枚ずつ保存されます（静止画や動画を記録するときの条件により、枚数は変わることがあります）。
本機では、メモリーカードを換えたときファイル番号を連続して付けたり、番号をリセットしたりできます。

静止画の場合：ファイル番号0101～9900
フォルダーの番号101～998（サンプル画像が入っている付属のメモリーカードでは、サンプル画像は100canonのフォルダーに入っています）

動画の場合　：ファイル番号101～999
フォルダーの番号001～999

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　カード再生モード



ご購入時の設定は、「しない」です。
「カード設定」サブメニューから「番号リセット」を選び、「する」にします。（📖 76）

番号をリセットしない

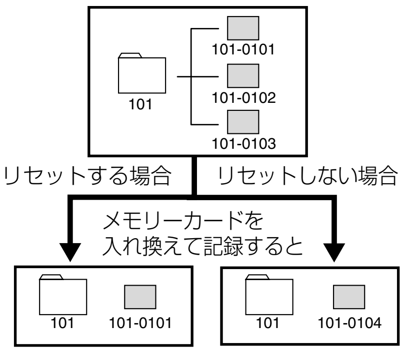
別のメモリーカードを入れ換えても、最後に記録した静止画、動画それぞれの続き番号が、静止画、動画に付けられます（メモリーカード内のファイル番号のほうが大きい場合は、その続き番号が付けられます）。
ファイル番号をリセット「しない」に設定して記録すると、記録した静止画、動画のファイル番号が重複しないため、パソコンなどでまとめて管理するときになどに便利です。
通常はリセット「しない」に設定しておくことをおすすめします。

番号をリセットする

別のメモリーカードに入れ換えると、ファイル番号がリセットされ、静止画では101-0101から、動画では001-101から始まります。すでに静止画、動画が記録されているメモリーカードを入れたときは、それぞれ続きのファイル番号になります。

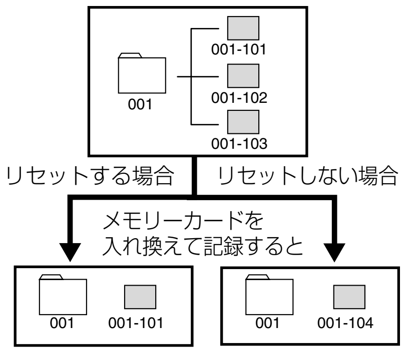
静止画

例えば、3枚記録したメモリーカード



動画

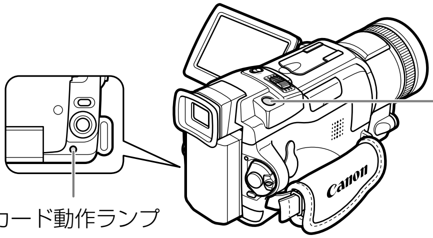
例えば、3枚記録したメモリーカード



カードを使う

静止画をメモリーカードに記録する

メモリーカードに静止画を記録します。
カメラで撮影している映像のほかに、テープに記録されている映像、映像／音声端子（アナログ入力）、DV端子から入力している映像を静止画にしてメモリーカードに記録できます。



- ❍ SDメモリーカードには、誤消去防止のつまみがついています。SDメモリーカードに静止画を記録するときには、記録できる状態になっていることを確認してください。
- ❍ 画面右上にカードの動作表示（▶ ）が出ていたり、カード動作ランプが点滅している間は、メモリーカードカバーを開けたり、メモリーカードを出したり、電源を切ったり、バッテリーパックなどの電源を取りはずさないでください。データの破損などの原因となります。

- ❍ あらかじめ、記録可能なメモリーカードを入れておいてください。
- ❍ バッテリーパックで使用していて撮影待機中は、省電のため、操作をしなくなってから約5分で電源が切れます。撮影を続けるときは、電源スイッチを一度「切」にしてから、電源を入れ直してください。電源が切れる約20秒前に、画面中央に「❗ AUTO POWER OFF」が出ます。
- ❍ メモリーカードに記録した画像はこまめにパソコンに保存することをおすすめします。

テープの映像やアナログ入力、DV入力した映像から記録する場合

- ❍ メモリーカードに記録される静止画の画像サイズは、640×480です。画質は選択できます。
- ❍ テープの映像やS-映像端子、映像／音声端子、DV端子から入力した映像の1場面を静止画としてメモリーカードに記録したときの日付／時刻が、日時としてカードに記録されます。
- ❍ 16：9で撮影した映像をメモリーカードに記録すると、縦に伸びた画像になります。
- ❍ 再生（VTR）モードでは、シャッター音はしません。

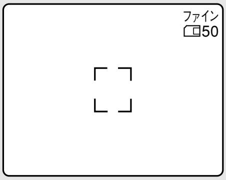
ビデオカメラで撮影している映像を記録する（フォーカス優先）

カメラモード　再生(VTR)モード　**カードカメラモード**　カード再生モード

ビデオカメラは、自動ピント合わせでは、電源スイッチがカメラになっているといつもピントを合わせ続けていますが、本機ではフォトボタンを押したときに、より正確にピント合わせを行う「フォーカス優先　入」と、そのまますぐに撮影できる「フォーカス優先　切」の2つのピント合わせが選べます。
また、「フォーカス優先」で「入」を選んでいると、画面の中に3つの枠が出ます。この3つの枠から選んだ枠のところにピントを合わせられます。狙った被写体に正確にピントを合わせたり、構図を楽しむのに便利です。
撮影モードが□（全自動）のときは、「フォーカス優先」は「入」になりますが、ピントが合う枠は画面の中心で固定になります。
ご購入時の設定は、「入」です。

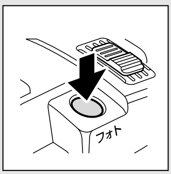
「フォーカス優先」を「入」で撮影する

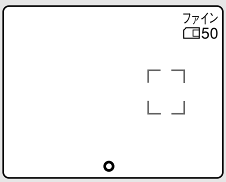
1 電源スイッチを「カメラ」にし、テープ／カード切換スイッチを「▭（カード）」にする



- 画面の中心にピントが合う白い枠が出ます。そのまま撮影すると画面の中心にピントが合います。（「ピントが合う枠を選んで撮影する」 📖 140）

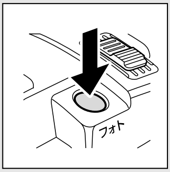
2 フォトボタンを浅く押し続ける

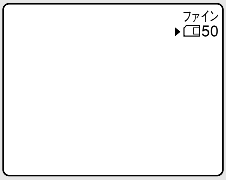




- ●が白色に点滅したあとピント調整が終わると緑色の点灯に変わります。ピントが合う枠も緑色になります。お知らせ音が2回鳴ります。
  より正確にピントを合わせるため、一時的にピントが合わなく見えることがあります。
- 露出がロックされます。
- リモコンのフォトボタンを押したときは、すぐフォト撮影が始まります。
- フォトボタンを浅く押したまま、フォーカスリングを回すと、ピントを調整できます。

3 フォトボタンを深く押す



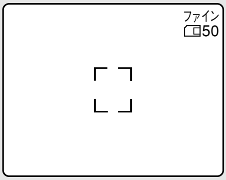


- ●マークと枠が消えます。
  カシャというシャッター音と同時にシャッターを切るように画面が一度途切れます。
- カード動作ランプが点滅し、静止画の書き込み表示が出ます。
- ボタンを押したときの静止画がメモリーカードに記録されます。
- 画面の映像も静止画になります。

2の操作の前に、セルフタイマーボタンを押してからフォトボタンを押すと、セルフタイマーで静止画像をメモリーカードに記録できます。（□ 61）

ピントが合う枠を選んで撮影する

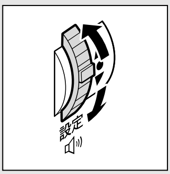
1 電源スイッチを「カメラ」にし、テープ／カード切換スイッチを「□（カード）」にする

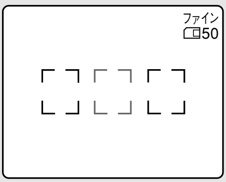


- 画面の中心にピントが合う白い枠が出ます。

2 撮影モードを□（全自動）以外にする

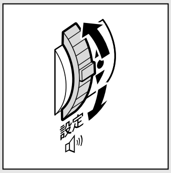
3 選択／設定ボタンを上または下に押す

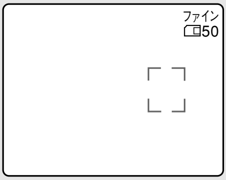




- 画面に3つの枠が出て、1つだけ緑色になります。

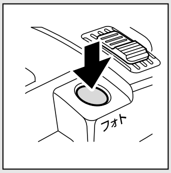
4 選択／設定ボタンを上または下に押して、ピントを合わせる枠を選ぶ

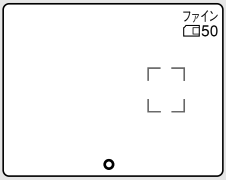




- 上に押すと緑色の枠は右方向に移動します。下に押すと左に移動します。

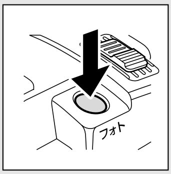
5 フォトボタンを浅く押し続ける

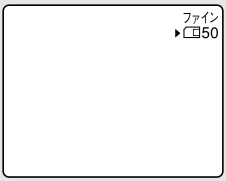




- ●が白色に点滅したあとピント調整が終わると緑色の点灯に変わり、ピントが合う枠も緑色になります。お知らせ音が2回鳴ります。
- より正確にピントを合わせるため、一時的にピントが合わなく見えることがあります。
- 露出がロックされます。
- 枠を選んで、フォトボタンを押さないと、約4秒後に選んだ枠だけが残り、白く表示されます。

6 ピントの合う枠が白から緑色（または黄色）の点灯に変わったらフォトボタンを深く押す





- ❍ ズーム、露出ロックなどの操作をすると選んでいる枠以外のピントの合う枠は消えます。
- ❍ スティッチアシストでは枠選択は動作しません。
- ❍ 5の操作で、●とAF枠が緑色の点灯に変わる前にフォトボタンを深く押すと、ピントを合わせるのに約2秒（Tvモードでシャッタースピードが 1/8秒のとき、最長4秒）かかることがあります。ピントが合うまで、メモリーカードには記録されません。

ピントが合う枠について

表示されるピントが合う枠は、ピント合わせ位置の目安です。撮影する被写体の大きさや距離によっては、表示している枠の外部にピントが合う場合があります。

フォーカス優先を「入」にしていて、自動ではピントの合いにくい被写体のときは

ピントが合いにくい被写体の場合にはピントの合う枠は黄色く点灯し、そのままピントをロックします（お知らせ音が1回鳴ります）。フォトボタンを浅く押したまま、フォーカスリングを回して、ピントを合わせることをおすすめします。フォーカスリングを回すと、ピンの合う枠が消えて、●が緑色に点灯します。

ピントが合う枠を選ぶときは

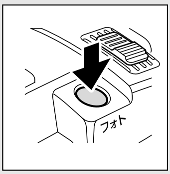
- ピントが合う枠は、カードカメラモードで、フォーカス優先「入」にしている場合のみ選べます。電源を切ったり、カードカメラモード以外にしたり、撮影モード切換スイッチを□（全自動）にしたりすると中央の枠に戻ります。
- デジタルズーム領域では、ピントが合う枠は選べません。デジタルズーム領域まで望遠にズームすると、ピントが合う枠は、4秒間点滅後、消えます。（□（全自動）モードを除く）光学ズーム領域まで広角にズームすると、ピントが合う枠が表示されます。
- フォーカス優先を「入」にしていても、ピント合わせを手動にするとピントが合う枠は選べません（枠は消えます）。
- Tvモードでシャッタースピードが1/2秒、1/4秒のスローシャッターを選んでいるときには、ピントの合う枠は選べません。ピントの合う枠は消えます。

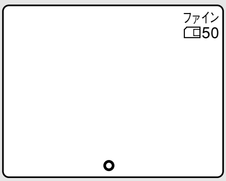
「フォーカス優先」を「切」で撮影する

「カメラ設定」サブメニューから「フォーカス優先」を選び、「切」にします。（□ 76）

1 電源スイッチを「カメラ」にし、テープ／カードド切換スイッチを「□（カード）」にする

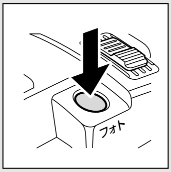
2 フォトボタンを浅く押し続ける

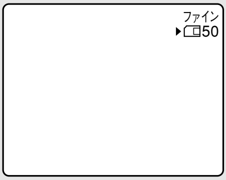




- ●が緑色に点灯し、ピントと露出がそのままロックされます。お知らせ音が2回鳴ります。
- リモコンのフォトボタンを押したときは、すぐフォト撮影が始まります。

3 フォトボタンを深く押す





- ◘マークが消えます。
  カシャというシャッター音と同時にシャッターを切るように画面が一度途切れます。
- カード動作ランプが点滅し、静止画の書き込み表示が出ます。
- ボタンを押したときの静止画がメモリーカードに記録されます。
- 画面の映像も静止画になります。

セルフタイマーボタンを押してから、フォトボタンを押すと、セルフタイマーで静止画をメモリーカードに記録できます。

被写体が明るすぎるときは
カードカメラモードのとき、被写体が明るすぎて露出オーバー（露出過度）になると、内蔵のNDフィルターを使用していることを示す「ND」が出ます。内蔵のNDフィルターを使用しても明るすぎる場合は、「EXPオーバー」の表示が点滅します。このような場合は、別売のフィルターセットFS-46UのNDフィルターを取り付けてください。

連続で撮影する（連写）

連続した静止画を、メモリーカードに記録できます。
ご購入時の設定は、「単写」です。
設定を変更するときは、メニューの「カメラ設定」サブメニューの「ドライブモード」か、カスタムキーで設定してください（📖 76）。

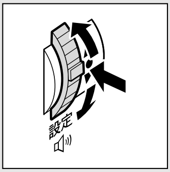
カメラモード | 再生(VTR)モード | **カードカメラモード** | カード再生モード

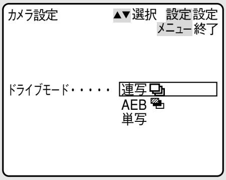
1 電源スイッチを「カメラ」にし、テープ／カード切換スイッチを「 (カード)」にする

2 メニューを出す

- メニューボタンを押すと、「カード／カメラメニュー」が出ます。

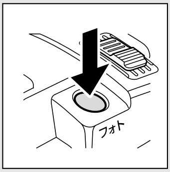
3 「カメラ設定」サブメニューから「ドライブモード」を選び、「連写 」を選ぶ





- 選択／設定ボタンで「カメラ設定」を選び、次に「ドライブモード」を選びます。続けて、「連写 」を選んだら、メニューボタンを押して、メニューを閉じます。（📖 76）

4 フォトボタンを押し続ける



- フォトボタンを押している間、静止画が連続でメモリーカードに記録されます。

1回の連写で記録できる最大枚数

静止画像サイズ	内蔵フラッシュ	1秒あたり記録枚数	可能記録枚数
1632×1224	フラッシュ発光時	約2枚	10枚
	フラッシュ未発光時		
1280×960	フラッシュ発光時	約2枚	10枚
	フラッシュ未発光時	約3枚	
640×480	フラッシュ発光時	約2枚	30枚
	フラッシュ未発光時	約3枚	

＊記録できる枚数や1秒あたりの記録枚数は、目安です。撮影条件や被写体によって変わります。また、上記の枚数が記録できる空き容量が必要です。

連写の場合、フラッシュの光量が減りますので、被写体に近づいて撮影することをおすすめします。

自動的に露出を変えて撮影する
オート エクスポージャー ブラケッティング
（AEB＝Auto Exposure Bracketing）

自動的に露出を約1/2段変えて3枚の静止画を連続撮影します（標準、暗め、明るめ）。最適な露出の静止画を簡単に選べます。
ご購入時の設定は、「単写」です。
設定を変更するときは、メニューの「カメラ設定」サブメニューの「ドライブモード」か、カスタムキーで設定してください（ 76）。

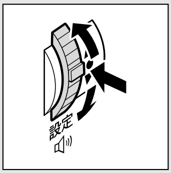
カメラモード ｜ 再生(VTR)モード ｜ **カードカメラモード** ｜ カード再生モード

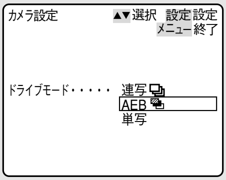
1 電源スイッチを「カメラ」にし、テープ／カード切換スイッチを「 （カード）」にする

2 メニューを出す

● メニューボタンを押すと、「カード／カメラメニュー」が出ます。

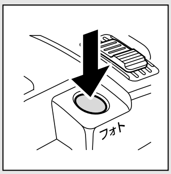
3 「カメラ設定」サブメニューから「ドライブモード」を選び、「AEB 」を選ぶ





● 選択／設定ボタンで「カメラ設定」を選び、次に「ドライブモード」を選びます。続けて、「AEB 」を選んだら、メニューボタンを押して、メニューを閉じます。（ 76）

4 フォトボタンを押す



● 露出を変えた3枚の静止画が自動的にメモリーカードに記録されます。

❍ AEBではフラッシュは使用できません。
❍ 3枚連続して記録されますので、メモリーカードに十分な空き容量があることを確認してください。

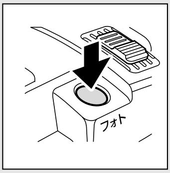
テープの映像を静止画としてメモリーカードに記録する

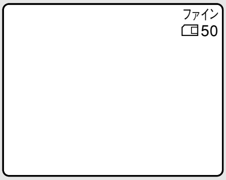
テープに記録した静止画を自動記録するときは「テープの静止画をメモリーカードにコピーする」（🕮 172）をご覧ください。

カメラモード　**再生(VTR)モード**　カードカメラモード　カード再生モード

1 テープ再生中

フォトボタンを浅く押し続ける

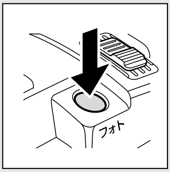


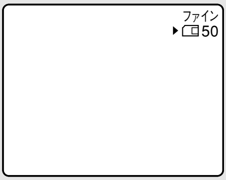


- 画面に記録可能枚数などのメモリーカードの情報が表示され、静止画再生（再生一時停止）になります。
- リモコンのフォトボタンを押したときは、すぐにフォト撮影が始まります。

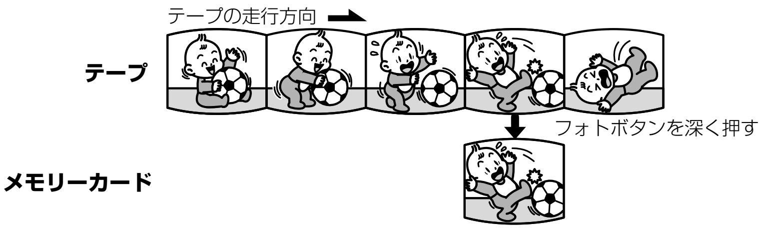
2

フォトボタンを深く押す





- カード動作ランプが点滅します。
- 画面に出ている静止画がメモリーカードに記録されます。
- 再生一時停止中にフォトボタンを深く押しても、静止画を記録できます。



映像／音声端子（アナログ入力）やDV端子から入力する映像を静止画としてメモリーカードに記録する

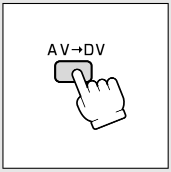
S-映像端子、映像／音声端子に接続したほかのビデオやテレビ番組やDV端子に接続したデジタルビデオ機器からの映像を静止画にして、メモリーカードに記録できます。接続のしかたなどは113、115ページをご覧ください。

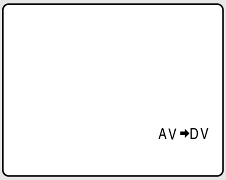
カメラモード　**再生(VTR)モード**　カードカメラモード　カード再生モード

1 電源スイッチを「再生（VTR)」にし、テープ／カード切換スイッチを「📼（テープ)」にする

- カセットが入っているときは、停止ボタンを押して停止状態にしてください。

2「AV入力→DV出力」の設定を確認する

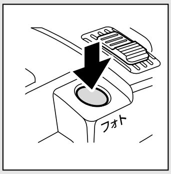


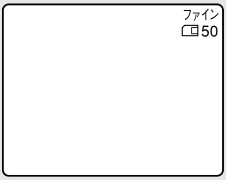


- **アナログ入力（S-映像端子や映像／音声端子を使う）の場合：**「入」にします。（画面に「AV→DV」が出ます。📖117）
  DV入力（DV端子を使う）の場合：「切」にします。（画面に「AV→DV」が出ません。）

3 接続したビデオ機器の電源を入れ、再生する

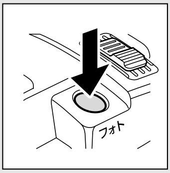
4 フォトボタンを浅く押し続ける

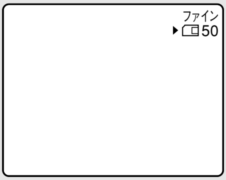




- 画面が静止画になり、画面に記録可能枚数などのメモリーカードの情報が表示されます。
- リモコンのフォトボタンを押したときは、すぐにフォト撮影が始まります。

5 フォトボタンを深く押す





- カード動作ランプが点滅します。
- 画面に出ている静止画が、メモリーカードに記録されます。

動画をテープに撮影中に静止画をメモリーカードに記録する

動画をテープに撮影中にフォトボタンを押すことで、テープに記録している映像を同時にメモリーカードに静止画で記録できます。

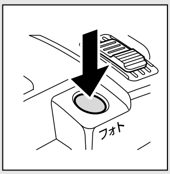
- 動画と同時に記録するときの静止画の画像サイズは、640×480です。
- カメラモードでメモリーカードに記録すると、カードカメラモードで640×480で記録するときより、画質は劣ります。

「フォト記録」のご購入時の設定は、「テープ 」です。

カメラモード | 再生(VTR)モード | カードカメラモード | カード再生モード

1 「カメラ設定」サブメニューから「フォト記録」を選び、「カード 」にする

2 動画撮影中 フォトボタンを深く押す



- 画面は動画のまま静止画がメモリーカードに記録されます。

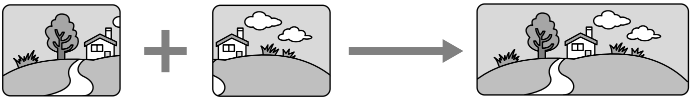
❍ カードミックスは使用できません。
❍ フェード、デジタルエフェクト、マルチ画面の実行中はメモリーカードに記録できません。
❍ 動画をテープに撮影中に、フォトボタンを浅く押してもお知らせ音はなりません。
❍ 16：9を「入」にしていると、メモリーカードには記録できません。

パノラマ写真を撮る（スティッチアシスト）

撮影した静止画を付属のDigital Video Softwareに入っているソフトウェア（PhotoStitch）を使ってパソコンでつなぎ合わせて（スティッチ）、パノラマ写真を作成できます。

撮影する

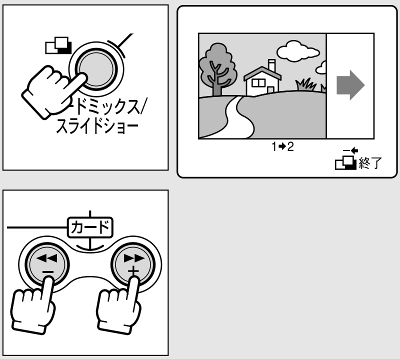
パソコンで静止画をつなぎ合わせるときは、隣の静止画にある同じ被写体を探し出して重ね合わせます。重ね合わせやすいように特徴のある被写体（目印になる被写体）を入れて撮影してください。



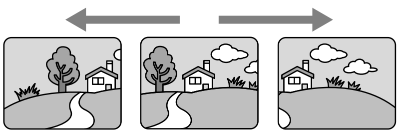
カメラモード　再生(VTR)モード　**カードカメラモード**　カード再生モード

1 電源スイッチを「カメラ」にし、テープ／カード切換スイッチを「　（カード）」にする

2 スティッチアシスト画面を出す



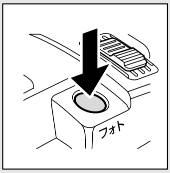
- （スティッチアシスト）ボタンを押します。
- カード ＋ ／ － ボタンで撮影方向を選びます。
  ＋ ボタンを押す→右方向（時計回り）
  － ボタンを押す→左方向（反時計回り）

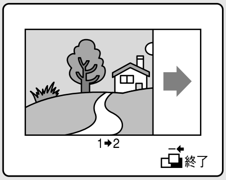


3 撮影モード、ズームを被写体に合わせて設定する

- 必要なときは手動ピント合わせ、露出補正も操作します。
- 2枚目以降の撮影では、撮影モード、ズーム、露出補正の設定は操作できません。

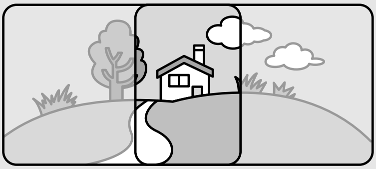
4 最初の静止画を撮影する





- フォトボタンを押します。

5 撮影した静止画と一部が重なるように、次の静止画を撮影する



- 重なる部分は多少ずれても、パソコンでつなぎ合わせるときに修整されます。
- カード ━ ボタンを押すと撮影した静止画に戻りますので、撮影し直せます。（左方向に撮影しているときは、カード ✚ ボタンを押してください。）
- 最大26枚まで撮影できます。
- 撮影が終わったら、スティッチアシストボタンを押します。スティッチアシスト画面が消えます。
- パノラマ写真の作成のしかたについては、付属のDigital Video Software使用説明書をご覧ください。

❍ 静止画の重なる部分は、画面の幅の30%～50%にします。また、上下のズレは、画面の上下の10%以内であれば、自動修整できます。
❍ 重なる部分には動いている被写体が入らないようにしてください。
❍ 被写体が遠くにある静止画と近くにある静止画を合成すると、合成画像がゆがんだり、被写体が二重になることがあります。

動画をメモリーカードに記録する

メモリーカードにMPEG-4方式で動画を記録します。パソコンに取り込んで、パソコンで再生したり、電子メールに添付して送付できます（電子メールに添付するときは1MB以内（352×288では約20秒、176×144で約60秒）をおすすめします）。ビデオカメラで撮影している映像のほかに、テープに記録されている映像をメモリーカードに記録できます。
メモリーカードに動画を記録すると、音声はモノラルになります。

- ビデオカメラで撮影している映像を動画でメモリーカードに記録するときもピントの合う枠は選べます。

❍ SDメモリーカードには、誤消去防止のつまみがついています。SDメモリーカードに動画を記録するときは、記録できる状態になっていることを確認してください。
❍ 画面右上にカードの動作表示（▶ ）が出ていたり、カード動作ランプが点滅している間は、メモリーカードカバーを開けたり、メモリーカードを出したり、電源を切ったり、バッテリーパックなどの電源を取りはずさないでください。データの破損などの原因となります。
❍ メモリーカードへの記録中は、カセットを出し入れしないでください。

❍ あらかじめ、記録可能なメモリーカードを入れておいてください。
❍ 映像/音声端子(アナログ入力)やDV端子から入力する映像はMPEG-4動画でメモリーカードに記録できません。
❍ メモリーカードに記録した画像はこまめにパソコンに保存することをおすすめします。

テープの映像を記録する場合

❍ テープの映像をメモリーカードに記録開始したときの日付／時刻が、日時としてカードに記録されます。
❍ 16：9で撮影した動画をメモリーカードに記録すると、縦に伸びた画像になります。
❍ テープの途中に、オーディオモード（16bit／12bit）を切り換えて記録した部分や無記録部分があるテープでは、MPEG-4動画記録は中断されます。

ビデオカメラで撮影している映像をメモリーカードに記録する

カメラモード　再生(VTR)モード　**カードカメラモード**　カード再生モード

1 電源スイッチを「カメラ」にし、テープ／カード切換スイッチを「 （カード）」にする

2 メモリーカードに記録する



- スタート／ストップボタンを押します。
- メモリーカードがいっぱいになるまで記録できます。
「カードがいっぱいです」が出ます。
- 記録途中でスタート／ストップボタンを押すと、撮影は停止します。

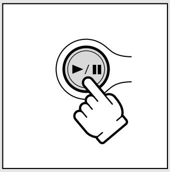
2の操作の前に、セルフタイマーボタンを押してからスタート／ストップボタンを押すと、セルフタイマーで動画をメモリーカードに記録できます。（📖 61）

テープの映像をメモリーカードに記録する

カメラモード　**再生(VTR)モード**　｜　カードカメラモード　カード再生モード

1 電源スイッチを「再生（VTR）」にし、テープ／カード切換スイッチを「（テープ）」にする

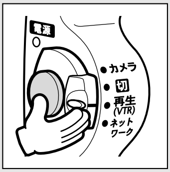
2 テープを再生する



- 再生ボタンを押します。

3 再生中

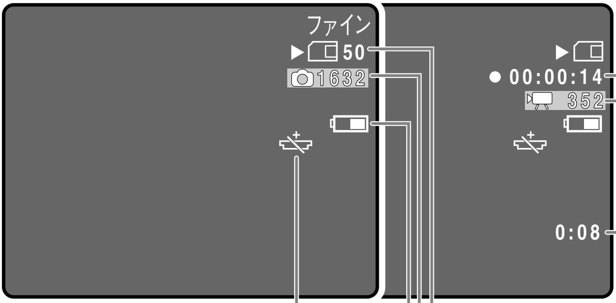
メモリーカードに記録する



- スタート／ストップボタンを押します。
- メモリーカードがいっぱいになるまで記録できます。
  いっぱいになると「カードがいっぱいです」が出ます。
- 記録途中でスタート／ストップボタンを押すと記録は停止します。
- 再生一時停止中にスタート／ストップボタンを押すと再生が始まり、動画が記録できます。

カード記録中の画面表示について

静止画　　動画



「」の点滅

コイン型リチウム電池が入っていなかったり、電池の容量が低下すると、「」が赤く点滅します。新しいコイン型リチウム電池と交換してください。
交換用のコイン型リチウム電池は、CR2025タイプをお使いください。

バッテリーパックの残量表示

バッテリーパックの残量の目安を表示します。



- バッテリーパックが消耗すると「」が赤く点滅します。充電したバッテリーパックと交換してください。
- 消耗したバッテリーパックを装着すると、電源が入らなかったり、「」が出ずに、切れたりすることがあります。
- 残量と表示内容はビデオカメラ、バッテリーパックの状態により必ずしも一致しません。

画像サイズ表示

：静止画の画像サイズ

画像サイズ表示

：動画の画像サイズ

記録可能枚数表示

記録可能枚数6枚以上：　6 緑色表示
記録可能枚数1～5枚：　5 黄色表示*
記録可能枚数0枚：　0 赤色表示*

* カード再生時はすべて緑色表示になります。

- 記録可能枚数表示は、記録時の状況により、一定ではありません。記録しても、枚数表示が減らなかったり、1回の記録で2枚減ることがあります。

「」の点滅

メモリーカードが入っていないときに、赤色に点滅します。

「▶」書き込み表示

画像をメモリーカードに書き込んでいるときに表示します。

カード動画記録可能時間

記録可能な時間、分が表示されます。
1分以下になると10秒単位で減ります。
10秒以下では、1秒単位で減ります。

- 記録可能時間表示は、記録時の状況により一定ではありません。記録時間が実際の時間より早く減ったり、遅く減ったりすることがあります。

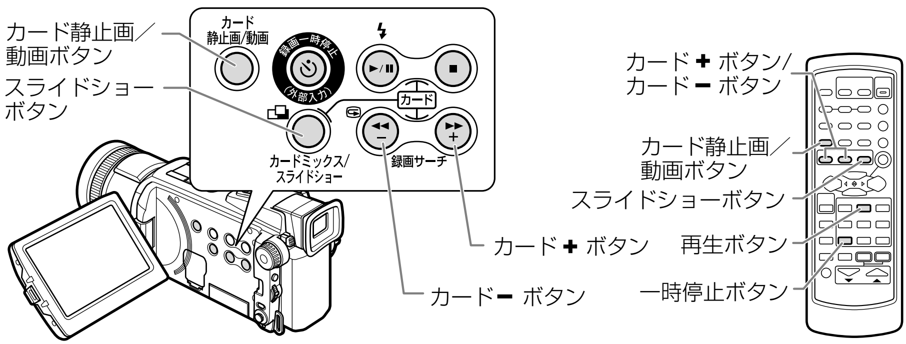
カード動画の記録時間

メモリーカードを再生する

メモリーカードに記録した静止画／動画は液晶画面やビューファインダー、接続したテレビなどで見られます。（テレビとの接続について 📖 53）
本機では、静止画／動画を1枚ずつ見たり、連続して順番に見たり（スライドショー）、6枚を1度に見たり（インデックス画面）できます。さらに、見たい静止画／動画をすばやく探し出せるカードジャンプ機能があります。
また、画面の一部を拡大して見ることもできます（カード動画再生時は除く）。（📖 102）

- ❍ パソコンで作成／加工した静止画をメモリーカードに書き込んだり、本機で記録した静止画／動画をパソコンで直接加工したり、ファイル名を変更した場合、本機で再生できなくなる場合があります。
- ❍ 本機以外のビデオカメラなどで静止画／動画を記録したメモリーカードを、本機に入れた場合、正しく再生されなかったり、静止画がダイレクトプリント対応のプリンターで正しく印刷されないことがあります。
- ❍ 画面右上にカードの動作表示（▶ ）が出ていたり、カード動作ランプが点滅している間は、メモリーカードカバーを開けたり、電源を切ったり、バッテリーパックなどの電源を取りはずさないでください。データの破損などの原因となります。

- ❍ あらかじめ、静止画／動画を記録したメモリーカードを入れておいてください。
- ❍ カード再生モードでは、データコードは日付／時刻のみの表示になります。
- ❍ 本機で記録したカード動画はMPEG-4形式です。
- ❍ 本機以外のキヤノン製デジタルビデオカメラでMotion（モーション） JPEG（ジェイペグ）形式で記録した動画は、本機では、カード静止画再生モードで再生します（画像に が付きます）。再生するときは▶/❚❚ボタンを押します。Motion JPEG動画では、■ボタンは使用できません。
- ❍ 本機以外で記録した静止画、動画は正しく再生できないことがあります。



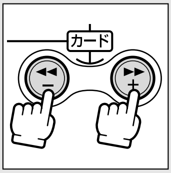
静止画を1枚ずつ見る

カメラモード | 再生(VTR)モード | カードカメラモード | **カード再生モード**

1 電源スイッチを「再生（VTR）」にし、テープ／カード切換スイッチを「▭（カード）」にする

- 青い画面の後に、最後に記録した静止画が出ます。

2 静止画を選ぶ



- 前の静止画を見るときはカード－、次の静止画を見るときは＋ボタンを押します。
- 最後の静止画で＋ボタンを押すと最初の静止画が出ます。
- 最初の静止画で－ボタンを押すと最後の静止画が出ます。

動画を1つずつ見る

カメラモード | 再生(VTR)モード | カードカメラモード | **カード再生モード**

1 電源スイッチを「再生（VTR）」にし、テープ／カード切換スイッチを「▭（カード）」にする

- 最後に記録した静止画が出ます。

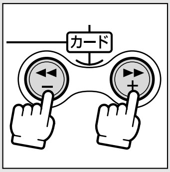
2 カード静止画／動画ボタンを押す

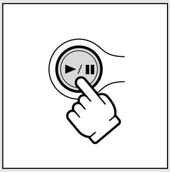


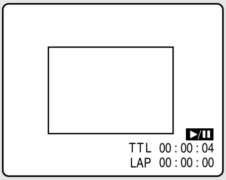
- 最後に記録した動画が黒い画面の中に出ます。
  最初の場面が、静止画で表示されます。
- カード動画再生モードでカード静止画／動画ボタンを押すと、カード静止画再生モードに戻ります。

カードを使う

3 動画を選ぶ





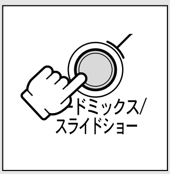


- 前の動画を見るときはカード━、次の動画を見るときは✚ボタンを押します。
- 最後の動画で✚ボタンを押すと最初の動画が出ます。
- 最初の動画で━ボタンを押すと最後の動画が出ます。
- ▶/❚❚ボタンを押すと、動画の再生になり、再生が終ると最初の場面で静止画になります。再生の途中で、▶/❚❚ボタンを押すと、その場面で再生一時停止になり、もう一度▶/❚❚ボタンを押すと、動画再生になります。再生中に■停止ボタンを押すとその動画の最初の場面に戻ります。
- 再生中にカード✚ボタンを押すと、押している間だけ8倍の正方向早送り再生になります。カード━ボタンを押すと、押している間だけ8倍の逆方向早送り再生になります。

静止画／動画を順番に再生する（スライドショー）

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　**カード再生モード**

1 スライドショーボタンを押す



動画を見るときはカード動画再生モードにする

- 出ている静止画／動画から順番に再生します。

スライドショーを止めるとき

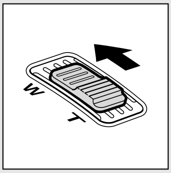
スライドショーボタンを押します。スライドショーボタンを押すたびに切り換わります。
カード動画再生モードでは、■停止ボタンを押してもスライドショーは停止します。

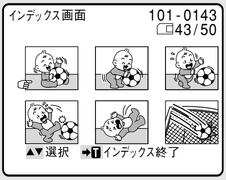
インデックス画面で静止画／動画を選ぶ

最大6つの静止画／動画が表示されますので、目的の静止画／動画をすばやく探し出せます。
ここでは、カード静止画再生モードの画面で説明しています。

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　**カード再生モード**

1 静止画／動画再生中
インデックス画面にする

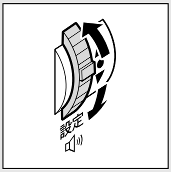


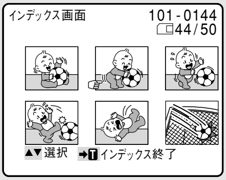


動画を見るときはカード動画再生モードにする

- ズームレバーをW側に押します。
- 6つの静止画／動画が出るインデックス画面になります。
- カード動画再生モードでは画面に ▶/II が出ているときにインデックス画面に切り換えられます。

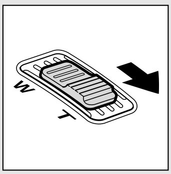
2 静止画／動画を選ぶ





- 選択／設定ボタンを上または下に押して「☞」を選択する静止画／動画に合わせます。
- 選択／設定ボタンを上に押すと、「☞」がひとつ先の静止画／動画に進みます。
  選択／設定ボタンを下に押すと、「☞」がひとつ前の静止画／動画に戻ります。
- インデックス画面の最後の静止画／動画で選択／設定ボタンを上に押すと、次の画面になります。
  インデックス画面の最初の静止画／動画で選択／設定ボタンを下に押すと、前の画面になります。
- カード＋／－ボタンでインデックス画面を切り換えられます。
  －：前のインデックス画面を見ます。
  ＋：次のインデックス画面を見ます。

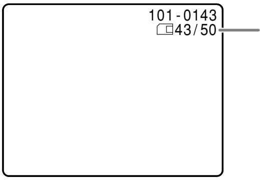
3 選んだ静止画／動画を出す



- ズームレバーをT側に引くと、インデックス画面が終了し、選んだ1枚の静止画／動画が画面に出ます。

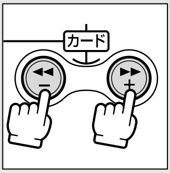
静止画／動画をすばやく探し出す（カードジャンプ機能）

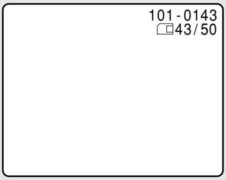
一枚ずつ再生せずに、離れた静止画／動画まで一気にジャンプできます。
カード再生モード時の画面の右上に出る数字は、記録した静止画／動画の合計枚数（全枚数）と再生している静止画／動画が何枚目になるか（表示番号）を表しています。



カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　**カード再生モード**

1 カード＋／ーボタンを押し続ける





動画を見るときはカード動画再生モードにする

- 画面に出ている静止画／動画より、前に記録した静止画／動画を見たいときはカード－、後の場合はカード＋ボタンを押します。
- ボタンを離すと、表示番号の静止画／動画が画面に出ます。
- カード動画再生モードでは画面に ▶/II が出ているときにカードジャンプ機能が使用できます。

静止画／動画を消去しないようにする（プロテクト）

大切な静止画／動画を誤って消去しないようにするために、静止画／動画に誤消去防止（プロテクト）の設定ができます。
静止画／動画のプロテクトの設定と解除のしかたは、次のとおりです。

① 静止画／動画を見ながらプロテクトする ➡「画像設定」メニュー

② インデックス画面を見ながらプロテクトする ➡「カード実行」サブメニュー

* 動画は、最初の場面が静止画で表示されているときにプロテクトを設定できます。動画再生中／再生一時停止中は、設定できません。

プロテクト設定をしても、メモリーカードをフォーマットするとすべての静止画と動画は消去されます。

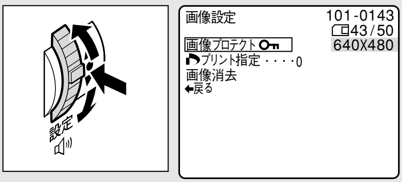
- あらかじめ、静止画／動画を記録したメモリーカードを入れておいてください。
- 付属のメモリーカードに入っているサンプル画像は、プロテクト設定がされています。

① 静止画／動画を見ながらプロテクトする

ここでは、カード静止画再生モードの画面で説明しています。
カード動画再生モードでは「プリント指定」は表示されません。

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　**カード再生モード**

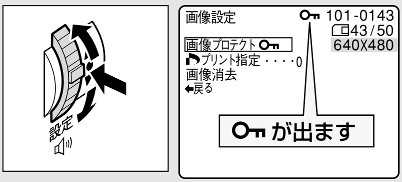
1 選択／設定ボタンを押す



動画をプロテクト設定するときはカード動画再生モードにする

- 「画像設定」メニューが出ます。
- 「⬅戻る」を選ぶと、メニューが消えます。
- カード動画再生モードでは画面に ▶/II が出ているときにプロテクト設定できます。

2 「画像プロテクト」を選ぶ



- 選択／設定ボタンで「画像プロテクト」を選び、選択／設定ボタンをまっすぐ押すと「」が出て、消去できなくなります。もう一度押すと、解除できます。
- 「⬅戻る」を選ぶと、メニューが消えます。

プロテクトを解除する（消去可能にする）とき

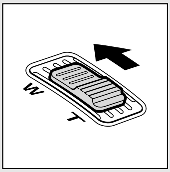
プロテクト設定されている静止画／動画を選びます。2の操作で選択／設定ボタンを押すと、「」が消えて、消去可能になります。

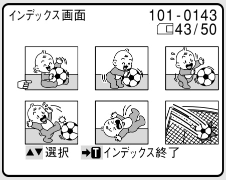
② インデックス画面で静止画／動画をプロテクトする

ここでは、カード静止画再生モードの画面で説明しています。
カード動画再生モードでは「プリント指定」は表示されません。

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　**カード再生モード**

1 インデックス画面にする





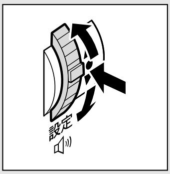
動画をプロテクト設定するときはカード動画再生モードにする

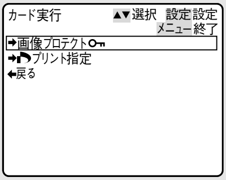
- ズームレバーをW側に押します。
- 6つの静止画／動画が出るインデックス画面になります。
- プロテクトする静止画／動画を選びます。（「インデックス画面で静止画／動画を選ぶ」操作2 📖 157）
- カード動画再生モードでは画面に ▶/II が出ているときにインデックス画面に切り換えられます。

2 メニューを出す

- メニューボタンを押すと、「カード再生　メニュー」が出ます。

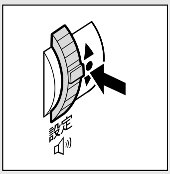
3「カード実行」サブメニューから「➡画像プロテクト」を選ぶ

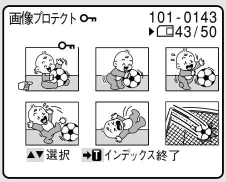




- 選択／設定ボタンで「カード実行」を選び、次に「➡画像プロテクト」を選びます。（📖 76）

4 プロテクトする





- 選択／設定ボタンをまっすぐ押すと、「」が出て、消去できなくなります。もう一度押すと、解除できます。
- 選択／設定ボタンを操作すると、他の静止画／動画を選べます。
- メニューボタンを押すと、通常のインデックス画面に戻ります。

プロテクトを解除する（消去可能にする）とき

プロテクト設定されている静止画／動画を選びます。1〜3の操作で選択／設定ボタンを押すとが消え、消去可能になります。

静止画／動画を消す（消去）

不要になった静止画／動画を消去できます。静止画／動画を1枚消去したり、すべての静止画または動画を一度に消去したりできます。

- カード静止画再生モードで全消去の操作をすると、静止画がすべて消去されます。
  カード動画再生モードで全消去の操作をすると、動画がすべて消去されます。

静止画／動画の消去のしかたは、次のとおりです。

① 静止画／動画を1枚消去する ➡「画像設定」メニュー
② 静止画／動画を1枚消去／全消去する ➡「カード実行」サブメニュー

* 動画は、最初の場面が静止画で表示されているときに消去できます。動画再生中/再生一時停止中は、消去できません。

一度消去した静止画／動画はもとに戻せません。消去する前に静止画／動画を確認してください。

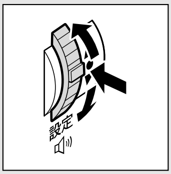
❍ あらかじめ、静止画／動画を記録したメモリーカードを入れておいてください。
❍ プロテクト設定している静止画／動画（付属のメモリーカードに入っているサンプル画像を含む）は消去できません。

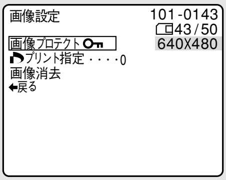
① 静止画／動画を見ながら1枚消去する

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　**カード再生モード**

ここでは、カード静止画再生モードの画面で説明しています。
カード動画再生モードでは「 プリント指定」は表示されません。

1 選択／設定ボタンを押す

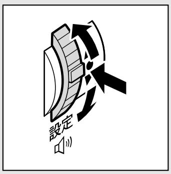


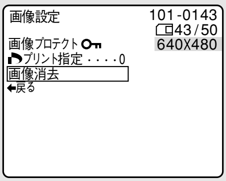


動画を消去するときはカード動画再生モードにする

- 「画像設定」メニューが出ます。
- カード動画再生モードでは画面に ▶/II が出ているときに消去できます。

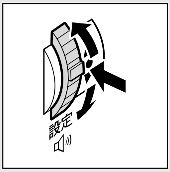
2 「画像消去」を選ぶ

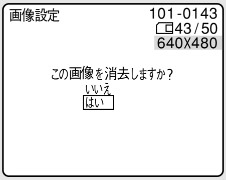


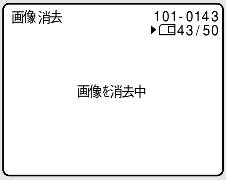


- 選択／設定ボタンで「画像消去」を選び、選択／設定ボタンをまっすぐ押します。

3「はい」を選び、消去する







- 「はい」と「いいえ」の選択画面になります。
- 選択／設定ボタンをまっすぐ押すと、静止画／動画が消去されます。
- 消去した静止画／動画の1つ後の静止画／動画が出ます。

- 「⬅戻る」を選ぶと、メニューが消えます。

② 静止画／動画を1枚消去、または全消去する

ここでは、1枚消去を行う場合の画面で説明しています。

- カード静止画再生モードで全消去の操作をすると、静止画がすべて消去されます。
  カード動画再生モードで全消去の操作をすると、動画がすべて消去されます。

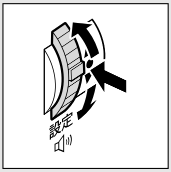
ここでは、カード静止画再生モードの画面で説明しています。
カード動画再生モードでは「コピー［□→▭］」と「プリント指定全消去」は表示されません。

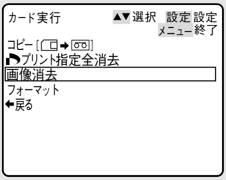
カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　**カード再生モード**

1 メニューを出す

- カード動画再生モードでは画面に ▶/II が出ているときに消去できます。
- 1枚消去をする場合は、インデックス画面やカードジャンプ機能などを使って消去する静止画／動画を選びます。インデックス画面を使った場合は、静止画／動画を選んだ後にインデックス画面を終了し、1枚表示にします。
- メニューボタンを押すと、「カード再生　メニュー」が出ます。

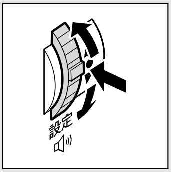
2 「カード実行」サブメニューから「画像消去」を選ぶ

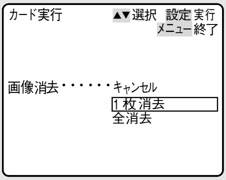




- 選択／設定ボタンで「カード実行」を選び、次に「画像消去」を選びます。（📖 76）

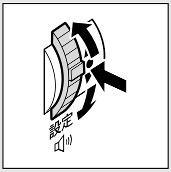
3 「1枚消去」または「全消去」を選ぶ

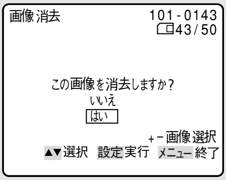


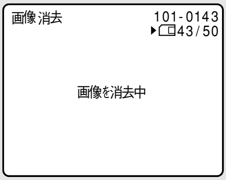


- 誤って「画像消去」の項目を選んでしまったときなど、画像消去しないときは「キャンセル」を選んで、選択／設定ボタンをまっすぐ押してください。

4 「はい」を選び、消去する







- 「いいえ」と「はい」の選択画面になります。
- 1枚消去の場合：選択／設定ボタンをまっすぐ押すと、選んだ静止画／動画が消去されます。
  続けて別の静止画／動画を消去するときは、カード＋／－ボタンで消去したい静止画／動画を選びます。次に「はい」を選び、選択／設定ボタンをまっすぐ押すと、選んだ静止画／動画が消去されます。
  消去が終了すると、「はい」と「いいえ」の選択画面に戻ります。メニューボタンを押すと、メニューが消えます。
- 全消去の場合：選択／設定ボタンをまっすぐ押すと、🔑（プロテクトした）画像を除いたすべての静止画または動画が消去されます。
  消去が終了すると、「カード実行」サブメニューに戻ります。
- 「いいえ」を選ぶと、「キャンセル」、「1枚消去」、「全消去」の選択画面に戻ります。

印刷したい静止画を指定する（プリント指定）

メモリーカードに記録した静止画の中から、印刷したい静止画や印刷する枚数を指定できます。本機は印刷フォーマットのDPOF（Digital Print Order Format）に対応しています。キヤノンのカメラダイレクト対応のプリンターやPictBridge対応のプリンターで自動印刷できます。
プリント指定のしかたと消去のしかたは、次のとおりです。

プリント指定をする／消去する

① 静止画を見ながらプリント指定する ➡「画像設定」メニュー

② インデックス画面を見ながらプリント指定する ➡「カード実行」サブメニュー

すべてのプリント指定を消去する

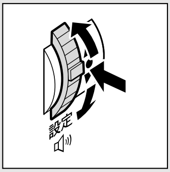
③ 静止画を見ながらプリント指定を消去する ➡「カード実行」サブメニュー

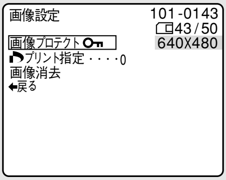
- あらかじめ、静止画を記録したメモリーカードを入れておいてください。
- 動画にはプリント指定できません。
- プリント指定は、最大200枚の静止画まで設定できます。

① 静止画を見ながらプリント指定をする

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　**カード再生モード**

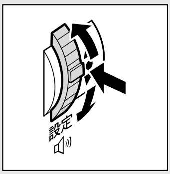
1 選択／設定ボタンを押す

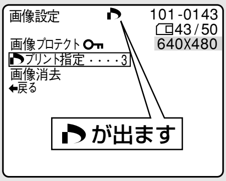




- 「画像設定」メニューが出ます。
- 「⬅戻る」を選ぶと、メニューが消えます。

2「プリント指定」を選ぶ





- 選択／設定ボタンを押すと枚数が選べます。選択／設定ボタンで枚数（1枚以上）を選ぶと、「」が出ます。
- 選択／設定ボタンを押します。
- 「⬅戻る」を選ぶと、メニューが消えて、「」は消えますが、プリント指定はそのまま記憶されます。

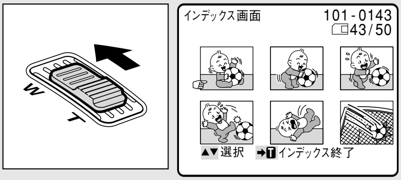
プリント指定を消去するとき

プリント指定している静止画を選びます。2の操作で選択／設定ボタンで「0」を選び、選択／設定ボタンをまっすぐ押すと「」が消えます。

② インデックス画面でプリント指定をする

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　**カード再生モード**

1 インデックス画面にする

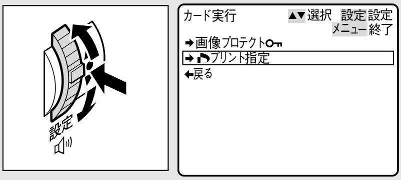


- ズームレバーをW側に押します。
- 6つの静止画／動画が出るインデックス画面になります。
- プリントする静止画を選びます。（「インデックス画面で静止画を選ぶ」操作2 157）

2 メニューを出す

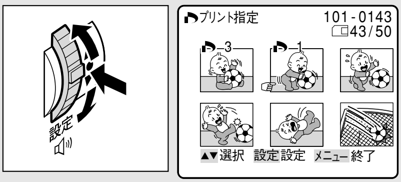
- メニューボタンを押すと、「カード再生　メニュー」が出ます。

3 「カード実行」サブメニューから「プリント指定」を選ぶ



- 選択／設定ボタンで「カード実行」を選び、次に「プリント指定」を選びます。

4 プリント指定をする



- 静止画を選び、選択／設定ボタンをまっすぐ押すと「」が付き、枚数を選ぶ数字が出ます。
- 選択／設定ボタンを上または下に押して、枚数を選びます。
- 選択／設定ボタンをまっすぐ押すと、プリント指定され、次の静止画を選べます。
- メニューボタンを押すと、通常のインデックス画面に戻ります。

プリント指定を消去するときは

「」が付いている静止画を選びます。1～4の操作で枚数「0」を選び、選択／設定ボタンをまっすぐ押すと「」が消えます。

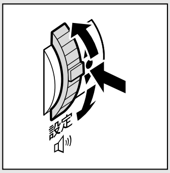
すべてのプリント指定を消去する

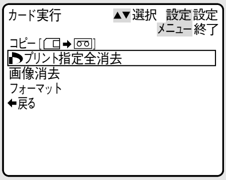
カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　**カード再生モード**

1 メニューを出す

- メニューボタンを押すと、「カード再生　メニュー」が出ます。
- インデックス画面になっているときは、インデックス画面を終了してください。

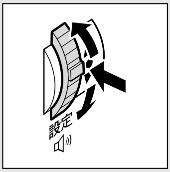
2 「カード実行」サブメニューから「プリント指定全消去」を選ぶ

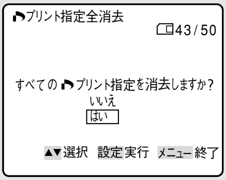


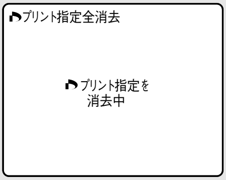


- 選択／設定ボタンで「カード実行」を選び、次に「プリント指定全消去」を選びます。（76）

3 「はい」を選び、プリント指定を消去する







- 「はい」と「いいえ」の選択画面になります。
- 選択／設定ボタンをまっすぐ押すと、すべてのプリント指定が消去されます。

画像を合成する（カードミックス）

カメラモードでメモリーカードに記録してある静止画とカメラで撮影している映像を合成し、テープに記録できます。タイトルやフレームを付けてビデオを楽しく演出できます。さらに、本機では静止画だけでなく、メモリーカードに記録してあるアニメーションとカメラで撮影している映像も合成できます。
メモリーカードに記録した動画と、カメラで撮影している映像は合成できません。
操作のしかたは、各参照ページをご覧ください。

❍ あらかじめ、静止画を記録したメモリーカードと記録可能なテープを入れておいてください。
❍ 付属のメモリーカードではサンプル画像をカードクロマキーで8枚、カードルミキーで5枚、カメラクロマキーで2枚、カードアニメーションで12枚用意してあります（サンプル画像はプロテクト設定してあります）。（📖 178）
❍ DIGITAL VIDEO SOLUTION DISKを使って、サンプル画像を追加できます。
・カードクロマキー：4枚　　・カードルミキー：　2枚
・カメラクロマキー：2枚　　・カードアニメーション：4枚
サンプル画像を追加する方法は、Digital Video Software使用説明書の「画像を追加する」をご覧ください。
❍「フォト記録」で「カード 🗔」を選んでいるときは、カードミックスは使用できません。

メモリーカードの静止画とカメラで撮影している映像を合成する

カードクロマキー

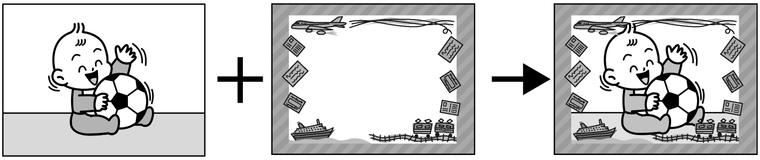
イラストやフレームの静止画とカメラの映像を合成します。
静止画の青い部分にカメラで撮影している映像が写ります（例では画面の中心が青になります）。
ミックスレベルの調整：静止画の青い部分の調整



カードルミキー

イラストやタイトルなどの静止画とカメラの映像を合成します。
静止画の中の明るい部分にカメラで撮影している映像が写ります（例では白い紙が明るい部分、イラストや枠の部分の文字が暗い部分になります）。
旅行やイベントなどのタイトルなどに使うときは、あらかじめメモリーカードに記録しておいてください。
ミックスレベルの調整：静止画の明るい部分の調整

カメラで撮影している画面　　　　静止画



カメラクロマキー

静止画とカメラの映像を合成します。
カーテンなど青い背景の前で撮影します。被写体など青以外の部分が静止画の上に写ります。
ミックスレベルの調整：カメラで撮影している画面の青い部分の調整

カメラで撮影している画面　　　　静止画



カードアニメーション

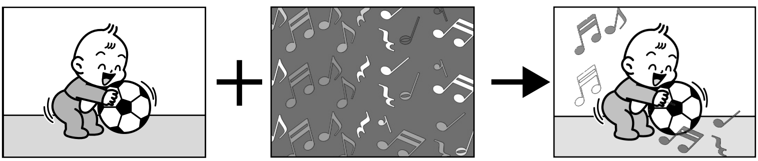
アニメーションとカメラの映像を合成します。
アニメーションの動きは、コーナー／ストレート／ランダムから選べます。

・ コーナー　：アニメーションが、画面の左上と右下に表れます。
・ ストレート：アニメーションが、画面の上下に表れ、左右に移動します。
・ ランダム　：アニメーションが、画面の中を動き回ります。

ミックスレベルの調整：青い部分の調整

（例）コーナーの場合

カメラで撮影している画面　　　　アニメーション



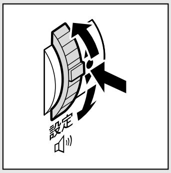
1 電源スイッチを「カメラ」にし、テープ／カード切換スイッチを「▭（テープ）」にする

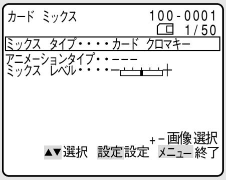
2 撮影モードを▭（全自動）以外にする

3 メニューを出す

- メニューボタンを押すと、「カメラメニュー」が出ます。

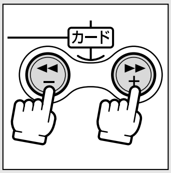
4「カード　ミックス」サブメニューを出す





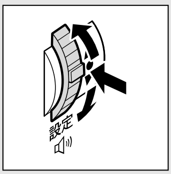
- 選択／設定ボタンで「➡カード　ミックス」を選びます。（📖 76）

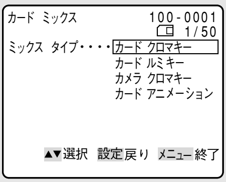
5 カードの静止画／アニメーションを選ぶ



- カード ✚ ／ ━ ボタンを押します。

6「ミックス　タイプ」を選ぶ





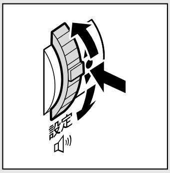
- 静止画／アニメーションとカメラで撮影している映像が、合成された画面になります。

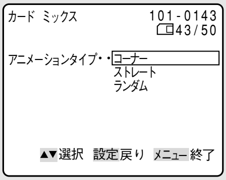
カードを使う

カードアニメーションの場合

❶ カード　ミックスサブメニューに戻る

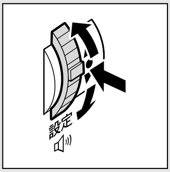
❷「アニメーションタイプ」を選ぶ





- 選択／設定ボタンを押すと、「カードミックス」サブメニューに戻ります。
- 選択／設定ボタンを押すと、アニメーションミックスだけの表示になります。

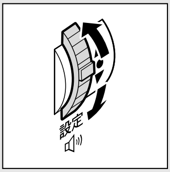
❸ 種類を選ぶ

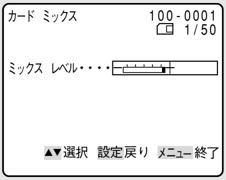


① 選択／設定ボタンを上または下に押して、選択枠を設定するアニメーションの動きに合せます。

② 選択／設定ボタンをまっすぐ押すと、アニメーションとカメラで撮影している映像が、合成された画面になります。

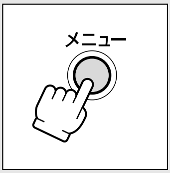
7「ミックス　レベル」を調整する





- 画面を見ながら、選択／設定ボタンを上または下に押して調整します。

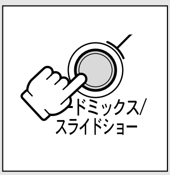
8 メニューを消す

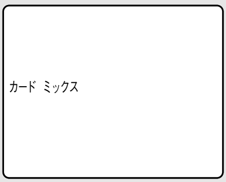




- メニューボタンを押します。
- 「カード　ミックス」表示が点滅します。

9 カードミックスを入／切する





- カードミックスボタンを押します。
- 「カード　ミックス」表示が点灯に変わり、合成された画面になります。

合成している映像をテープに録画する

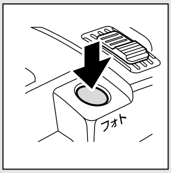
合成している映像を動画でテープに録画するときは

1 スタート／ストップボタンを押す



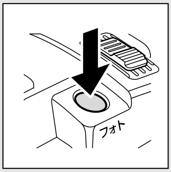
合成している映像を静止画でテープに録画するときは

1 フォトボタンを浅く押し続ける



- ◉が白色に点滅したあと、緑色の点灯に変わります。

2 フォトボタンを深く押す



- ◉が消え、静止画録画が始まります。
- 約6.5秒後に撮影一時停止になります。

電源スイッチとテープ／カード切換スイッチを切り換えたり、メモリーカードを出し入れしたときは、カードミックスで使用する静止画を選び直してください。

テープの静止画をメモリーカードにコピーする

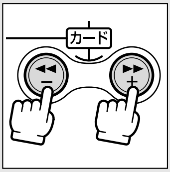
テープに記録してある静止画をフォトサーチで検索しながら、メモリーカードに自動的にコピーできます。選んだ静止画以降のすべての静止画をメモリーカードにコピーします。

- ❍ テープからメモリーカードに記録される静止画の画像サイズは、640×480です。
- ❍ テープの静止画をメモリーカードにコピーしたときの日付／時刻が、日時としてカードに記録されます。
- ❍ あらかじめ、記録可能なメモリーカードと録画したテープを入れておいてください。

カメラモード | **再生(VTR)モード** | カードカメラモード | カード再生モード

1 電源スイッチを「再生（VTR）」にし、テープ／カード切換スイッチを「▭（テープ）」にする

2 静止画を探す

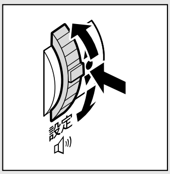


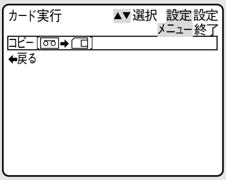
- 早送り、巻き戻しボタンやフォトサーチ機能などで、メモリーカードにコピーしたい静止画の手前で停止、または一時停止します。
- テープに記録している静止画すべてをコピーするときは、テープを最初まで巻き戻してください。

3 メニューを出す

- メニューボタンを押すと、「VTRメニュー」が出ます。

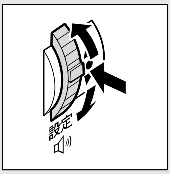
4 「カード実行」サブメニューから「コピー［▭→▭］」を選ぶ

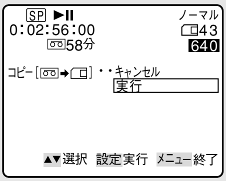




- 選択／設定ボタンで「カード実行」を選び、次に「コピー［▭ → ▭］」を選びます。（🕮 76）

5 「実行」を選ぶ





- 選択／設定ボタンをまっすぐ押すと、コピーが始まります。
- テープがおしまいになると、コピーは終了します。
- メモリーカードの容量がいっぱいになると「カードがいっぱいです」の表示が出て、コピーは終了します。
- コピーを行わないときは「キャンセル」を選んでください。
- 希望の静止画のコピーが終わったら、■停止ボタンを押します。

メモリーカードの静止画をテープにコピーする

メモリーカードに記録してある静止画をテープにコピー（フォト記録）できます。選んだ静止画以降のすべての静止画をテープにコピーします。

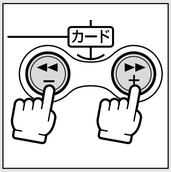
- ❍ メモリーカードの静止画をテープにコピーしたときの日付/時刻が、日時としてテープに記録されます。
- ❍ あらかじめ、静止画を記録したメモリーカードと記録可能なテープを入れておいてください。

カメラモード　再生(VTR)モード　|　カードカメラモード　**カード再生モード**

1 電源スイッチを「再生（VTR）」にし、テープ／カード切換スイッチを「（カード）」にする

- 最後に記録した静止画が出ます。

2 静止画を選ぶ

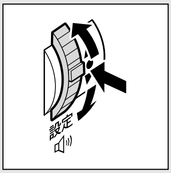


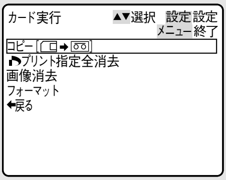
- カード ＋ ／ － ボタンを押して、コピーをする始めの静止画を選びます。
- メモリーカードに記録している静止画すべてをコピーするときは、最初の静止画を選んでください。

3 メニューを出す

- メニューボタンを押すと、「カード再生　メニュー」が出ます。

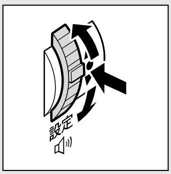
4「カード実行」サブメニューから「コピー［ → ］」を選ぶ

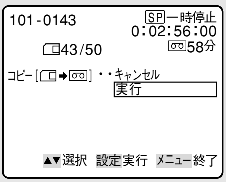




- 選択／設定ボタンで「カード実行」を選び、次に「コピー［ → ］」を選びます。（76）

5「実行」を選ぶ





- 選択／設定ボタンをまっすぐ押すと、コピーが始まります。
- 現在画面に出ている静止画がテープにフォト記録（1枚の静止画あたり約6.5秒）され、記録が終わると次の静止画の記録になります。
  メモリーカードの最後の静止画をフォト記録し終わったり、テープがおしまいになると、コピーは終了します。
- 希望の静止画のコピーが終わったら、■停止ボタンを押します。

メモリーカードを初期化(フォーマット)する

フォーマットは、新しいメモリーカードを使うときや、「カードエラーです」という警告表示が出たときに行います。また、メモリーカードに記録した静止画／動画などの情報すべてを消去するときにも行います。

- ❍ フォーマットを行うと、プロテクト設定した静止画／動画（付属のメモリーカードに入っているサンプル画像も含む）まで、すべての情報が消えてしまいます。
- ❍ フォーマットして一度消去した静止画／動画などはもとに戻せません。フォーマットする前に確認してください。
- ❍ 付属のSDメモリーカード以外のメモリーカードを使用する際には、本機でフォーマットしてください。

あらかじめフォーマットするメモリーカードを入れておいてください。

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　**カード再生モード**

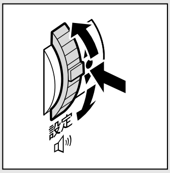
1 電源スイッチを「再生（VTR)」にし、テープ／カード切換スイッチを「 (カード)」にする

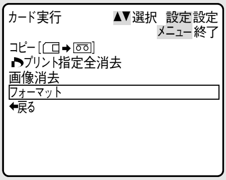
- 最後に記録した静止画／動画が出ます。

2 メニューを出す

- メニューボタンを押すと、「カード再生　メニュー」が出ます。

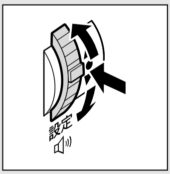
3「カード実行」サブメニューから「フォーマット」を選ぶ

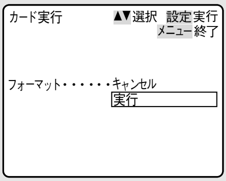




- 選択／設定ボタンで「カード実行」を選び、次に「フォーマット」を選びます。(76)

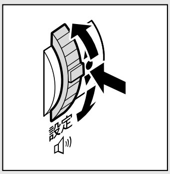
4「実行」を選ぶ

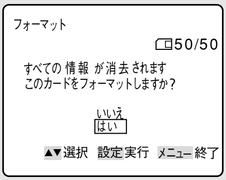




- 「キャンセル」、「実行」の選択画面になります。
- 誤って「フォーマット」の項目を選んでしまったときなどは「キャンセル」を選んで、選択／設定ボタンをまっすぐ押してください。

5「はい」を選び、フォーマットする





- 「いいえ」と「はい」の選択画面になります。
- 選択／設定ボタンをまっすぐ押すと、メモリーカードはフォーマットされ、すべての情報が消去されます。
- 「いいえ」を選ぶと、「キャンセル」、「実行」の選択画面に戻ります。

メモリーカードの静止画／動画をパソコンで活用する（USB接続）

メモリーカードに記録した静止画／動画を、本機（カード再生モード）とUSB接続したパソコンに取り込めます。

- ❍ メモリーカードの静止画／動画を読み出したり、カードへ書き込みしている（ビデオカメラのカード動作ランプが点滅している）ときは、次のことを必ず守ってください。メモリーカードのデータを破壊することがあります。
  - ・メモリーカードカバーを開けたり、メモリーカードを出したり、USBケーブルを絶対に抜かない。
  - ・ビデオカメラやパソコンの電源を切らない。
  - ・テープ／カード切換スイッチを切り換えない。
- ❍ 使用するソフトウェア、パソコンの仕様／設定などによっては、正しく動作しないことがあります。
- ❍ メモリーカードとメモリーカードからハードディスクに読み込んで保存した静止画／動画は、大切なオリジナルのデータファイルです。静止画や動画のファイルをパソコンで操作するときは、まず始めに、必ずファイルをコピーし、コピーした静止画／動画を使用してください。

- ❍ 長時間使用するため、コンパクトパワーアダプターを使って、家庭用コンセントから電源をとることをおすすめします。
- ❍ パソコンの使用説明書もあわせてご覧ください。
- ❍ 本機の電源スイッチとテープ／カード切換スイッチ以外の操作ボタンは、使用できません。
- ❍ テープに記録した映像は、USB接続でパソコンに取り込めません。
- ❍ IEEE1394（DV）端子を使って、テープやメモリーカードの静止画／動画をパソコンに取り込む場合は133ページをご覧ください。
- ❍ **Windows XPとMac OS Xをお使いの場合**
  本機はPTP（ピーティーピー）（Picture Transfer Protocol）に対応していますので、ビデオカメラとパソコンをUSBケーブルで接続するだけで、付属のDigital Video Softwareのソフトウェアをインストールしなくても、静止画（JPEGのみ）をパソコンに取り込めます。
- ❍ **Windows XPをお使いの場合**
  付属のDV Network Software（DV Messenger）が使えます。詳しくはDV Network Software使用説明書をご覧ください。

USB 接続モードを選ぶ

本機とパソコンをUSB接続するときは、「スタンダード」と「ストレージ固定」の2つの接続方法から選択できます。

「スタンダード」

メモリーカードに記録された静止画や動画をパソコンに取り込むときに、カード静止画再生モードとカード動画再生モードで接続方法が切り換ります。静止画の場合は「カード静止画再生モードにして、プリンターまたはパソコンと接続します。MPEG-4動画の場合は「カード動画再生モード」にして（「ストレージ」になります）、パソコンと接続します。
通常は、「スタンダード」に設定しておくことをおすすめします。

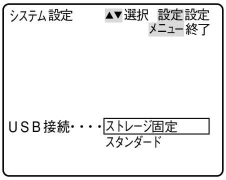
「ストレージ固定」

「ストレージ固定」にすると、本機はパソコンで「リムーバブルディスク（USB大量記憶装置デバイス）」として認識されます。付属のソフトをインストールしなくても、本機をメモリーカードリーダー/ライターのように使って、Windows Explorerなどで静止画や動画をパソコンに取り込んだり、パソコンに保存された画像をメモリーカードに書き込むことができます。
メモリーカードの静止画は、[DICM]フォルダーの中の[＊＊＊CANON]フォルダーに保存されています。動画は、[SD_VIDEO]フォルダーの中の[PRL＊＊＊]フォルダーに保存されています。

「ストレージ固定」に設定したときや、「スタンダード」に設定していてカード動画再生モードにしたときは、本機とプリンターを接続しないでください。

❍「スタンダード」の場合、メモリーカードに記録された静止画をパソコンに取り込むときには、付属のDIGITAL VIDEO SOLUTION DISKに入っているソフトが必要です。また、画像を分類して保存したり、静止画に枠やタイトルを付けて印刷できます。
❍ Windows 98をお使いの場合、メモリーカードに記録された動画をパソコンに取り込んだり、「ストレージ固定」を選んだときには、付属のDIGITAL VIDEO SOLUTION DISK for Windowsからストレージドライバー（DVC Storage Driver）をインストールしてください。Windows Me、Windows 2000、Windoes XPをお使いの場合、OS標準のドライバーが使用されます。
❍ 付属のDigital Video Softwareについて、詳しくはDigital Video Software使用説明書をご覧ください。

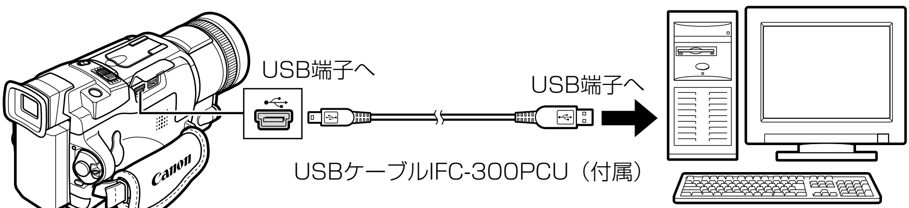
カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　**カード再生モード**



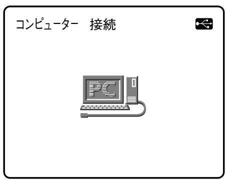
ご購入時の設定は「スタンダード」です。
「システム設定」サブメニューから「USB接続」を選び、「ストレージ固定」にします（📖 76）。

接続のしかた

USBケーブルIFC-300PCU（付属）を使います。



● 「コンピューター 接続 ⇆」とUSB接続をしていることを知らせる表示が出ます。



その他

FV M1でメモリーカードに記録した静止画／動画は、市販の製品により、お手持ちのパソコンに取り込むこともできます。

- PCカードアダプター：　パソコン（主にノートパソコン）にあるPCカードスロットにメモリーカードを入れるためのアダプター
- USBカードリーダー／ライター：パソコンのUSB端子に接続して、メモリーカードを直接読むためのアダプター

メモリーカードについて　取り扱い上のご注意

- **新規にメモリーカードを購入した際には、本機でフォーマットを行ってください。パソコンなど本機以外でフォーマットしたメモリーカードは、正常に使えないことがあります。**
- メモリーカードに記録した画像などのデータは、パソコンでMOなどの外部記憶機器やハードディスクを使ってバックアップを取っておいてください。メモリーカードの故障、静電気などにより記録したデータが破損したり、消えることがあります。その場合の記録内容の補償については、ご容赦ください。
- カード動作ランプが点滅中は絶対にメモリーカードを出したり、ビデオカメラなどの電源を切ったり、ビデオカメラの電源を取りはずしたりしないでください。
- 強い磁気の発生する場所で使わないでください。
- 高温、多湿の場所に放置しないでください。
- 分解しないでください。
- ぬらしたり、曲げたり、落としたり、強い衝撃を与えないでください。
- 温度差のある場所へ急に移動するとカードの内部、表面に結露することがあります。結露したときは、そのまま使用せず、水滴が自然に消えるまで、常温で放置してください。
- カードの裏にある端子部分にごみや水などの異物を付着させたり、手で触れたりしないでください。
- カードの保管、持ち運ぶときは端子部分の保護のため、付属のケースに入れてください。
- メモリーカードには表裏、前後の区別があります。正しくない方向に無理に入れないでください。破損の恐れがあります。
- ラベルをはがしたり、他のシールなどを貼ったりしないでください。目的別に使い分けるときは、ケースにシールなどを貼ってください。

サンプル画像

付属のメモリーカードに入っているサンプル画像です。
メモリーカードにはカードクロマキー用に8枚、カードルミキー用に5枚、カメラクロマキー用に2枚、カードアニメ用に12枚、合計27枚入っています。

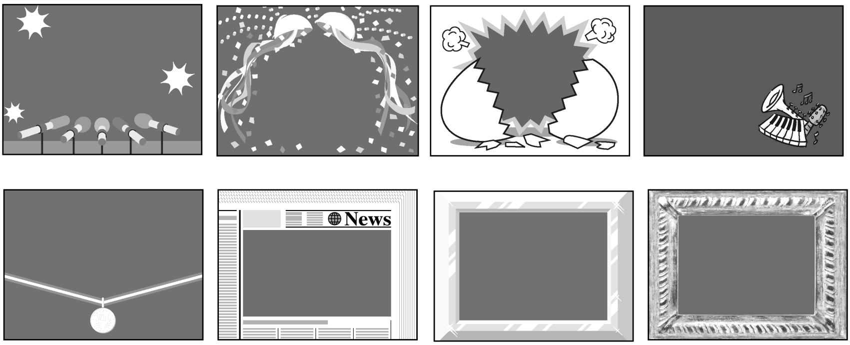
付属のメモリーカード（SDメモリーカード）に記録されている画像データは、お買い上げになったビデオカメラでの画像合成を個人で楽しむ目的以外には使用しないでください。

付属のメモリーカードに入っているサンプル画像を消去してしまったときは、下記のアドレスのホームページからダウンロードできます。＊

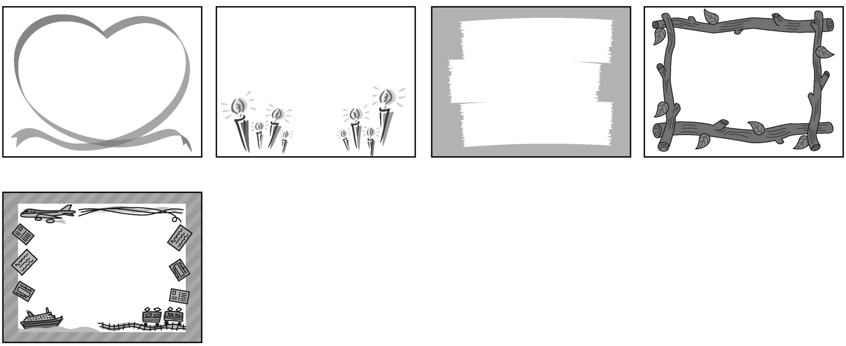
http://www.cweb.canon.jp/dv/support/download.html

＊パソコンからメモリーカードにサンプル画像を入れるためには、Digital Video Software使用説明書の「パソコンからメモリーカードに静止画を追加する」をご覧ください。また、本機をパソコンにUSB接続できない場合、PCカードアダプターなどが必要です。

カードクロマキー用



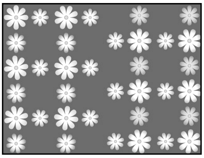
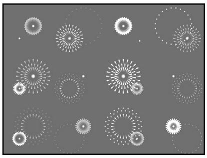
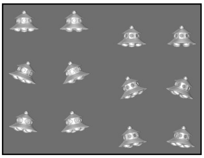
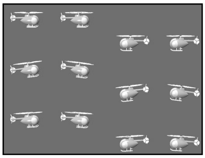
カードルミキー用

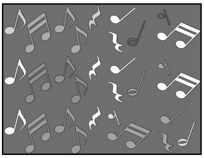
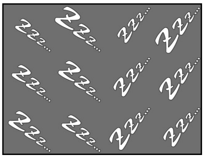
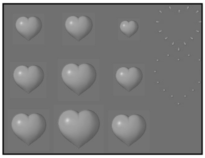
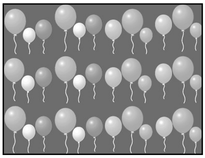


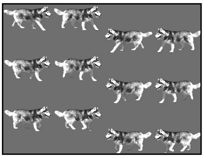
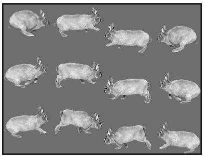
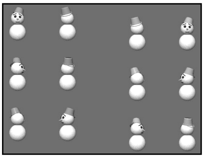
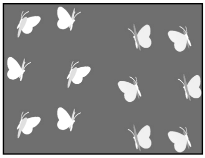
カメラクロマキー用




カードアニメーション用

PhotoEssentials - イメージライブラリ
PhotoEssentialsは、使用権/著作権、肖像権の問題のない高品質なイメージ画像を収録したCD-ROMで、広告宣伝、カタログ、レポート、マルチメディアドキュメント、Webサイト、本、パッケージなどの幅広い用途にお使いいただけます。
PhotoEssentialsについてより詳しい情報をお知りになりたい方は、下記にご連絡ください。
株式会社データクラフト
（http://www.datacraft.co.jp）

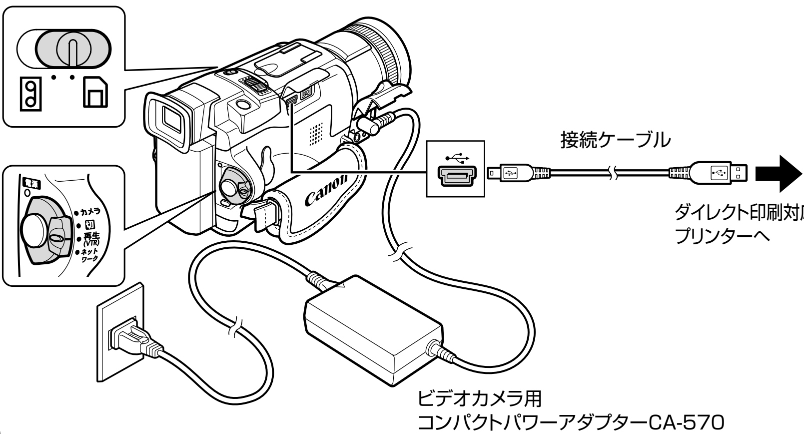
ダイレクトプリント対応のプリンターで印刷する

別売のダイレクトプリント対応のプリンターを使うとパソコンに接続することなくメモリーカードに記録した静止画を簡単な操作で、きれいに印刷できます。（□ 182）
また、 プリント指定による連続印刷ができます。（□ 193）

- ダイレクトプリントに対応したプリンターには、カメラダイレクト対応プリンター（キヤノンCPシリーズ）とカメラダイレクト対応PIXUS（ピクサス）プリンタ（）、PictBridge対応プリンター（PictBridge）があります。

- ❍ 印刷が正しく行われなくなりますので、印刷中に次の操作はしないでください。
  - ・ テープ／カード切換スイッチを切り換える
  - ・ ビデオカメラ、プリンターの電源を切る
  - ・ ビデオカメラとプリンターを接続しているケーブルを抜く
  - ・ メモリーカバーを開けたり、メモリーカードをビデオカメラから抜く
- ❍ 本機をプリンターに接続するときは、カード静止画再生モードにし、「USB接続」の設定を「スタンダード」にしてください。
- ❍ 本機をプリンターと接続したまま、「カード動画再生モード」や「ネットワークモード」にしないでください。
- ❍ 次のようなメモリーカードの場合、静止画がダイレクトプリント対応プリンターで正しく印刷されないことがあります。
  - ・ パソコンで作成／加工した静止画をメモリーカードに書き込んだとき
  - ・ 本機で記録したメモリーカードの静止画をパソコンで直接加工したとき
  - ・ メモリーカードのファイル名を変更したとき
  - ・ 本機以外のビデオカメラなどで静止画／動画を記録したメモリーカードを本機に入れたとき

- ❍ 接続するケーブルについては、プリンターの使用説明書をご覧ください。
  カードフォトプリンターCP-10/CP-100には、接続ケーブルが2本付属しています。本機と接続するときには端子に「USB」がついているケーブル（DIF-100）を使用します。
- ❍ 長時間使用するため、本機にはコンパクトパワーアダプターを接続して、家庭用コンセントで使うことをおすすめします。
- ❍ プリンターの使用説明書もあわせてご覧ください。



ダイレクトプリント対応のプリンターと接続する

❶ 本機

電源スイッチを「切」にし、静止画を記録したメモリーカードを入れる

❷ プリンター

電源を入れる

❸ 本機

電源スイッチを「再生（VTR）」にし、テープ／カード切換スイッチを「（カード）」にして、カード静止画再生モードにする

- カード動作ランプの点滅が終わると、プリンターに接続する準備は完了です。

❹ **接続ケーブルで、本機とプリンターを接続する**

Print》P.設定

- プリンターが正しく接続されていると、本機の画面に が点滅した後、 Print》P.設定 が表示されます。
（本機で再生できない静止画のときには表示されません。）
- プリンターと接続しているときは、カード静止画/動画ボタンを押さないでください。
- が点滅し続ける（約1分以上）ときは、メニューのUSB接続の設定が正しくないか、ビデオカメラとプリンターの接続が正しくありません。このような場合は、次の操作を行ってください。①メニューの設定を確認して「ストレージ固定」になっているときは「スタンダード」にする②ビデオカメラとプリンターを接続しているケーブルを取りはずし、ビデオカメラとプリンターの電源を一度切ってから、電源を入れ直す。ビデオカメラとプリンターを接続し直す。

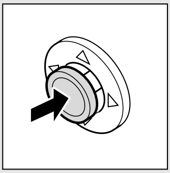
静止画を選んで印刷する

カメラモード　再生(VTR)モード　カードカメラモード　**カード再生モード**

1 静止画再生中（1枚）

印刷する静止画を選ぶ

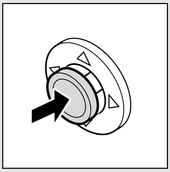
2 プリント選択／設定ボタンをまっすぐ押す





- 印刷設定画面が出ます。
- プリンターによっては、「プリンターは準備中です」の表示が出た後に、印刷設定画面が出ます。

3「プリント」が選ばれていることを確認して、プリント選択／設定ボタンをまっすぐ押す





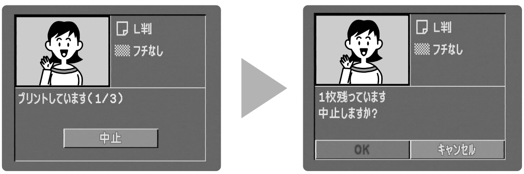
- 印刷が始まり、正常に終了すると再生画面に戻ります。
- 続けてほかの静止画を印刷するときは、カード＋、カード－ボタンで静止画を選んでください。

❍ **印刷を中止するとき**

印刷中にプリント選択／設定ボタンをまっすぐ押します。確認画面が出ますので、プリント選択／設定ボタンで「OK」を選びます。

・ キヤノンカードフォトプリンターCPシリーズの場合：印刷を開始した静止画は中止できません。次の印刷が中止になり、再生画面に戻ります。

・ キヤノンPIXUSプリンタ、PictBridge対応プリンターの場合：印刷が中断され、印刷中のペーパーが排紙されます。



❍ **印刷中に異常が発生したとき**

「インクがありません」、「ペーパーが詰まりました」、「ペーパーがありません」などの警告文表示が本機の画面に出ます。「中止」またはインクやペーパーが正しく設定されているか確認してから「再開」をプリント選択／設定ボタンで選び、プリント選択／設定ボタンをまっすぐ押します。

・ キヤノンカードフォトプリンターCPシリーズの場合：内容によっては、「再開」が表示されないことがあります。その場合は、「中止」を選んで、印刷をやり直してください。対処方法については、プリンターの使用説明書でご確認ください。
・ キヤノンPIXUSプリンタ、PictBridge対応プリンターの場合：内容によっては、「続行」と「中止」が表示されます。
プリンターに操作パネルがある場合、エラー番号が表示されます。エラー番号に対応した対処方法については、プリンターの使用説明書でご確認ください。

以上の操作をしても印刷が再開できないときは、次の操作をしてください。

① 接続ケーブルを取りはずす
② ビデオカメラの電源スイッチを一度「切」にしてから「再生（VTR)」にする
③ 接続ケーブルを接続する

警告内容を解決すると、自動で印刷を再開します。

それでもうまくいかないときは、「中止」または「中止」と「再開」の両方が出ることがあります。このときは、プリント選択／設定ボタンを押して、印刷を中止してください。

❍ **印刷を終了したら**

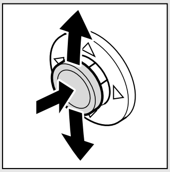
① ケーブルをビデオカメラとプリンターから取りはずす
② ビデオカメラの電源を切る

印刷枚数を選ぶ

● 印刷枚数は、9枚まで設定できます。

1 印刷設定画面

プリント選択／設定ボタンを上または下に押す

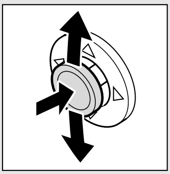




● 印刷枚数表示を選び、プリント選択／設定ボタンをまっすぐ押します。

2

枚数を選ぶ





● プリント選択／設定ボタンを上または下に押して、印刷枚数を選び、プリント選択／設定ボタンをまっすぐ押します。

印刷設定画面は接続しているプリンターによって異なります。画面を確認して該当する操作に進んでください。

	キャノン　カードフォトプリンターCPシリーズ	キャノン PIXUSプリンタ	PictBridge対応プリンター PictBridge
印刷設定画面	① 	② 	③ 
画面／分割	○	×	×
ペーパーサイズ	×	○	○
ペーパータイプ	×	×	○
フチあり／フチなし	○	○	○
トリミング	○	○	○
日付印刷	×	×	○

仕様は接続するプリンターによって異なる場合があります。

○「フチあり」の場合、撮影した静止画とほぼ同じ領域で印刷されます。

○「フチなし」の場合、撮影した静止画より若干拡大され、静止画の上下、左右を多少カットして印刷されます。

印刷設定画面が①の場合

スタイル（分割、フチあり／なし）を選ぶ

●「スタイル」と「トリミング」の両方を設定するときは、「スタイル」「トリミング」の順番で設定してください。

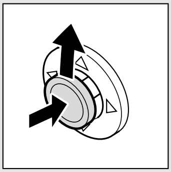
「スタイル」で設定できる内容は、つぎのとおりです。

分割設定	1画面	ペーパー1枚に静止画を1枚印刷する。
	分割画面*	ペーパー1枚に同じ静止画を8枚印刷する。
フチ	フチなし	ペーパーいっぱいに印刷する。
	フチあり	フチをつけて印刷する。

* カードサイズのペーパーに印刷するときのみ、設定できます。

●「画面設定」で「分割画面」を選ぶと、「フチ」の設定はできません。

1 印刷設定画面 「スタイル」を選ぶ

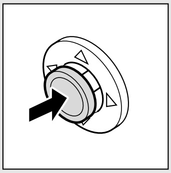


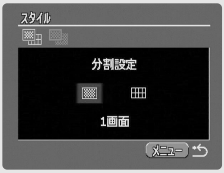


- プリント選択／設定ボタンを上に押して「スタイル」を選び、プリント選択／設定ボタンをまっすぐ押すと、「スタイル選択」画面が出ます。

分割設定を選ぶ

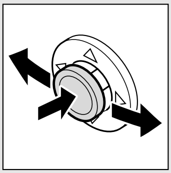
2 「 」を選ぶ





- （分割設定）が選ばれていることを確認して、プリント選択／設定ボタンをまっすぐ押すと、「分割設定」の設定画面が出ます。

3 「1画面」または「分割画面」を選ぶ

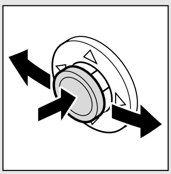


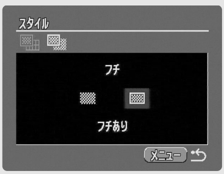


- プリント選択／設定ボタンを右または左に押して「1画面」または「分割画面」を選び、プリント選択／設定ボタンをまっすぐ押します。
- メニューボタンを押すと、印刷設定画面に戻ります。

フチあり/フチなしを選ぶ

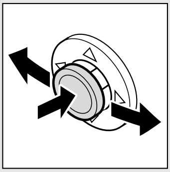
2 「 」を選ぶ





① プリント選択／設定ボタンを右または左に押して、 を選びます。
② プリント選択／設定ボタンをまっすぐ押すと、「フチ」の設定画面が出ます。

3「フチあり」または「フチなし」を選ぶ





- プリント選択／設定ボタンを左または右に押して「フチあり」または「フチなし」を選び、プリント選択／設定ボタンをまっすぐ押します。
- メニューボタンを押すと、印刷設定画面に戻ります。

「分割画面」の場合、撮影した静止画より若干拡大され、静止画の上下、左右を多少カットして印刷されます。

印刷設定画面が②の場合

スタイル（ペーパー、フチあり／なし）を選ぶ

- 「スタイル」と「トリミング」の両方を設定するときは、「スタイル」「トリミング」の順番で設定してください。

「スタイル」で設定できる内容は、つぎのとおりです。

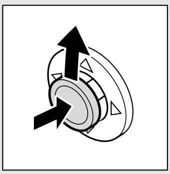
ペーパー設定*		ペーパーサイズをL判、2L判、はがき、A4、カードから選ぶ。
フチ	フチなし	ペーパーいっぱいに印刷する。
	フチあり	フチをつけて印刷する。

* ペーパーについての詳細は、PIXUSプリンタの使用説明書をご覧ください。

ペーパーサイズについて

1632×1224の静止画像サイズで撮影した静止画では、2L判、はがき、カード、L判をおすすめします。1280×960で撮影した静止画では、はがき、カード、L判を、640×480で撮影した静止画では、カードをおすすめします。

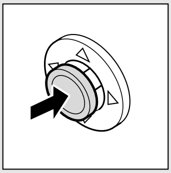
1 印刷設定画面 「スタイル」を選ぶ



- プリント選択／設定ボタンを上に押して「スタイル」を選び、プリント選択／設定ボタンをまっすぐ押すと、「スタイル選択」画面が出ます。

ペーパーサイズを選ぶ

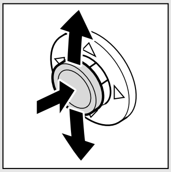
2「」を選ぶ





- が選ばれていることを確認して、プリント選択／設定ボタンをまっすぐ押すと、「ペーパー」の設定画面が出ます。

3 ペーパーサイズを選ぶ

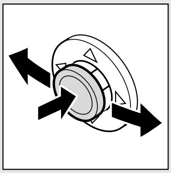


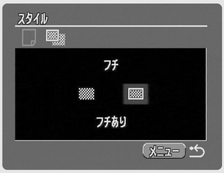


- プリント選択／設定ボタンを上または下に押してペーパーサイズを選び、プリント選択／設定ボタンをまっすぐ押します。
- メニューボタンを押すと、印刷設定画面に戻ります。

フチあり／フチなしを選ぶ

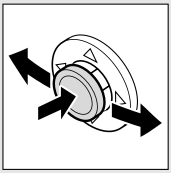
2「」を選ぶ





① プリント選択／設定ボタンを右または左に押して、 を選びます。
② プリント選択／設定ボタンをまっすぐ押すと、「フチ」の設定画面が出ます。

3「フチあり」または「フチなし」を選ぶ





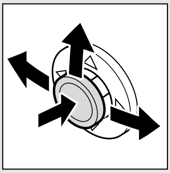
プリント選択／設定ボタンを右または左に押して「フチあり」または「フチなし」を選び、プリント選択／設定ボタンをまっすぐ押します。

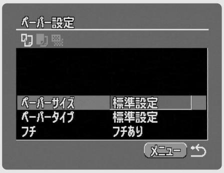
- メニューボタンを押すと、印刷設定画面に戻ります。

印刷設定画面が③の場合

● 「ペーパー設定」と「トリミング」の両方を設定するときは、「ペーパー設定」「トリミング」の順番で設定してください。
「ペーパー設定」で設定できるペーパーサイズ、ペーパータイプ、フチの設定できる内容は接続するプリンターによって異なります。プリンターの使用説明書をご覧ください。

1 印刷設定画面
「ペーパー設定」を選ぶ

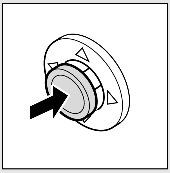




● プリント選択／設定ボタンを上と右または左に押して「ペーパー設定」を選び、プリント選択／設定ボタンをまっすぐ押すと、「ペーパー設定」画面が出ます。

ペーパーサイズを選ぶ

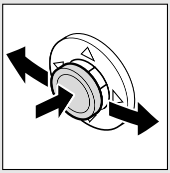
2 「ペーパーサイズ」を選ぶ

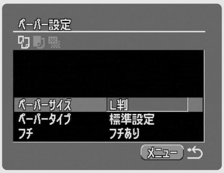




● 「ペーパーサイズ」が選ばれていることを確認して、プリント選択／設定ボタンをまっすぐ押すと、「ペーパーサイズ」設定画面が出ます。

3 ペーパーサイズを選ぶ

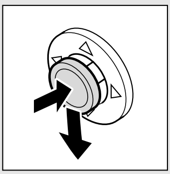


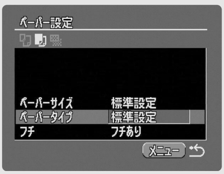


● プリント選択／設定ボタンを右または左に押してペーパーサイズを選び、プリント選択／設定ボタンをまっすぐ押します。
● メニューボタンを押すと、印刷設定画面に戻ります。

ペーパーの種類を選ぶ

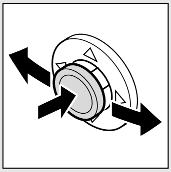
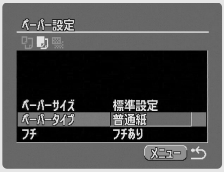
4 「ペーパータイプ」を選ぶ





● プリント選択／設定ボタンを下に押して、「ペーパータイプ」を選び、プリント選択／設定ボタンをまっすぐ押すと、「ペーパータイプ」設定画面が出ます。

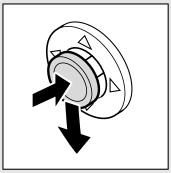
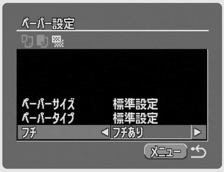
5 ペーパーの種類を選ぶ

- プリント選択／設定ボタンを右または左に押してペーパーの種類を選び、プリント選択／設定ボタンをまっすぐ押します。
- メニューボタンを押すと、印刷設定画面に戻ります。

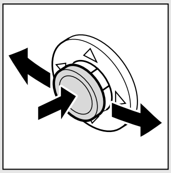
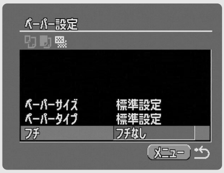
フチの設定を選ぶ

6「フチ」を選ぶ

- プリント選択／設定ボタンを下に押して、「フチ」を選び、プリント選択／設定ボタンをまっすぐ押すと、「フチ」設定画面が出ます。

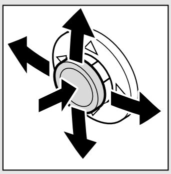
7 フチの設定を選ぶ

- プリント選択／設定ボタンを右または左に押してフチの設定を選び、プリント選択／設定ボタンをまっすぐ押します。
- メニューボタンを押すと、印刷設定画面に戻ります。

日付を印刷する

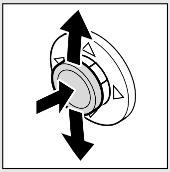
1 印刷設定画面 日付印刷を選ぶ




- プリント選択／設定ボタンを上または下、右または左に押して「⏲」を選び、プリント選択／設定ボタンをまっすぐ押すと、日付印刷が設定できます。

静止画を印刷する

2 日付印刷の設定を選ぶ





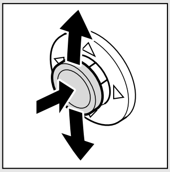
- プリント選択／設定ボタンを上または下に押して日付印刷の設定を選び、プリント選択／設定ボタンをまっすぐ押します。

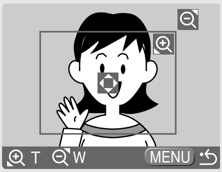
印刷画面①、②、③共通です。

印刷する領域を選ぶ（トリミング）

- 「スタイル」／「ペーパー設定」と「トリミング」の両方を設定するときは、「スタイル」「トリミング」の順番で設定してください。

1 印刷設定画面 「トリミング」を選ぶ

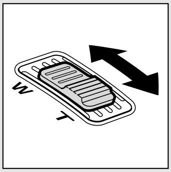


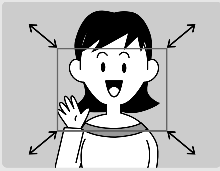


- プリント選択／設定ボタンを上または下に押して「トリミング」を選び、プリント選択／設定ボタンをまっすぐ押します。
- トリミング設定画面になります。

2 印刷する範囲を選ぶ

① 大きさを選ぶ

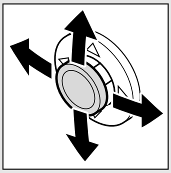


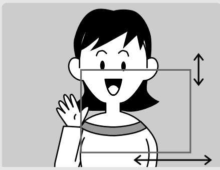


- 画面に表示される枠内が、印刷されます。

- ズームレバーをW側に動かすと、枠は大きくなります。
- ズームレバーをT側に動かすと、枠は小さくなります。
- 枠を最大にして、さらにズームレバーをW側に動かすと、枠は消えて、トリミングは解除されます。メニューボタンを押すと、印刷設定画面に戻ります。

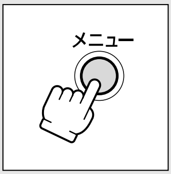
② 位置を選ぶ





- プリント選択／設定ボタンを右に押すと枠は右に、左に押すと左に移動します。
- プリント選択／設定ボタンを上に押すと枠は上に、下に押すと下に移動します。

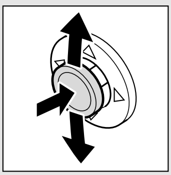
3 メニューボタンを押す





- 印刷設定画面に戻ります。

4 印刷する





- プリント選択／設定ボタンを上または下に押して「プリント」を選び、プリント選択／設定ボタンをまっすぐ押すと、印刷が始まります。正常に終了すると、再生画面に戻ります。

枠の色について（カードフォトプリンターのみ）

枠は、3色あります。トリミングするときの目安にしてください。

白：トリミングの設定が行われていません。（初期設定）

緑：推奨する印刷領域です。

赤：印刷は可能ですが、画像が推奨範囲よりも拡大されるため、画質が劣るかもしれません。

● 画像サイズやプリントペーパーサイズ、フチの設定によっては緑色の枠がでないことがあります。

❍ トリミングは、1枚の静止画のみに設定できます。

❍ トリミングの設定は、つぎの操作をすると解除されます。

・ビデオカメラの電源を切る

・接続ケーブルをはずす

・トリミングの枠を、最大より大きくする

プリント指定した静止画を印刷する

プリント指定したすべての静止画を自動的に印刷します（1つの静止画を複数枚印刷するときはあらかじめ プリント指定するときに枚数を選んでおきます）。

- プリント指定の自動印刷では「トリミング」は選べません。印刷設定画面で設定できるのはキヤノンカードフォトプリンターCPシリーズ、キヤノンPIXUSプリンタでは「スタイル（キヤノンカードフォトプリンターCPシリーズでは184ページ、キヤノンPIXUSプリンタでは186ページ）、PictBridge対応プリンターでは「ペーパー設定（188ページ）」、「日付印刷の設定（189ページ）」になります。
- プリント指定の設定をしないでプリンターを接続し、メニューで プリント指定印刷を設定したとき「 プリント指定の設定が必要です」が出ます。

カメラモード　再生(VTR)モード　|　カードカメラモード　**カード再生モード**

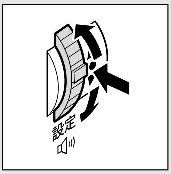
1 本機に静止画を記録したメモリーカードを入れ、電源スイッチを「再生（VTR）」にし、テープ／カード切換スイッチを「 （カード）」にして、カード静止画再生モードにする

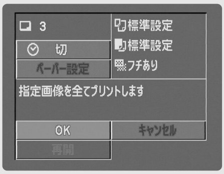
2 本機とプリンターを接続する（ 180）

3 メニューを出す

- メニューボタンを押すと「カード静止画再生メニュー」が出ます。

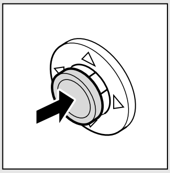
4「➡ プリント」を選ぶ

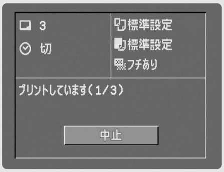




- 選択／設定ボタンを上または下に押して「➡ プリント」を選び、選択／設定ボタンをまっすぐ押すと、 印刷設定画面が出ます。
- プリント指定の設定をしていないときは、「 プリント指定の設定が必要です」が出ます。
- 画面左上に、 プリント指定による全印刷枚数が表示されます。

5 印刷する





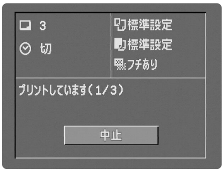
- そのまま印刷するときは、「OK」が選ばれていることを確認し、プリント選択／設定ボタンをまっすぐ押します。
- 印刷が始まり、正常に終了すると再生画面に戻ります。

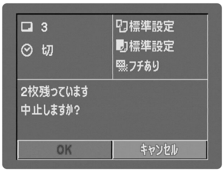
❍ **印刷を中止するとき**

印刷中にコントロールボタンをまっすぐ押します。確認画面が出ますので、プリント選択／設定ボタンで「OK」を選びます。

・ キヤノンカードフォトプリンターCPシリーズの場合：印刷を開始した静止画は中止できません。次の印刷が中止になり、再生画面に戻ります。

・ キヤノンPIXUSプリンタ、PictBridge対応プリンターの場合：印刷が中断され、印刷中の用紙が排紙されます。





❍ **印刷を再開するとき**

- 「カード静止画再生メニュー」を開き、「➡ プリント」を選びます。印刷設定画面から「再開」を選んで、プリント選択／設定ボタンをまっすぐ押します。残りの静止画が印刷できます。
- 次の場合は、印刷は再開できません。
  再開する前に、プリント指定を変更した場合
  再開する前に、プリント指定をした静止画を削除した場合
  印刷設定画面で「OK」を選ぶと、1枚目からもう一度印刷できます。

❍ 印刷中に異常が発生したときは、215ページをご覧ください。

メニュー一覧

メニュー一覧の設定内容について、ご購入時には太文字の内容に設定されています。

カメラメニュー（電源スイッチ：カメラ、テープ／カード切換スイッチ：📼（テープ））

サブメニュー項目	設定内容	意味	📖
➡カードミックス			
ミックスタイプ	**カードクロマキー**	カードミックスの種類を選ぶ。	169
	カードルミキー		
	カメラクロマキー		
	カードアニメーション		
アニメーションタイプ	**コーナー**	カードアニメーションの種類を選ぶ。	170
	ストレート		
	ランダム		
ミックスレベル		ミックスレベルを調整する。	170
カメラ設定			
デジタルズーム	切	デジタルズームの設定を選ぶ。	45
	44×（40×）		
	220×（200×）		
手ぶれ補正(✋)*	**入**	手ぶれを補正する。	79
	切	手ぶれ補正を解除する。	
ホワイトバランス	**オート**	色合いを自動で調整する。	84
	オート以外	色合いの調整を撮影する状況に合わせて設定する。	
AF補助光	**オート**	AF補助光を自動で点灯させる。	60
	切	AF補助光を使わない。	
16：9	入	ワイドテレビ用に撮影する。 ● 16：9を「入」にするとズームは、光学10倍、デジタル40倍、200倍になります。 ● 横長画面（画面の横、縦の比率が16:9）のワイドテレビ用に撮影したときは、テレビをワイドテレビモードに切り換えてください（詳しくはテレビの使用説明書もあわせてご覧ください）。通常（画面の横、縦の比率が4:3）のテレビで再生すると、縦に伸びた映像になります。S1映像入力端子やビデオID-1方式対応のテレビに接続すると、自動的にワイド画面に切り換わります。（📖 55） ● 16：9を「入」に設定していると、①マルチ画面、メモリーカードへのフォト記録、③カードミックスは使用できません。 ● 撮影モードが□（全自動）モードのとき、16：9は使用できません。	–
	切	通常の4：3のテレビ用に撮影する。	
フォト記録	**テープ📼**	フォトボタンを押したときに静止画をテープに記録する。	56
	カード💳	フォトボタンを押したときに静止画をメモリーカードに記録する。	148

* のついた機能はカスタムキーに設定できます。

サブメニュー項目	設定内容	意味	📖
カメラ設定			
ゼブラパターン*	入	ゼブラパターンを表示する。	75
	切	ゼブラパターンを表示しない。	
逆光補正*	入	逆光補正をする。	75
	切	逆光補正をしない。	
VTR設定			
録画モード	**SP**	SP（標準）モードで録画する。	83
	LP	LP（標準の1.5倍の録画時間）モードで録画する。	
オーディオ設定			
ウィンドカット	入	内蔵マイクを使用時に風音などを低減する。	82
	切	風音などを低減しない。	
マイクATT	入	マイク入力レベルが高すぎて音声が歪むときに「入」にする。	81
	切		
マイクレベル	**オート**	マイク入力レベルを自動で調整する。	80
	マニュアル	マイク入力レベルを音を確認しながら、手動で調整する。	
オーディオモード	16bit	ステレオ音声が高音質で記録できる。（アフレコできない）	–
	12bit	アフレコできるように音声を記録する。	
🎧音量		ヘッドホンの音量を調整する。	52
表示設定			
LCDあかるさ調整		液晶画面の明るさを調整する。選択／設定ボタンを上に押して、明るさ表示の指標が ✚ にいくほど明るくなる。 ● 液晶画面上の画像が暗すぎたり、明るすぎたりしたときに調整します。 ● 画面の明るさの調整は、撮影する画像の明るさとは関係ありません。また、ビューファインダーの明るさは変わりません。	–
LCD対面ミラー	**入**	対面撮影するときに、液晶画面が鏡のように反転した画面になる。	55
	切	ビデオカメラが撮っているそのままの画面になる。	
オンスクリーン	**入**	液晶画面／ビューファインダーの情報を本機に接続したテレビ画面に表示する。 ● モニターテレビで情報を確認しながら撮影するときに使います。	–
	切	液晶画面／ビューファインダーの情報を本機に接続したテレビ画面に表示しない。	
日時表示	入	撮影中にも日時を表示する。	43
	切	撮影中に日時を表示しない。	

* のついた機能はカスタムキーに設定できます。

サブメニュー項目	設定内容	意味	📖
表示設定			
デモモード	**入**	デモンストレーション（機能紹介）を行う。 ● カセットとメモリーカードを入れずに「入」に設定してメニューを閉じたとき、またはカセットとメモリーカードが入っていない状態で電源スイッチを「カメラ」にして5分が過ぎると、自動的に機能紹介が始まります。 ● デモモードを終了するには、 いずれかの操作ボタンを押す／電源を切る／カセットまたはメモリーカードを入れます。	－
	切	デモンストレーションを行わない。	
システム設定			
カスタムキー	**切**、手ぶれ補正、逆光補正、ゼブラパターン	カスタムキーで使用する機能を選ぶ。カスタムキーを使用しないときは「切」を選んでください。	88
リモコンコード	**1**	リモコンコードが「1」に設定されたリモコンの操作を受け付ける。	109
	2	リモコンコードが「2」に設定されたリモコンの操作を受け付ける。	
	切	リモコンの信号を受け付けない。	
録画ランプ	**入**	撮影時に録画ランプを点滅させるかどうかを選ぶ。録画ランプは被写体に撮影中であることを知らせるランプです。ガラス越しやクローズアップ撮影などのときに、ガラスや被写体に映ってしまうことがあります。このようなときは点滅を止められます。 ● 録画ランプを「切」にしていても、リモコンを受光すると点灯します。	－
	切		
おしらせ音	**入**	電源を入れたとき、スタート／ストップボタンを押したとき、セルフタイマーで撮影するとき、カードカメラモードで静止画を撮影するときのシャッター音、結露などの警告を知らせるとき、などに音が鳴る。	－
	切	お知らせ音をすべて鳴らないようにする。	
エリア／サマータイム		世界時計のエリアを設定する。	38
日時設定		日時を設定する。	41
マイカメラ設定			
起動音	切、**初期設定**、ユーザー設定1、ユーザー設定2	起動音を選ぶ。	100
シャッター音	切、**初期設定**、ユーザー設定1、ユーザー設定2	シャッター音を選ぶ。	

その他

サブメニュー項目	設定内容	意味	📖
マイカメラ設定			
操作音	切、**初期設定**、ユーザー設定1、ユーザー設定2	操作音を選ぶ。	100
セルフタイマー音	切、**初期設定**、ユーザー設定1、ユーザー設定2	セルフタイマー音を選ぶ。	

VTRメニュー（電源スイッチ：再生（VTR）、テープ／カード切換スイッチ：(テープ)）

サブメニュー項目	設定内容	意味	
VTR設定			
録画モード	**SP**	SP(標準）モードで録画する。	83
	LP	LP(標準の1.5倍の録画時間）モードで録画する。	
AV入力→DV出力	入	アナログ入力した映像と音声を、デジタル変換してDV端子から出力する。	117
	切	アナログ入力した映像と音声を、デジタル変換しない。	
オーディオ設定			
バイリンガル	**メイン＋サブ**	ステレオ音声または主＋副音声を再生する。	124
	メイン	左音声または主音声を再生する。	
	サブ	右音声または副音声を再生する。	
アフレコ入力	**音声入力**	オーディオ機器を使ってアフレコする。	121
	マイク入力	内蔵/外部マイクを使ってアフレコする。	
ウィンドカット	入	内蔵マイクを使用時に風音などを低減する。	82
	切	風音などを低減しない。	
マイクATT	入	マイク入力レベルが高すぎて音声が歪むときに「入」にする。	81
	切		
マイクレベル	**オート**	マイク入力レベルを自動で調整する。	80
	マニュアル	マイク入力レベルを音を確認しながら、手動で調整する。	
オーディオモード	16bit	ステレオ音声が高音質で記録できる。（アフレコできない）	–
	12bit	アフレコできるように音声を録音する。	
カード設定			
静止画像画質	スーパーファイン	メモリーカードに最高画質で記録する。	135
	ファイン	メモリーカードに高画質で記録する。	
	ノーマル	メモリーカードに標準画質で記録する。	
動画画像サイズ	**352×288**	メモリーカードに記録する動画の画像サイズを選ぶ。	136
	176×144		
番号リセット	する	ファイル番号をリセットする。	137
	しない	ファイル番号をリセットしない。	
カード実行			
コピー[→]	**キャンセル**	テープに記録した静止画をフォトサーチしてメモリーカードに記録する。	172
	実行		

サブメニュー項目	設定内容	意味	📖
表示設定			
LCDあかるさ調整		液晶画面の明るさを調整する。選択／設定ボタンを上に押して、明るさ表示の指標が ✚ にいくほど明るくなる。 ● 液晶画面上の画像が暗すぎたり、明るすぎたりしたときに使います。 ● 画面の明るさの調整は、再生または記録する画像の明るさとは関係ありません。また、ビューファインダーの明るさは変わりません。	–
再生時文字表示	**入**	再生時に画面に文字表示が出る。	–
	切	液晶画面での再生時にデータコード以外の画面の文字を消す（再生ズーム中、デジタルエフェクト実行中は表示します）。 ●「切」にすると、再生中の文字表示が消えます。 ● 操作中は表示が出て、操作が終わると2秒後に消えます。 液晶画面のデータコード以外の文字を消すと、一部の警告文を除き、接続しているテレビの画面上の文字も消えます。	
日付オート表示	入	テープの再生を始めたとき、または再生中に日付／エリアが変わったときに約6秒間日付を表示する。 ●「入」のとき、「再生時文字表示」が「切」になっていても、日付は約6秒間表示します。	–
	切	(約6秒間の)日付表示をしない。	
データコード	**日時**	データコードボタンを押すと、日時のみ表示する。	107
	カメラデータ	カメラデータを表示する。	
	日時＆カメラデータ	日時とカメラデータを表示する。	
日時選択	日付	「データコード」で「日時」を選択したとき、日付を表示する。	106
	時刻	「データコード」で「日時」を選択したとき、時刻を表示する。	
	日付＆時刻	「データコード」で「日時」を選択したとき、日付と時刻を表示する。	
システム設定			
リモコンコード	**1**	リモコンコードが「1」に設定されたリモコンの操作を受け付ける。	109
	2	リモコンコードが「2」に設定されたリモコンの操作を受け付ける。	
	切	リモコンの信号を受け付けない。	

サブメニュー項目	設定内容	意味	📖
システム設定			
録画ランプ	**入** / 切	撮影時に録画ランプを点滅させるかどうかを選ぶ。録画ランプは被写体に撮影中であることを知らせるランプです。ガラス越しやクローズアップ撮影などのときに、ガラスや被写体に映ってしまうことがあります。このようなときは点滅を止められます。 ● 録画ランプを「切」にしていても、リモコンを受光すると点灯します。	−
おしらせ音	**入**	電源を入れたとき、スタート／ストップボタンを押したとき、セルフタイマーで撮影するとき、カードカメラモードで静止画を撮影するときのシャッター音、結露などの警告を知らせるとき、などに音が鳴る。	−
	切	お知らせ音をすべて鳴らないようにする。	
エリア/サマータイム		世界時計のエリアを設定する。	38
日時設定		日時を設定する。	41
マイカメラ設定			
起動音	切、**初期設定**、ユーザー設定1、ユーザー設定2	起動音を選ぶ。	100
シャッター音	切、**初期設定**、ユーザー設定1、ユーザー設定2	シャッター音を選ぶ。	
操作音	切、**初期設定**、ユーザー設定1、ユーザー設定2	操作音を選ぶ。	
セルフタイマー音	切、**初期設定**、ユーザー設定1、ユーザー設定2	セルフタイマー音を選ぶ。	

カードカメラメニュー（電源スイッチ：カメラ、テープ／カード切換スイッチ：（カード））

サブメニュー項目	設定内容	意味	
カメラ設定			
デジタルズーム	**切**	デジタルズームの設定を選ぶ。	45
	36×		
手ぶれ補正()*	**入**	手ぶれ補正をする。	79
	切	手ぶれ補正を解除する。	
ホワイトバランス	**オート**	色合いを自動で調整する。	84
	オート以外	色合いの調整を撮影する状況に合わせて設定する。	
ドライブモード*	連写	連続撮影をする。	143、145
	AEB	露出を自動的に変えて3枚連続で撮影する。	
	単写	連続撮影をしない。	
AF補助光	**オート**	AF補助光を自動で点灯させる。	60
	切	AF補助光を使わない。	
フォーカス優先	**入**	フォーカス優先にする。	139
	切	フォーカス優先にしない。	
ND	**オート**	NDフィルターを自動で入れる。	143
	切	NDフィルターを入れない。	
ゼブラパターン*	入	ゼブラパターンを表示する。	75
	切	ゼブラパターンを表示しない。	
逆光補正*	入	逆光補正をする。	75
	切	逆光補正をしない。	
カード設定			
静止画像画質	スーパーファイン	メモリーカードに最高画質で記録する。	135
	ファイン	メモリーカードに高画質で記録する。	
	ノーマル	メモリーカードに標準画質で記録する。	
静止画像サイズ	**1632×1224**	メモリーカードに記録する静止画の画像サイズを選ぶ。	136
	1280×960		
	640×480		
動画画像サイズ	**352×288**	メモリーカードに記録する動画の画像サイズを選ぶ。	136
	176×144		
番号リセット	する	ファイル番号をリセットする。	137
	しない	ファイル番号をリセットしない。	
オーディオ設定			
ウィンドカット	入	内蔵マイクを使用時に風音などを低減する。	82
	切	風音などを低減しない。	
マイクATT	入	マイク入力レベルが高すぎて音声が歪むときに「入」にする。	81
	切		
音量		ヘッドホンの音量を調整する。	52

* のついた機能はカスタムキーに設定できます。

サブメニュー項目	設定内容	意味	
表示設定			
LCDあかるさ調整		液晶画面の明るさを調整する。選択／設定ボタンを上に押して、明るさ表示の指標が ✚ にいくほど明るくなる。 ● 液晶画面上の画像が暗すぎたり、明るすぎたりしたときに調整します。 ● 画面の明るさの調整は、撮影する画像の明るさとは関係ありません。また、ビューファインダーの明るさは変わりません。	–
LCD対面ミラー	**入**	対面撮影するときに、液晶画面が鏡のように反転した画面になる。	55
	切	ビデオカメラが撮っているそのままの画面になる。	
オンスクリーン	**入**	液晶画面／ビューファインダーの情報を本機に接続したテレビ画面に表示する。 ● モニターテレビで情報を確認しながら撮影するときに使います。	–
	切	液晶画面／ビューファインダーの情報を本機に接続したテレビ画面に表示しない。	
日時表示	入	撮影中にも日時を表示する。	43
	切	撮影中に日時を表示しない。	
デモモード	**入**	デモンストレーション（機能紹介）を行う。 ● カセットとメモリーカードを入れずに「入」に設定してメニューを閉じたとき、またはカセットとメモリーカードが入っていない状態で電源スイッチを「カメラ」にして5分が過ぎると、自動的に機能紹介が始まります。 ● デモモードを終了するには、 いずれかの操作ボタンを押す／電源を切る／カセットまたはカードを入れます。	–
	切	デモンストレーションを行わない。	
システム設定			
カスタムキー	**切**、手ぶれ補正、逆光補正、ゼブラパターン、ドライブモード	使用するカスタムキーを選ぶ。カスタムキーを使用しないときは「切」を選んでください。	88
リモコンコード	**1**	リモコンコードが「1」に設定されたリモコンの操作を受け付ける。	109
	2	リモコンコードが「2」に設定されたリモコンの操作を受け付ける。	
	切	リモコンの信号を受け付けない。	

サブメニュー項目	設定内容	意味	📖
システム設定			
録画ランプ	**入**	撮影時に録画ランプを点滅させるかどうかを選ぶ。録画ランプは被写体に撮影中であることを知らせるランプです。ガラス越しやクローズアップ撮影などのときに、ガラスや被写体に映ってしまうことがあります。このようなときは点滅を止められます。 ● 録画ランプを「切」にしていても、リモコンを受光すると点灯します。	–
	切		
おしらせ音	**入**	電源を入れたとき、スタート／ストップボタンを押したとき、セルフタイマーで撮影するとき、カードカメラモードで静止画を撮影するときのシャッター音、結露などの警告を知らせるとき、などに音が鳴る。	–
	切	お知らせ音をすべて鳴らないようにする。	
エリア/サマータイム		世界時計のエリアを設定する。	38
日時設定		日時を設定する。	41
マイカメラ設定			
起動音	切、**初期設定**、ユーザー設定1、ユーザー設定2	起動音を選ぶ。	100
シャッター音	切、**初期設定**、ユーザー設定1、ユーザー設定2	シャッター音を選ぶ。	
操作音	切、**初期設定**、ユーザー設定1、ユーザー設定2	操作音を選ぶ。	
セルフタイマー音	切、**初期設定**、ユーザー設定1、ユーザー設定2	セルフタイマー音を選ぶ。	

カード再生メニュー（電源スイッチ：再生（VTR)、テープ／カード切換スイッチ：(カード)）

サブメニュー項目	設定内容	意味	📖
カード実行（静止画／動画を1枚表示しているとき）			
コピー[→]	**キャンセル**	画像のコピーを行わない。	173
	実行	メモリーカードの静止画をテープに順次コピーする。	
プリント指定全消去	**いいえ**	プリント指定の消去を行わない。	166
	はい	プリント指定をすべて消去する。	
画像消去	**キャンセル**	画像の消去を行わない。	161
	1枚消去	1枚の画像を消去する。	
	全消去	メモリーカードにあるすべての静止画または動画を消去する（プロテクト設定したものを除く）。	
フォーマット	**キャンセル**	メモリーカードをフォーマット（初期化）しない。	174
	実行	メモリーカードをフォーマット（初期化）する。	
カード実行（インデックス画面を表示しているとき）			
➡画像プロテクト		画像プロテクト設定画面へ	160
➡ プリント指定		プリント指定設定画面へ	165
VTR設定			
録画モード	**SP**	SP(標準）モードで録画する。	83
	LP	LP(標準の1.5倍の録画時間）モードで録画する。	
表示設定			
LCDあかるさ調整		液晶画面の明るさを調整する。選択／設定ボタンを上に押して、明るさ表示の指標が ✚ にいくほど明るくなる。 ● 液晶画面上の画像が暗すぎたり、明るすぎたりしたときに調整します。 ● 画面の明るさの調整は、再生する画像の明るさとは関係ありません。また、ビューファインダーの明るさは変わりません。	–
再生時文字表示	**入**	再生時に画面に文字表示が出る。	–
	切	液晶画面で再生時にデータコード以外の画面の文字を消す（再生ズーム中は表示します）。 ●「切」にすると、再生中の文字表示を消すことができます。 ● 操作中は表示が出て、2秒後に消えます。液晶画面のデータコード以外の文字を消すと、一部の警告文を除き、接続しているテレビの画面上の文字も消えます。	

（灰色）の項目はカード動画再生モード時は表示されません。

その他

サブメニュー項目	設定内容	意味	📖
表示設定			
日時選択	日付	「データコード」で「日時」を選んだとき、日付を表示する。	106
	時刻	「データコード」で「日時」を選んだとき、時刻を表示する。	
	日付＆時刻	「データコード」で「日時」を選んだとき、日付と時刻を表示する。	
システム設定			
リモコンコード	**1**	リモコンコードが「1」に設定されたリモコンの操作を受け付ける。	109
	2	リモコンコードが「2」に設定されたリモコンの操作を受け付ける。	
	切	リモコンの信号を受け付けない。	
録画ランプ	**入**	撮影時に録画ランプを点滅させるかどうかを選ぶ。録画ランプは被写体に撮影中であることを知らせるランプです。ガラス越しやクローズアップ撮影などのときに、ガラスや被写体に映ってしまうことがあります。このようなときは点滅を止められます。 ● 録画ランプを「切」にしていても、リモコンを受光すると点灯します。	–
	切		
おしらせ音	**入**	電源を入れたとき、スタート／ストップボタンを押したとき、セルフタイマーで撮影するとき、カードカメラモードで静止画を撮影するときのシャッター音、結露などの警告を知らせるとき、などに音が鳴る。	–
	切	お知らせ音をすべて鳴らないようにする。	
USB接続	スタンダード	カードの静止画／動画をパソコンに取り込んだり、静止画をダイレクトプリント対応のプリンターで印刷する。	175
	ストレージ固定	本機をメモリーカードリーダー／ライターのように使って、カードの静止画/動画をパソコンに取り込んだり、パソコンに保存されている画像をカードに書き込んだりする。	
エリア／サマータイム		世界時計のエリアを設定する。	38
日時設定		日時を設定する。	41
マイカメラ設定			
起動画面選択	切、**CANONロゴ**、ユーザー設定1、ユーザー設定2	起動画面を選ぶ。	100

（網かけ）の項目はカード動画再生モード時は表示されません。

サブメニュー項目	設定内容	意味	📖
マイカメラ設定			
起動音	切、**初期設定**、ユーザー設定1、ユーザー設定2	起動音を選ぶ。	100
シャッター音	切、**初期設定**、ユーザー設定1、ユーザー設定2	シャッター音を選ぶ。	
操作音	切、**初期設定**、ユーザー設定1、ユーザー設定2	操作音を選ぶ。	
セルフタイマー音	切、**初期設定**、ユーザー設定1、ユーザー設定2	セルフタイマー音を選ぶ。	
➡ プリント			
プリント指定（別売のダイレクト印刷対応プリンターを接続したときに出ます。）			180

■の項目はカード動画再生モード時は出ません。

その他

ネットワークモードについて（DV Messenger Version2を使う）

付属のソフトDV Messenger（Windows XP専用）を使うと、パソコンからビデオカメラを操作できます。DV Messengerを使用するときは、本機を「ネットワークモード」にしてパソコンと接続します。
DV Messengerは、USB端子、DV（IEEE1394）端子のいずれでも使用できます。
DV Messengerについて、詳しくはDV Network Softwareソフトウェア使用説明書をご覧ください。

ダイレクトプリント対応プリンターを接続しているときは、ビデオカメラをネットワークモードに切り換えないでください。

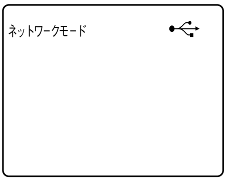
接続のしかた

あらかじめ、パソコンにDV Messengerをインストールしておいてください。USBケーブルでパソコンに接続するときは、Canon USB Videoドライバーも必要です。

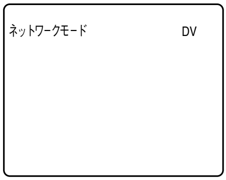
❶ パソコンを起動する
❷ 本機にコンパクトパワーアダプターを接続する
❸ 電源スイッチの左下のネットワークモード切換ボタンを押しながら、電源スイッチを「ネットワーク」にする
❹ USBケーブルまたはDVケーブルで、本機とパソコンを接続する

- 本機の画面に「ネットワークモード」が表示されます。

USBケーブル接続時



DVケーブル接続時

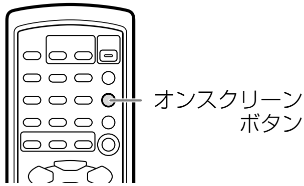


- 本機とパソコンを接続したら、DV Messengerを起動してください。パソコンのDV Messengerの画面を使って、ビデオカメラを操作できます。

❍ DV Messengerが起動して使用可能な状態となると、本機で撮影している映像がパソコンの画面に表示されます。
❍ ネットワークモードでは、ビデオカメラをパソコンから操作しますので、一部の機能を除き、ビデオカメラ本体では操作できません。
ビデオカメラ本体で操作できる機能は、以下のとおりです。
DV Messengerでカメラ操作用パネルを表示している場合：
・ ズーム
・ ピント合わせ（DV Messengerで手動ピント合わせを設定しているとき）
DV MessengerでVTR操作用パネルを表示している場合：
・ 内蔵スピーカーの音量調整
以下の機能は、動作しません。
・ 手ぶれ補正
・ 内蔵フラッシュ
リモコンでの操作はできません。

画面表示について

画面には、カメラの動作状態のさまざまな情報が表示されます。画面の情報を本機と接続したテレビにも表示できます。



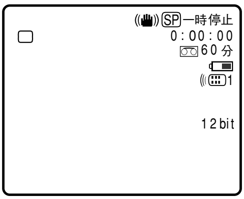
電源スイッチが「カメラ」のとき：
テレビ画面上での表示が不要なときはオンスクリーンボタンを押して消してください。もう一回押すと表示します。
電源スイッチが「再生（VTR）」のとき：
オンスクリーンボタンを押すと表示し、もう一回押すと消えます。

再生（VTR）モード、カード再生モードのとき

- ❍ オンスクリーンは、一度電源を切ると「切」になります。
- ❍ 通常は、本機と接続したテレビ画面上の表示が消えても、液晶画面上の表示は消えませんが、データコードを表示させると、データコード以外の液晶画面の表示はすべて消えます。

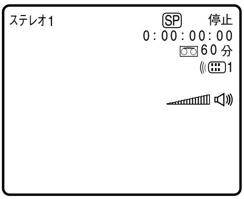
自動で撮る/テレビで見るときの表示

は点滅表示を示しています。（　）内の数字は参照ページです。



カメラモードで □（全自動）を選んで、テープを入れたときの表示です（バッテリーパック使用時）。

- ・ リモコンコード設定は約2秒後にオーディオモードは、約4秒後に消えます。



再生(VTR)モードでテープを入れたときの表示です。

- ・ リモコンコードと音量表示は、約2秒後に消えます。

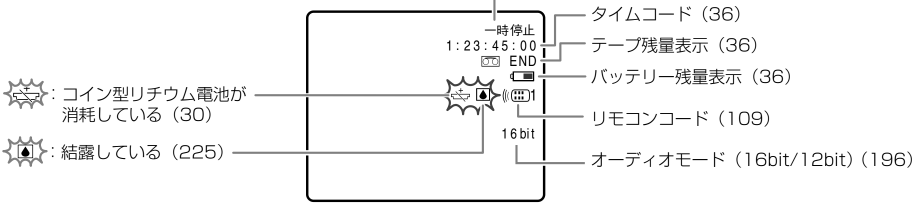
＊テープ走行表示

録画	▶▶ / ◀◀	：早送り再生／巻き戻し再生（49）
一時停止	×2 ▶ / ◀ ×2	：正方向／逆方向2倍速再生（50）
停止	×1 ▶ / ◀ ×1	：正方向／逆方向1倍速再生（50）
取出し	▮▶ / ◀▮	：正方向／逆方向1/3倍速再生（50）
再生	‖▶ / ◀‖	：正方向／逆方向コマ送り再生（50）
▶▶ 早送り	▶ ‖/ ‖ ◀	：正方向／逆方向静止画再生（49、50）
◀◀ 巻戻し	▶▶▏/ ▕◀◀	：正方向／逆方向日付／フォトサーチ（104、105）

リターン ▶▶ / ◀◀ リターン：ゼロセットメモリー早送り／巻き戻し（103）

●/ ●‖：AVインサート録画／録画一時停止（119）

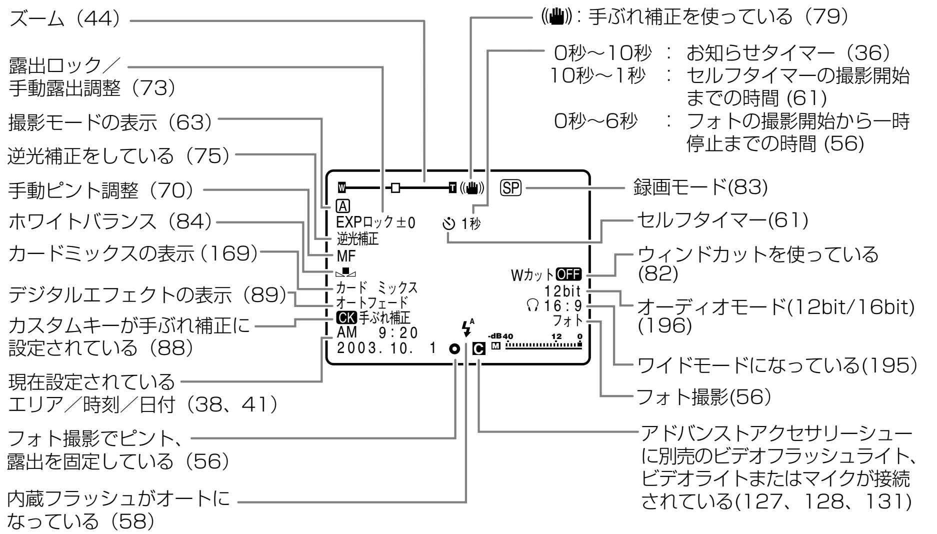
⊖/⊖‖：アフレコ音声録画／録画一時停止（121）



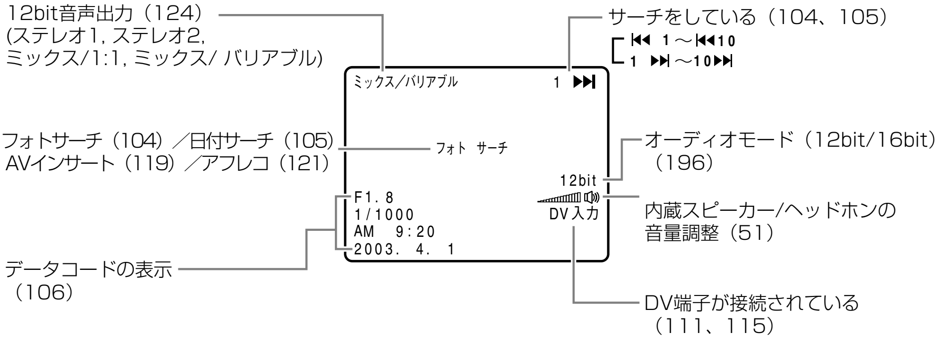
その他

効果的に使うときの表示

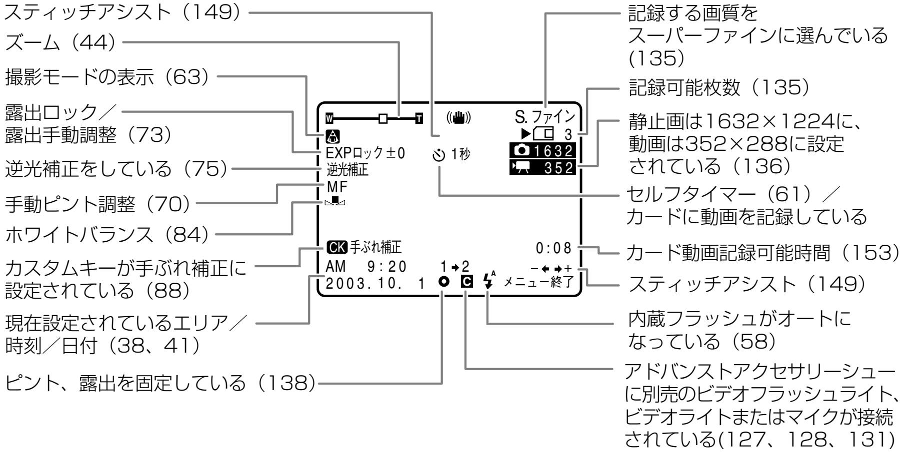
カメラモード



再生（VTR）モード

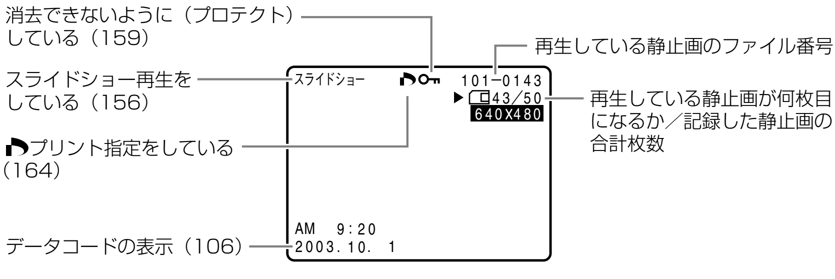


カードカメラモード



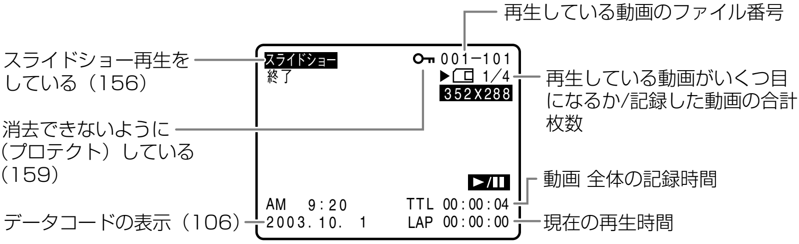
カード再生モード

静止画



その他

動画（MPEG-4）


再生している動画のファイル番号
スライドショー再生をしている（156）
消去できないように（プロテクト）している（159）
データコードの表示（106）
再生している動画がいくつ目になるか/記録した動画の合計枚数
動画 全体の記録時間
現在の再生時間
スライドショー
終了
001−101
1/4
352X288
AM 9:20
2003.10. 1
TTL 00:00:04
LAP 00:00:00

警告文表示(約4秒間表示されます)

エリア／日時を設定してください	世界時計のエリアまたは日時を設定していません。世界時計のエリアと日時を設定してください（□ 38、41)。
バッテリーパックを取りかえてください	バッテリーパックが消耗しています。十分に充電されたバッテリーと交換してください（□ 22)。
カセットの誤消去防止ツマミを確認してください	カセットが録画できない状態になっています。別のカセットと入れ換えるか、カセットの誤消去防止つまみをRECに切り換えてください（□ 29)。
カセットを取出してください	テープ保護のため、本機が動作を中止しました。カセットを取り出して最初から操作をやり直してください（□ 28)。
DV入力を確認してください	ＤＶケーブルがＤＶ端子にきちんと接続されていない、または接続されたデジタルビデオ機器の電源が切れています。ケーブルと端子、電源を確認してください (□ 111、115)。
結露しています	ビデオカメラ内部に水滴がついている場合に表示されます。結露の項目をご覧ください（□ 225)。
テープ終了です	テープが最後まで巻かれています。カセットを巻き戻す、または取り出してください（□ 28、48)。
テープを確認してください [記録モード]	長時間録画モードで記録された部分です。アフレコまたはAVインサートできません（□ 119、121)。
テープを確認してください [オーディオモード]	16bitまたは12bit 4チャンネルで記録された部分です。アフレコできません（□ 196)。
テープを確認してください [録画していません]	記録されていない部分のため、アフレコまたはAVインサートできません（□ 119、121)。
クリーニングカセットを使ってください [ヘッドよごれ]	録画を開始した直後、ビデオヘッドが汚れているときに表示されます。必ずビデオヘッドのクリーニングをしてください（□ 219)。
カードがありません	メモリーカードがビデオカメラ本体に入っていません（□ 134)。
カードの誤消去防止ツマミを確認してください	SDメモリーカードが記録（書き込み）ができない状態になっています。SDメモリーカードの誤消去防止のつまみを記録できる状態に切り換えてください（□ 134)。
画像がありません	メモリーカードに再生する静止画／動画がありません。
カードエラーです	メモリーカードにエラーがあり、記録、再生できません。一時的にカードエラーが起きる場合があります。「カードエラーです」の表示が4秒後に消えて□が赤色で点滅するときは、電源を切り、メモリーカードを出し入れしてください。□が緑色点灯すれば、そのまま記録、再生できます。
カードがいっぱいです	メモリーカードに空き容量がありません。別のメモリーカードと入れ換えるか、画像を消去してください。
ファイル名が作成できません	ファイル番号やフォルダー番号が最大になった場合に表示されます。
この画像は記録できません	アナログ入力した映像をメモリーカードに記録するときに、信号の状態によっては記録できないことがあります。
この画像は再生できません	再生できない画像フォーマット、互換性のないJPEG画像、またはデータが破壊されている画像を再生しようとした場合に表示されます。
□ プリント指定エラー	□プリント指定の設定可能な静止画の枚数（200枚）を超えた場合に表示されます(□ 164)。
カードカバーがあいています	メモリーカードカバーが開いています。カバーを閉じてください。

著作権保護信号(約4秒間表示されます)

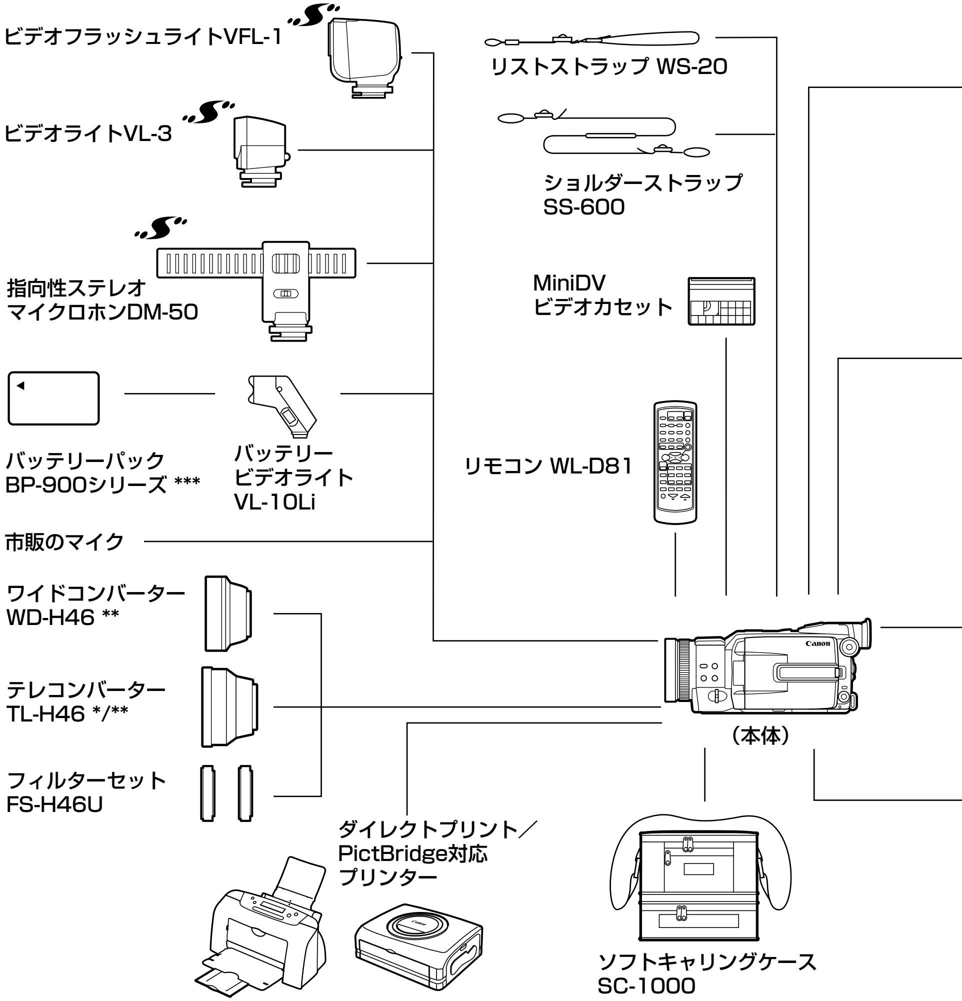
コピー禁止テープです 再生できません	(本機が再生側の場合) 著作権保護信号が記録されているテープを再生した場合、青い画面上に表示されます。この表示が出るテープは再生することができません。
コピー禁止です	(本機が録画側の場合) 著作権保護信号が記録されているテープをダビング録画しようとした場合に、青い画面上に表示されます。この表示が出るテープは記録することができません。また、アナログ入力時に、テレビやビデオから出力される信号が乱れている場合にも表示されることがあります（📖 113、115)。 アナログーデジタル変換時は、動作中、表示され続けます（📖 117)。

ダイレクト印刷対応プリンターの接続時に出る警告文表示

本機とダイレクト印刷対応プリンターを接続時に、本機の画面に次の警告文が表示されることがあります。対処方法については、プリンターの使用説明書をあわせてご覧ください。
PIXUSプリンタの場合、PIXUSプリンタの操作パネルに表示されるエラー番号も、PIXUSプリンタの使用説明書でご確認ください。

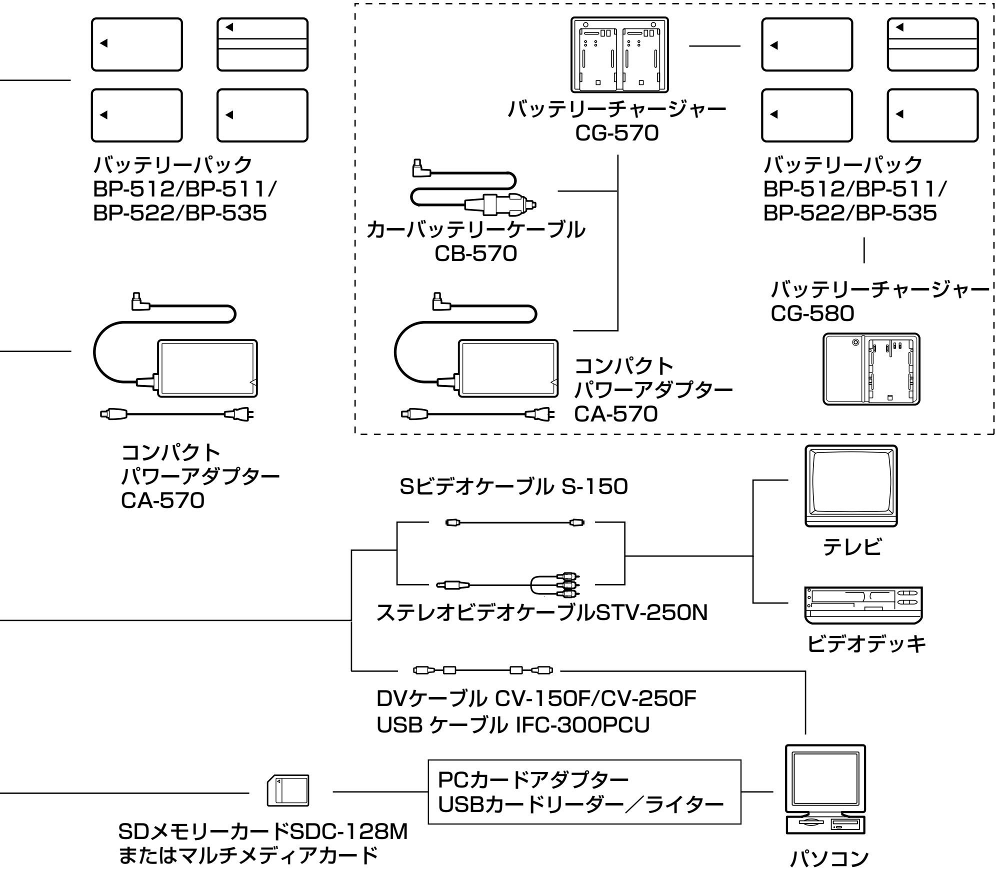
ペーパーエラー	ペーパーに異常があります。
ペーパーがありません	プリンターにペーパーが正しく入っていない、またはペーパーがありません。
ペーパーが詰まりました	印刷中にペーパーが詰まりました。
ペーパーが変更されています	ペーパーを選んでから印刷を開始するまでの間にペーパーサイズが変わりました。
指定外のペーパーです	ビデオカメラで扱えないペーパーがプリンターに取り付けられました。
ペーパーの種類が違います	プリンターで使用できないペーパーを選んでいます。使用できるペーパーを選んでください。
インクエラー	インクカセットに異常があります。
インクカセットが異常です	インクカセットに異常があります。
インクがありません	インクが正しくセットされていない、またはインクがありません。
ペーパーとインクが不一致です	指定された用紙で使用できるインクではありません。
インクが残りわずかです	インクの交換時期です。
廃インクタンクが満杯です	プリンターの使用説明書をご覧ください。
ファイルエラー	本機以外、または異なるフォーマットで記録した静止画、またはパソコンに取り込んで加工した静止画を印刷しようとしました。
プリントできない画像です	本機以外、または異なるフォーマットで記録した静止画、またはパソコンに取り込んで加工した静止画を印刷しようとしました。
プリントのできない画像が＊枚ありました	本機以外、または異なるフォーマットで記録した静止画、またはパソコンに取り込んで加工した静止画を＊枚DPOF設定で印刷しようとしました。
プリント指定が必要です	プリント指定していない静止画を、カード再生メニューの「➡ プリント」を使って印刷しようとした。
トリミングできない画像です	画像サイズが160×120の静止画をトリミングしようとしました。または、横、縦の比率が4：3から大きくずれた画像でトリミングしようとしました。
トリミングの再設定が必要です	トリミングの設定後に「スタイル」の設定を変更しました。
プリンタートラブル発生	[中止]を選び、印刷を中止して、プリンターの電源を切り、しばらくしてから電源を入れ直してください。プリンターの状態を確認してください。
プリンターバッテリー切れです	プリンターの電池がなくなりました。
通信エラー	通信中にエラーが発生しました。
プリンターは使用中です	使用中です。プリンターの状態を確認してください。
プリンターは準備中です	準備中です。しばらくして表示が消えない場合は、プリンターの状態を確認してください。
紙間レバー位置が不正です	紙間レバー位置を正しい位置に直してください。
プリンターカバーが開いています	プリンターのカバーを閉じてください。
プリンターヘッド未装着	プリントヘッドを取り付けてください。

キヤノンビデオシステム



アクセサリーについて

アクセサリーはキヤノン純正品のご使用をおすすめします。
本製品は、キヤノン純正の専用アクセサリーと組み合わせて使用した場合に最適な性能を発揮するように設計されておりますので、キヤノン純正アクセサリーのご使用をおすすめいたします。なお、純正品以外のアクセサリーの不具合（例えばバッテリーパックの液漏れ、破裂など）に起因することが明らかな、故障や発火などの事故による損害については、弊社では一切責任を負いかねます。また、この場合のキヤノン製品の修理につきましては、保証の対象外となり、有償とさせていただきます．あらかじめご了承ください。



* テレコンバーターを装着時は、ビデオカメラが被写体に近づける距離が変わります。
ズームのWの端：テープ撮影時：約6cm、カード撮影時：18cm、Tの端：約3m

** ワイドコンバーター、テレコンバーターを取り付けたときに、補助光（白色LED）や内蔵フラッシュ、ビデオフラッシュライトVFL-1のフラッシュやビデオライトに影が出ることがあります。

*** バッテリーパックBP-900シリーズを充電するときは、コンパクトパワーアダプターCA-920（別売）または、デュアルバッテリーチャージャー/ホルダーCH-910（別売）をお使いください。

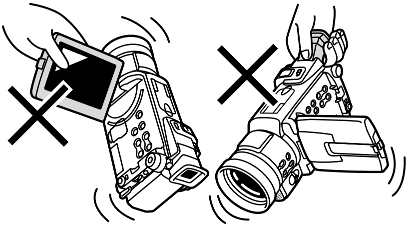
このマークは、キヤノンのビデオ関連商品の純正マークです。キヤノンのビデオ機器をお求めの際は、同じマークもしくはキヤノンビデオ関連商品をおすすめします。

記載内容は、2003年8月現在のものです。

取り扱い上のご注意

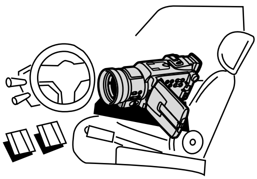
ビデオカメラやカセット、カードを使うときは次のことに注意してください（使用したカセットやカードはケースに収納してください）。

液晶画面やビューファインダーをつかんで、本機を持ち上げない



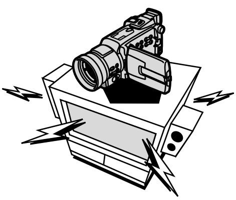
高温、多湿の場所に放置しない

炎天下の密閉された車内など、高温や多湿の場所に製品を放置しないでください。



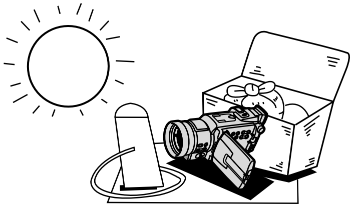
強い磁気の発生する場所で使わない

テレビや携帯電話の近くやテレビ塔の近くなど、強い電波や磁気を発生する場所での撮影は避けてください。画面がゆがんだり、ノイズが入ることがあります。



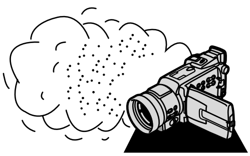
太陽や強いライトにレンズやファインダーを向けない

レンズやファインダーの接眼レンズは、絶対に太陽や強いライトに向けないでください。また輝度差の大きな被写体にカメラを向けたまま放置しないでください。



ホコリや砂の多い場所では使わない

ホコリや砂のつきやすい場所での使用、保存は避けてください。砂が本機やビデオカセット内部に入ると故障の原因となることがあります。また、レンズにホコリや砂がつくのを防止するため、使用後は必ずレンズキャップを付けてください。

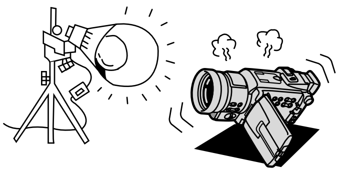


水や泥、塩分に注意する

本機は防水構造になっていません。水や泥、塩分などが本機やビデオカセット内部に入ると故障の原因となることがあります。

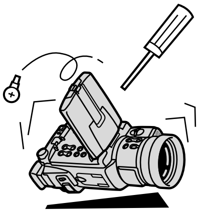
照明器具に注意する

照明器具を使うときは、器具から発生する熱に十分注意してください。



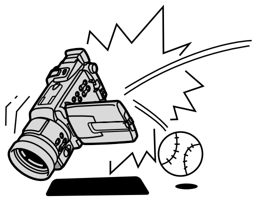
分解しない

分解して内部に触れないでください。正常に作動しないときは、キヤノンサービスセンターにご相談ください。



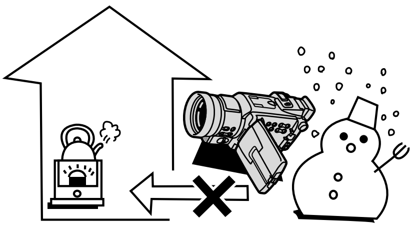
振動や衝撃を与えない

強い振動や衝撃は故障の原因になります。製品はていねいに取り扱ってください。



極端な温度差にさらさない

寒い場所で使った製品を急に暖かい室内に持ち込むと、製品内部に水滴（結露）が生じることがあります。温度差のある場所へ移動するときは、事前にカセットを本体から取り出してください。万一、結露が起きたときは、「結露について」（225ページ）の指示にしたがってください。



ビデオヘッドをクリーニングする

画面に「クリーニングカセットを使ってください[ヘッドよごれ]」と出ることがあります。また、テレビ番組はきれいに写るのに、ビデオでテープを再生すると画面がおかしくなったり、画像全体が青くなったりすることがあります。これは、ビデオヘッドの汚れが原因です。きれいな画像を撮影したり見たりするために、市販の乾式のヘッドクリーニングカセットを使って、こまめにビデオヘッドをきれいにしてください。

正常な画像



**ビデオヘッドが
汚れているときの画像**



ヘッドクリーニングするときは

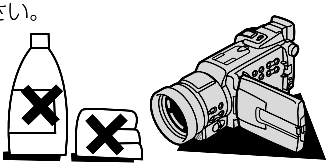
湿式のクリーニングカセットは使用しないでください。故障の原因となることがあります。

日常のお手入れ／保管上のご注意

大切なビデオカメラやビデオカセット、カードをより長くお使いいただくために、日常のお手入れや保管方法には十分注意してください。

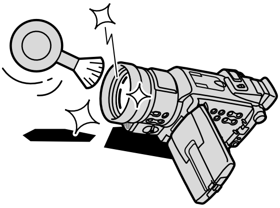
お手入れ

製品の汚れは乾いたやわらかい布で軽くふいてください。化学ぞうきんやシンナーなどの使用は、製品を傷めることがあるのでおやめください。



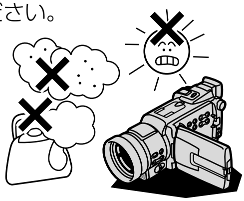
レンズはいつもきれいに

レンズの表面にホコリや汚れが付いていると、自動ピント合わせがうまく動作しないことがあります。レンズを常にきれいに保つようにしてください。最初にブロアーでレンズ表面のゴミ、ホコリを取り除き、それから汚れをふき取るようにしてください。



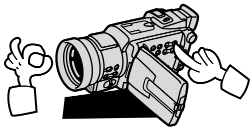
長期間使わないときは

製品を長期間ご使用にならない場合は、ホコリが少なく、湿度の低い、30℃以下の場所に保管してください。



各部のチェック

長期間使わなかった後のご使用や、重要な撮影の前には、各部の動作をチェックしてください。

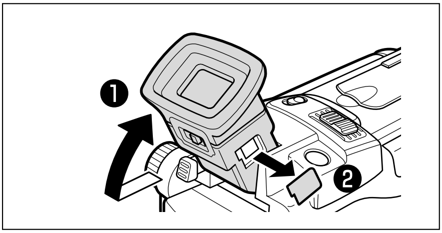


液晶画面について

- 汚れたときは市販の眼鏡クリーナー（布製）などで拭いてください。
- 温度差の激しいところでは、液晶画面に水滴がつくことがあります。柔らかい乾いた布で拭いてください。
- 寒冷地などで本機が冷え切っている場合は、電源を入れた直後は液晶画面が通常より少し暗くなります。内部の温度が上がると、通常の明るさになります。

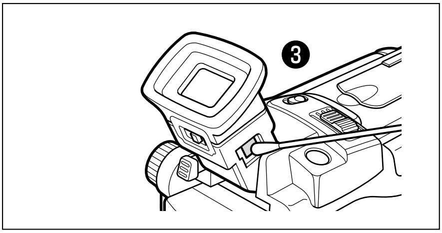
ビューファインダーのお手入れ

ビューファインダー内部のゴミを取り除く

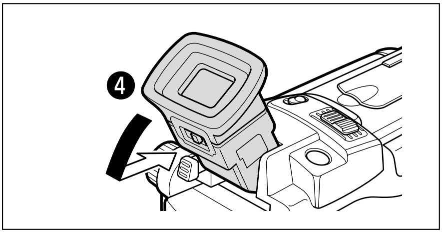


❶ ビューファインダーを引き出して、上げる

❷ ビューファインダーの側面にある保護カバーを取りはずす



❸ 綿棒を差し込み、ガラス部のゴミを取り除く



❹ 保護カバーを取り付けて、ビューファインダーを元の位置に戻す

ガラス部の表面は傷つきやすいので、ご注意ください。

その他

こんなときは

故障かな？と思っても、修理に出す前にもう一度確認してください。
特にほかの機器と接続しているときは、ケーブルの接続も確認してください。点検しても直らないときは、ご購入の店、またはキヤノンサービスセンターにご相談ください。

	こんなときには	考えられる原因	どうするの？	参照ページ
電源	**電源が入らない。**	バッテリーパックが消耗している。	十分に充電したバッテリーパックと交換する。	22
		バッテリーパックが正しく装着されていない。	バッテリーパックを正しく装着し直す。	22
	途中で電源が切れる。	バッテリーパックが消耗している。	十分に充電したバッテリーパックと交換する。	22
		撮影一時停止状態が5分以上続いた。	もう一度電源を入れる。	34
	グリップカバーを開いてもカセット入れが動かない。	バッテリーパックが消耗している。	十分に充電したバッテリーパックと交換する。	22
		グリップカバーが完全に開いていない。	止まるまで開く。	28
	カセット入れが動作中に止まって動かない。	バッテリーパックが消耗している。	十分に充電したバッテリーパックと交換する。	22
		本機が故障している。	サービスセンターにご相談ください。	巻末
	液晶画面／ビューファインダーがついたり消えたりをくり返す。	バッテリーパックが消耗している。	十分に充電したバッテリーパックと交換する。	22
撮影時・再生時	**操作ボタンを押しても動かない。**	電源が入っていない。	電源を入れる。	34 48
		カセットが入っていない。	カセットを入れる。	28
	画面で「🔋」が点滅する。	バッテリーパックが消耗している。	十分に充電したバッテリーパックと交換する。	22
	画面で「💧」が点滅する。	ビデオカメラの内部に水滴が付いた。	結露の項目をご覧ください。	225
	画面で「カセットを取り出してください」が点滅する。	保護機能が働いている。	カセットを一度取り出して、入れ直す。	28
	リモコンが動作しない。	本機とリモコンのリモコンコードが異なるかメニューでリモコンセンサーを止めている（画面に「((▭」が出ている）。	メニューでリモコンコードを「((▭1」または「((▭2」にする。	109
		リモコンの電池が消耗した。	新しい電池と交換する。	33
撮影時	**「ϟ」が赤く点滅する**	フラッシュ充電中に異常があった。	電源を切ってからバッテリーパックなどの電源を取りはずし、サービスセンターにご相談ください。	
	画面に映像が映らない。	カメラモードになっていない。	カメラモードにする。	34
	「エリア／日時を設定してください」が表示される。	世界時計のエリアまたは日時が設定されていないか、コイン型リチウム電池が消耗している。	世界時計のエリアと日時を設定するか、新しいコイン型リチウム電池CR2025と交換し、日付／時刻を設定し直す。	30 38 41

	こんなときには	考えられる原因	どうするの？	参照ページ
撮影時	**スタート／ストップボタンを押しても、録画しない。**	電源が入っていない。	カメラモードにする。	34
		カセットが入っていない。	カセットを入れる。	28
		テープが終わっている（画面で「END」が点灯している）。	テープを巻き戻すか、新しいカセットを入れる。	28 48
		カセットが録画できない状態になっている（画面で「」が点滅する）。	別のカセットと入れ換えるか、カセットを録画できる状態に切り換える。	28 29
		カメラモード以外になっている。	カメラモードにする。	34
	ピントが合わない。	ピントの自動調整が苦手な被写体である。	手動でピントを合わせる。	70
		ビューファインダーの視度が合っていない。	視度調整レバーで画像がはっきり見えるように調整する。	31
		レンズが汚れている。	最初にブロアーでレンズ表面のゴミ、ホコリを吹き除いた後で、レンズを傷付けないように、乾いた柔らかい布で軽く拭いて、汚れを取り除く。（ティッシュペーパーは使わないでください。）	220
	音が歪んだり、実際より小さく記録される。	大きな音の近く（打ち上げ花火や太鼓、コンサートなど）で撮影すると、音が歪んだり、実際より小さく記録されることがあります。故障ではありません。	−	
	キラキラ光っていたり、極端に明るい被写体(一部に高輝度な部分がある被写体)を撮影すると、縦に帯が出る。	CCDのスミア現象で故障ではありません。	−	64
	ビューファインダーの画像がはっきりしない。	視度調整レバーで調整していない。	視度調整レバーで調整する。	31
再生時	**再生ボタンを押しても再生しない。**	電源が入っていない、または再生（VTR）モード以外になっている。	再生（VTR）モードにする。	48
		カセットが入っていない。	カセットを入れる。	28
		テープが終わっている（画面で「END」が点灯している）。	テープを巻き戻す。	48
	テレビに画像が出ない。	「AV入力→DV出力」が「入」になっている。	「AV入力→DV出力」を「切」にする。	117
	テープは回っているが、テレビに再生画像が出ない。	テレビのテレビ／ビデオ切換スイッチがビデオになっていない。	テレビ／ビデオ切換スイッチをビデオにする。	53
		ビデオヘッドが汚れている。	市販の乾式のヘッドクリーニングカセットでビデオヘッドをクリーニングする。	219
		コピー禁止テープを再生またはダビング録画しようとしている。	再生またはダビング録画を中止してください。	110 214
	再生画像は出るが、内蔵スピーカーから音が出ない。	スピーカーの音量調整が「切」になっている。	選択／設定ボタンで調整する。	51

	こんなときには	考えられる原因	どうするの？	参照ページ
カード使用時	**メモリーカードが入らない**	メモリーカードの向きが正しくない。	正しい向きでメモリーカードを入れる。	134
	メモリーカードに記録できない。	すでにメモリーカードの容量いっぱいに記録してる。	不要な静止画／動画を消去してから撮影する。	161
		フォーマットされていないメモリーカードを使っている。	フォーマットしてからメモリーカードを使う。	174
		メモリーカードが入っていない。	メモリーカードを入れる。	134
		番号が最大になっている（ファイル名が作成できない）。	メニューで番号リセットを「する」に設定して、新しいメモリーカードを入れる。	137
		SDメモリーカードの場合、メモリーカードが記録できない状態になっている。	SDメモリーカードを記録できる状態に切り換える。	134
	メモリーカードの再生ができない。	カード再生モード以外になっている。	電源スイッチを「再生（VTR)」、テープ／カード切換スイッチを「（カード)」にする。	154
		メモリーカードが入っていない。	メモリーカードを入れる。	134
	カード再生モードで動画が見つからない。	カード静止画再生モードになっている。	カード静止画/動画ボタンを押して、カード動画再生モードにする。	155
		本機以外で記録した動画はMotion JPEG方式で記録したものがあります。	Motion JPEG方式の動画はカード静止画再生モードで再生する。	154
	静止画または動画を消去できない。	静止画／動画がプロテクト設定されている。	プロテクト設定を解除する。	159
		SDメモリーカードの場合、メモリーカードが記録できない状態になっている。	SDメモリーカードを記録できる状態に切り換える。	134
	が赤色で点滅する。	カードエラーになっている。	電源を切る。 メモリーカードを出し入れする。 それでも点滅が続く場合は、フォーマットする。	134 174
印刷時	**本機とプリンターが正しく接続されているのに、プリンターが動作しない。**	電源スイッチが「ネットワーク」になっている。	本機をカード静止画再生モードにして、USBケーブルを抜き差しし、プリンターの電源を入れ直してください。	00

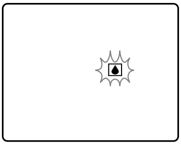
本機はマイコンを使用した機器です。外部からの雑音やノイズ、静電気などにより液晶画面／ビューファインダーに通常でない文字が出たり、正常に動作しないことがあります。このような場合は、電源およびコイン型リチウム電池をいったん取りはずし、しばらくしてから取り付け直して、操作してください。

結露について

夏季、よく冷えたビールをコップに注ぐと、コップの表面に水滴がつくことがあります。この現象を結露といいます。ビデオカメラを結露した状態で使用すると故障の原因になりますので注意してください。

結露したときは？

電源ランプが点滅して、本機は自動的に停止します。画面に「結露しています」が約4秒間表示され、が点滅します。カセットが入っている場合は、「結露しています」のあとで、「カセットを取出してください」が表示され、が点滅します。



カセットが入っている場合は、すぐに取り出して、カセット入れを開いたまま乾燥した所に置いてください（結露したときは、電源スイッチとカセット取り出しスイッチのみ働きます）。カセットを中に入れたまま放置すると、テープを傷める可能性があります。また、結露したときは、カセットを本体に入れようとしても入りません。

結露を防ぐためには

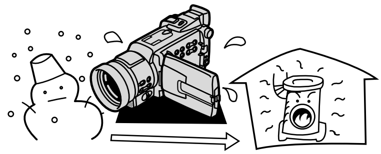
温度差のある場所へ急に移動するときは、事前にカセットを取り出し、ビデオカメラをビニール袋に入れて密閉してから移動します。ビデオカメラが移動先の温度と同じになってから袋から取り出すと、結露を防ぐことができます。

使い始めるには

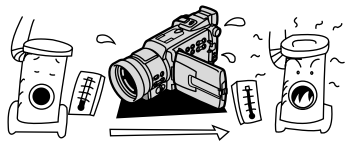
水滴が消えるまでの時間は、周囲の環境によって多少異なりますが、約1時間程度です。電源を入れて、画面のや電源ランプが点滅しなくなっても、念のためさらに1時間くらい放置してください。

こんなときにはご注意

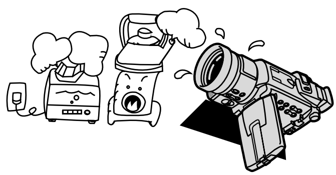
・ 寒い所から急に暖かい所に移動したとき



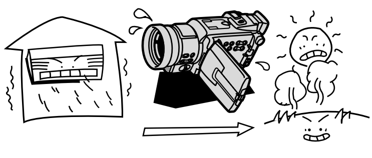
・ 寒い部屋を急に暖房したとき



・ 湿度の高い部屋の中



・ 夏季、冷房のきいた部屋から急に温度や湿度の高い所に移動したとき



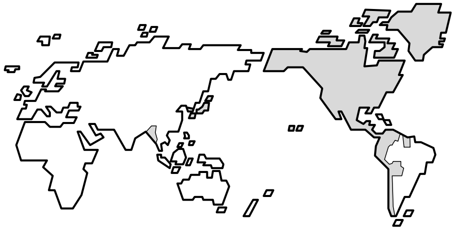
海外で使うとき

本製品は、海外でもお使いになれますが、次のことにご注意ください。

テレビでの再生

録画したビデオカセットを現地のテレビでご覧になる場合、日本国内で採用しているNTSC方式（カラー受信方式の1つ）で、映像／音声入力端子のついたテレビが必要になります。

NTSC方式は以下の国／地域で採用されています。
日本放送出版協会発行「世界のラジオとテレビジョン1988」による



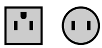
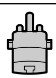
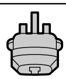
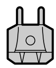
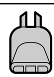
- ●アメリカ合衆国
- ●エクアドル
- ●カナダ
- ●キューバ
- ●グアム
- ●大韓民国
- ●チリ
- ●ドミニカ
- ●トリニダード・トバゴ
- ●ニカラグア
- ●バミューダ
- ●プエルトルコ
- ●ベネズエラ
- ●ペルー
- ●米領サモア
- ●ボリビア
- ●グァテマラ
- ●グリーンランド
- ●コスタリカ
- ●コロンビア
- ●スリナム
- ●セントルシア
- ●ハイチ
- ●パナマ
- ●バハマ
- ●バラバドス
- ●ミャンマー
- ●フィリピン
- ●ホンジュラス
- ●ミクロネシア
- ●メキシコ
- ●台湾

電源について

コンパクトパワーアダプターCA-570は、AC100～240V 50/60Hzまでの電源に接続できます。ただし、電源コンセントの形状が異なる国では、変換プラグアダプターが必要になります（1つの国／地域の中でも地域によってコンセントの形状が異なる場合があります）。
コンパクトパワーアダプターCA-570を海外旅行者用の電子式変圧器などに接続すると、故障のおそれがありますので、使用しないでください。

変換アダプターについては、旅行代理店などで確認の上、あらかじめご用意ください。

海外の電源コンセントの種類

タイプ	A	B	BF	C	S
コンセントの形状					
変換プラグ	不要です				

主な国名と使用するプラグの種類（参考資料）

●北米	
アメリカ合衆国	A
カナダ	A

●ヨーロッパ	
アイスランド	C
アイルランド	C
イギリス	B. BF
イタリア	C
オーストリア	C
オランダ	C
ギリシャ	C
スイス	C
スウェーデン	C
スペイン	A. C
デンマーク	C
ドイツ	C
ノルウェー	C
ハンガリー	C
フィンランド	C
フランス	C
ベルギー	C
ポーランド	B. C
ポルトガル	B. C
ルーマニア	C

●アジア	
インド	B. C. BF
インドネシア	C
シンガポール	B. BF
スリランカ	B. C. BF
タイ	A. BF. C
大韓民国	A. C
中華人民共和国	A. B. BF. C. S
ネパール	C
パキスタン	B. C
バングラディシュ	C
フィリピン	A. BF. S
ベトナム	A. C
香港特別行政区	B. BF
マカオ特別行政区	B. C
マレーシア	B. BF. C

●オセアニア	
オーストラリア	S
グアム	A
タヒチ	C
トンガ	S
ニュージーランド	S
フィジー	S

●中南米	
アルゼンチン	BF. C. S
コロンビア	A
ジャマイカ	A
チリ	B. C
ハイチ	A
パナマ	A
バハマ	A
プエルトリコ	A
ブラジル	A. C
ベネズエラ	A
ペルー	A. C
メキシコ	A

●中近東	
イスラエル	C
イラン	C
クウェート	B. C
ヨルダン	B. BF

●アフリカ	
アルジェリア	A. B.BF. C
エジプト	B. BF. C
カナリア諸島	C
ギニア	C
ケニア	B. C
ザンビア	B. BF
タンザニア	B. BF
南アフリカ共和国	B. C. BF
モザンビーク	C
モロッコ	C

保証書とアフターサービス

● 本機の保証は日本国内を対象としています。万一海外で故障した場合の現地でのアフターサービスはご容赦ください。

保証書

本体には保証書が添付されています。必要事項が記入されていることをお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

製品の保証について

1 本製品が万一故障したときは、本製品と保証書をご持参のうえ、ご購入いただいた販売店またはキヤノンサービスセンターにご相談ください。

2 保証期間内でも保証の対象にならない場合もあります。詳しくは保証書に記載されている保証内容のご案内をご覧ください。
保証期間はご購入日より1年間です。

3 保証期間経過後の修理は原則として有料となります。なお、運賃等の諸経費は保証期間内でもお客様にご負担いただくことがあります。

4 本製品などの不具合により録画されなかった場合の付随的損害（録画、録音に要した諸費用および得べき利益の損失など）については、保証致しかねます。

修理を依頼されるときは

5 修理品をご持参いただくときは、不具合の見本となるビデオカセットを添付するなどしたうえ、不具合の内容／修理箇所を明確にご指示ください。

補修用性能部品について

6 ビデオカメラ補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の保有期間は、製造の打ち切り後8年です。従って期間中は原則として修理をお受けいたします。なお、故障の原因や内容によっては、期間中でも修理が困難な場合と、期間後でも修理が可能な場合がありますので、その判断につきましてはご購入店、またはキヤノンサービスセンターにお問い合わせください。

修理料金について

7 修理料金は故障した製品を正常に修復するための技術料と修理に使用する部品代との合計金額からなります。

修理見積につきましては、窓口で現品を拝見させていただいてから概算をお知らせいたします。なお、お電話での修理見積依頼につきましては、おおよその仮見積になりますので、その旨ご承知おきください。

主な仕様

FV M1

システム	回転2ヘッドヘリカルスキャン DV方式（民生用デジタルVCR SD方式）
映像記録方式：	デジタルコンポーネント記録
音声記録方式：	テープ：PCMデジタル記録　16bit (48kHz/2ch) 12bit (32kHz/4ch) カード：ADPCMデジタル記録　16bit (8kHz/1ch)、4bit
信号方式：	NTSC方式準拠
使用可能ビデオカセット：	Mini DVのついたミニDVカセット
テープ速度：	約18.81mm/秒（SPモード時） 約12.56mm/秒（LPモード時）
録画/再生時間：	80分（80分テープ使用時/SPモード時） 120分（80分テープ使用時/LPモード時）
早送り/巻き戻し時間：	約2分20秒（60分テープ使用時）
撮像素子：	1/3.4型CCD、総画素数220万画素 有効画素　カード：200万画素 テープ：123万画素
液晶画面：	3.5型TFTカラー液晶（約24.6万画素）
ビューファインダー：	0.33型　TFTカラー液晶（約11.3万画素）
マイク：	ステレオエレクトレットコンデンサーマイク
レンズ：	テープ（4:3撮影時）：f=4.2～47mm F=1.6～1.9 電動11倍ズーム テープ（16:9撮影時）：f=4.7～47mm F=1.6～1.9 電動10倍ズーム カード：f=5.2～47mm F=1.8～2.8 電動9倍ズーム
レンズ構成：	9群12枚
フィルター取付径：	46mm
焦点調整：	TTL自動焦点、マニュアル調整可
最短撮影距離：	ワイド端テープ時：2cm、カード時：6cm、ズーム全域1m
色温度切り換え：	フルオート（セット、屋内、屋外付）
最低被写体照度：	1.3ルクス（ナイトモード時）
推奨被写体照度：	100ルクス以上
被写体照度範囲：	1.3～10万ルクス
絞り：	オートアイリスサーボ方式
手ぶれ補正機能：	光学式
記録カード：	SDメモリーカード、マルチメディアカード
カード記録画素数：	静止画：1632×1224、1280×960、640×480画素（ピクセル） 動画：352×288、176×144画素（ピクセル）
カード記録フォーマット：	DCF準拠、Exif 2.2準拠、DPOF対応（静止画のみ）
画像圧縮方法：	静止画：JPEG（スーパーファイン、ファイン、ノーマル） 動画：MPEG-4
動画記録：	15フレーム/秒
カード記録枚数*：	(8MバイトのSDメモリーカードの場合) 1632×1224 スーパーファインモード約3枚、ファイン約5枚、ノーマル約10枚 1280×960 スーパーファインモード約5枚、ファイン約9枚、ノーマル約16枚 640×480 スーパーファインモード約34枚、ファイン約50枚、ノーマル約84枚
連写機能：	

静止画像サイズ	内蔵フラッシュ	1秒あたり記録枚数	可能記録枚数
1632×1224	フラッシュ発光時	約2枚	10枚
	フラッシュ未発光時		
1280×960	フラッシュ発光時	約2枚	10枚
	フラッシュ未発光時	約3枚	
640×480	フラッシュ発光時	約2枚	30枚
	フラッシュ未発光時	約3枚	

*この数値は撮影条件や被写体によって変わります。また、サンプル画像の入っている付属のSDメモリーカードの場合は上記枚数より少なくなります。

FV M1は、DCFに準拠しています。DCFは、（社）電子情報技術産業協会（JEITA）で主として、デジタルカメラ等の画像ファイル等を、関連機器間で簡便に利用しあえる環境を整えることを目的に標準化された規格「Design rule for Camera File system」の略称です。

入・出力端子（レベル／インピーダンス）

映像端子：　φ3.5mm　4極ミニジャック、1Vp-p/75Ω
S-映像端子：　4ピン　DIN
　輝度信号：1Vp-p/75Ω　色信号：0.286Vp-p/75Ω
USB端子：　mini-B
DV端子：　マルチコネクター、IEEE1394準拠
音声端子：　φ3.5mm　2極ミニジャック
　出力時：-10dBV (47kΩ負荷時)/3ｋΩ以下
　入力時：-10dBV /40kΩ以上
外部マイク端子：　φ3.5mm ステレオミニジャック、-57ｄBV（600Ωマイク使用時）/5ｋΩ以上
　-37ｄBV（600Ωマイク使用時）/5ｋΩ以上、MIC ATT時
ヘッドホン端子：　φ3.5mm ステレオミニジャック

電源その他

電源電圧：　DC7.4V
消費電力：　ビューファインダー使用時：約4.5W（録画中、AF合焦時）
　液晶画面使用時：約5.7W（録画中、AF合焦時）
動作温度：　0℃～40℃
外形寸法：　80×90×201mm （幅×高さ×奥行き）
撮影時総質量：　約830g （バッテリーパックBP-512、レンズフード、レンズキャップ、コイン型リチウム電池、ビデオカセット30分用、メモリーカードSDC-8M含む）
本体質量：　約725g

● このビデオカメラは、Exif 2.2（愛称「Exif Print」）に対応しています。Exif Printは、ビデオカメラとプリンターの連携を強化した規格です。Exif Print対応のプリンターと連携することで、撮影時のカメラ情報を活かし、それを最適化して、よりきれいなプリント出力が得られます。

コンパクトパワーアダプター　CA-570

電源：　AC 100V-240V、50/60Hz
出力／消費電力：　公称DC8.4V、1.5A　29VA（100V）～39VA（240V）
使用温度：　0℃～+40℃
外形寸法（幅×高さ×奥行き）：約52×29×90mm
本体質量：　約135g

バッテリーパック　BP-512

使用電池：　リチウムイオン
使用温度：　0℃～+40℃
公称電圧：　DC7.4V
容量：　1100mAh
外形寸法（幅×高さ×奥行き）：約38×21×55mm
質量：　約70g

SDメモリーカード　SDC-8M

記憶容量：　8MB
使用温度：　0℃～+40℃
外形寸法：　約32×24×2.1mm
質量：　約2g

※仕様および外観は予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

索引

ア行

アクセサリーシュー ____ 32、127、128、131
アクセサリーシューカバー ____ 32
アナログ入力 ____ 113
アフターサービス ____ 227
アフレコ ____ 121
インデックス画面 ____ 157
ウィンドカット機能 ____ 82
液晶画面の調整 ____ 35
エフェクト ____ 94
エリア ____ 38
お知らせ音 ____ 197
お知らせタイマー ____ 36
オーディオレベルメーター ____ 80
お手入れ ____ 220
オートモード（撮影モード） ____ 64
オンスクリーン ____ 209
音声を切り換える ____ 124
音量調整 ____ 51

カ行

海外で使うとき ____ 226
画質 ____ 135
カスタムキー ____ 88
カセットを入れる／出す ____ 28
画像サイズ ____ 136
カメラデータ ____ 106
カメラモード ____ 18
画面表示 ____ 207
カードアニメーション ____ 168
カード再生モード ____ 18
カードカメラモード ____ 18
カードジャンプ機能 ____ 158
カードミックス ____ 167
起動音 ____ 100
起動画面 ____ 100
逆光補正 ____ 75
グリップベルト ____ 31
警告文表示 ____ 213
結露 ____ 225
コイン型リチウム電池 ____ 30
広角 ____ 44
コピー（テープ→メモリーカード） ____ 172
（メモリーカード→テープ） ____ 173
こんなときは ____ 222

サ行

再生 ____ 48
再生中に画面を拡大する ____ 102
再生（VTR）モード ____ 18
サーチ選択 ____ 104、105
撮影する ____ 34
撮影モード ____ 63
サーフ&スノーモード（撮影モード） ____ 65
三脚を使って撮る ____ 37
シリアル番号（機番） ____ 17
サンプル画像 ____ 178
シャッター音 ____ 100
シャッタースピード ____ 66
消去（メモリーカード） ____ 161
ショルダーストラップ ____ 31
スティッチアシスト ____ 149
スポットライトモード（撮影モード） ____ 64
スライドショー ____ 156
スーパーナイトモード（撮影モード） ____ 65
ズーム ____ 44
静止画（メモリーカード） ____ 138
静止画を見る（メモリーカード） ____ 155
世界時計 ____ 38
接続：テレビで見る ____ 53
：ほかのビデオへ録画する ____ 110
：ほかのビデオやテレビの画像を録画する ____ 113
：パソコン ____ 133、175
ゼブラパターン ____ 75
セルフタイマー ____ 61
セルフタイマー音 ____ 100
ゼロセットメモリー ____ 103
□（全自動）モード（撮影モード） ____ 64
操作音 ____ 100

タ行

タイムコード ____ 36
ダイレクトプリント ____ 180
対面撮影 ____ 55
長時間録画モード ____ 83
デジタルエフェクト ____ 89
デジタルズーム ____ 45
データコード ____ 106
手ぶれ補正機能 ____ 79
電源：家庭用コンセント ____ 21
：バッテリーパック ____ 22

動画（メモリーカード）151
動画を見る（メモリーカード）155
ドライブモード 143、145
トリミング 190

ナ行

内蔵スピーカー 51
ナイトモード（撮影モード）65
夏時間 39
ネットワークモード 18、208

ハ行

バッテリーパック：残量表示 36
：充電 22
パノラマ撮影 149
日付サーチ 105
日付・時刻 41
ビデオヘッドのクリーニング 219
ビューファインダー：視度調整 31
ファイル番号のリセット 137
フェーダー 90
フォーカス（ピント合わせ）70
フォーカスリング 71
フォトサーチ 104
フォト撮影 56、138
フォーマット 174
フラッシュ（内蔵）58
プリント指定 164
プロテクト（メモリーカード）159
ヘッドホン 52
望遠 44
補助光（白色LED）60
ホワイトバランス 84

マ行

マイカメラ機能 100
マルチ画面 97
マルチメディアカード 134
無限遠 72
メニュー 76
メニュー一覧 195
メモリーカード：入れ方 134
：画質 135
：記録する 138、151

ラ行

リモコン 33
リモコンコード 109
連写 143
レンズキャップ 31
レンズフード 32
録画チェック／録画サーチ 47
録画モード 83
録画ランプ 197
露出補正 74
露出ロック 73

ワ行

ワイド（テレビ16：9）44、195

そのほか

12bit音声出力 124
16：9 44、195
AEB 145
AF補助光 60
AF枠選択機能 139
AVインサート 119
AV（映像／音声）端子 53、54
AV→DV
（アナログ−デジタル変換）117
Avモード（撮影モード）64、69
DV（IEEE1394）端子 133
ID-1方式 54
LPモード 83
MIC（マイク）端子 122
MPEG−4 151
S-映像端子 53
S1-映像端子 54
SDメモリーカード 134
SP（標準）モード 83
Tvモード（撮影モード）64、66
USB端子 175

MEMO

Canon

キヤノン株式会社

キヤノン販売株式会社

〒108-8011　東京都港区港南2丁目16番6号

（2003年6月1日現在）

製品の取り扱い方法に関する相談窓口

製品名

FV M1　**キヤノン販売　お客様相談センター**

（全国共通番号） ナビダイヤル **0570-01-9000　該当番号 66**

受付時間：平日 9:00～20:00　土・日・祝日 10:00～17:00
（1月1日～1月3日を除く）

お電話がつながりましたら音声ガイダンスに従ってデジタルビデオカメラの該当番号<66>をお話しください。音声認識後、商品担当者におつなぎします。

全国64ヶ所にある最寄りのアクセスポイントまでの通話料金でご利用になれます。なお、PHS・海外からの電話をご使用の方は、03-3455-9353をご利用ください。

※ 音声対応システム・受付時間・該当番号は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

※ 電話回線の状態等によっては、正しく音声認識できない場合があります。その場合でもオペレーターにおつなぎいたしますので、そのまま電話を切らずにお待ちください。

キヤノンデジタルビデオカメラホームページのご案内

キヤノンデジタルビデオカメラのホームページを開設しています。最新の情報が掲載されておりますので、インターネットをご利用の方は、ぜひお立ち寄りください。

デジタルビデオカメラ製品情報　http://canon.jp/dv

CANON iMAGE GATEWAY　http://www.imagegateway.net/

Li-ion

リチウムイオン電池のリサイクルにご協力ください。

この使用説明書は100%再生紙を使用しています。

PUB. DIJ-145
0000Ni0.0

DY8-9010-103-000

PRINTED IN JAPAN